

青森県感染症発生動向調査事業報告書
－平成28年－

青森県環境保健センター
(青森県感染症情報センター)

はじめに

感染症発生動向調査事業は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」に基づき、感染症患者の発生や病原体に関する情報の収集と分析を行い、その結果を情報提供・公開することにより、有効かつ的確な感染症対策を確立することを目的に実施されています。

平成28年には、感染症法に病原体の検査に関する明確な規定が設けられ、感染症に対する情報収集体制が強化されることとなりました。感染症対策で重要なことは、いざ感染症が発生した際に、いかに迅速・適切に対応して拡大防止を図るかですが、そのためにも平常時からの備えと、関係機関相互の情報共有が大切です。近年の病原体の遺伝子解析技術等の飛躍的な進歩に伴い、感染症の患者等からの検体を確保し、病原体の遺伝子情報、薬剤耐性等の情報の収集・解析の重要性が高まっています。各種感染症の発生の状況、動向及び原因の情報収集並びに調査については、本事業が重要な役割を果たすものと考えております。

青森県では、平成13年に、青森県環境保健センター内に青森県感染症情報センターを設置しました。以来、県内全域の患者情報、病原体情報を収集、分析し、その結果を全国情報と併せて青森県のホームページに週報及び月報として掲載し、広く公開しております。

ここに、平成28年（2016年）の「青森県感染症発生動向調査事業報告書」を作成しました。青森県の感染症予防対策の一助となり、県民の公衆衛生の向上及び健康増進に役立てていただければ幸いです。

最後に、本報告書の作成にあたり御協力いただきました定点医療機関をはじめ、青森県感染症発生動向調査委員会の皆様及び関係各位に深謝申し上げます。

平成29年7月

青森県環境保健センター
所長 工藤 真哉

目 次

I 青森県内の感染症発生動向

1 青森県感染症発生動向調査方法.....	1
2 全数把握対象感染症の発生動向の概要.....	4
3 定点把握対象感染症の発生動向の概要	
(1) 週単位報告定点把握対象感染症.....	7
(2) 週単位報告定点把握対象感染症の年間推移.....	8
(3) 月単位報告定点把握対象感染症の年間推移.....	13

II 疾患別感染症患者発生動向

1 県内の主な全数把握対象疾患

(1) 結核.....	15
(2) 腸管出血性大腸菌感染症.....	17
(3) つつが虫病.....	19
(4) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症.....	21
(5) 侵襲性肺炎球菌感染症.....	22
(6) 梅毒.....	23

2 五類定点把握対象感染症（週単位報告）

<インフルエンザ定点把握対象疾患>

(1) インフルエンザ.....	25
------------------	----

<小児科定点把握対象疾患>

(2) R S ウイルス感染症.....	29
(3) 咽頭結膜熱.....	32
(4) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎.....	35
(5) 感染性胃腸炎.....	38
(6) 水痘.....	41
(7) 手足口病.....	44
(8) 伝染性紅斑.....	47
(9) 突発性発しん.....	50
(10) 百日咳.....	53
(11) ヘルパンギーナ.....	56
(12) 流行性耳下腺炎.....	59

<眼科定点把握対象疾患>

(13) 急性出血性結膜炎.....	62
(14) 流行性角結膜炎.....	64

<基幹定点把握対象疾患>

(15) 細菌性髄膜炎.....	67
(16) 無菌性髄膜炎.....	69
(17) マイコプラズマ肺炎.....	72
(18) クラミジア肺炎.....	75

(19) 感染性胃腸炎（ロタウイルス）	76
---------------------	----

3 五類定点把握対象感染症（月単位報告）

<性感染症定点把握対象疾患>

(1) 性器クラミジア感染症	79
(2) 性器ヘルペスウイルス感染症	83
(3) 尖圭コンジローマ	87
(4) 淋菌感染症	91

<基幹定点把握対象疾患>

(5) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	95
(6) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	98
(7) 薬剤耐性緑膿菌感染症	99

III 資料（患者報告数・定点当たり患者報告数）

表1-1～1-3	全数把握対象疾患	患者報告数	100
表2-1～2-2	全数把握対象疾患	推移表 青森県	103
表3	全数把握対象疾患	保健所別累計表	105
表4-1～4-3	定点把握対象疾患	都道府県別累計表	106
表5	定点把握対象疾患	保健所別累計表	109
表6-1～6-4	定点把握対象疾患	推移表 全国	110
表7-1～7-4	定点把握対象疾患	推移表 青森県	114
表8-1～8-4	定点把握対象疾患	推移表 全国	118
表9-1～9-4	定点把握対象疾患	推移表 青森県	122
表10	性感染症	全国累計表	126
表11-1、11-2	性感染症	保健所別累計表	127
表12-1、12-2	性感染症	年齢別累計表 青森県	128
表13	基幹定点把握対象疾患	都道府県別累計表	130
表14-1、14-2	基幹定点把握対象疾患	全国・青森県推移表	131
表15-1、15-2	基幹定点把握対象疾患	保健所別累計表	132
表16-1、16-2	基幹定点把握対象疾患	年齢別累計表	133

IV 資料（ウイルス検出状況）

2016年 ウイルス等検出状況	134
-----------------	-----

(参考資料) 青森県感染症発生動向調査事業実施要綱	135
---------------------------	-----

I 青森県内の感染症発生動向

I 青森県内の感染症発生動向

1 青森県感染症発生動向調査方法

青森県感染症情報センターは、青森県環境保健センター内に設置されており、青森県感染症発生動向調査事業実施要綱（巻末）に基づき、県内保健所から週単位、月単位で収集される患者情報及び病原体情報を国立感染症研究所感染症情報センターに報告している。

また、全国の感染症発生動向と合わせて分析・解析を行い、その結果を週報、月報として県のホームページに掲載し、県民に情報を提供している。

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」では、対象疾患を感染力や罹患した場合の重篤性、公衆衛生上の重要性などから一類から五類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症に分けている。

一類から四類感染症は、全数把握対象疾患であり、患者を診断した医師は直ちに保健所に届出を行うことになっている。五類感染症には、全数把握対象疾患と指定届出機関による定点把握対象疾患がある。

定点把握対象疾患については、県内の発生動向が的確に把握できる内科、小児科、眼科、基幹、性感染症の医療機関を指定届出機関（定点）としている。また、インフルエンザについては、内科定点と小児科定点を合わせてインフルエンザ定点としている。

県内の各定点数と内訳は下表のとおりである。

青森県内の定点（医療機関）数

（平成 28 年 12 月 31 日現在）

区分	東地方+青森市保健所		弘前保健所	八戸保健所	五所川原保健所	上十三保健所	むつ保健所	県合計	
	東地方	青森市							
インフルエンザ(内科・小児科)定点	13	1	12	15	15	7	9	6	65
小児科定点	8	0	8	9	10	5	6	4	42
内科定点	5	1	4	6	5	2	3	2	23
眼科定点	2	0	2	3	2	1	2	1	11
基幹定点※	1	0	1	1	1	1	1	1	6
性感染症定点	3	0	3	3	2	2	2	1	13

※ 基幹定点：患者を 300 人以上収容する病院（小児科医療と内科医療を提供しているもの）を各 2 次保健医療圏に 1 ケ所以上指定している。

保健所管内マップ



地 域	保健所(市町村数)	所 管 区 域
東 青	青森市保健所 (1)	青森市
	東地方保健所 (4)	東津軽郡 (平内町、今別町、蓬田村、外ヶ浜町)
中 南	弘前保健所 (8)	弘前市、黒石市、平川市、中津軽郡 (西目屋村)、南津軽郡 (藤崎町、大鰐町、田舎館村)、北津軽郡 (板柳町)
三 八	八戸保健所 (8)	八戸市、三戸郡 (三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村)、おいらせ町
西 北	五所川原保健所 (6)	五所川原市、つがる市、西津軽郡 (鱒ヶ沢町、深浦町)、北津軽郡 (鶴田町、中泊町)
上 北	上十三保健所 (8)	十和田市、三沢市、上北郡 (野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村)
下 北	むつ保健所 (5)	むつ市、下北郡 (大間町、東通村、風間浦村、佐井村)

(※1) 各地域県民局地域健康福祉部保健総室については、次のように表記している。

- ・ 東青地域県民局地域健康福祉部 保健総室 → 東地方保健所
- ・ 中南地域県民局地域健康福祉部 保健総室 → 弘前保健所
- ・ 三八地域県民局地域健康福祉部 保健総室 → 八戸保健所
- ・ 西北地域県民局地域健康福祉部 保健総室 → 五所川原保健所
- ・ 上北地域県民局地域健康福祉部 保健総室 → 上十三保健所
- ・ 下北地域県民局地域健康福祉部 保健総室 → むつ保健所

(※2) 2次保健医療圏単位として、東地方保健所管内と青森市保健所管内については、それぞれ合算集計し、文章中は「東地方+青森市保健所」として記しています。

本報告書における評価方法について

- 1 前年比の評価基準は下表のとおりとする。
 なお、年間患者報告数が、前年及び本年ともに10人以下の場合は、評価しない。

$$X = \frac{X_{28}}{X_{27}} \times 100$$

X_{27} : 平成 27 年の患者報告数あるいは定点当たり患者報告数
 X_{28} : 平成 28 年の患者報告数あるいは定点当たり患者報告数
 X : 前年比 (%)

- 2 全国比の評価基準は下表のとおりとする。
 なお、青森県において年間患者報告数が無かった場合は、評価しない。

$$X = \frac{X_{\text{青森県}}}{X_{\text{全国}}} \times 100$$

$X_{\text{全国}}$: 平成 28 年の全国の定点当たり患者報告数
 $X_{\text{青森県}}$: 平成 28 年の青森県の定点当たり患者報告数
 X : 全国比 (%)

表 評価基準

評 価	前年比又は全国比 (%)
多い	$X > 130$
やや多い	$110 < X \leq 130$
同程度	$90 \leq X \leq 110$
やや少ない	$70 \leq X < 90$
少ない	$X < 70$

2 全数把握対象感染症の発生動向の概要

(1) 一類感染症

平成28年（2016年）は、青森県及び国内における報告は無かった（p100表1-1）。

(2) 二類感染症

平成28年（2016年）は、県内全保健所管内から結核の報告があった。

報告数は299人で、平成27年（2015年）の302人と同程度だった。保健所管内別では、弘前保健所管内及び五所川原保健所管内を除き、平成27年（2015年）に比べて少なかった。年間を通して毎週患者が報告された（p100表1-1、p103表2-1、p105表3、p15図7）。

(3) 三類感染症

1) 細菌性赤痢

平成28年（2016年）は、東地方+青森市保健所管内から1人、八戸保健所管内から1人、合計2人の報告があった。平成27年（2015年）の報告数は1人であった（p100表1-1、p103表2-1、p105表3）。

2) 腸管出血性大腸菌感染症

平成28年（2016年）は、県内全保健所管内から腸管出血性大腸菌感染症の報告があった。報告数は97人で、平成27年（2015年）の47人に比べて多かった。

腸管出血性大腸菌のO抗原による血清型別は、O157が最多で、次いでO111であった。月別では、6、8～11月に報告があり、8月に最も多かった。

年齢群別では、0～9歳が最も多かった。保健所別では、八戸保健所が最も多かった（p100表1-1、p103表2-1、p105表3、p17図10、p18図12）。

(4) 四類感染症

1) E型肝炎

平成28年（2016年）は、東地方+青森市保健所管内から1人、弘前保健所管内から3人、五所川原保健所管内から1人、合計5人の報告があった。平成27年（2015年）は報告が無かった（p100表1-1、p103表2-1、p105表3）。

2) A型肝炎

平成28年（2016年）は、八戸保健所管内から3人の報告があった。平成27年（2015年）は報告が無かった（p100表1-1、p103表2-1、p105表3）。

3) つつが虫病

平成28年（2016年）は、東地方+青森市保健所管内から2人、弘前保健所管内から2人、八戸保健所管内から3人、上十三保健所管内から2人、合計9人の報告があった。平成27年（2015年）の報告数は8人であった。

月別では、5、6、10、11月にそれぞれ2人、7月に1人の報告があった。年齢群別では、60歳代以上が大半であった（p101表1-2、p103表2-1、p105表3、p19図14、p20図15）。

4) デング熱

平成28年（2016年）は、東地方+青森市保健所管内から1人の報告があった。平成27年（2015年）は報告が無かった（p101表1-2、p103表2-1、p105表3）。

5) レジオネラ症

平成28年（2016年）は、東地方+青森市保健所管内から2人、弘前保健所管内から2人、八戸保健所管内から1人、五所川原保健所管内から2人、上十三保健所管内から1人、合計8人の報告があった。平成27年（2015年）の報告数は4人であった（p102表1-3、p103表2-1、p105表3）。

(5) 五類感染症

1) アメーバ赤痢

平成28年（2016年）は、東地方+青森市保健所管内から3人、八戸保健所管内から1人、むつ保健所管内から2人、合計6人の報告があった。平成27年（2015年）の報告数は12人であった（p102表1-3、p103表2-1、p105表3）。

2) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

平成28年（2016年）は、東地方+青森市保健所管内から4人、弘前保健所管内から7人、八戸保健所管内から4人、上十三保健所管内から1人、むつ保健所管内から1人、合計17人の報告があった。平成27年（2015年）の17人と同じであった。患者の性別は男性11人、女性6人であった。年齢群別では、50歳以上が多かった（p102表1-3、p103表2-1、p105表3、p21図17）。

3) クリプトスポリジウム症

平成28年（2016年）は、上十三保健所管内から1人の報告があった。平成27年（2015年）は報告が無かった（p102表1-3、p105表3）。

4) クロイツフェルト・ヤコブ病（以下「CJD」という。）

平成28年（2016年）は、東地方+青森市保健所管内から1人、弘前保健所管内から2人、五所川原保健所管内から1人、合計4人の報告があった。平成27年（2015年）の報告数は3人であった。（p102表1-3、p103表2-1、p105表3）。

5) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

平成28年（2016年）は、東地方+青森市保健所管内から1人、弘前保健所管内から2人、八戸保健所管内から1人、合計4人の報告があった。平成27年（2015年）の報告数は3人であった（p102表1-3、p104表2-2、p105表3）。

6) 後天性免疫不全症候群

平成28年（2016年）は、東地方+青森市保健所管内から2人、八戸保健所管内から2人、合計4人の報告があった。平成27年（2015年）の報告数は3人であった（p102表1-3、p104表2-2、p105表3）。

7) 侵襲性肺炎球菌感染症

平成28年（2016年）は、東地方＋青森市保健所管内から4人、弘前保健所管内から3人、八戸保健所管内から2人、上十三保健所管内から1人、合計10人の報告があった。平成27年（2015年）の19人に比べて少なかった。

年齢群別では、50歳以上が多かった。患者の性別は男性7人、女性3人であった（p102表1-3、p104表2-2、p105表3、p22図20）。

8) 水痘（入院例）

平成28年（2016年）は、上十三保健所管内から2人、むつ保健所管内から1人、合計3人の報告があった。平成27年（2015年）の報告数は3人であった（p102表1-3、p104表2-2、p105表3）。

9) 梅毒

平成28年（2016年）は、東地方＋青森市保健所管内から2人、弘前保健所管内から10人、八戸保健所管内から12人、五所川原保健所管内から2人、上十三保健所管内から2人、合計28人の報告があった。平成27年（2015年）の8人に比べて多かった。

年齢群別では、40歳未満が多かった（p102表1-3、p104表2-2、p105表3、p23図21）。

10) 破傷風

平成28年（2016年）は、八戸保健所管内から2人の報告があった。平成27年（2015年）の報告数は1人であった（p102表1-3、p104表2-2、p105表3）。

3 定点把握対象感染症の発生動向の概要

(1) 週単位報告定点把握対象感染症

週単位報告の定点把握対象感染症について、平成28年（2016年）に青森県で報告された感染症は、定点当たり報告数の多い順から、インフルエンザ、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、マイコプラズマ肺炎、流行性耳下腺炎、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症、流行性角結膜炎、突発性発しん、感染性胃腸炎（ロタウイルス）、咽頭結膜熱、伝染性紅斑、水痘、手足口病、無菌性髄膜炎、細菌性髄膜炎、百日咳、急性出血性結膜炎であった（図1）。

定点当たり報告数が全国平均を上回った感染症は、細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、感染性胃腸炎（ロタウイルス）であった（p106～108表4-1～3、図1）。また、平成28年（2016年）の定点当たり報告数が平成27年（2015年）を上回ったのは、インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎であった（図2）。

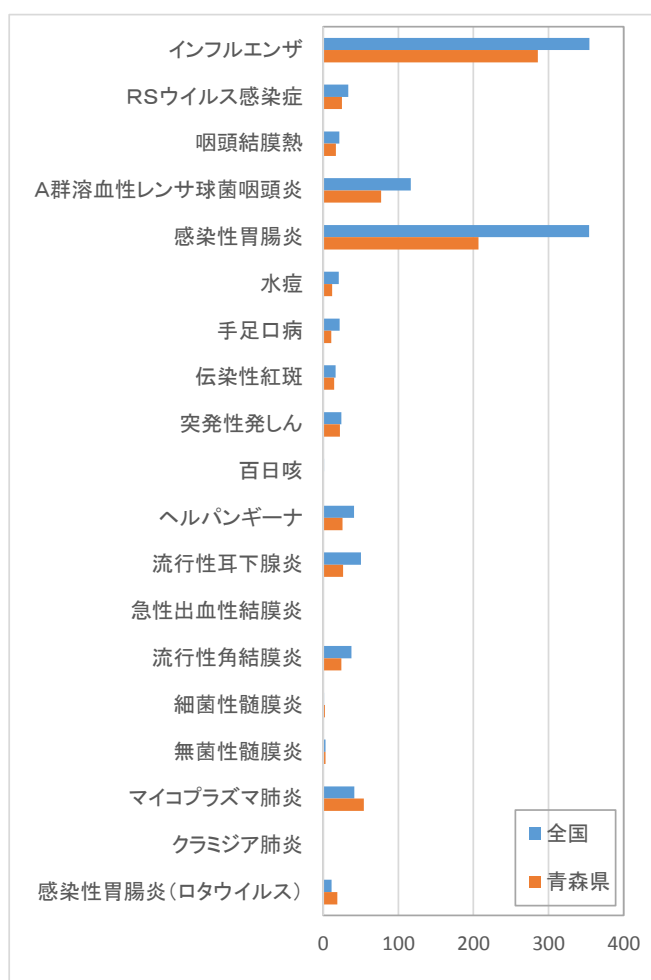


図1 平成28年（2016年）の青森県と全国の定点当たり報告数

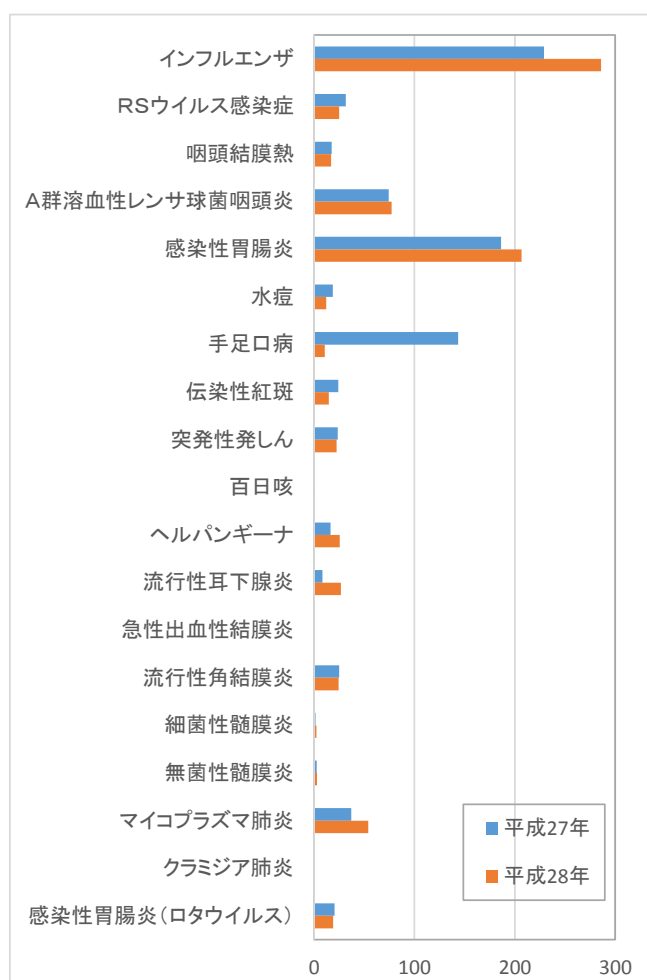


図2 県内の平成28年（2016年）と平成27年（2015年）の定点当たり報告数

(2) 週単位報告定点把握対象感染症の年間推移

青森県内で発生した各感染症の、平成28年（2016年）の定点当たり報告数の推移を、平成28年（2016年）の全国及び平成27年（2015年）の青森県の報告数の推移とともに図3-1～3-5に示した。全国及び前年との比較については、年間の定点当たり累積報告数を用いた。各感染症の概要は以下のとおりであった。

1) インフルエンザ

平成28年（2016年）の県内の定点当たり患者報告数は、全国の報告数に比べてやや少なかった。平成27年（2015年）に比べてやや多かった。

2) RSウイルス感染症

平成28年（2016年）の県内の定点当たり患者報告数は、全国の報告数に比べてやや少なかった。平成27年（2015年）に比べてやや少なかった。

3) 咽頭結膜熱

平成28年（2016年）の県内の定点当たり患者報告数は、全国の報告数に比べてやや少なかった。平成27年（2015年）と同程度であった。

4) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

平成28年（2016年）の県内の定点当たり患者報告数は、全国の報告数に比べて少なかった。平成27年（2015年）と同程度であった。

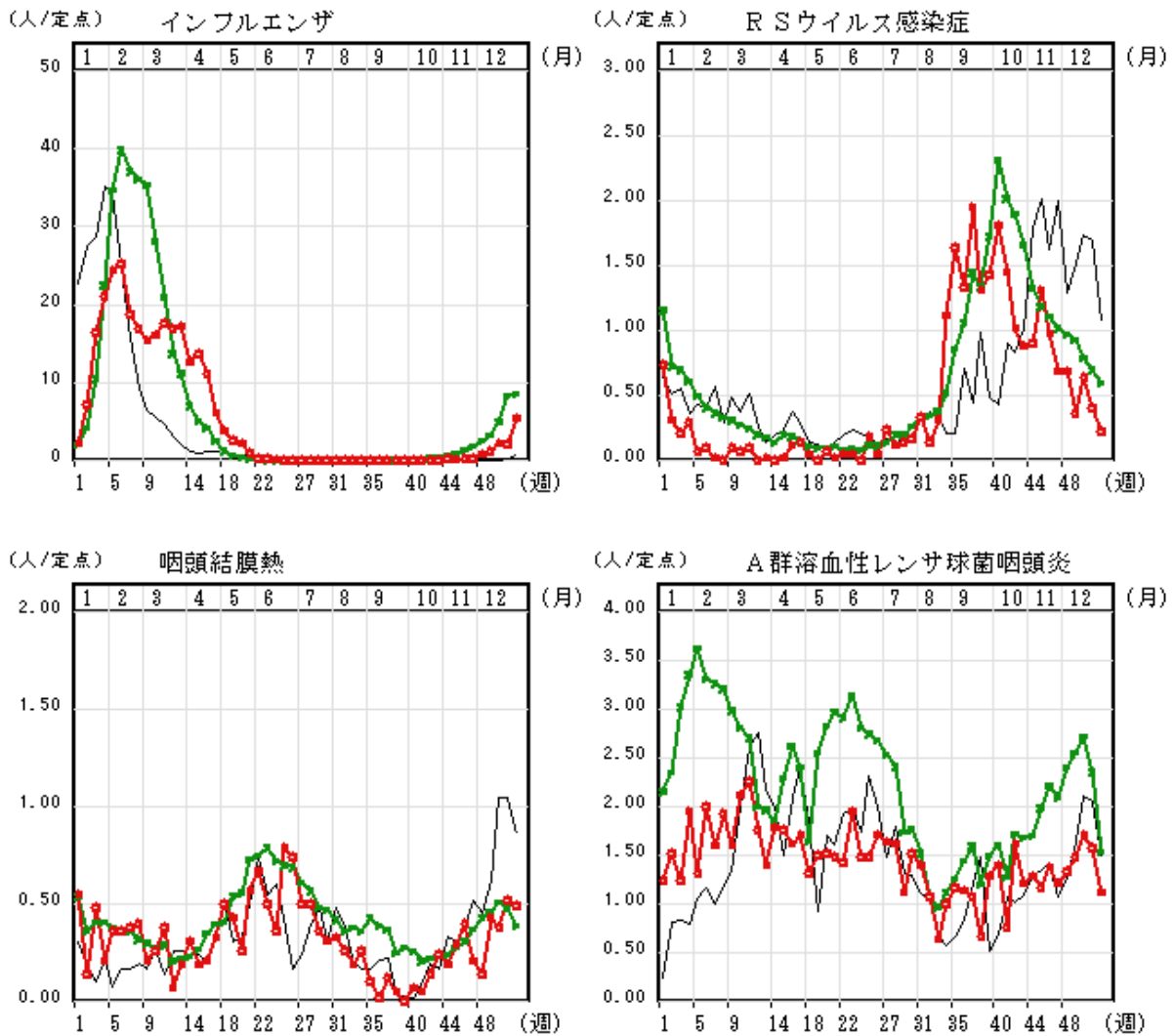


図3-1 定点把握感染症の定点当たり報告数の推移

○—○ 平成28年青森県 — 平成27年青森県 ×—× 平成28年全国

5) 感染性胃腸炎（ロタウイルスを除く）

平成28年（2016年）の県内の定点当たり患者報告数は、全国の報告数に比べて少なかった。平成27年（2015年）に比べてやや多かった。

6) 水痘（入院例）

平成28年（2016年）の県内の定点当たり患者報告数は、全国の報告数に比べて少なかった。平成27年（2015年）に比べて少なかった。

7) 手足口病

平成28年（2016年）の県内の定点当たり患者報告数は、全国の報告数に比べて少なかった。平成27年（2015年）に比べて少なかった。

8) 伝染性紅斑

平成28年（2016年）の県内の定点当たり患者報告数は、全国の報告数と同程度であった。平成27年（2015年）に比べて少なかった。

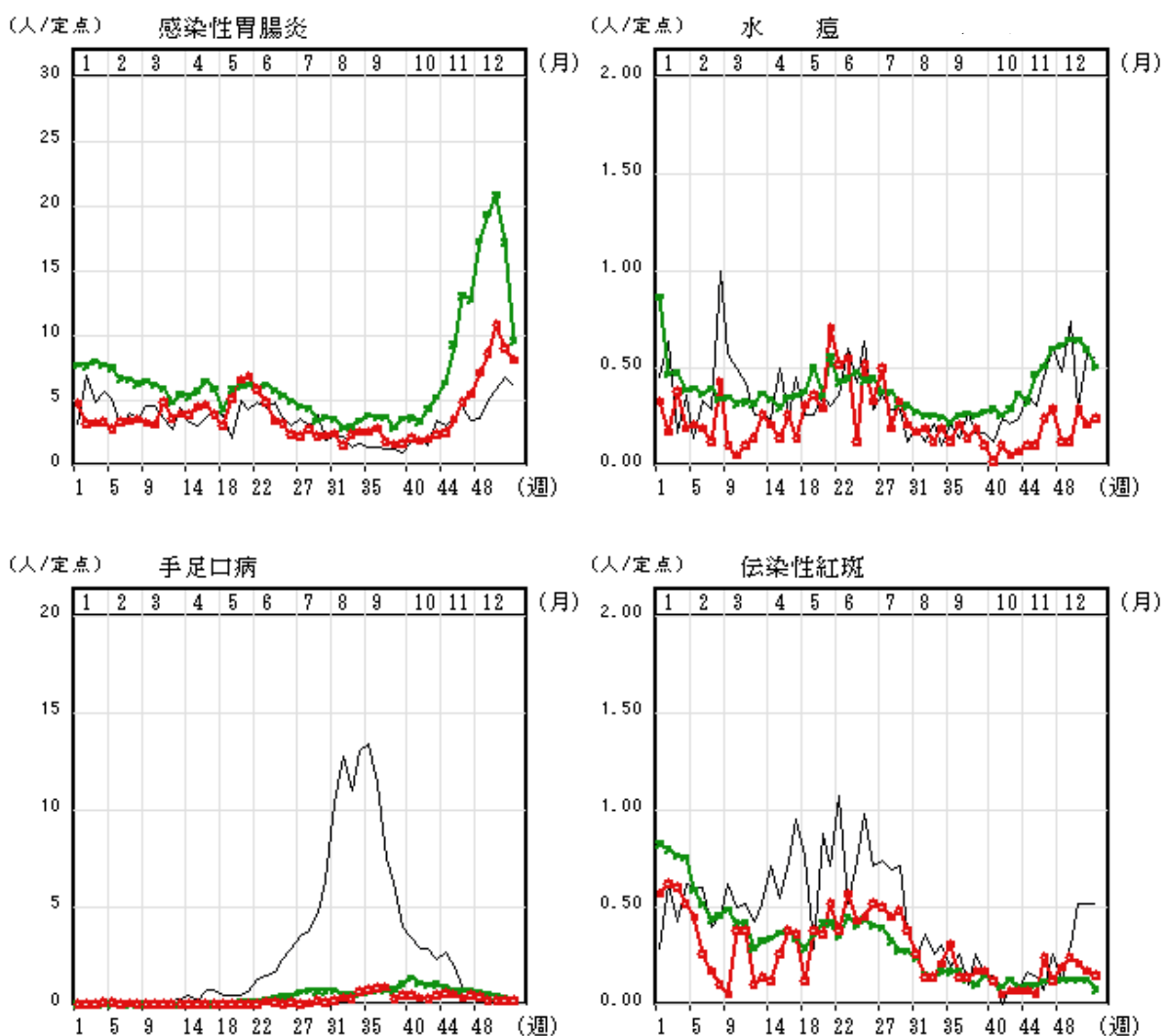
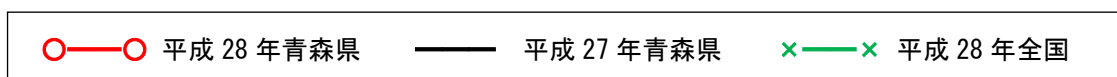


図3-2 定点把握感染症の定点当たり報告数の推移



9) 突発性発しん

平成28年（2016年）の県内の定点当たり患者報告数は、全国の報告数と同程度であった。平成27年（2015年）と同程度であった。

10) 百日咳

平成28年（2016年）の県内の定点当たり患者報告数は、全国の報告数に比べて少なかった。平成27年（2015年）に比べて多かった。

11) ヘルパンギーナ

平成28年（2016年）の県内の定点当たり患者報告数は、全国の報告数に比べて少なかった。平成27年（2015年）に比べて多かった。

12) 流行性耳下腺炎

平成28年（2016年）の県内の定点当たり患者報告数は、全国の報告数に比べて少なかった。平成27年（2015年）に比べて多かった。

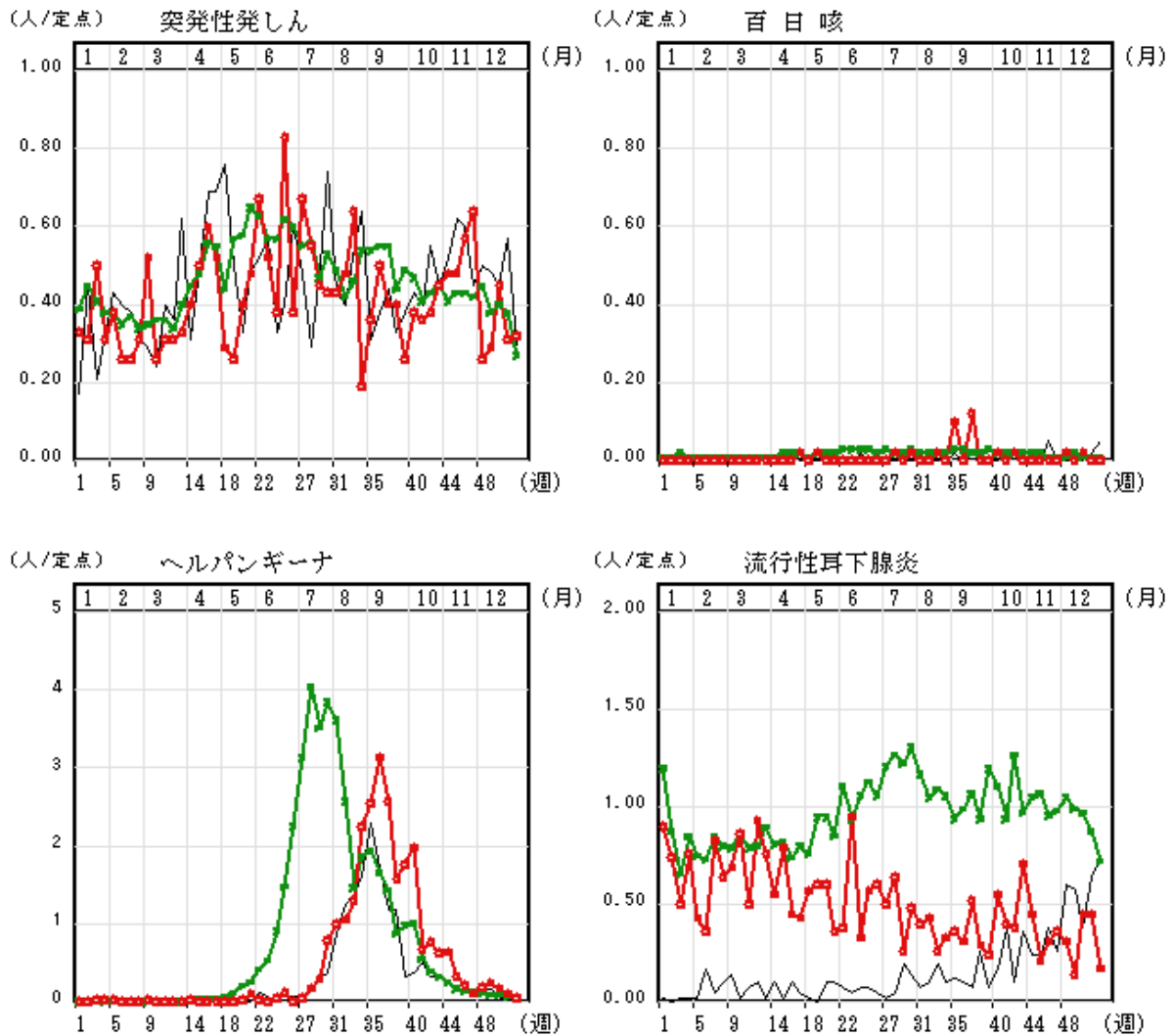
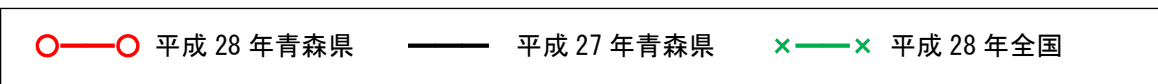


図3-3 定点把握感染症の定点当たり報告数の推移



13) 急性出血性結膜炎

平成28年（2016年）の県内の定点当たり患者報告数は、全国の報告数に比べて少なかった。平成27年（2015年）は報告が無かった。

14) 流行性角結膜炎

平成28年（2016年）の県内の定点当たり患者報告数は、全国の報告数に比べて少なかった。平成27年（2015年）と同程度であった。

15) 細菌性髄膜炎

平成28年（2016年）の県内の定点当たり患者報告数は、全国の報告数に比べて多かった。平成27年（2015年）に比べてやや多かった。

16) 無菌性髄膜炎

平成28年（2016年）の県内の定点当たり患者報告数は、全国の報告数と同程度であった。平成27年（2015年）に比べてやや多かった。

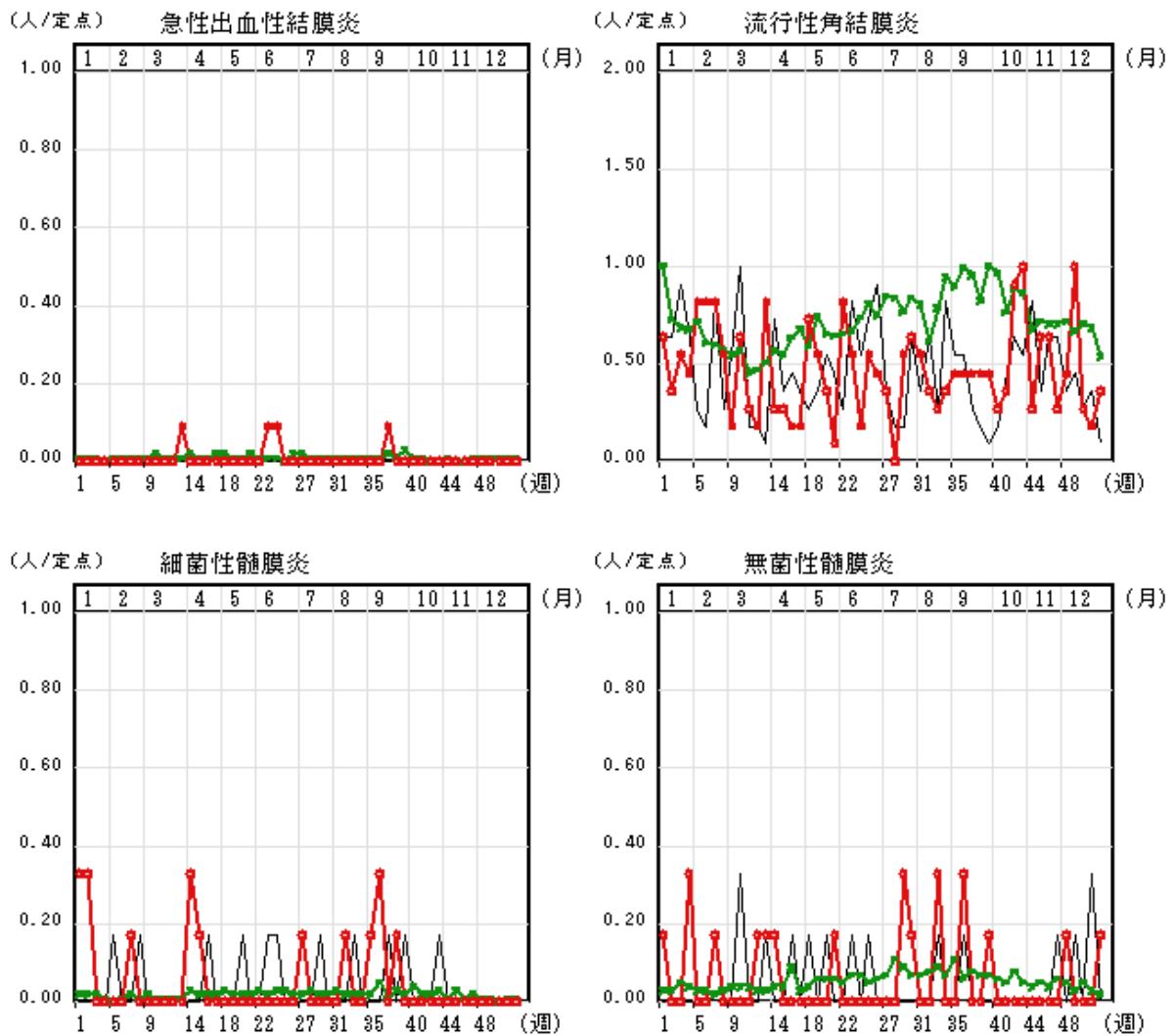
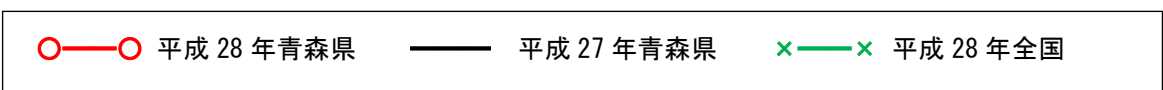


図3-4 定点把握感染症の定点当たり報告数の推移



17) マイコプラズマ肺炎

平成28年（2016年）の県内の定点当たり患者報告数は、全国の報告数に比べて多かった。平成27年（2015年）に比べて多かった。

18) クラミジア肺炎

平成28年（2016年）及び平成27年（2015年）ともに県内の患者報告が無かった。

19) 感染性胃腸炎（ロタウイルス）

平成28年（2016年）の県内の定点当たり患者報告数は、全国の報告数に比べて多かった。平成27年（2015年）と同程度であった。

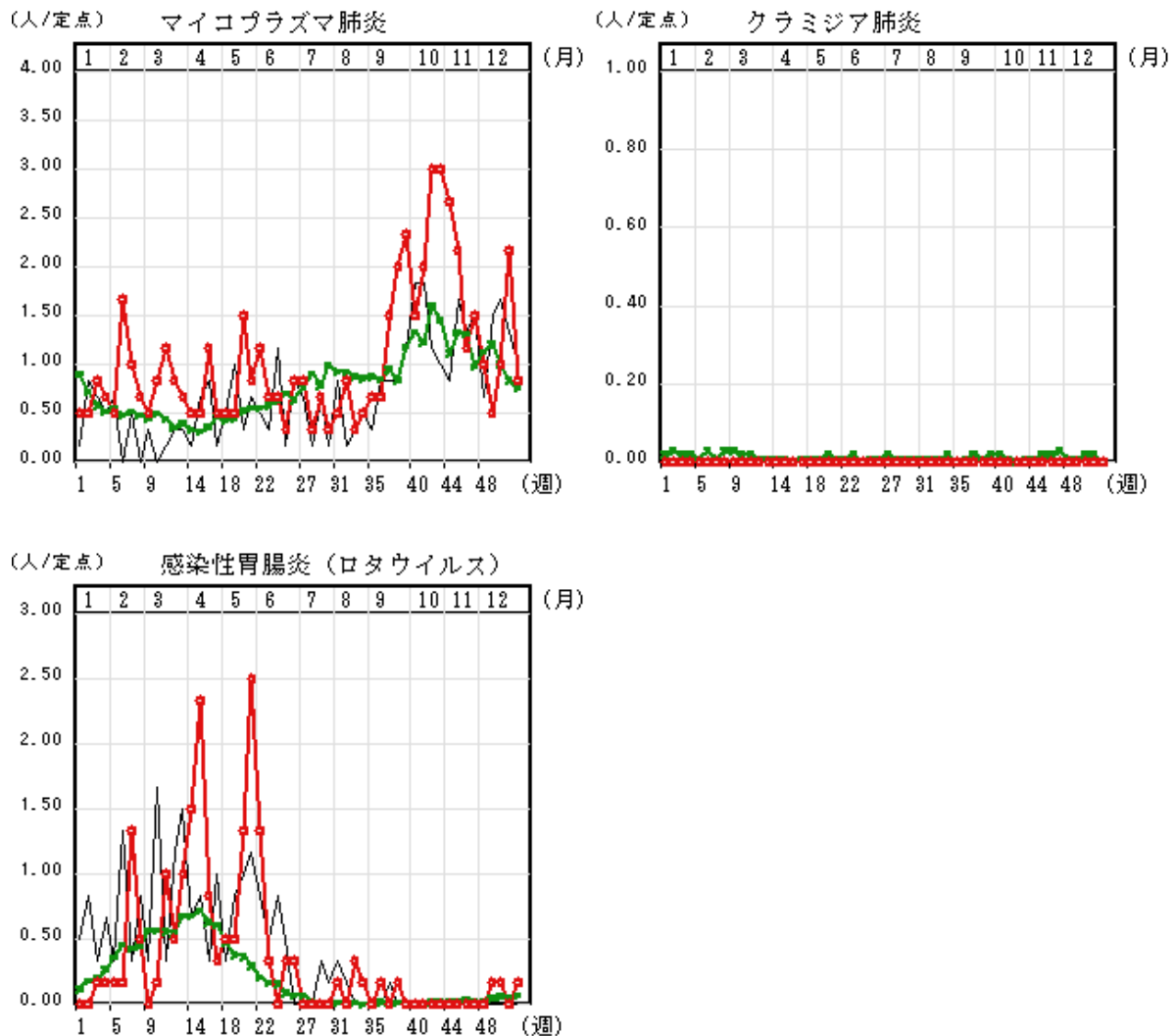
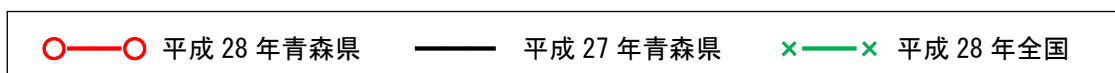


図3-5 定点把握感染症の定点当たり報告数の推移



(3) 月単位報告定点把握対象感染症の年間推移

1) 性感染症

青森県内で報告のあった性感染症の、平成28年（2016年）の定点当たり報告数の推移を平成28年（2016年）の全国及び平成27年（2015年）の青森県とともに図4に示した。総報告数は、男性219人、女性261人、合計480人であった。

① 性器クラミジア感染症

県内の定点当たり患者報告数は、全国の定点当たり患者報告数と同程度であった。実患者報告数は、男性114人、女性186人、合計300人で、平成27年（2015年）に比べてやや多かった（p126表10、p127表11-1、p128表12-1、p129表12-2）。

② 性器ヘルペスウイルス感染症

県内の定点当たり患者報告数は、全国の定点当たり患者報告数に比べてやや少なかった。実患者報告数は、男性44人、女性49人、合計93人で、平成27年（2015年）と同程度であった（p126表10、p127表11-1、p128表12-1、p129表12-2）。

③ 尖圭コンジローマ

県内の定点当たり患者報告数は、全国の定点当たり患者報告数に比べて少なかった。実患者報告数は、男性37人、女性13人、合計50人で、平成27年（2015年）に比べてやや少なかった（p126表10、p127表11-1、p128表12-1、p129表12-2）。

④ 淋菌感染症

県内の定点当たり患者報告数は、全国の定点当たり患者報告数に比べて少なかった。実患者報告数は、男性24人、女性13人、合計37人で、平成27年（2015年）と同程度であった（p126表10、p127表11-1、p128表12-1、p129表12-2）。

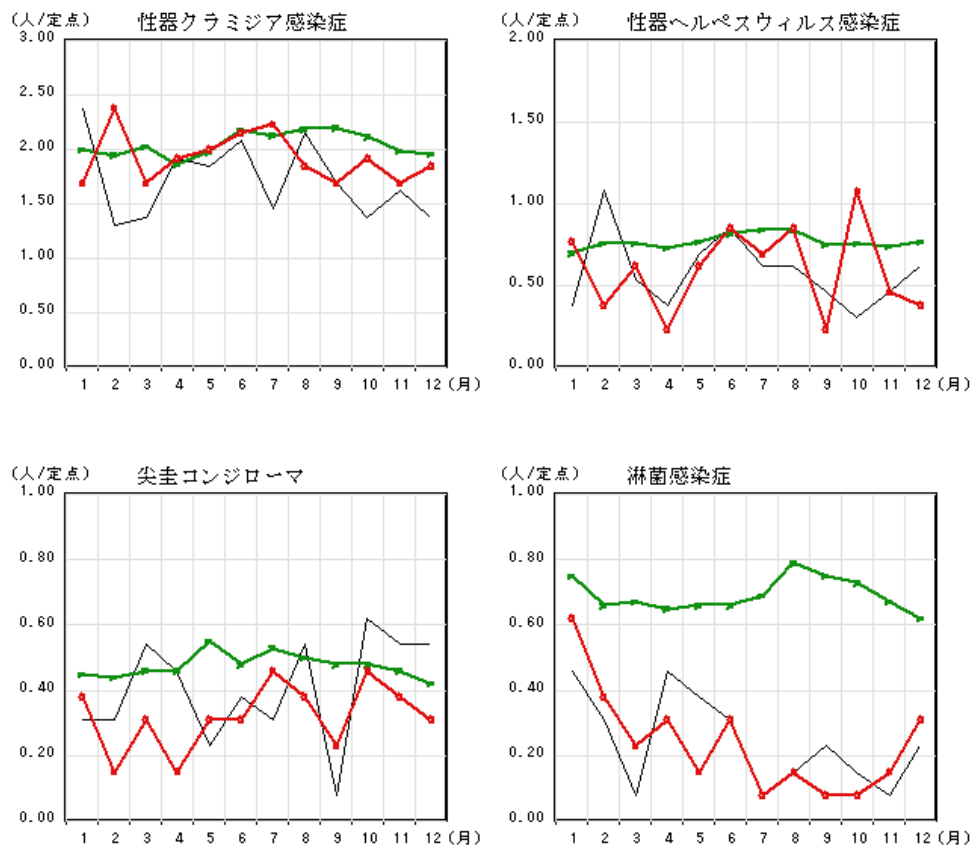
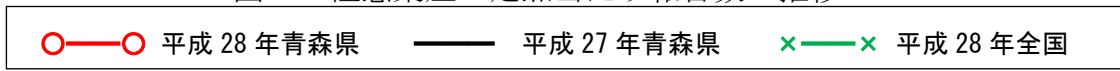


図4 性感染症の定点当たり報告数の推移



2) 薬剤耐性菌感染症

青森県内で報告のあった薬剤耐性菌感染症の、平成28年（2016年）の定点当たり報告数の推移を、平成28年（2016年）の全国及び平成27年（2015年）の青森県とともに、図5に示した。

① メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

平成28年（2016年）の県内の定点当たり患者報告数は、全国の定点当たり患者報告数に比べて少なかった。実患者報告数は、男性87人、女性49人、合計136人で、平成27年（2015年）の95人に比べて多かった。70歳以上が86人であった（p130表13、p133表16-1）。

② ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

平成28年（2016年）の県内の定点当たり患者報告数は、全国の定点当たり患者報告数に比べて少なかった。実患者報告数は、男性6人、女性2人、合計8人であった（平成27年（2015年）8人）（p130表13、p133表16-1）。

③ 薬剤耐性緑膿菌感染症

平成28年（2016年）の県内の定点当たり患者報告数は、全国の定点当たり患者報告数に比べて多かった。実患者報告数は、男性4人、女性0人、合計4人であった（平成27年（2015年）5人）（p130表13、p133表16-1）。

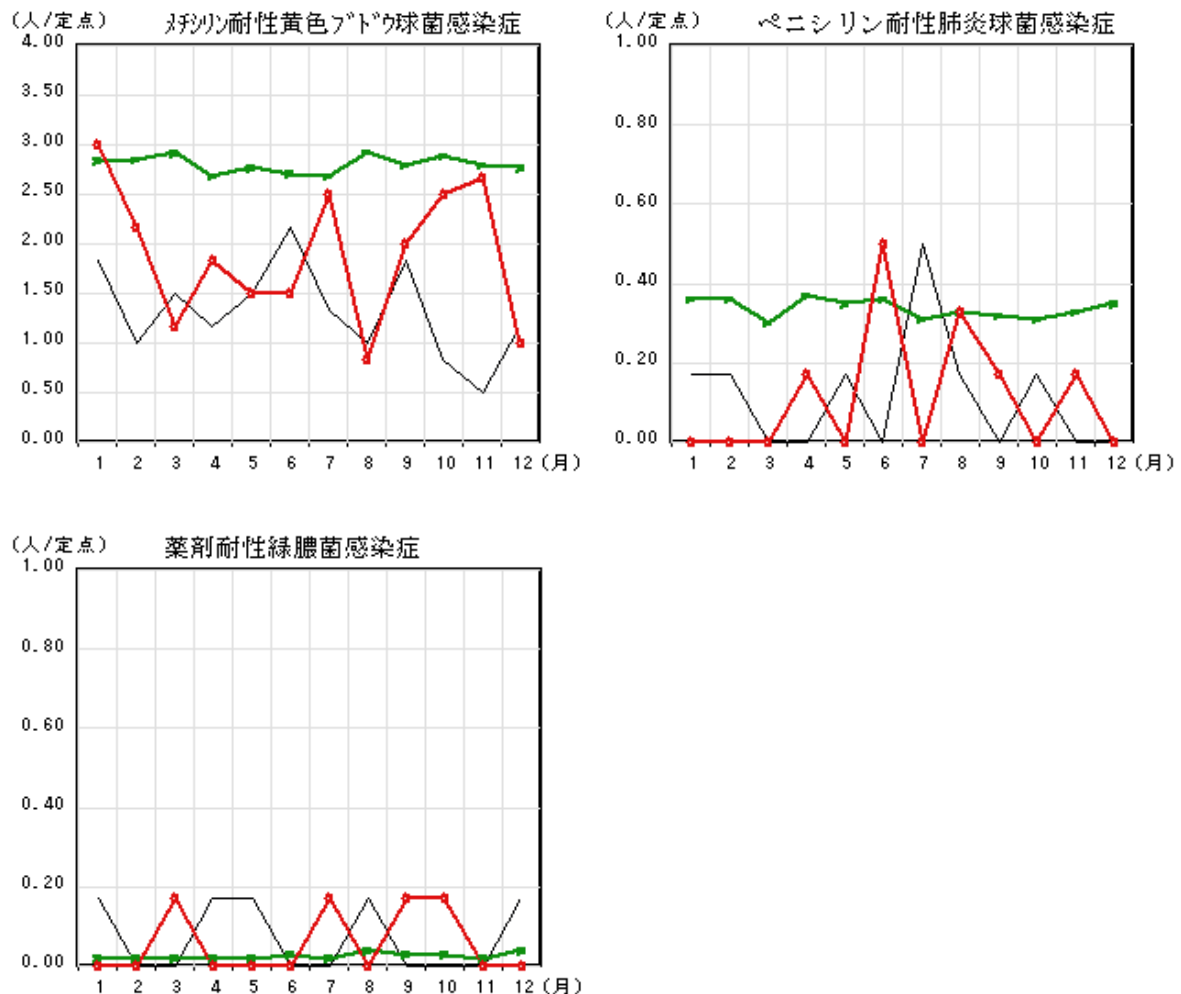
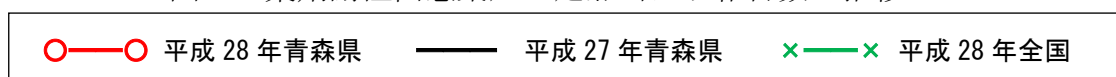


図5 薬剤耐性菌感染症の定点当たり報告数の推移



Ⅱ 疾患別感染症患者発生動向

Ⅱ 疾患別感染症患者発生動向

1 県内の主な全数把握対象疾患

(1) 結核

平成28年（2016年）の報告数は299人（患者177人、無症状病原体保有者122人）で、平成27年（2015年）の302人（患者187人、無症状病原体保有者115人）と同程度だった（p100表1-1）。

週別の報告数は、1～9人で推移した（p104表2-1、図6）。

保健所管内別の報告数は、東地方+青森市保健所管内及びむつ保健所管内では平成27年（2015年）に比べてやや少なく、八戸保健所及び上十三保健所管内では平成27年（2015年）と同程度、弘前保健所管内では平成27年（2015年）に比べてやや多く、五所川原保健所管内では平成27年（2015年）に比べて多かった（p105表3、図7）。

患者の年齢群別報告数は、年齢群とともに増加し、80歳代以上が最も多かった（図8）。無症状病原体保有者の年齢群別報告数は、50歳代が多かった（図9）。

患者の性別は、男性101人、女性76人と男性が多く、無症状病原体保有者では、男性47人、女性75人と女性が多かった（図8、9）。

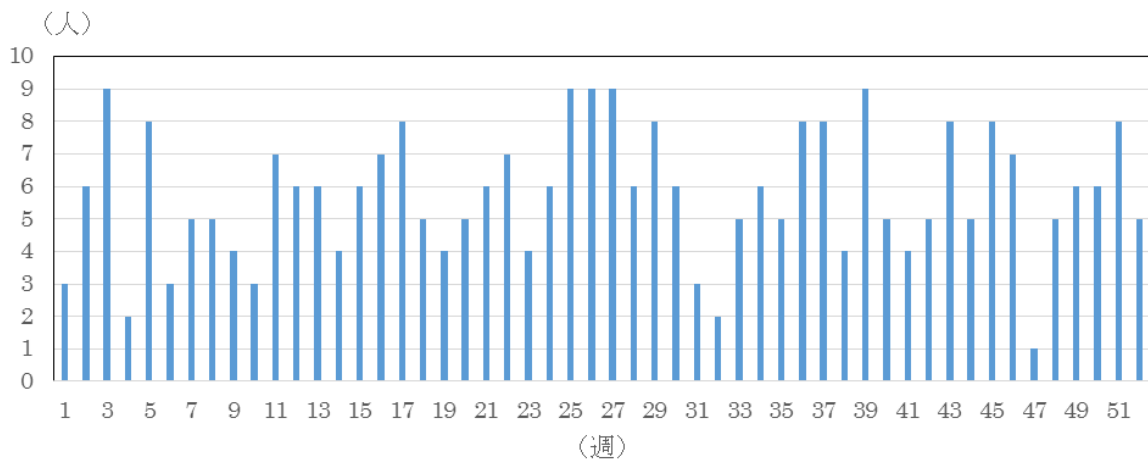


図6 週別報告数の推移

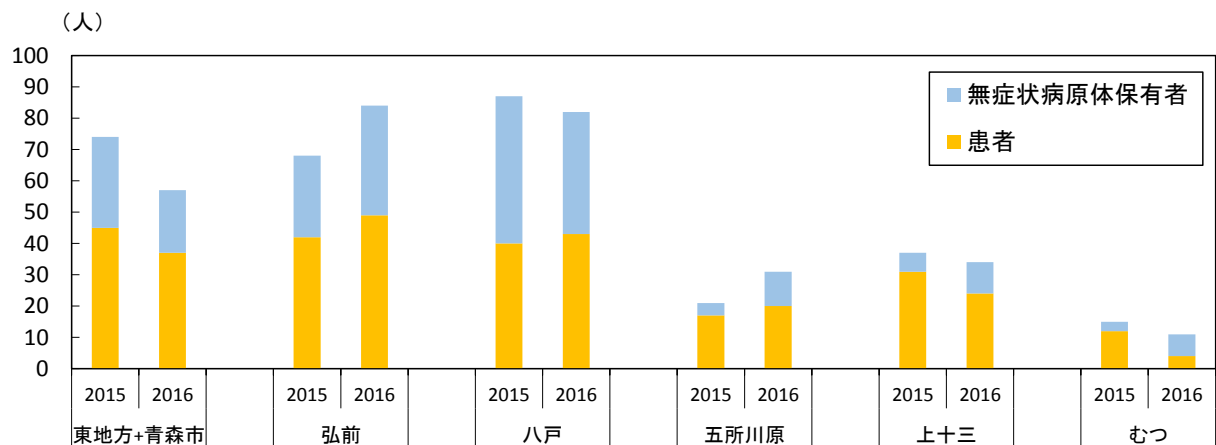


図7 保健所管内別報告数（2015年～2016年）

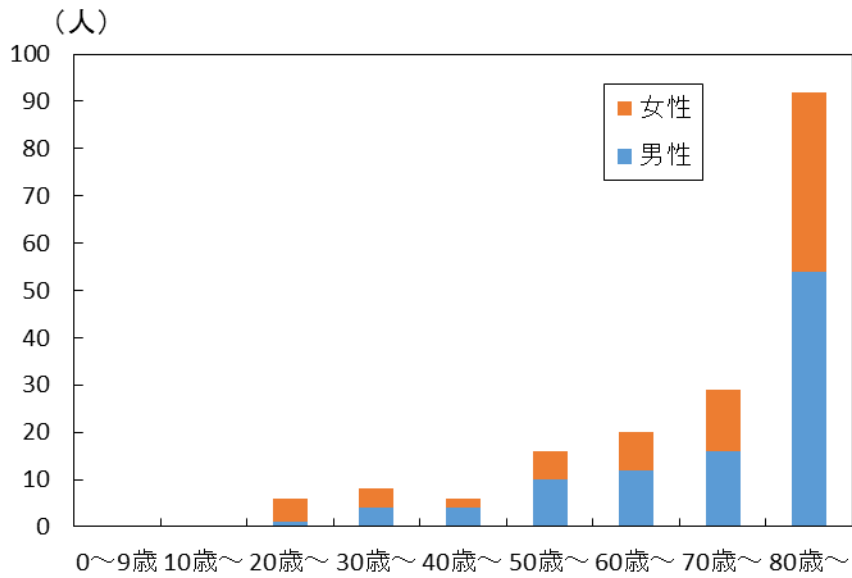


図8 結核患者の年齢群別報告数 男女別 平成28年（2016年）

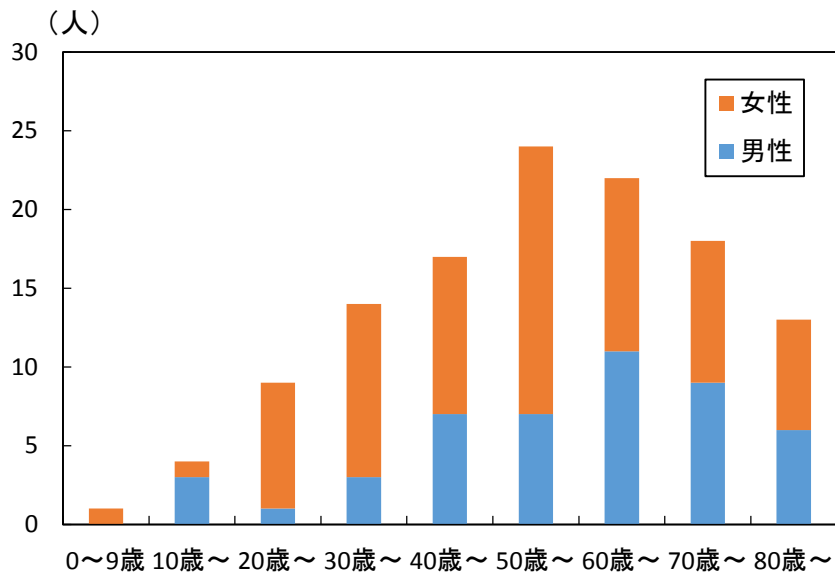


図9 無症状病原体保有者の年齢群別報告数 男女別 平成28年（2016年）

(2) 腸管出血性大腸菌感染症

平成28年（2016年）の報告数は97人で、平成27年（2015年）の47人に比べて多かった（p100表1-1）。

保健所管内別の報告数は、八戸保健所管内で83人と最も多かった（p105表3、図10）。

月別では、6月、8月～11月に報告があり、八戸保健所管内の保育所内で集団感染事例が発生したことから、特に8月が多く、8月の報告数が年間報告数の86%を占めた（図11）。

年齢群別報告数についても、保育所内における集団感染事例が発生したことから、0～9歳代が67人と最も多かった（図12）。

分離された腸管出血性大腸菌の血清型別は、O157が89株、O111が5株、O103が1株、O型別不明が2株であった（図11）。

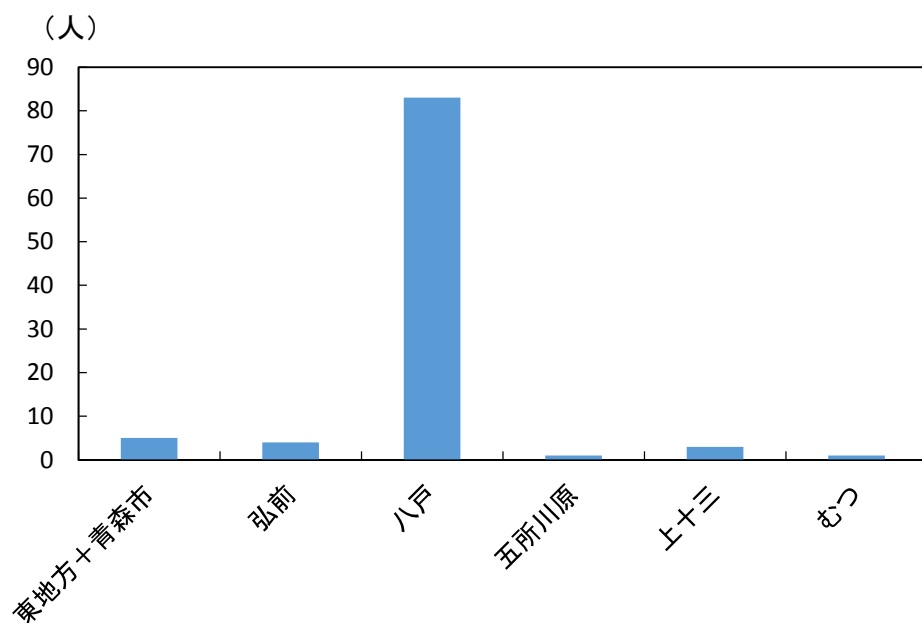


図10 保健所別報告数 平成28年（2016年）

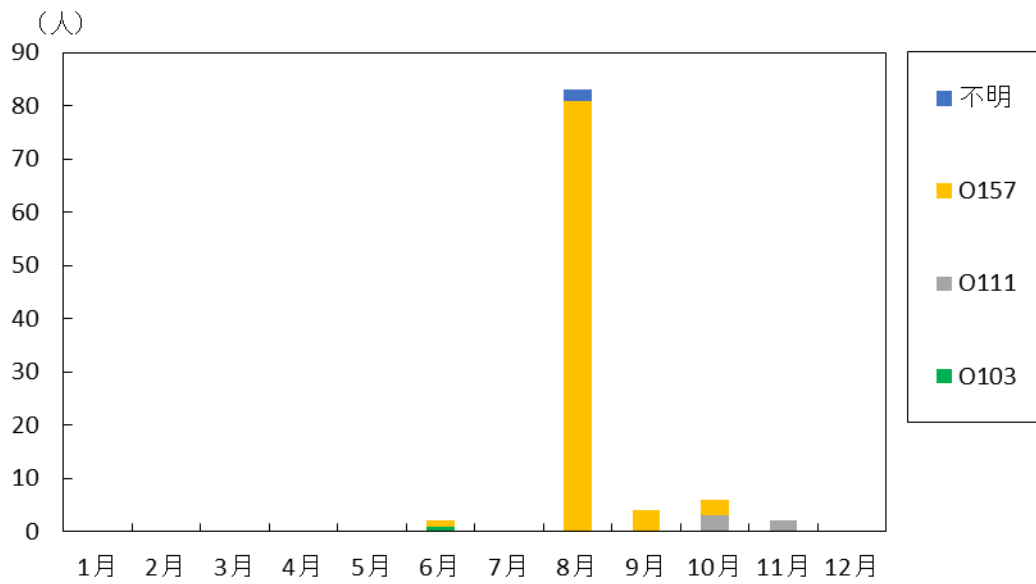


図11 月別報告数 血清型別 平成28年 (2016年)

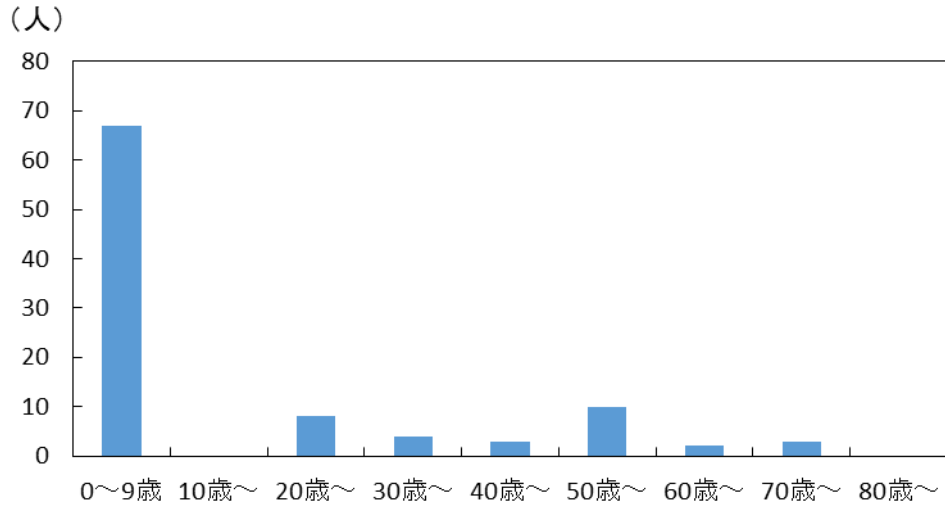


図12 年齢群別患者報告数 平成28年 (2016年)

(3) つつが虫病

平成28年(2016年)の報告数は9人で、平成27年(2015年)は8人であった(p101表1-2)。

保健所管内別の報告数は、八戸保健所管内で3人と最も多かった(p105表3、図13)。

平成28年(2016年)は、5～7、10、11月に報告があった(図14)。年齢群別報告数は、60歳代以上で多く、この傾向は平成27年(2015年)と同様であった(図15)。性別報告数は、男性7人、女性2人であった。

症状別では、発熱が9人、刺し口が7人、発疹が5人、頭痛が3人、リンパ節腫脹が3人、肺炎が1人であった(図16)。

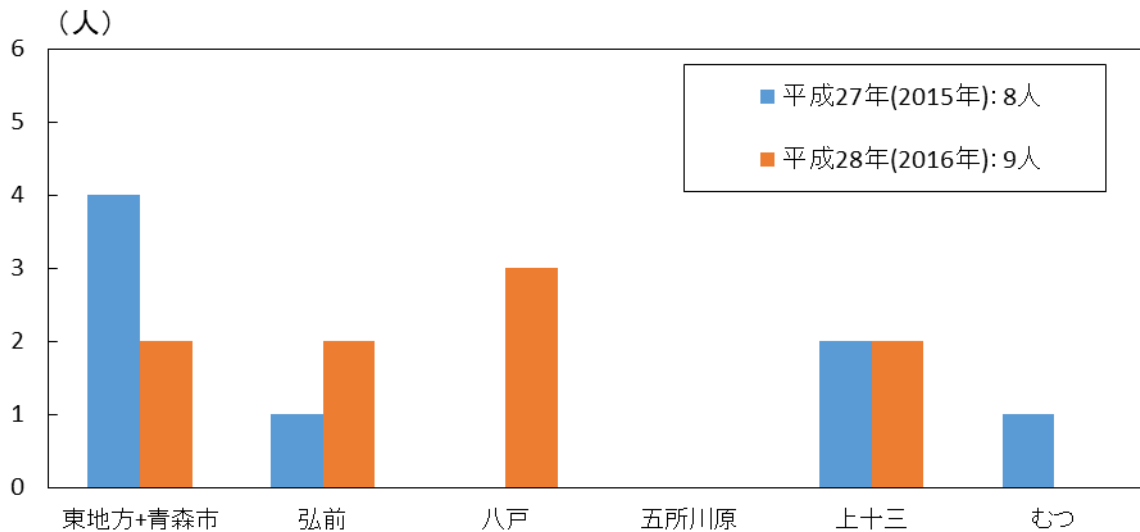


図13 保健所管内別報告数 平成27～28年(2015～2016年)

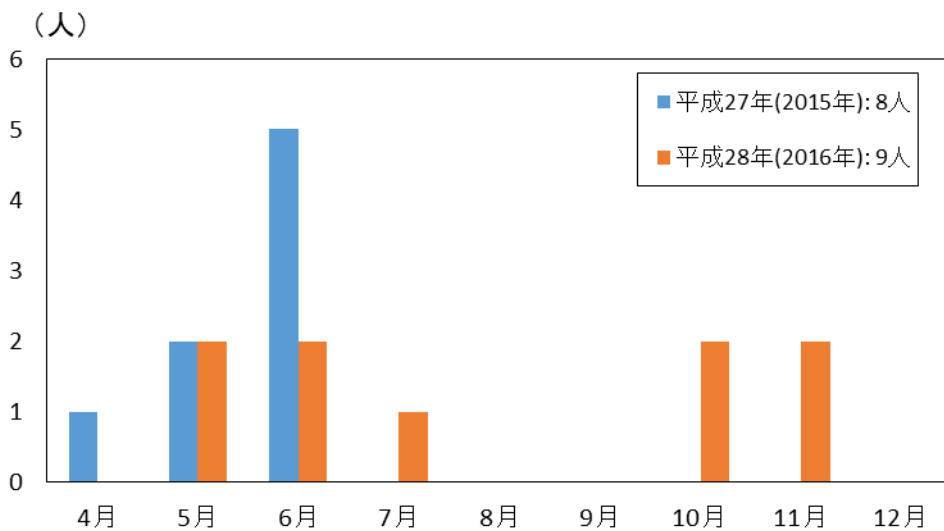


図14 月別患者報告数 平成27～28年(2015～2016年)

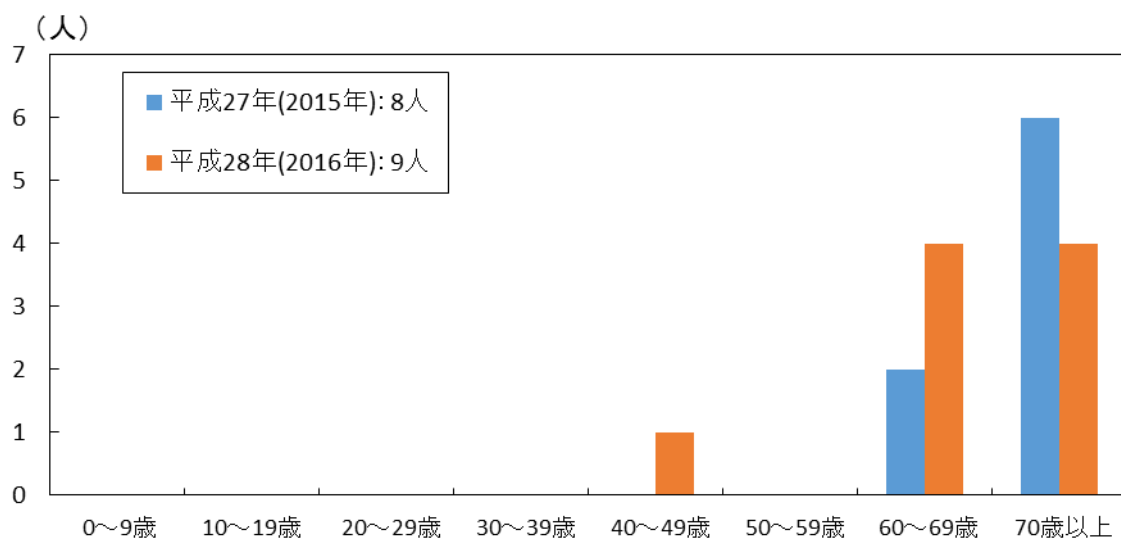


図15 年齢群別報告数 平成27~28年 (2015~2016年)

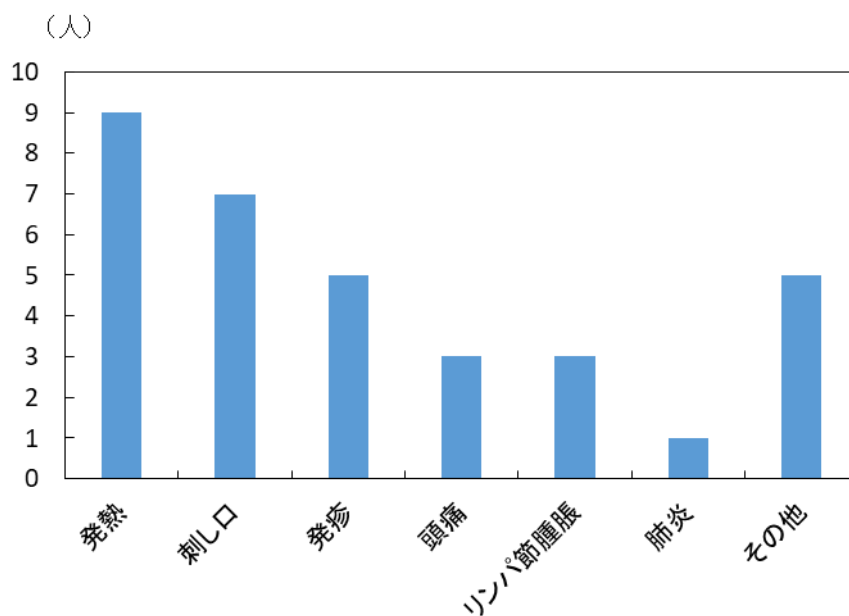


図16 症状別報告数 平成28年 (2016年)

(4) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

平成28年（2016年）の報告数は17人で、平成27年（2015年）の17人と同じであった（p102表1-3）。

保健所管内別の報告数は、弘前保健所管内で7人と最も多かった（p105表3、図17）。

年齢群別報告数は、30歳代が1人、50歳代が5人、70歳代が7人、80歳以上が4人であった。性別報告数は、男性11人、女性6人であった（図18）。

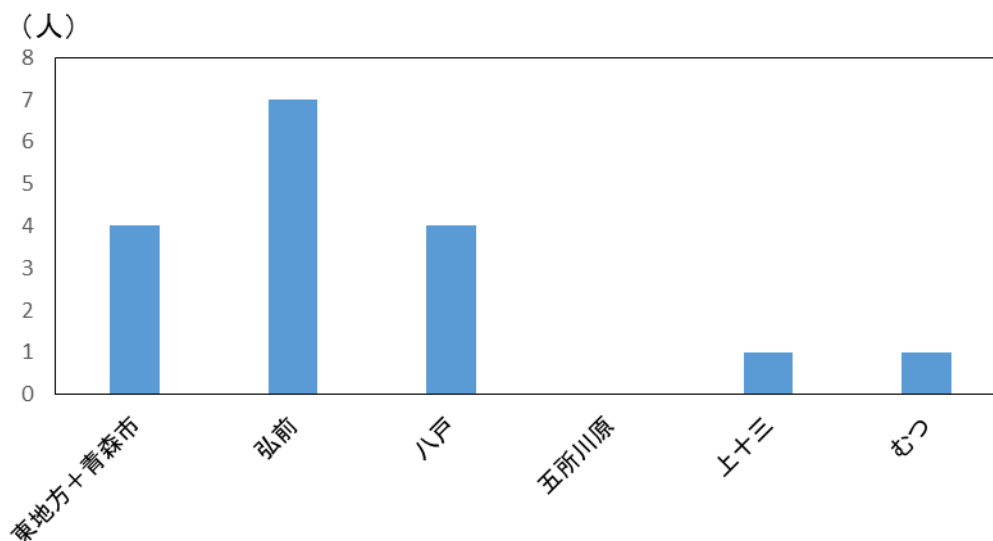


図17 保健所管内別報告数 平成28年（2016年）

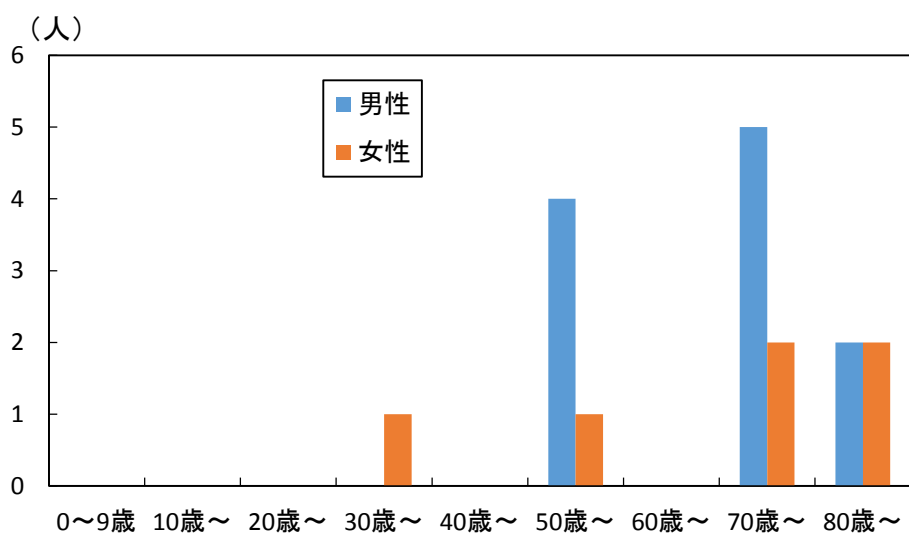


図18 年齢群別報告数 男女別 平成28年(2016年)

(5) 侵襲性肺炎球菌感染症

平成28年（2016年）の報告数は10人で、平成27年（2015年）の19人に比べて少なかった（p102表1-3）。

保健所管内別の報告数は、東地方+青森市保健所管内で4人と最も多かった（p105表3、図19）。

年齢群別報告数は、0歳代が2人、50歳代が1人、60歳代が5人、70歳代が1人、80歳代が1人であった。性別報告数は、男性7人、女性3人であった（図20）。

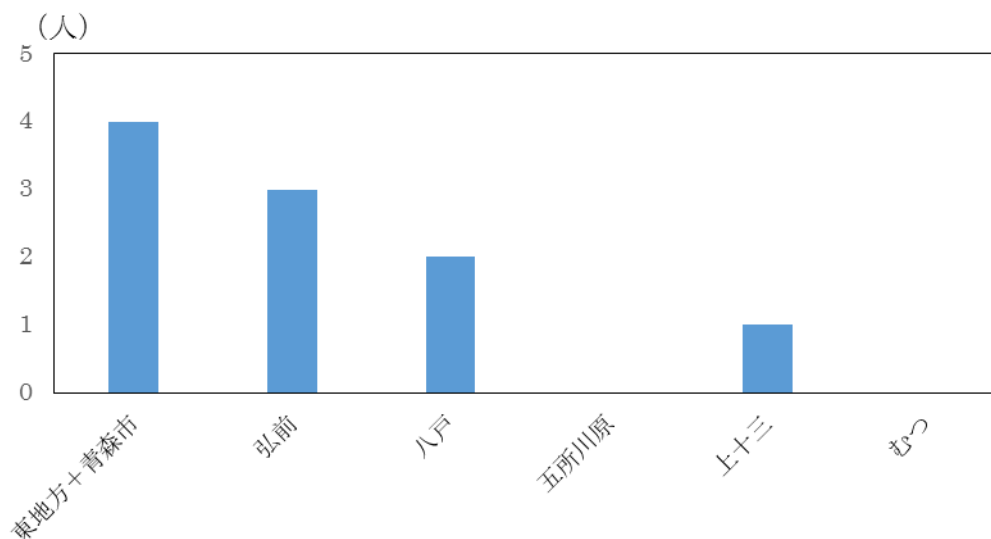


図19 保健所管内別報告数 平成28年（2016年）

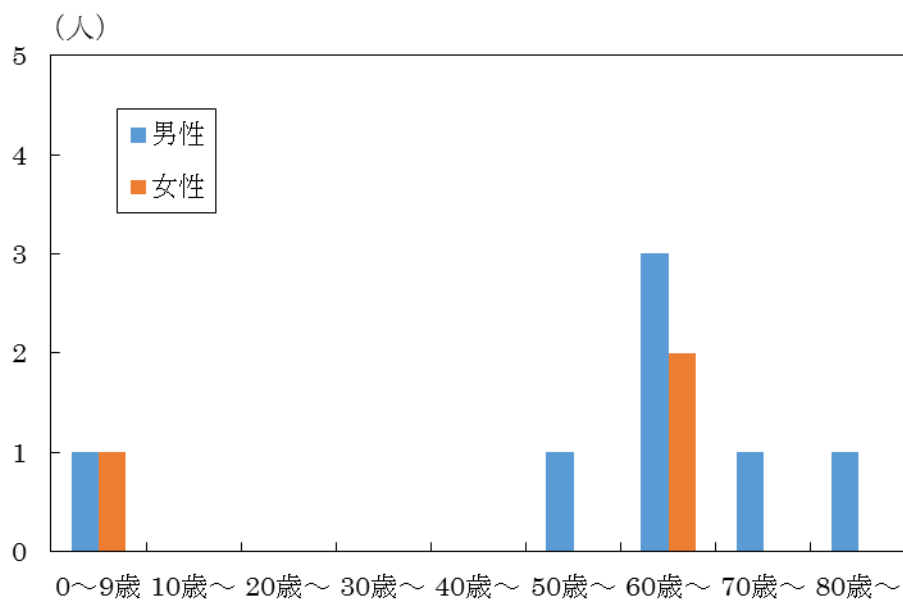


図20 年齢群別報告数 男女別 平成28年（2016年）

(6) 梅毒

平成28年（2016年）の報告数は28人で、平成27年（2015年）の8人に比べて多かった（p102表1-3）。

保健所管内別の報告数は、八戸保健所管内で12人と最も多かった（p105表3、図21）。

年齢群別報告数は、10歳代が3人、20歳代が7人、30歳代が10人、40歳代が2人、50歳代が2人、60歳代が1人、70歳代が2人、80歳代が1人であった。また性別は、男性14人、女性14人であった（図22-1）。病型は、早期顕症梅毒が20人、無症状病原体保有者が7人、晩期顕症梅毒が1人であった（図22-2）。

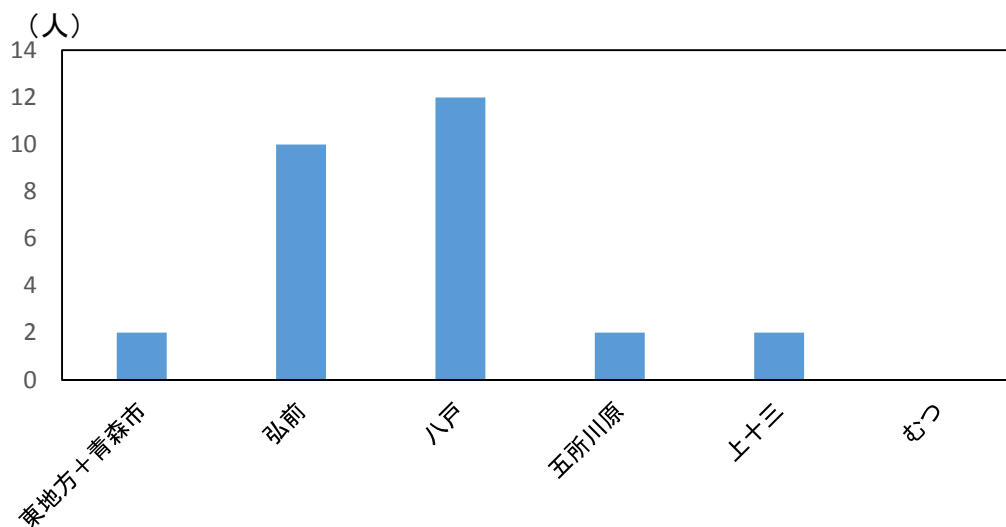


図21 保健所管内別報告数 平成28年（2016年）

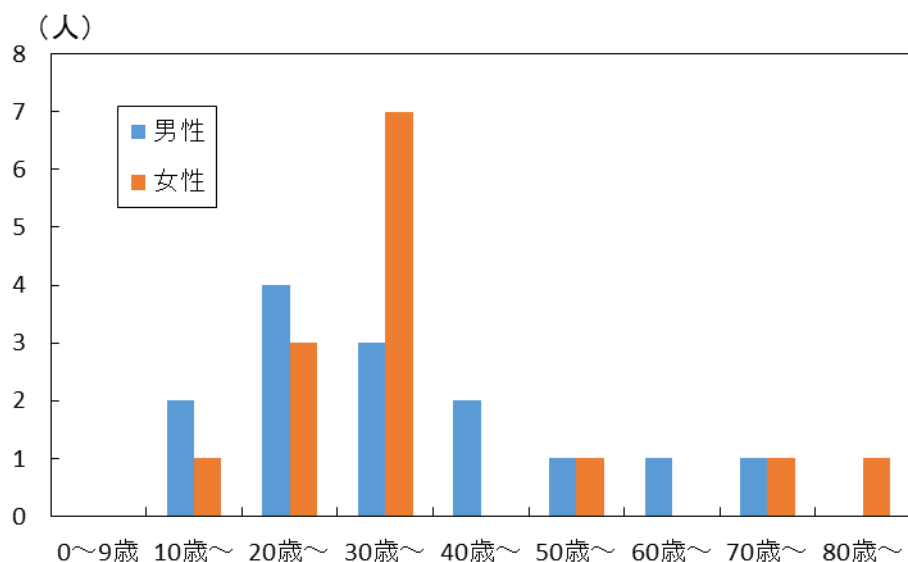


図22-1 年齢群別報告数 男女別 平成28年（2016年）

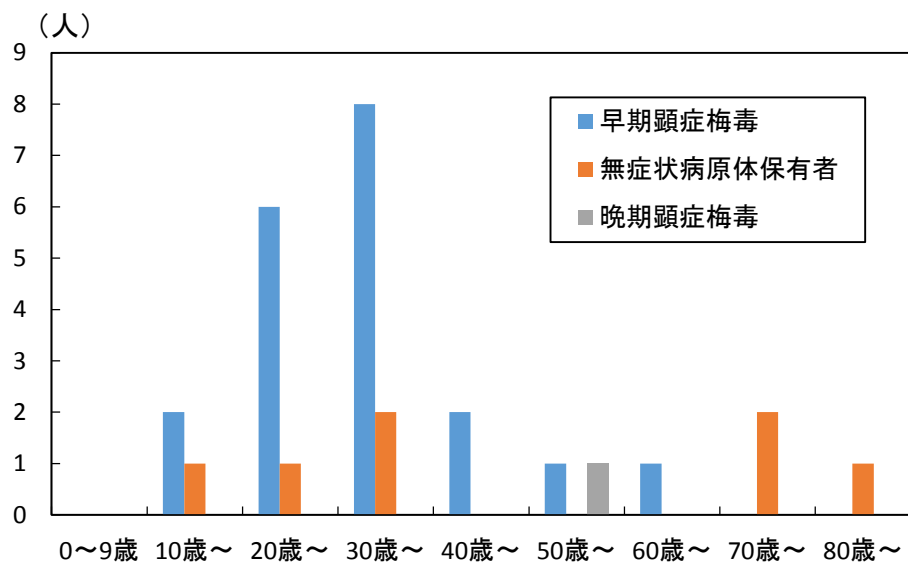


図22-2 年齢群別報告数 病型別 平成28年（2016年）

2 五類定点把握対象感染症(週単位報告)

<インフルエンザ定点把握対象疾患>

(1) インフルエンザ

平成28年(2016年)の全国の報告状況は、1月初めから報告数が増加し、5月にかけて報告数が減少した。青森県においても、1月初めから増加して、全国同様5月にかけて報告数が減少した(図23)。青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年(2016年)の定点当たり報告数は図24のとおりであった。

全国の定点当たり報告数は、平成28年(2016年)354.58人/定点で、平成27年(2015年)237.42人/定点に比べて多く、青森県でも、平成28年(2016年)285.83人/定点で、平成27年(2015年)229.12人/定点に比べてやや多かった(p106表4-1)。青森県における保健所管内別定点当たり報告状況(2015年~2016年)は図25のとおりであった。保健所管内別定点当たり報告数は、上十三保健所管内が最も多く、次いで東地方+青森市保健所管内が多かった(p109表5)。

年齢別報告数は、図26-1のとおり14歳以下の割合が全体の63.7%であった。

迅速診断キットによる型別報告数は、A型は、第1週から増加し、第6週(1,471人)でピークを形成し、第10週(445人)からB型に比べて少ない報告数のまま、ゆるやかに減少した(図27)。B型は第3週から増加し、第13週(893人)にピークを形成し、第25週(1人)まで発生が見られた。

県内の病原体調査では、インフルエンザウイルスAH1亜型が1月、2月、12月に、インフルエンザウイルスAH3亜型が4月、11月、12月に、インフルエンザウイルスB型が3月~5月に分離・検出された(p133表)。

(人/定点)

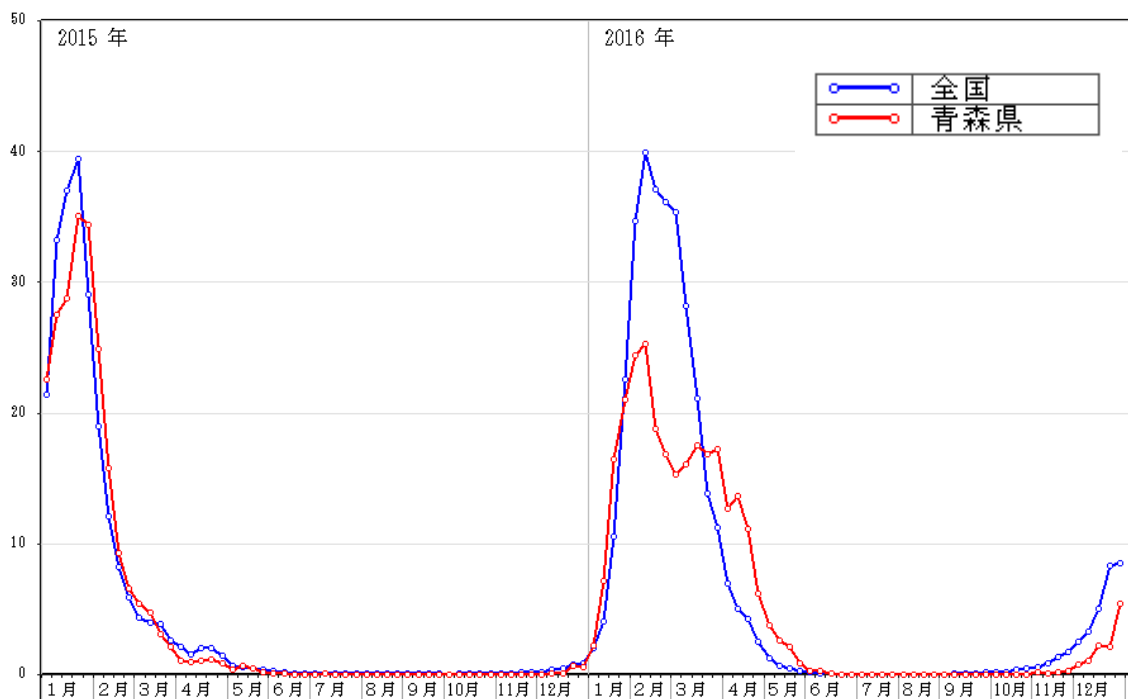


図23 全国及び青森県における定点当たり報告状況(2015年~2016年)

人/定点

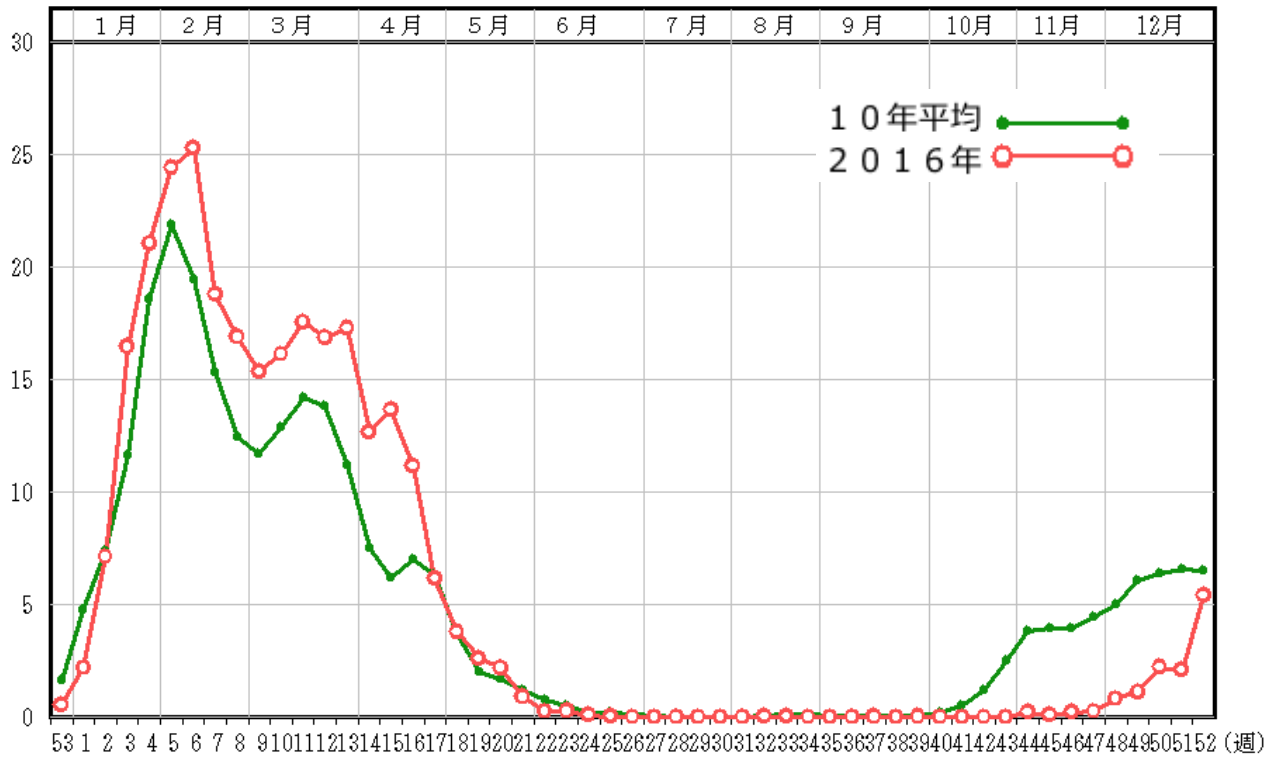


図 24 青森県の過去 10 年間の定点当たり報告数の平均及び平成 28 年（2016 年）の定点当たり報告数

(人/定点)

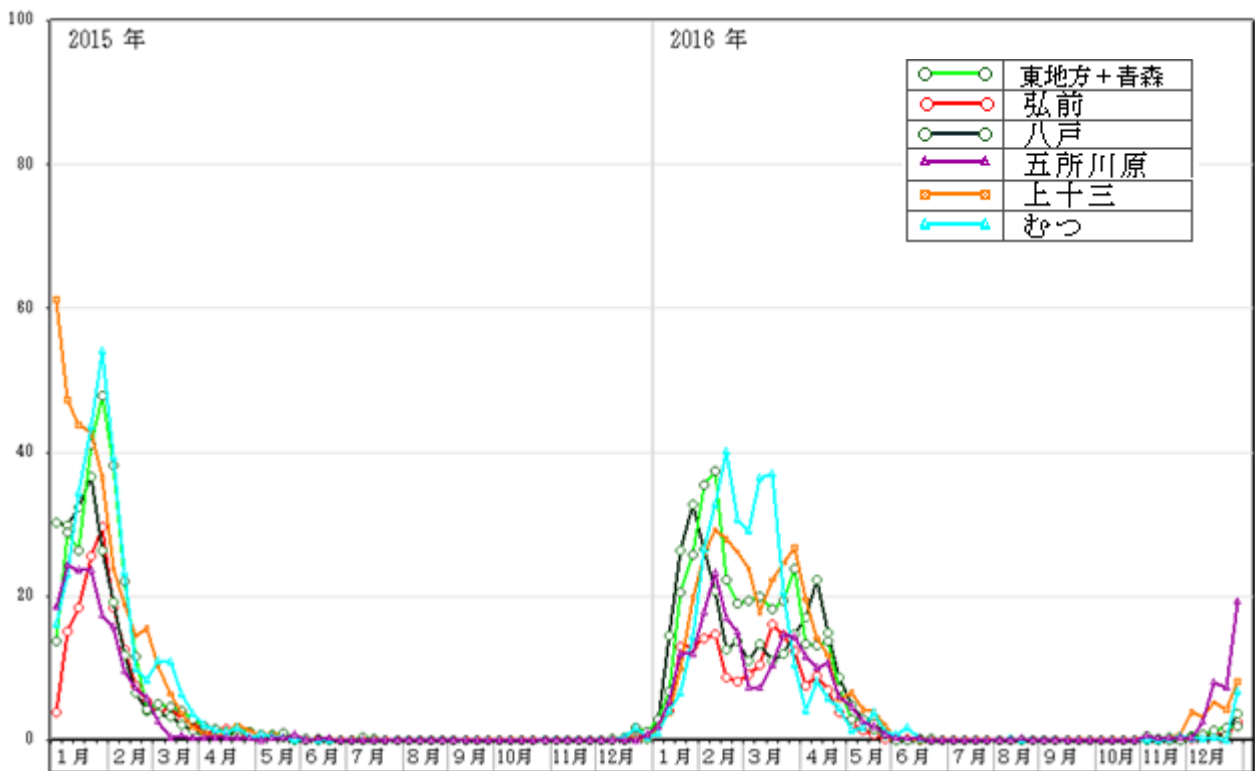


図 25 青森県における保健所管内別定点当たり報告状況

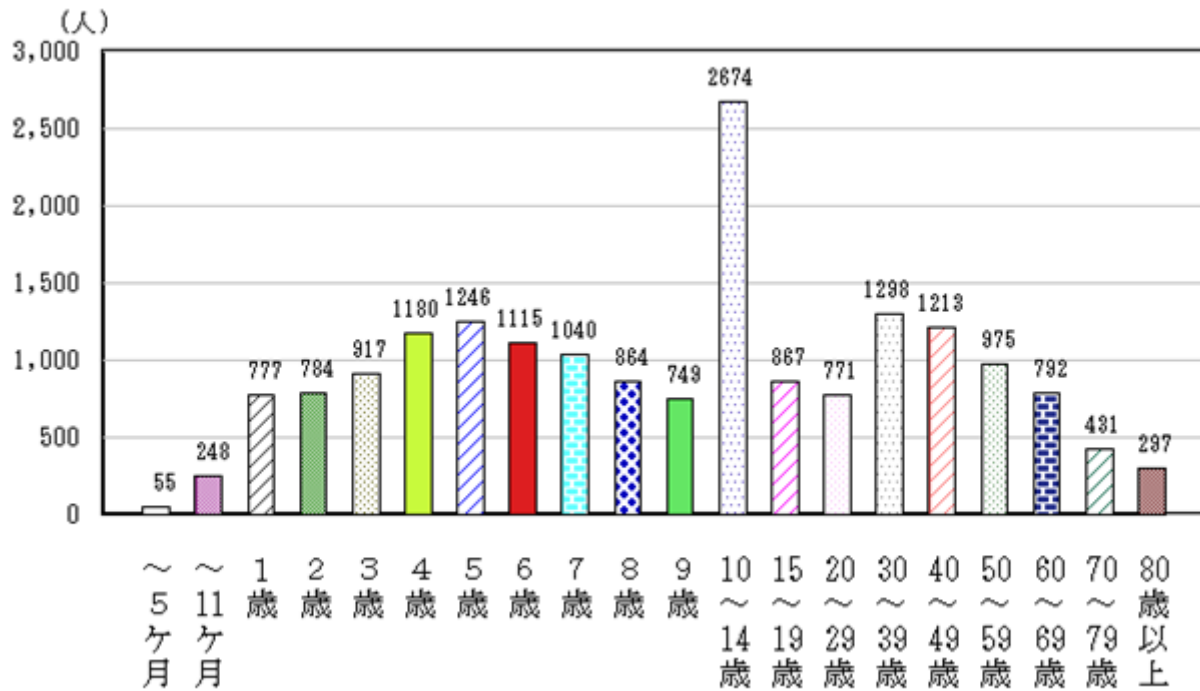


図26-1 青森県における年齢別報告数 平成28年（2016年）（18,293人）

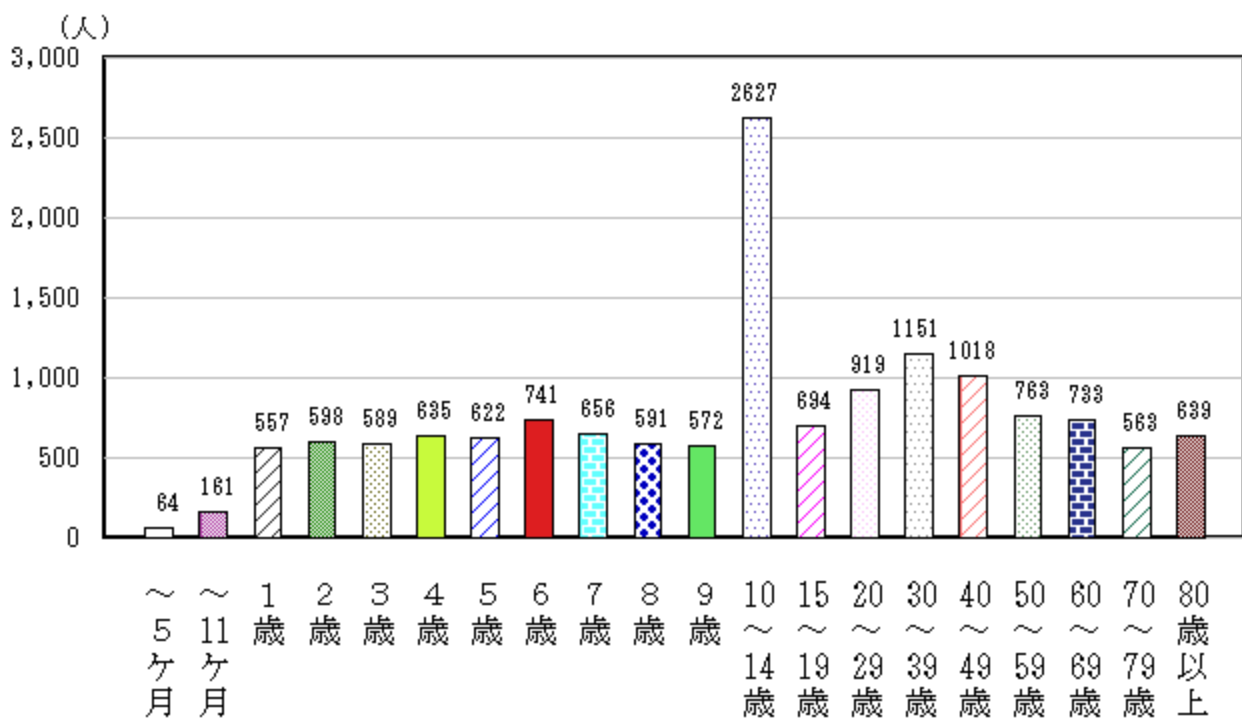


図26-2 青森県における年齢別報告数 平成27年（2015年）（14,893人）

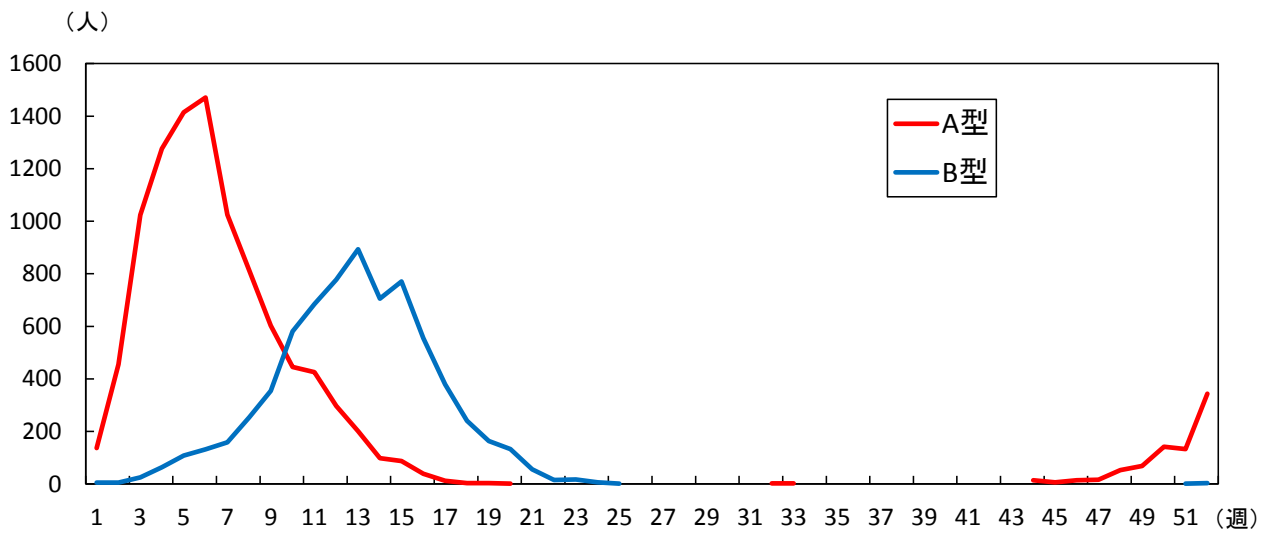


図 27 迅速診断キットによる型別報告数の推移 平成 28 年 (2016 年)

〈小児科定点把握対象疾患〉

(2) RSウイルス感染症

平成28年(2016年)の全国の報告状況は、1月から6月にかけて報告数が減少し、7月から増加を始め10月にピークを示した。青森県においても、全国と概ね同様の推移を示した(図28)。青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年(2016年)の定点当たり報告数は図29のとおりであった。

全国の定点当たり報告数は、平成28年(2016年)33.18人/定点で、平成27年(2015年)38.16人/定点と比べてやや少なかった。青森県においても、平成28年(2016年)24.98人/定点で、平成27年(2015年)31.43人/定点に比べてやや少なかった(p106表4-1)。

青森県における保健所管内別定点当たり報告状況(2015年～2016年)は図30のとおりであった。保健所管内別定点当たり報告数は、五所川原保健所管内が最も多く、次いで八戸保健所管内が多かった(p109表5)。

年齢別報告数は、図31-1のとおり1歳以下の割合が全体の86.3%であった。

県内の病原体調査では、RSウイルスA、Bが検出された(p133表)。

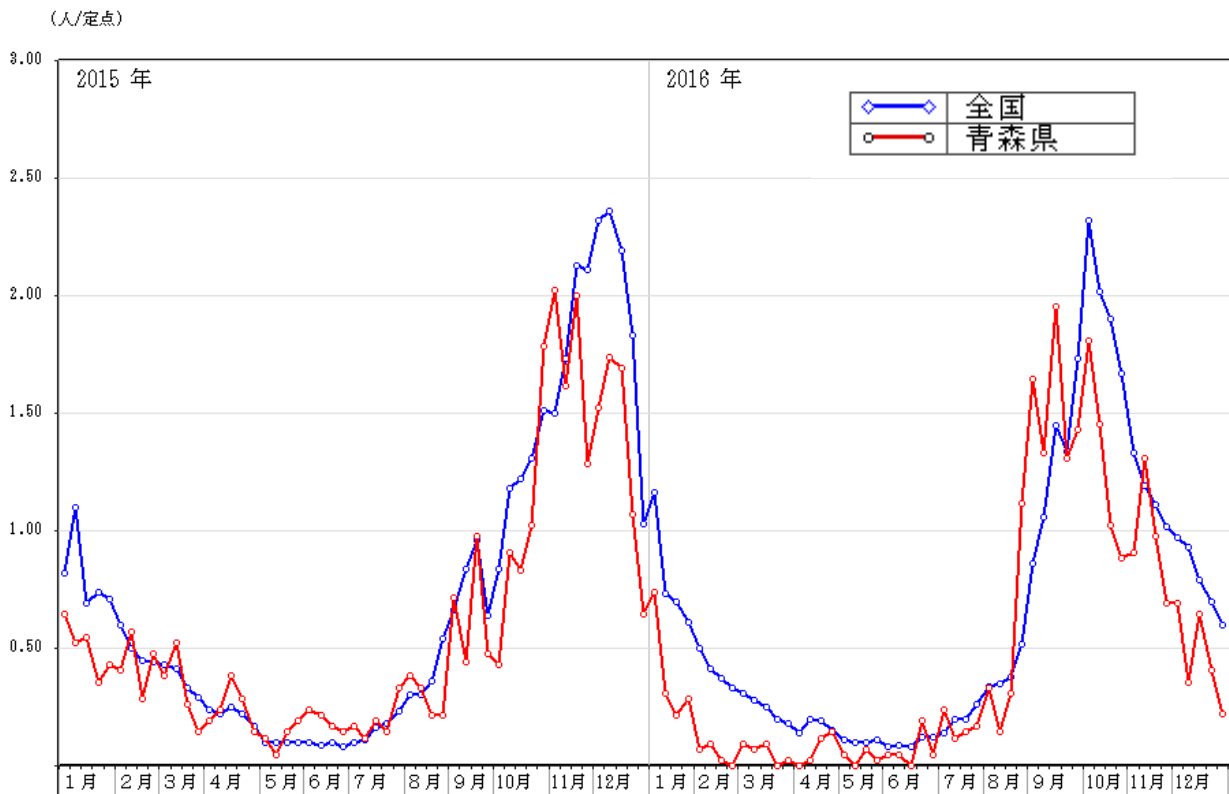


図28 全国及び青森県における定点当たり報告状況(2015年～2016年)

人/定点

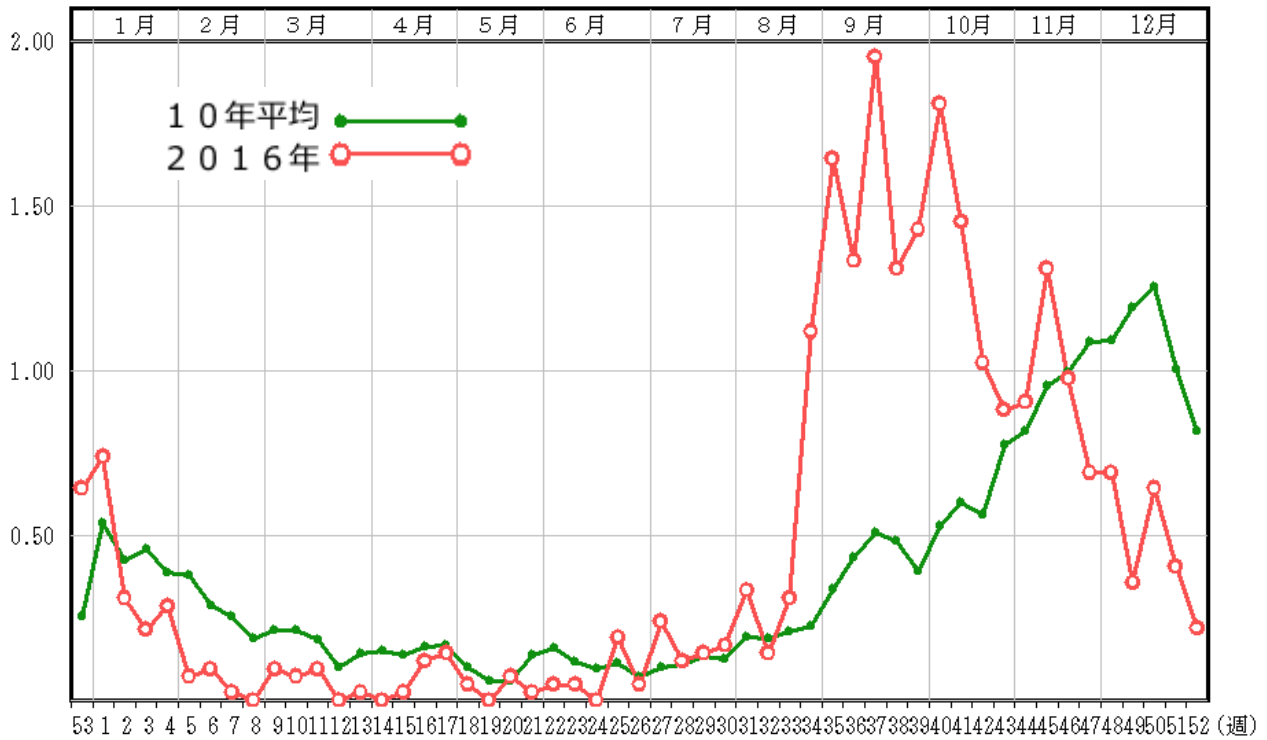


図29 青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年(2016年)の定点当たり報告数

(人/定点)

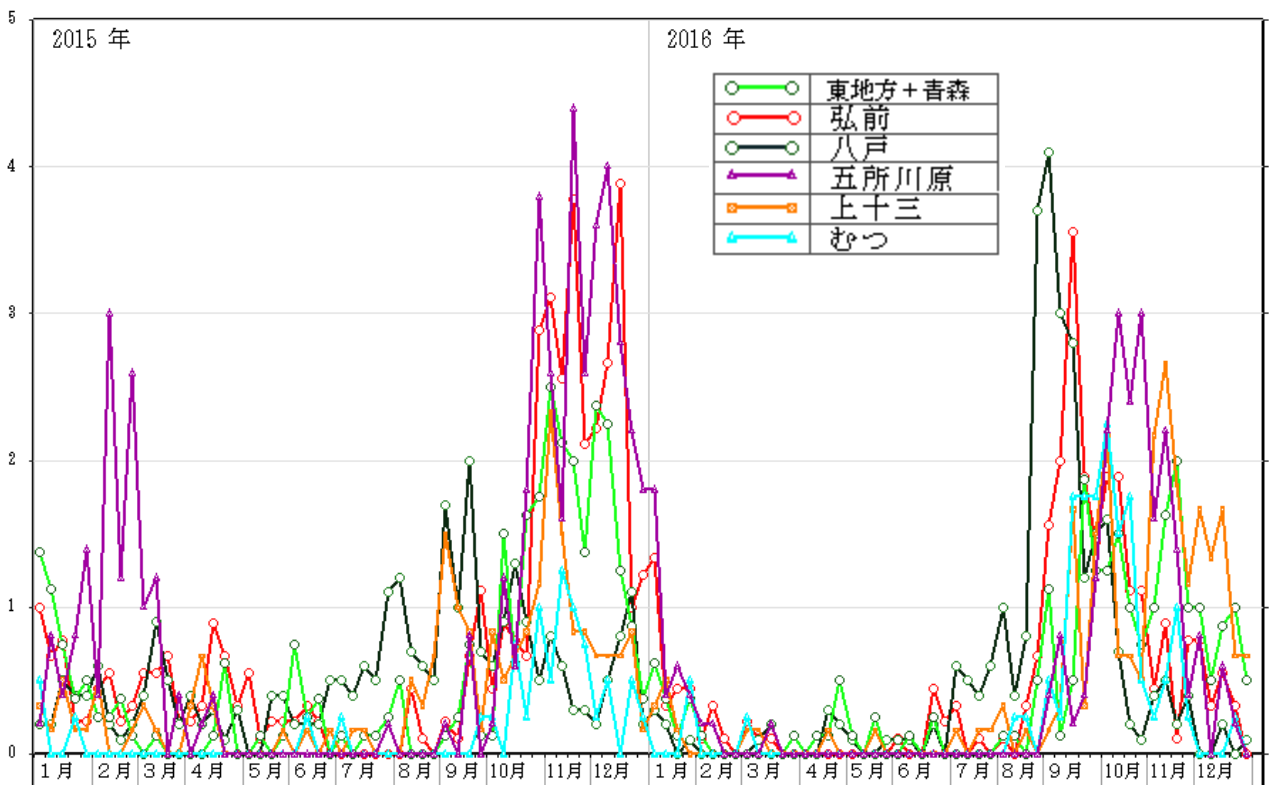


図30 青森県における保健所管内別定点当たり報告状況(2015年~2016年)

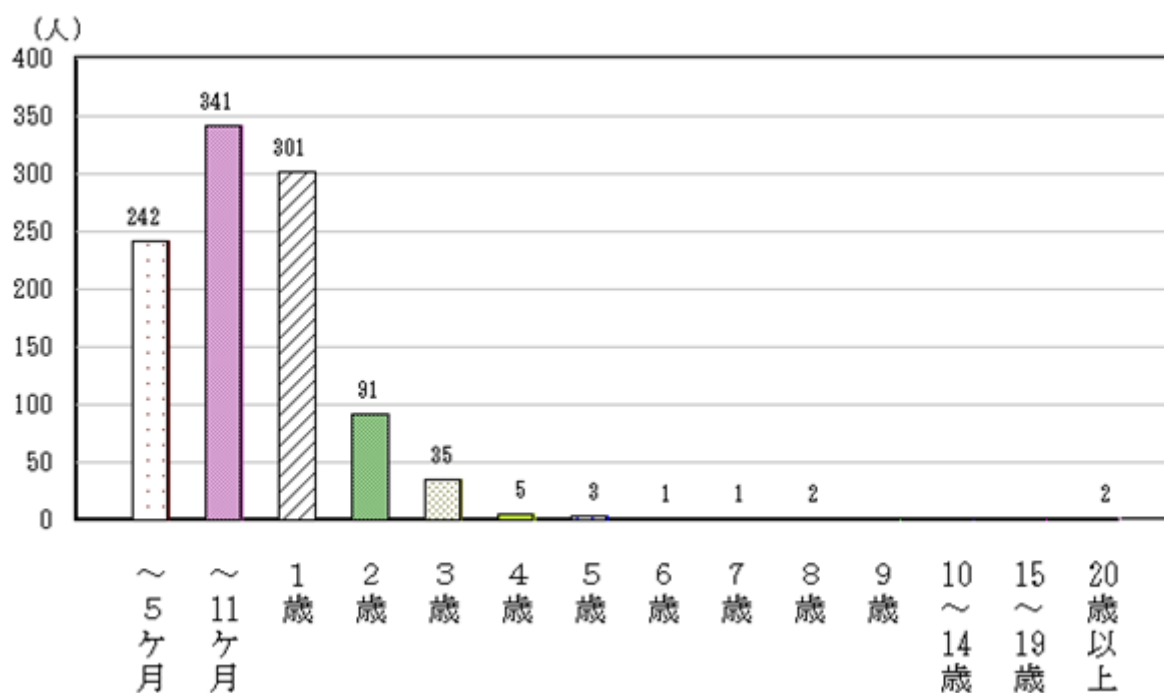


図31-1 青森県における年齢別報告数 平成28年（2016年）（1,024人）

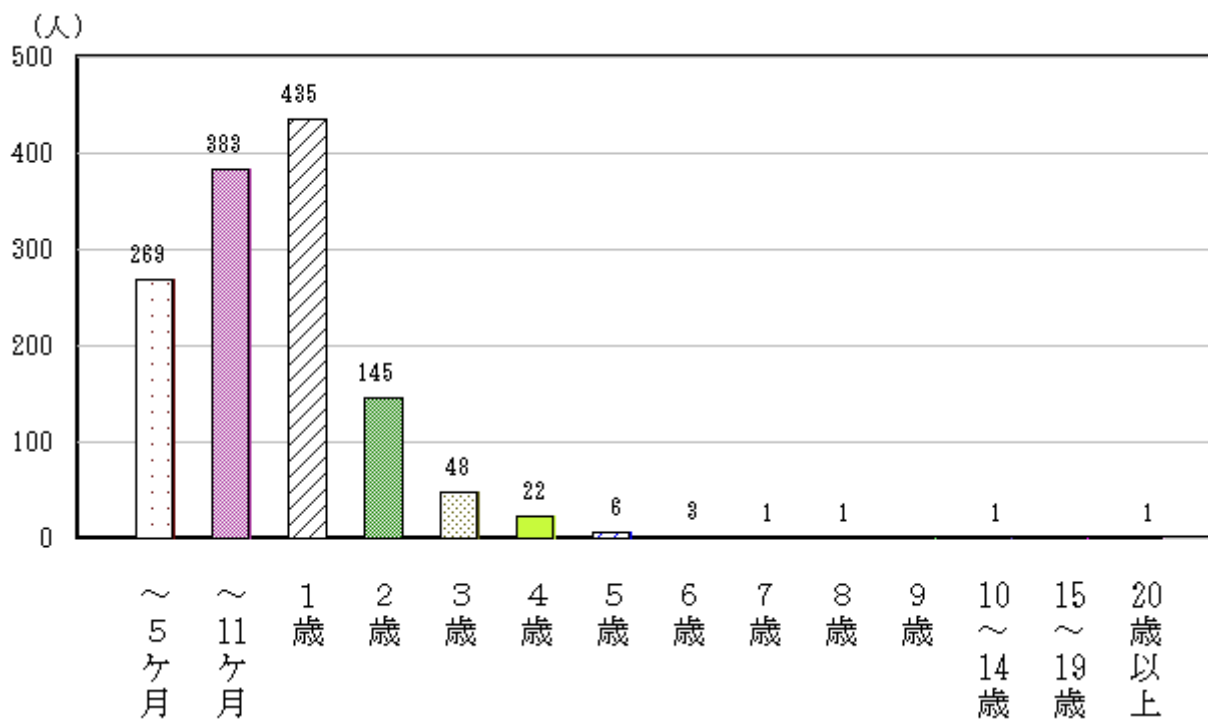


図31-2 青森県における年齢別報告数 平成27年（2015年）（1,315人）

(3) 咽頭結膜熱

平成28年（2016年）の全国の報告状況は、1月から12月まで継続して発生し、5月から6月にかけて報告数が多くなった。青森県においてもほぼ1年を通じて発生し、6月にピークを形成した（図32）。青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年（2016年）の定点当たり報告数は図33のとおりであった。

全国における定点当たり報告数は、平成28年（2016年）21.38人/定点で平成27年（2015年）22.93人/定点と同程度であった。青森県においても、平成28年（2016年）16.80人/定点で平成27年（2015年）17.38人/定点に比べて同程度であった（p106表4-1）。

青森県における保健所管内別定点当たり報告状況（2015年～2016年）は図34のとおりであった。保健所管内別定点当たり報告数は、八戸保健所管内が最も多く、次いで東地方+青森市保健所管内が多かった（p109表5）。

また年齢別報告数は、1歳の年齢層が最も多く、3歳以下の割合が全体の72.9%であった（図35-1）。

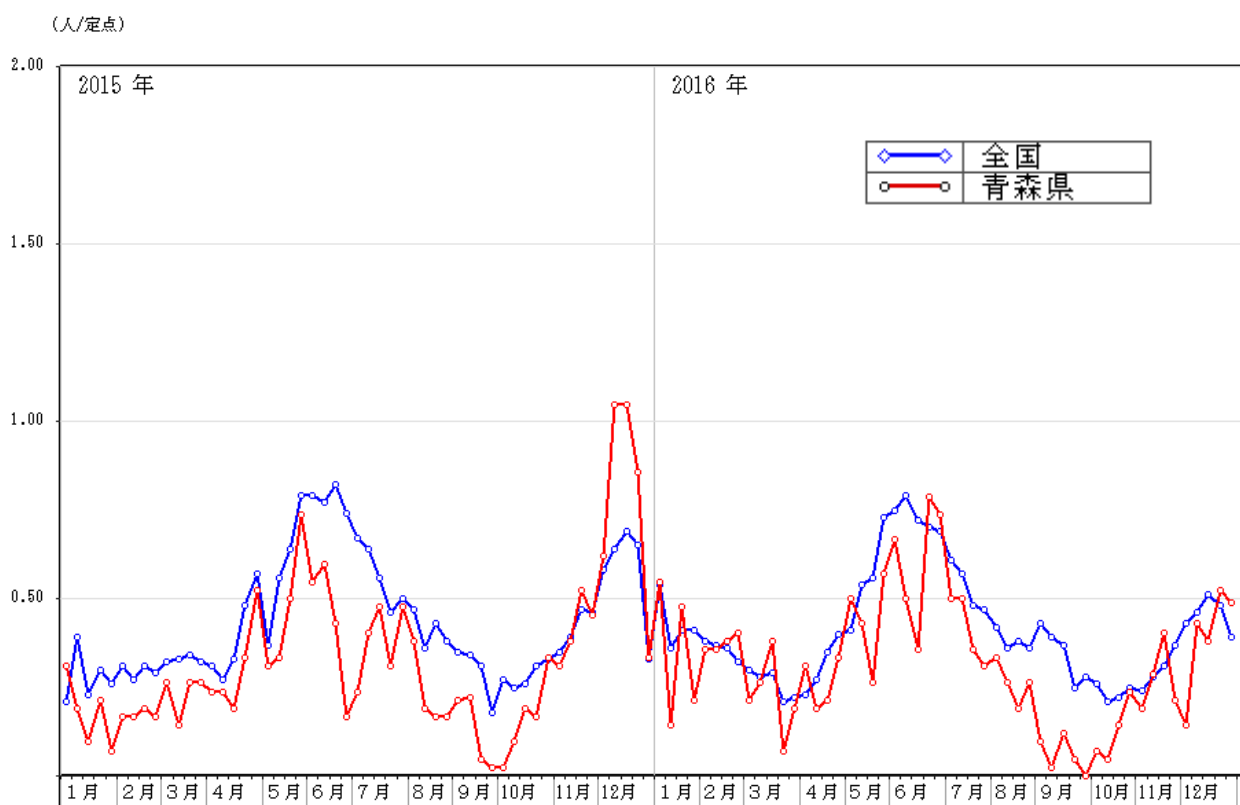
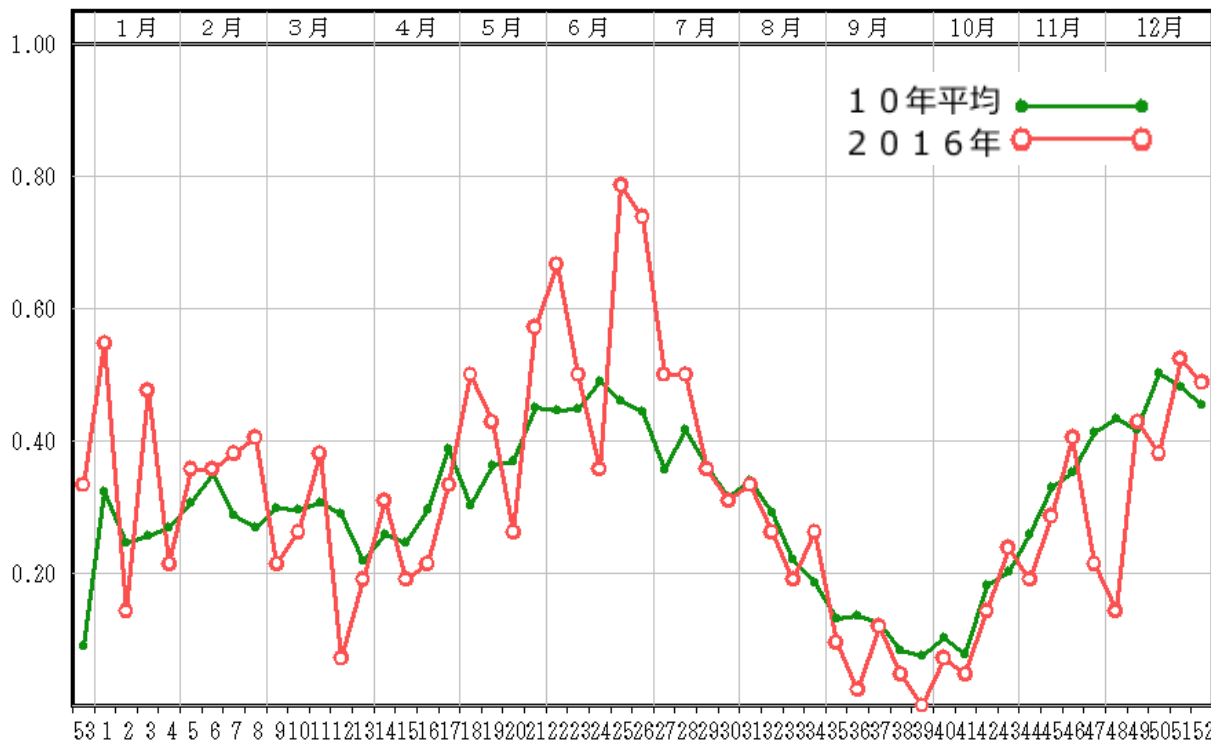


図32 全国及び青森県における定点当たり報告状況（2015年～2016年）

人/定点



53 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 (週)

図 33 青森県の過去 10 年間の定点当たり報告数の平均及び平成 28 年 (2016 年) の定点当たり報告数

(人/定点)

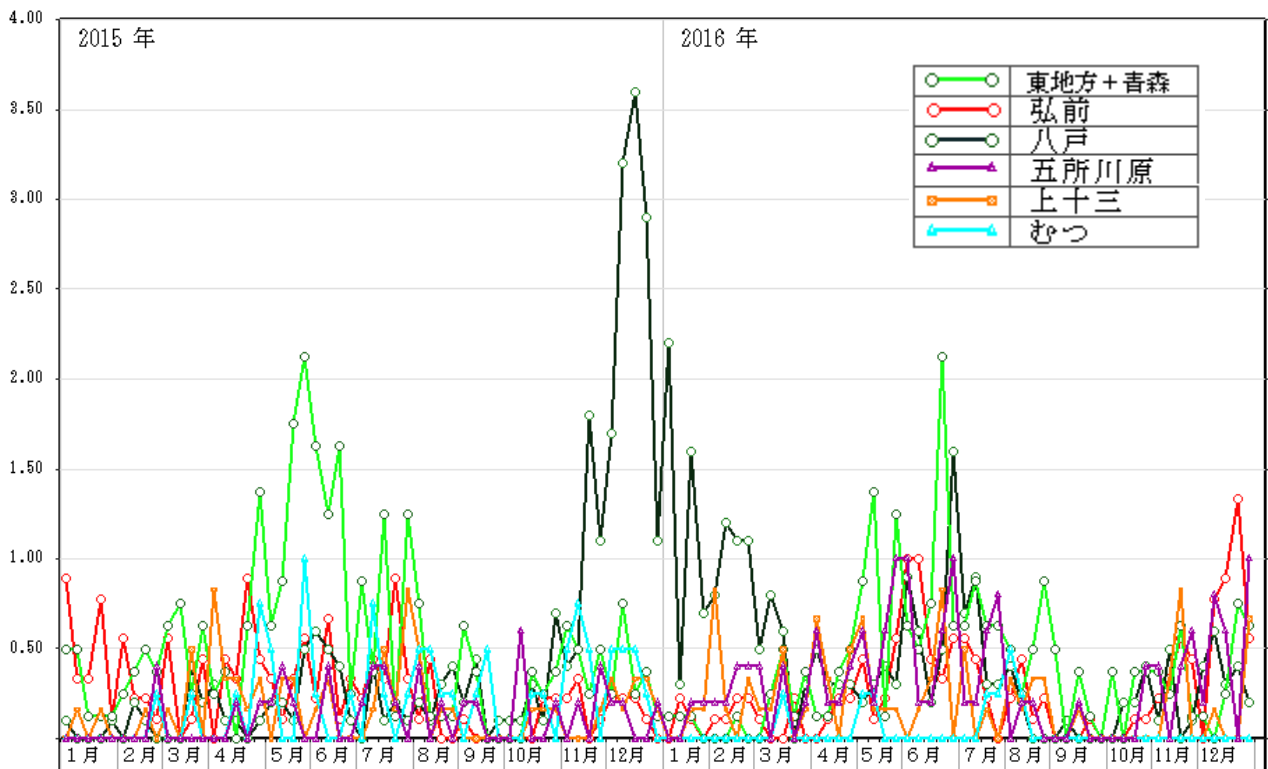


図 34 青森県における保健所管内別定点当たり報告状況 (2015 年～2016 年)

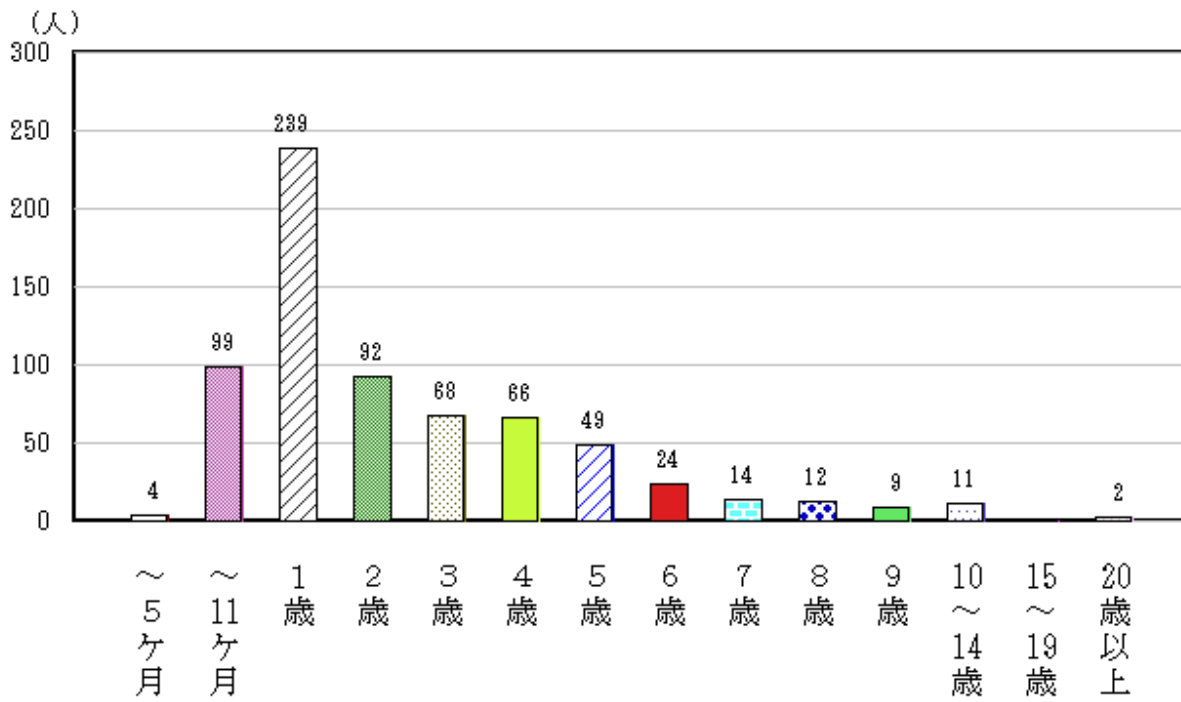


図35-1 青森県における年齢別報告数 平成28年（2016年）（689人）

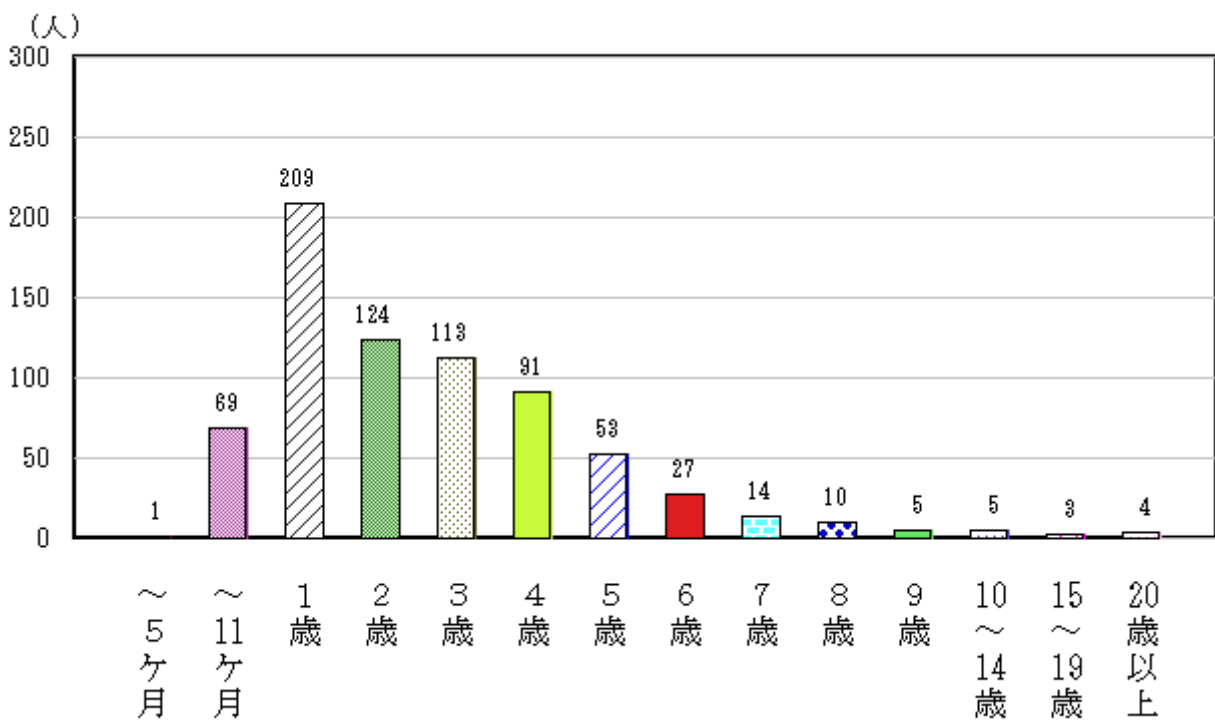


図35-2 青森県における年齢別報告数 平成27年（2015年）（728人）

(4) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

平成28年（2016年）の全国の報告状況は、1月から2月初めまで報告数が増加したが、その後6月にかけて増減を繰り返し、12月に再び増加した。青森県においては、1月から報告数が増加し、3月にピークを形成したが、その後増減を繰り返した（図36）。青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年（2016年）の定点当たり報告数は図37のとおりであった。

全国における定点当たり報告数は、平成28年（2016年）116.54人/定点で、平成27年（2015年）127.55人/定点と同程度だった。青森県においても、平成28年（2016年）77.10人/定点で、平成27年（2015年）74.29人/定点と同程度だった（p106表4-1）。

青森県における保健所管内別定点当たり報告状況（2015年～2016年）は図38のとおりであった。保健所管内別定点当たり報告数は、八戸保健所管内が最も多く、次いで東地方+青森市保健所管内が多かった（p109表5）。

年齢別報告数は、5歳の年齢層が最も多く、6歳以下の割合が全体の64.5%であった（図39-1）。

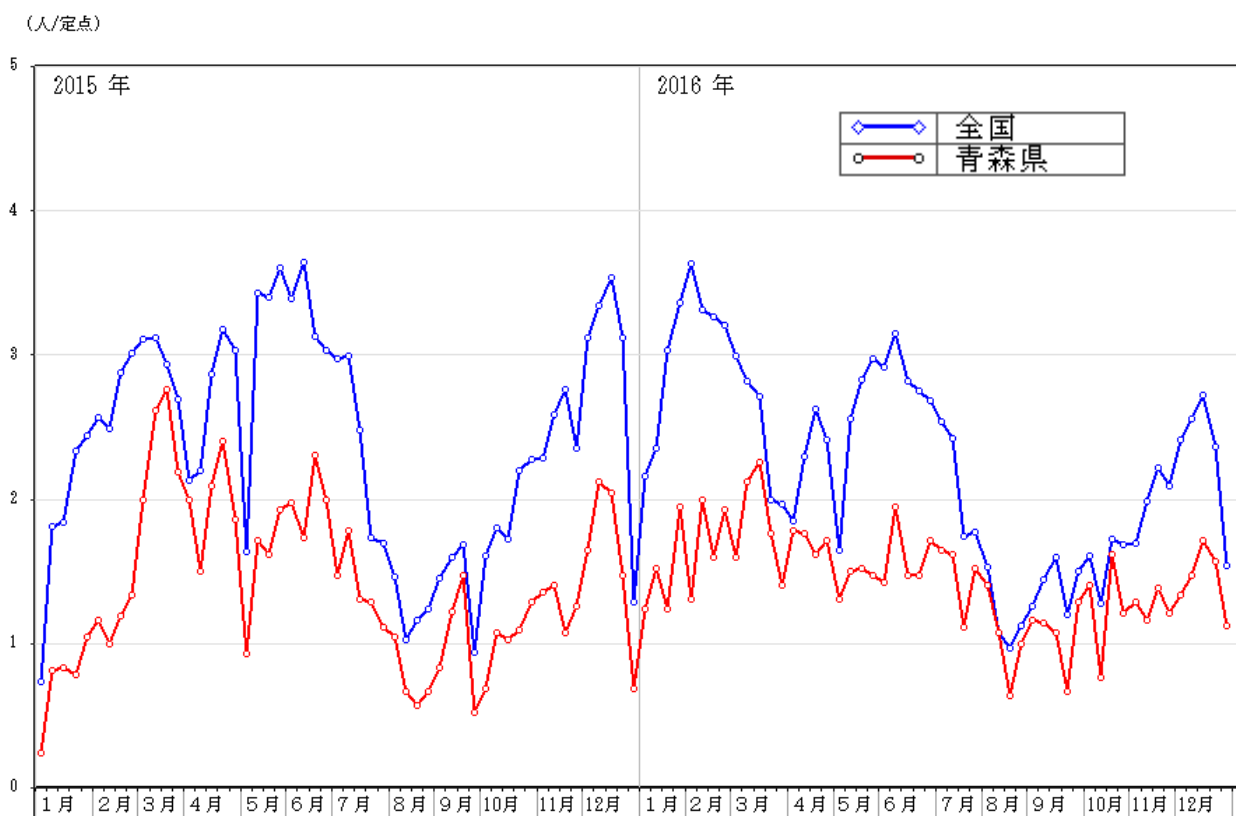


図36 全国及び青森県における定点当たり報告状況（2015年～2016年）

人/定点

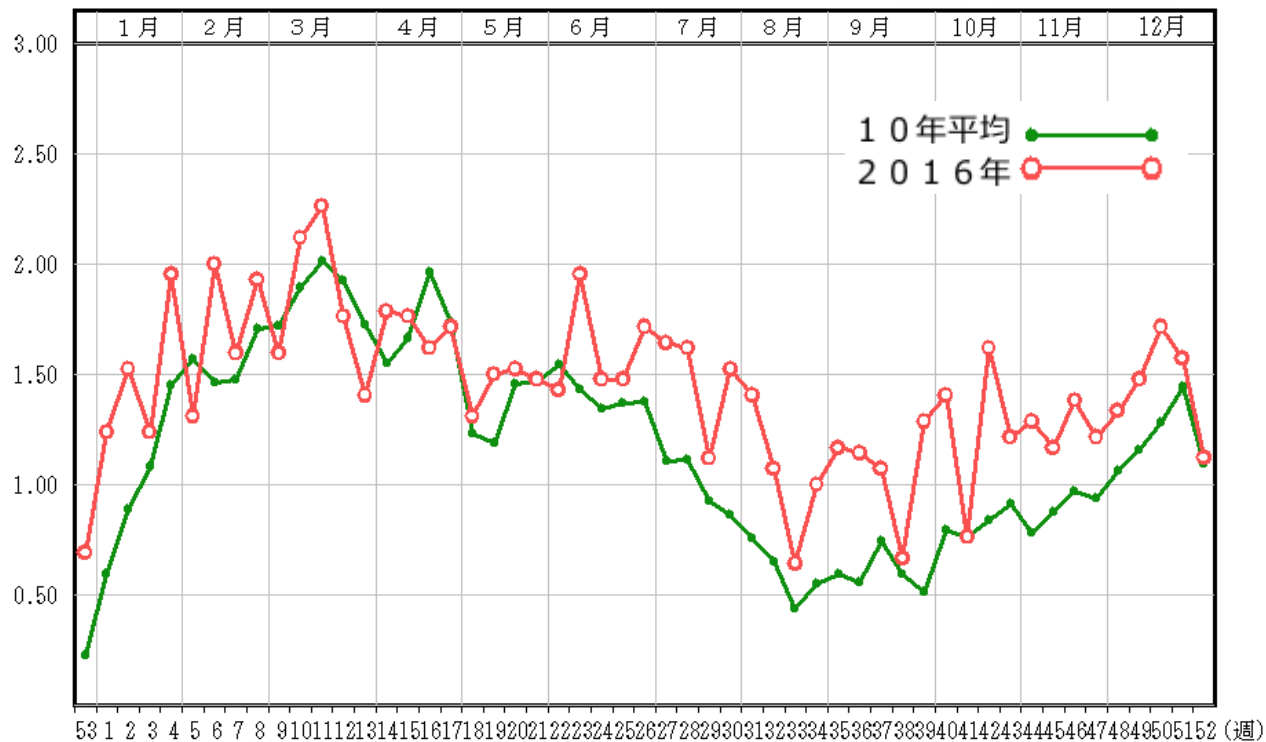


図 37 青森県の過去 10 年間の定点当たり報告数の平均及び平成 28 年（2016 年）の定点当たり報告数

(人/定点)

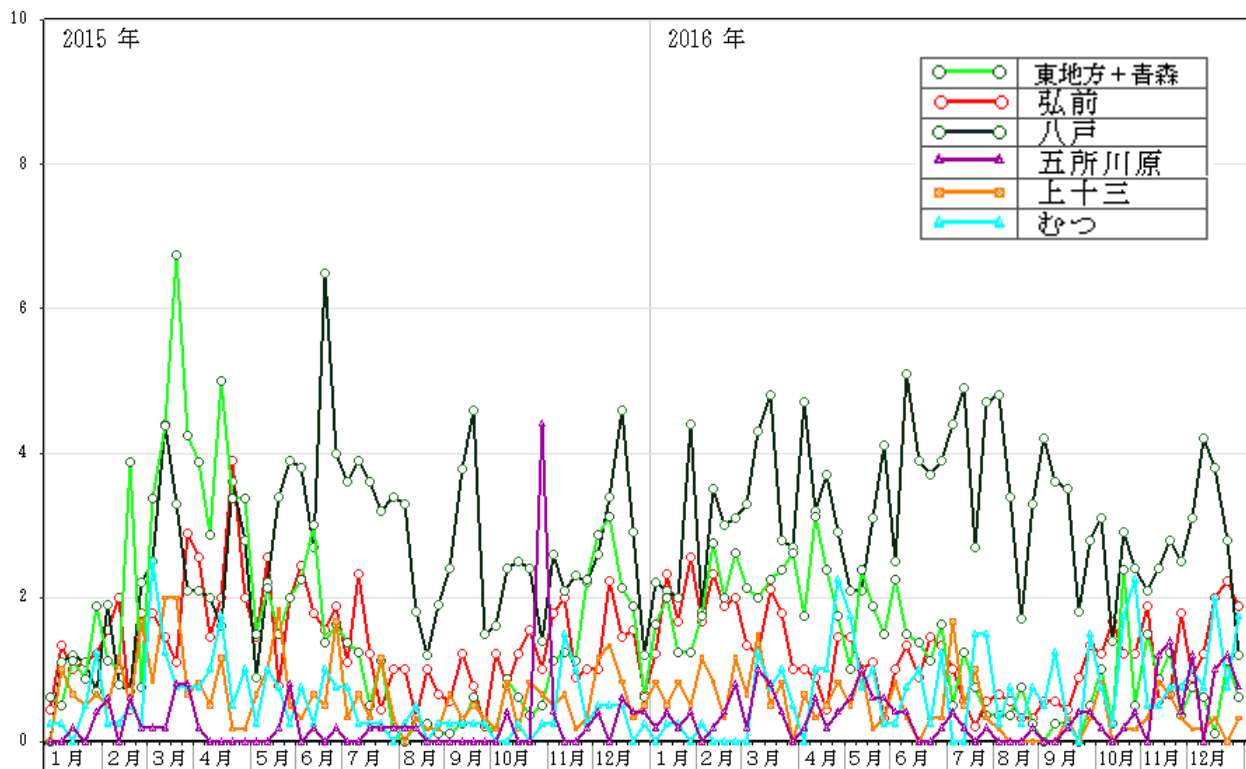


図 38 青森県における保健所管内別定点当たり報告状況(2015 年～2016 年)

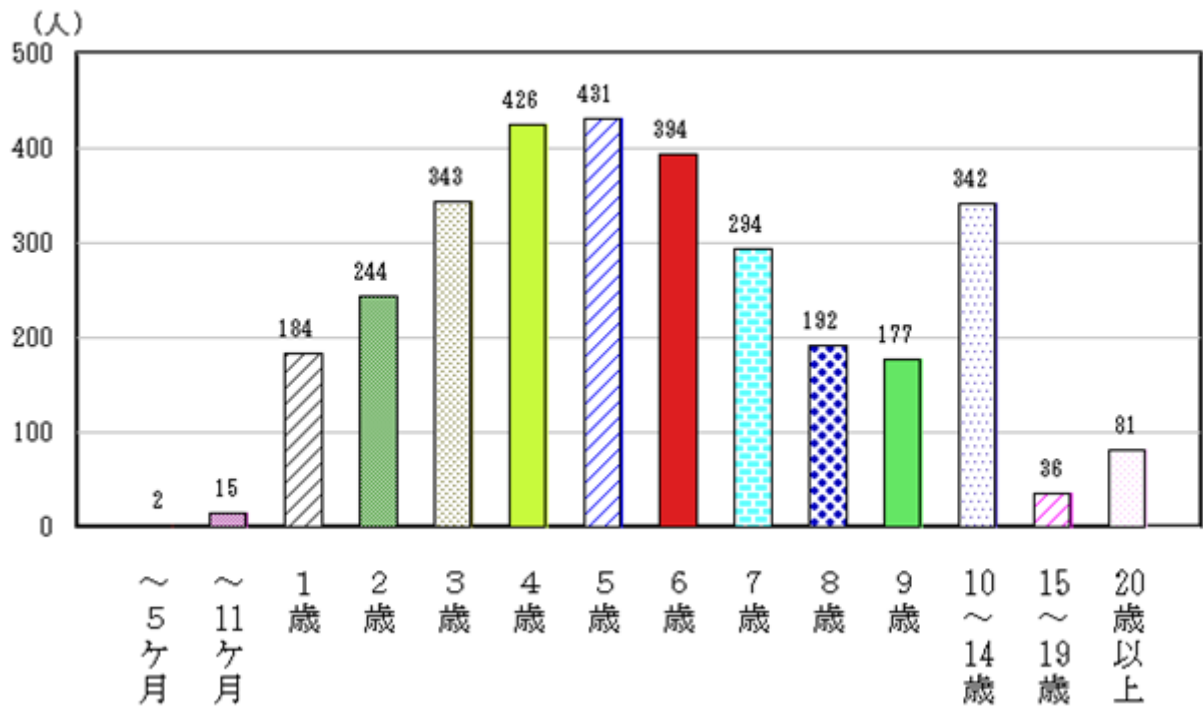


図39-1 青森県における年齢別報告数 平成28年（2016年）（3,161人）

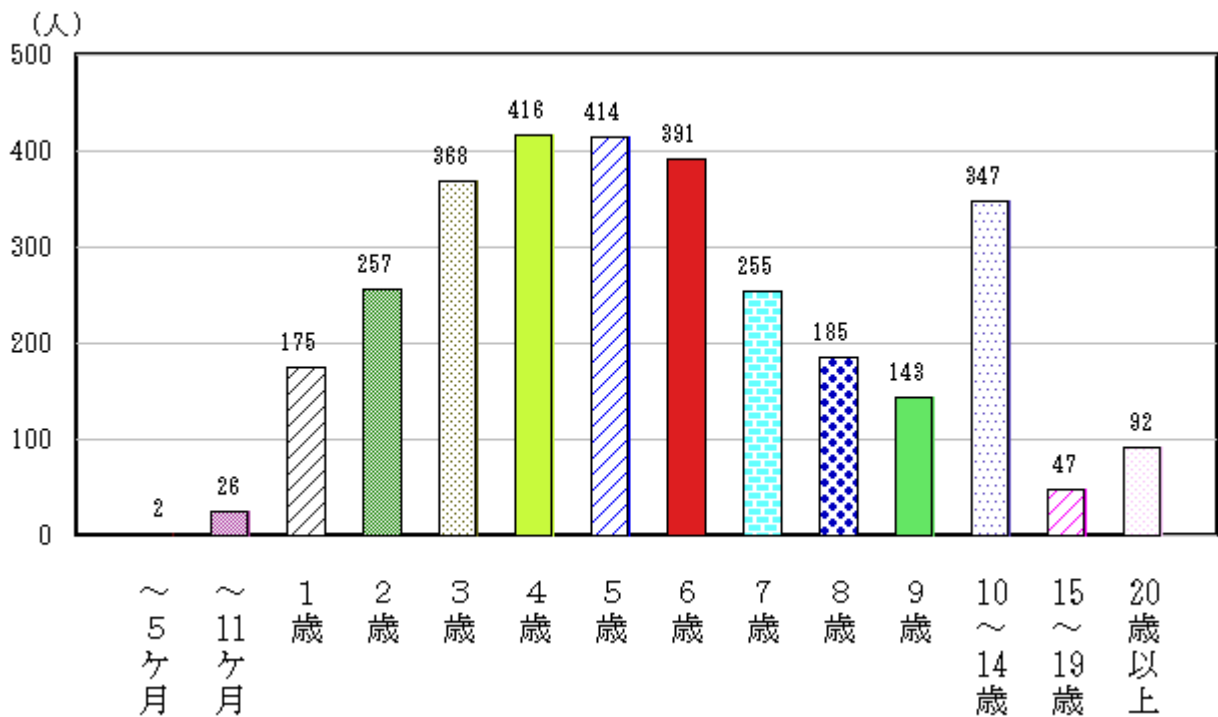


図39-2 青森県における年齢別報告数 平成27年（2015年）（3,118人）

(5) 感染性胃腸炎

平成28年（2016年）の全国の報告状況は、1月以降は増減を繰り返しながら10月まで減少し11月初めから増加し12月中旬にピークを形成した。青森県においても、全国と概ね同様に推移した（図40）。青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年（2016年）の定点当たり報告数は図41のとおりであった。

全国における定点当たり報告数は、平成28年（2016年）353.87人/定点で、平成27年（2015年）314.02人/定点と比べてやや多かった。青森県においても、平成28年（2016年）206.71人/定点で、平成27年（2015年）186.38人/定点に比べてやや多かった（p106表4-1）。

青森県における保健所管内別定点当たり報告状況（2015年～2016年）は図42のとおりであった。保健所管内別報告数では、東地方+青森市保健所管内が最も多く、次いでむつ保健所管内が多かった（p109表5）。

年齢別報告数は、1歳の年齢層が最も多く、9歳以下の割合が全体の82.7%であった。（図43-1）。

県内の病原体調査では、4月にサポウイルスGI型、アデノウイルス1型が、7月にエコーウイルス6型が検出された（p133表）。

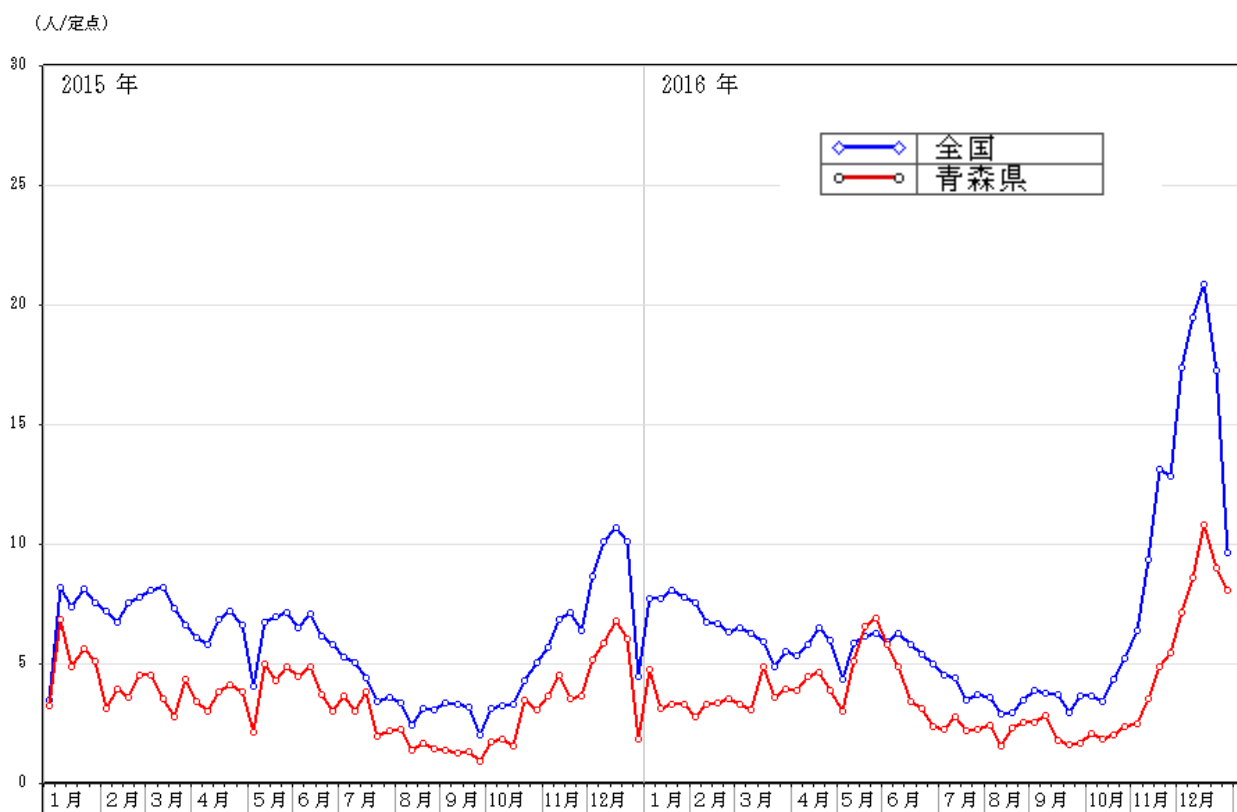


図40 全国及び青森県における定点当たり報告状況（2015年～2016年）

人/定点

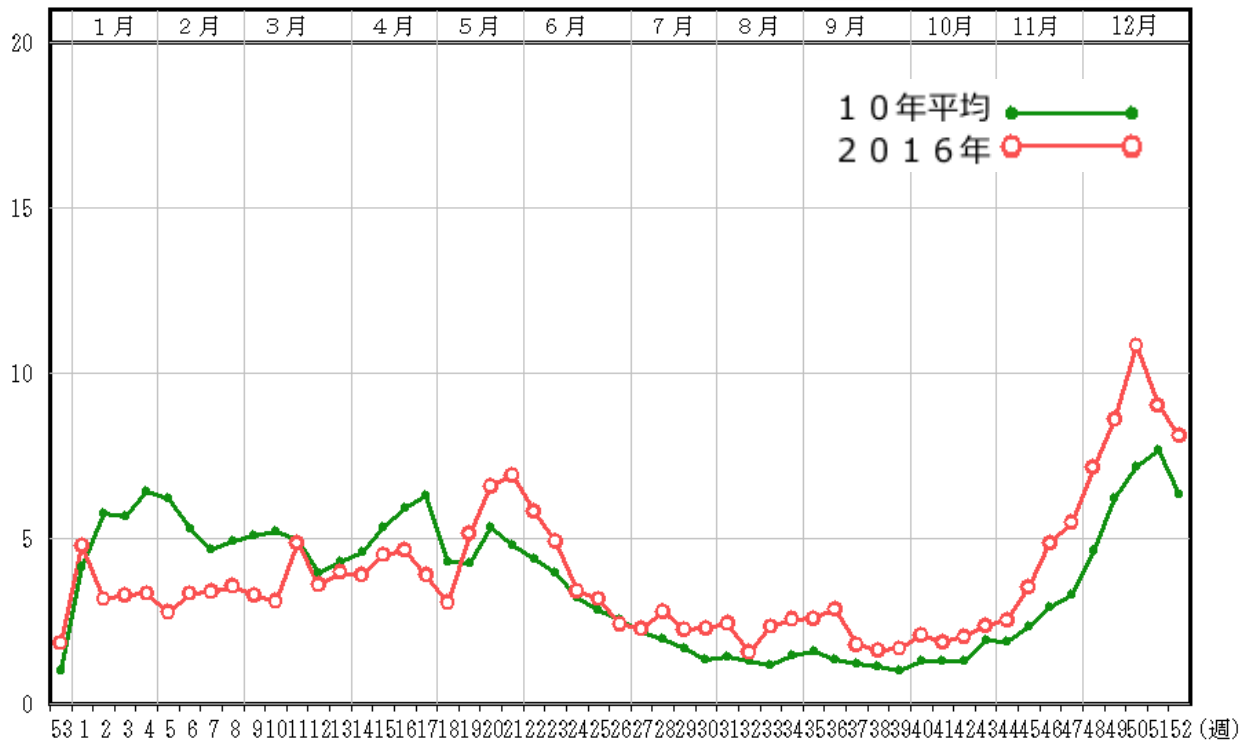


図 41 青森県の過去 10 年間の定点当たり報告数の平均及び平成 28 年（2016 年）の定点当たり報告数

(人/定点)

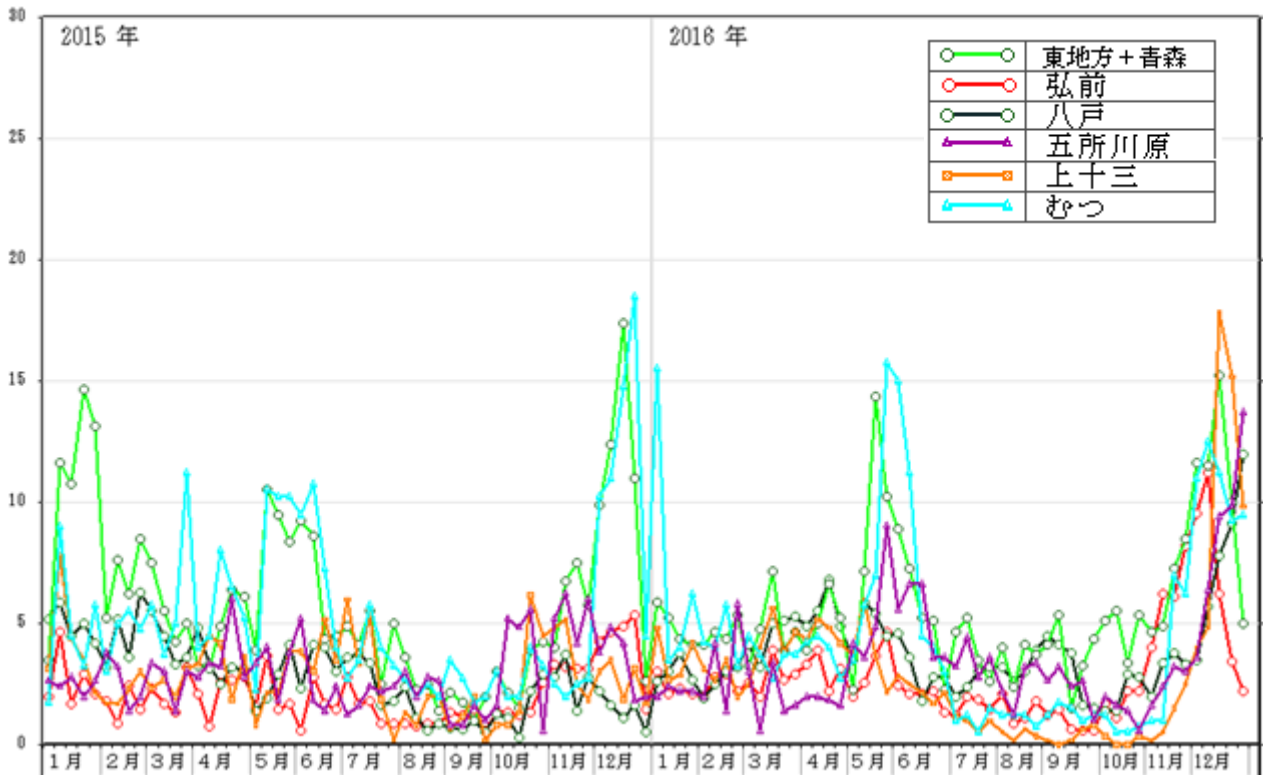


図 42 青森県における保健所管内別定点当たり報告状況(2015 年～2016 年)

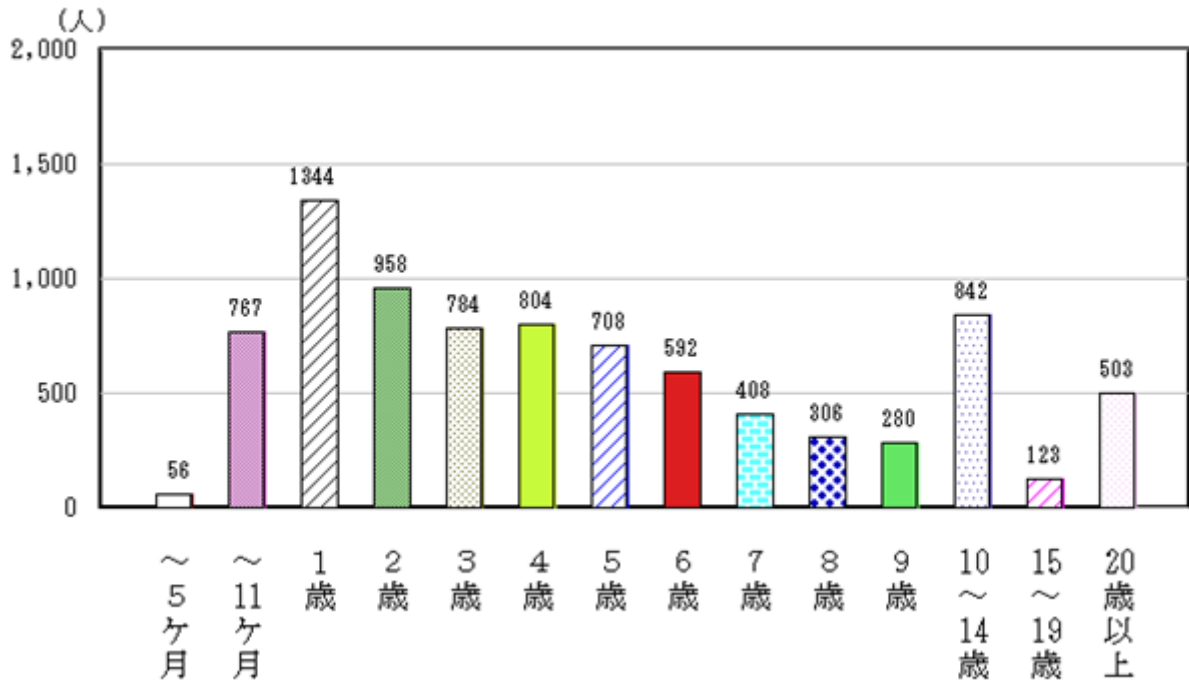


図43-1 青森県における年齢別報告数 平成28年（2016年）（8,475人）

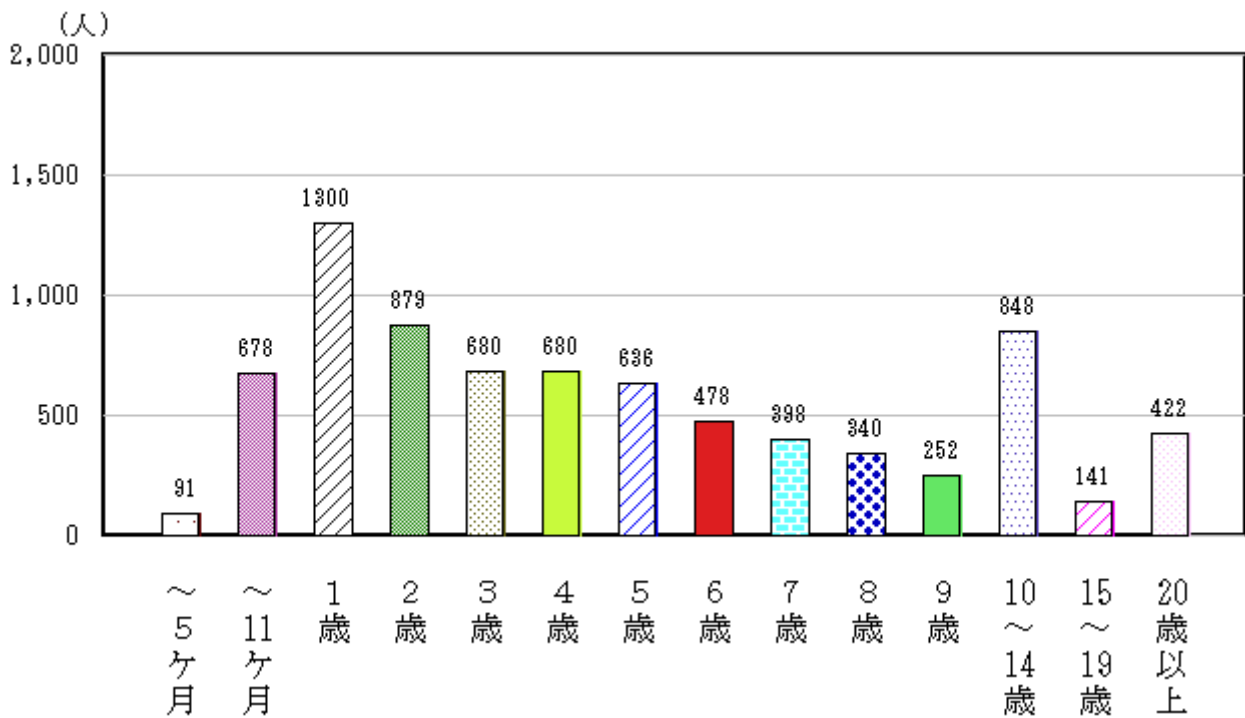


図43-2 青森県における年齢別報告数 平成27年（2015年）（7,823人）

(6) 水痘

平成28年（2016年）の全国の報告状況は、1月にピークを形成後、少ない報告数で推移した。青森県においては、5月にピークを形成後、全国と概ね同様の推移を示した（図44）。

青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年（2016年）の定点当たり報告数は図45のとおりであった。

全国における定点当たり報告数は、平成28年（2016年）20.72人/定点で、平成27年（2015年）24.67人/定点に比べてやや少なかった。青森県においても、平成28年（2016年）12.02人/定点で、平成27年（2015年）18.52人/定点に比べて少なかった（p106表4-1）。

青森県における保健所管内別定点当たり報告状況（2015年～2016年）は図46のとおりであった。保健所管内別定点当たり報告数は、むつ保健所管内が最も多く、次いで上十三保健所管内が多かった（p109表5）。

年齢別報告数は、1歳～5歳の年齢層が多く、5歳以下の割合は全体の74.0%であった（図47-1）。

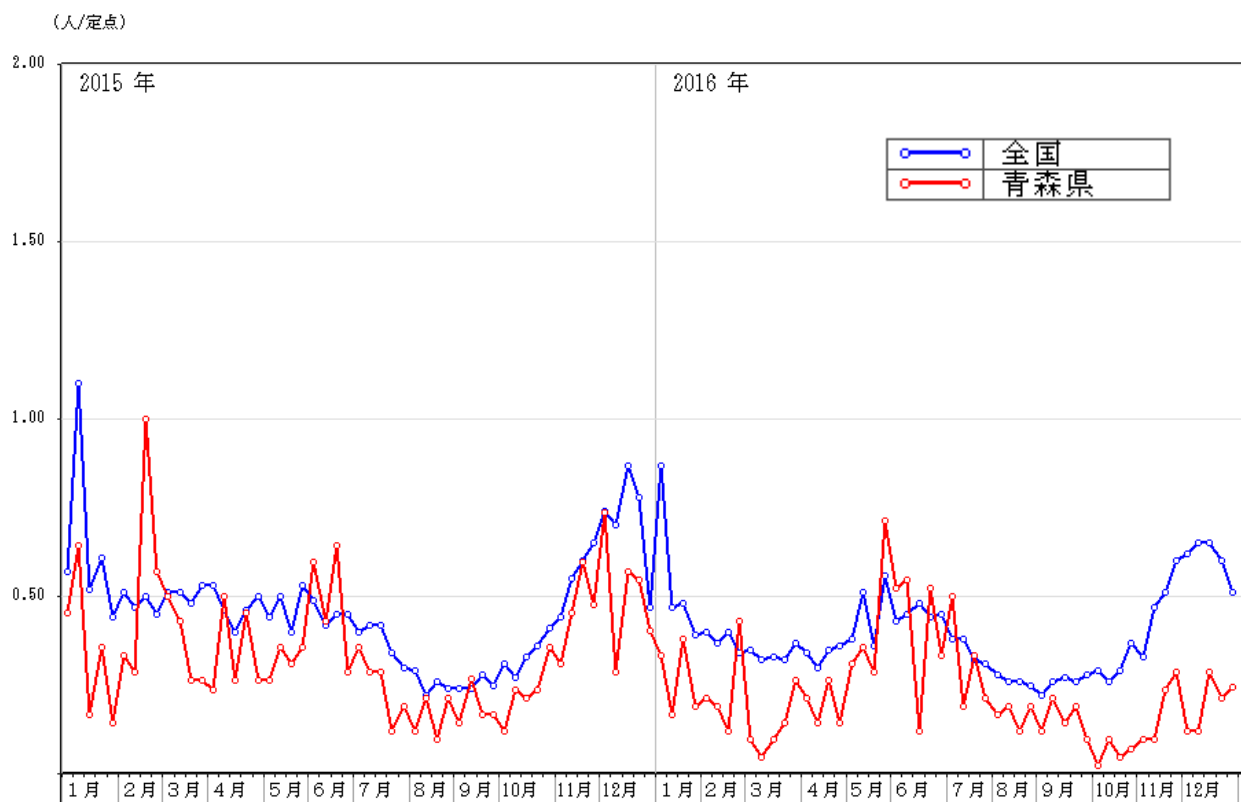


図44 全国及び青森県における定点当たり報告状況（2015年～2016年）

人/定点

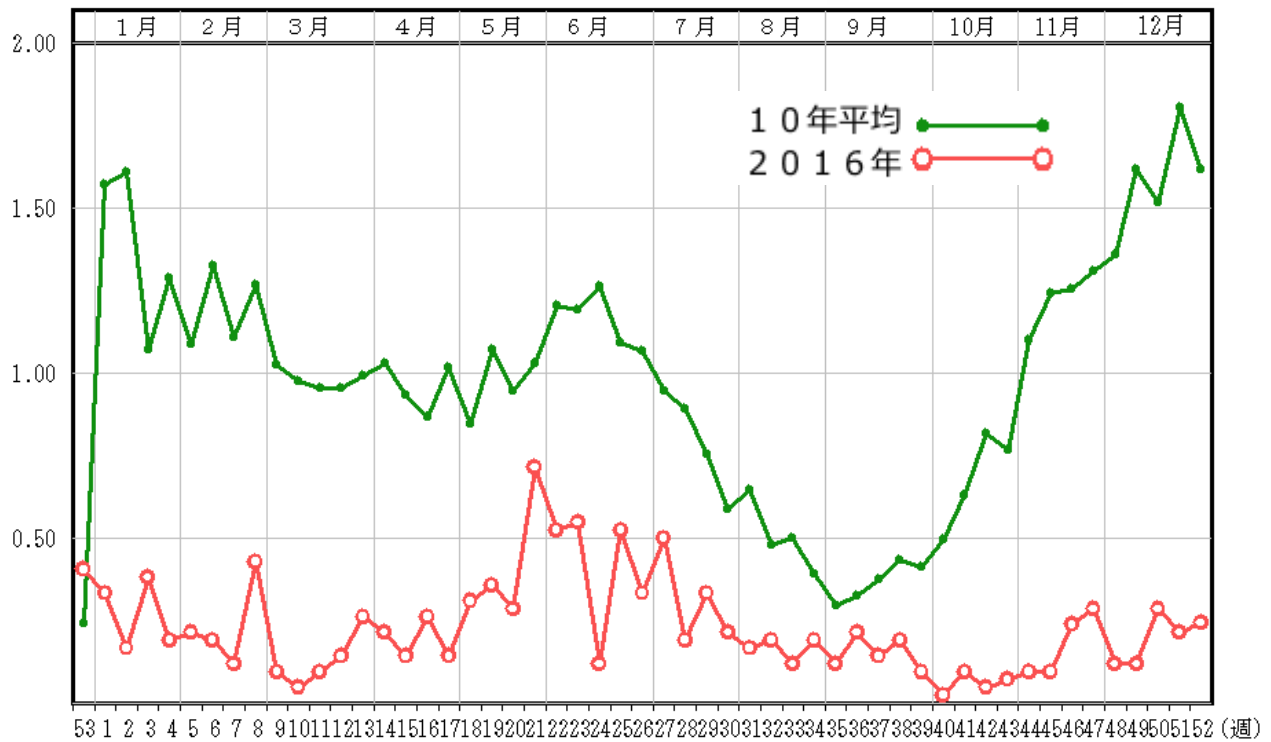


図 45 青森県の過去 10 年間の定点当たり報告数の平均及び平成 28 年（2016 年）の定点当たり報告数

(人/定点)

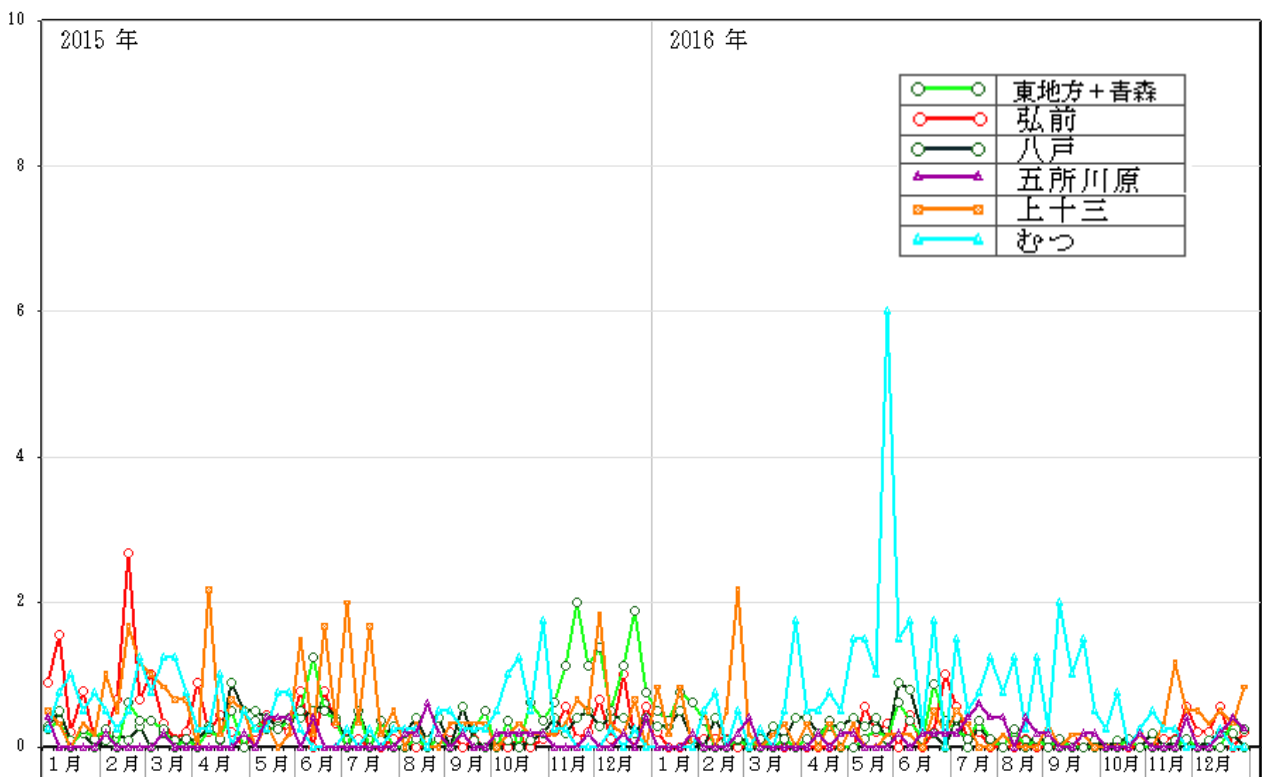


図 46 青森県における保健所管内別定点当たり報告状況(2015 年～2016 年)

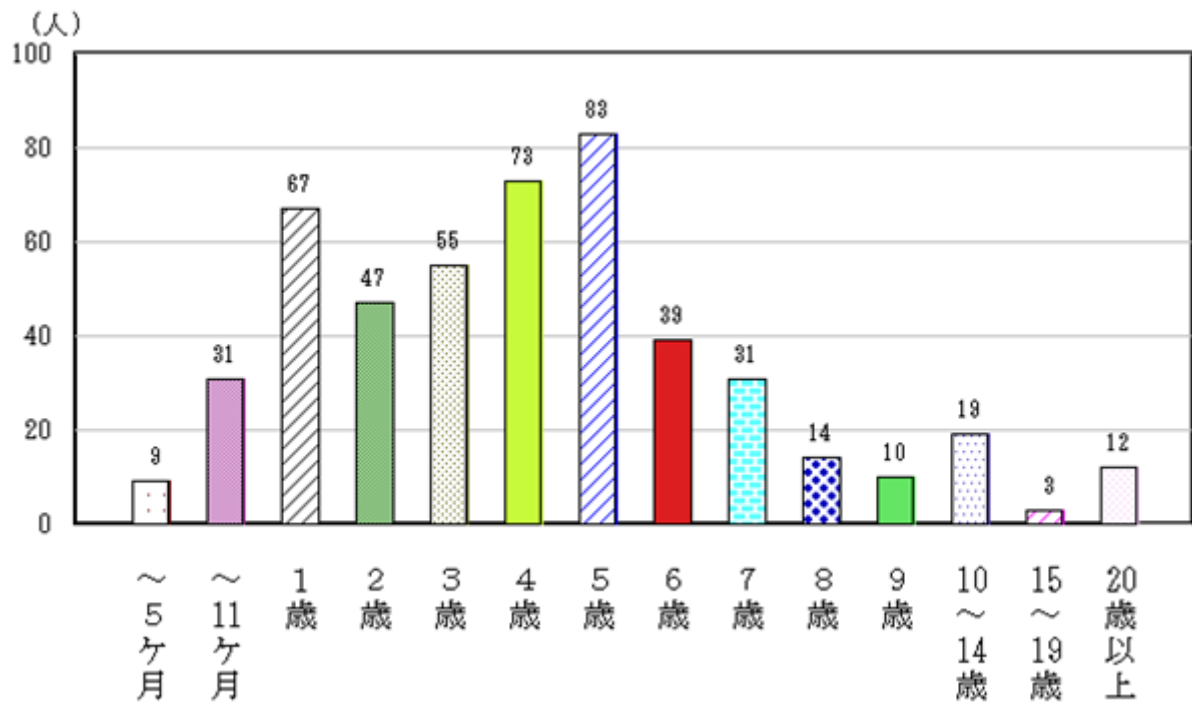


図47-1 青森県における年齢別報告数 平成28年（2016年）（493人）

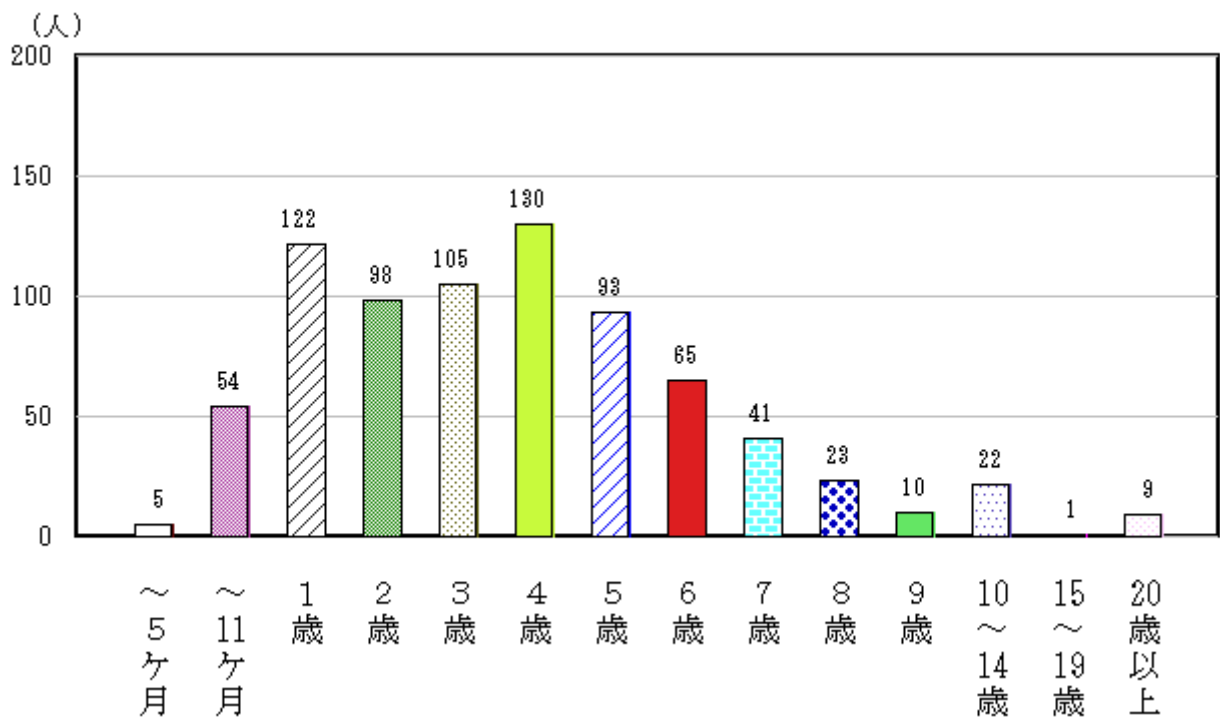


図47-2 青森県における年齢別報告数 平成27年（2015年）（778人）

(7) 手足口病

平成28年（2016年）の全国の報告状況は、年間を通じて、定点当たり報告数が0.5人前後で増減を繰り返した。青森県においても概ね同様の傾向であった（図48）。青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年（2016年）の定点当たり報告数は図49のとおりであった。

全国における定点当たり報告数は、平成28年（2016年）21.91人/定点で、平成27年（2015年）121.34人/定点に比べて少なかった。青森県においても、平成28年（2016年）10.54人/定点で、平成27年（2015年）143.60人/定点に比べて少なかった（p107表4-2）。

青森県における保健所管内別定点当たり報告状況（2015年～2016年）は図50のとおりであった。保健所管内別定点当たり報告数では、弘前保健所管内が最も多く、次いで上十三保健所管内が多かった（p109表5）。

年齢別報告数は、特に1歳の年齢層で多く、4歳以下の割合は全体の89.8%であった（図51-1）。

県内の病原体調査では、コクサッキーウイルスA2、A4、A10、A16、B1、B5が検出された（p133表）。

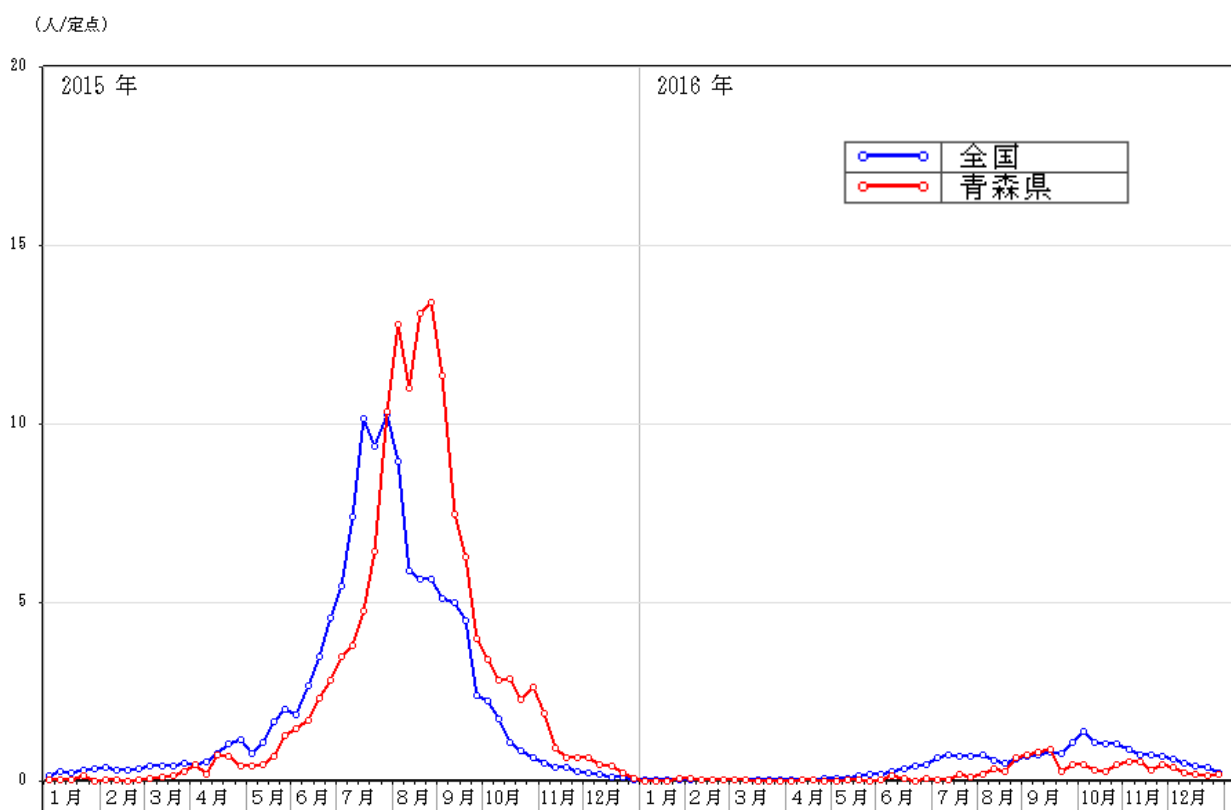


図48 全国及び青森県における定点当たり報告状況（2015年～2016年）

人/定点

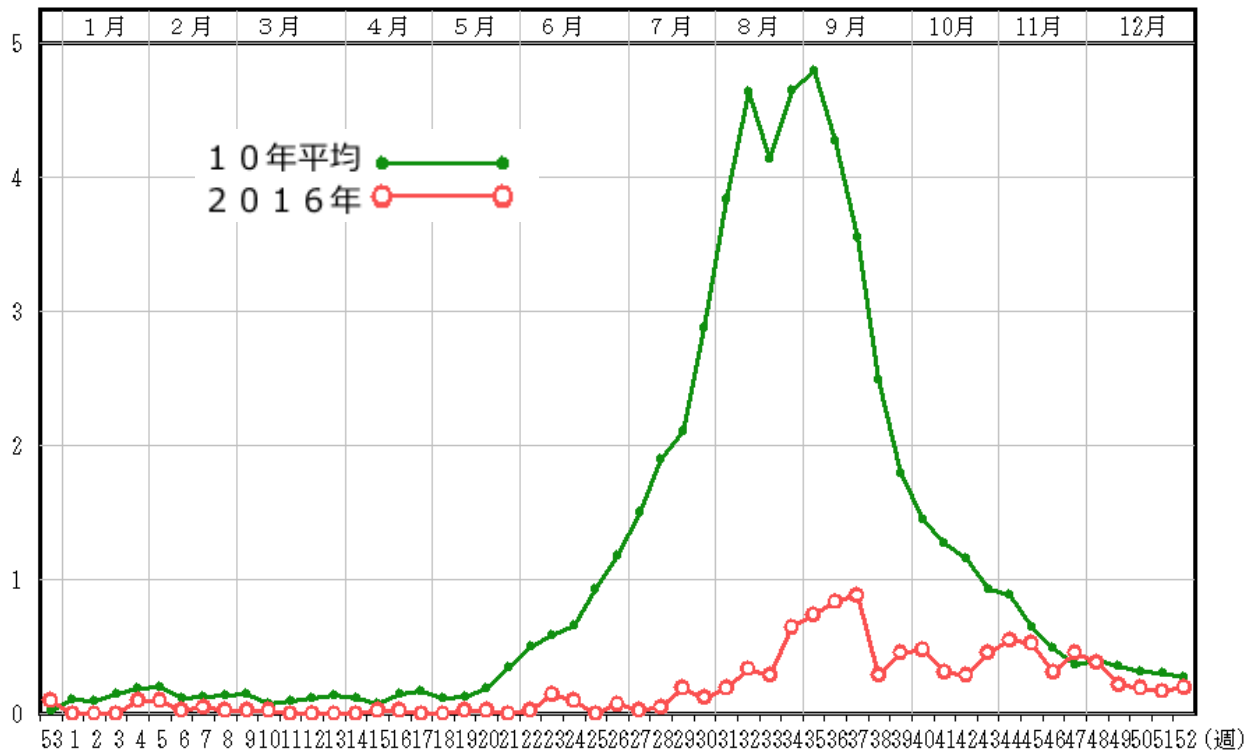


図 49 青森県の過去 10 年間の定点当たり報告数の平均及び平成 28 年（2016 年）の定点当たり報告数

(人/定点)

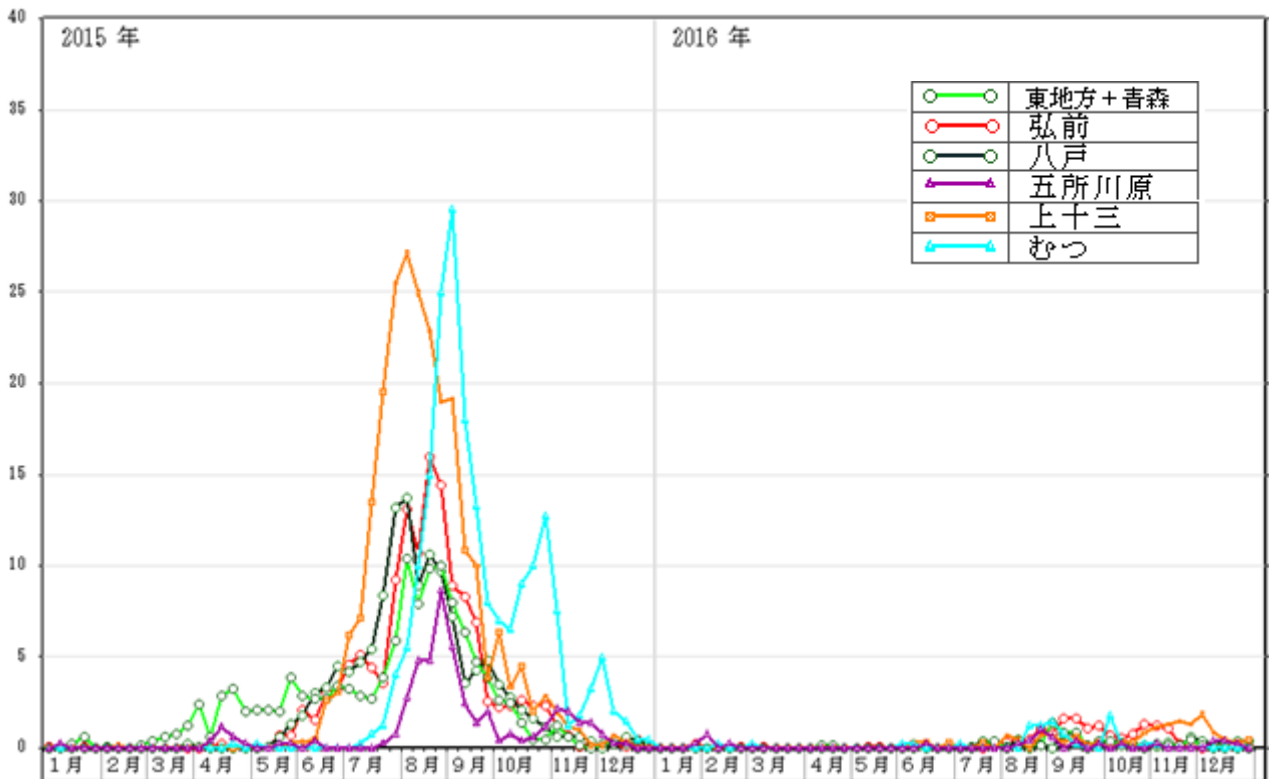


図 50 青森県における保健所管内別定点当たり報告状況(2015年～2016年)

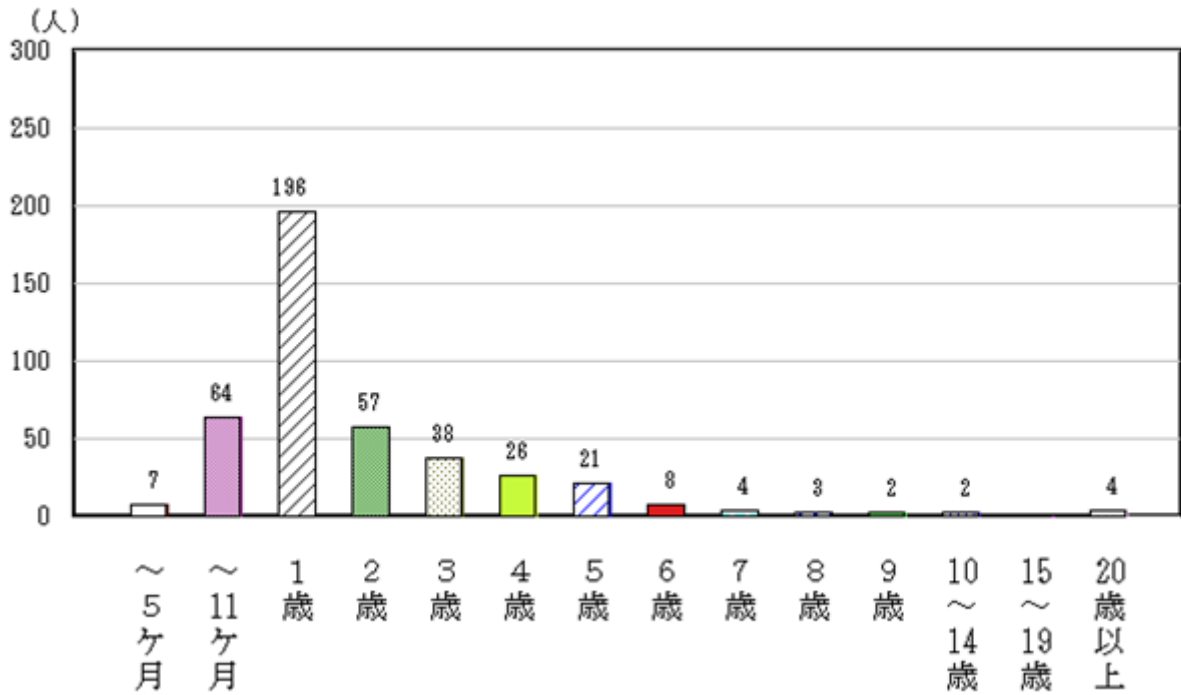


図51-1 青森県における年齢別報告数 平成28年（2016年）（432人）

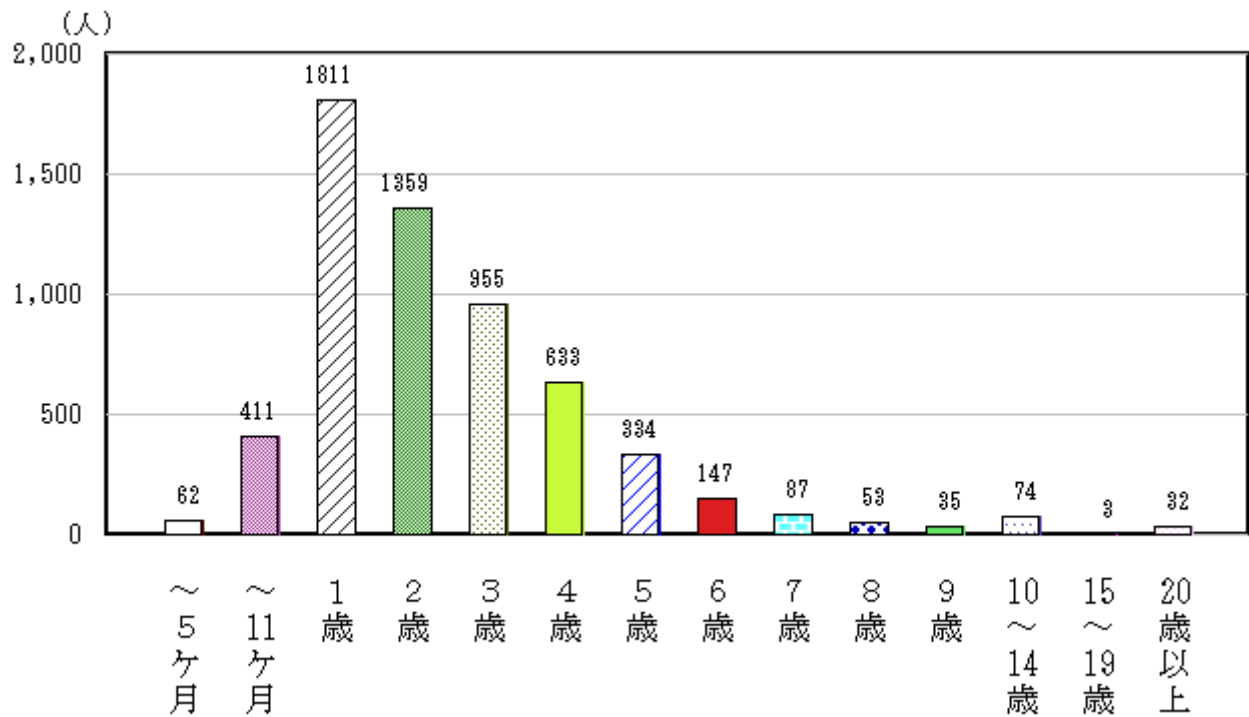


図51-2 青森県における年齢別報告数 平成27年（2015年）（5,996人）

(8) 伝染性紅斑

平成28年（2016年）の全国の報告状況は、年初にピークを形成した。青森県においては、1月及び6月にピークを形成した（図52）。

青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年（2016年）の定点当たり報告数は図53のとおりであった。

全国における定点当たり報告数は、平成28年（2016年）16.29人/定点で、平成27年（2015年）31.32人/定点に比べて少なかった。青森県においても、平成28年（2016年）14.73人/定点で、平成27年（2015年）24.00人/定点に比べて少なかった（p107表4-2）。

青森県における保健所管内別定点当たり報告状況（2015年～2016年）は図54のとおりであった。保健所管内別定点当たり報告数では、東地方保健所＋青森市保健所管内が最も多く、次いでむつ保健所管内が多かった（p109表5）。

年齢別報告数は、特に5歳の年齢層で多く、7歳以下の割合が全体の82.7%であった（図55-1）。

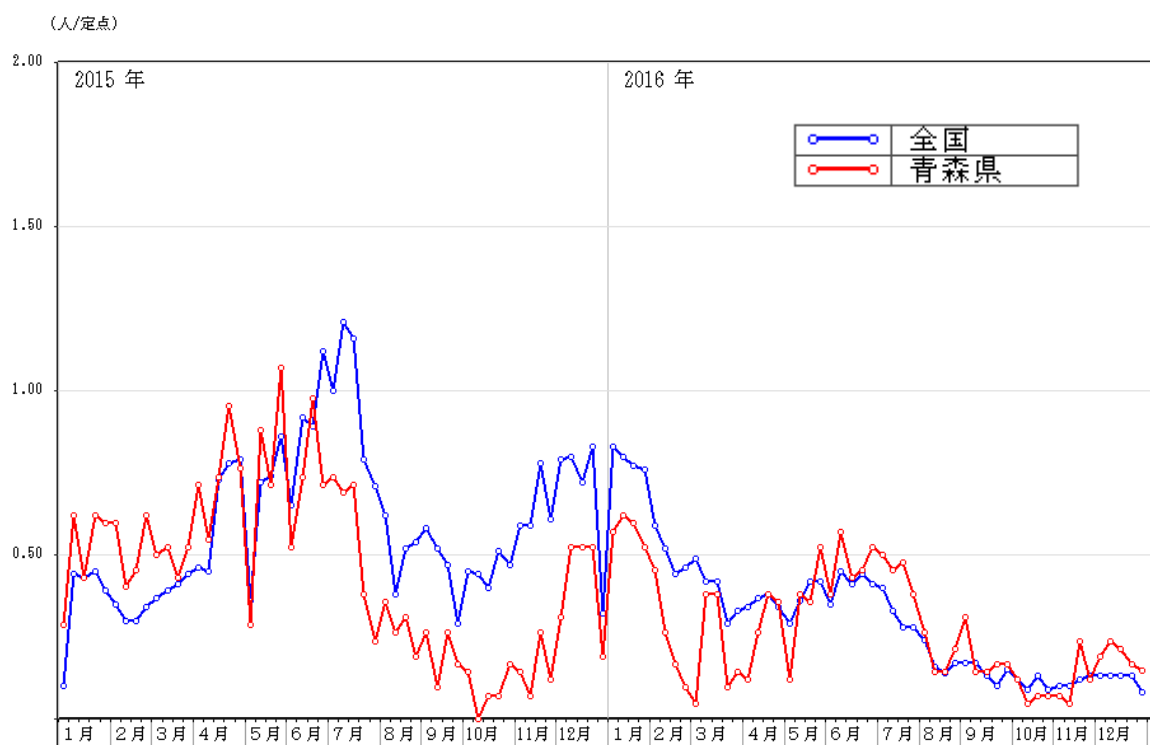


図52 全国及び青森県における定点当たり報告状況（2015年～2016年）

人/定点

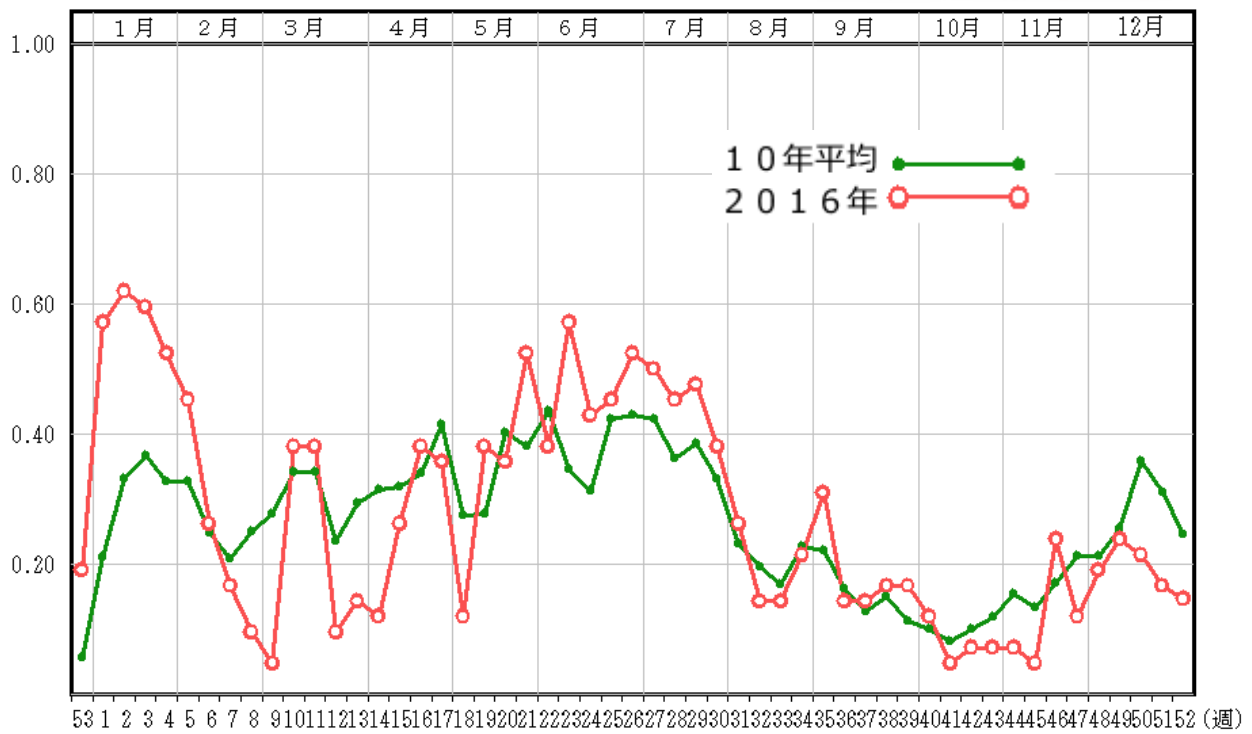


図 53 青森県の過去 10 年間の定点当たり報告数の平均及び平成 28 年（2016 年）の定点当たり報告数

(人/定点)

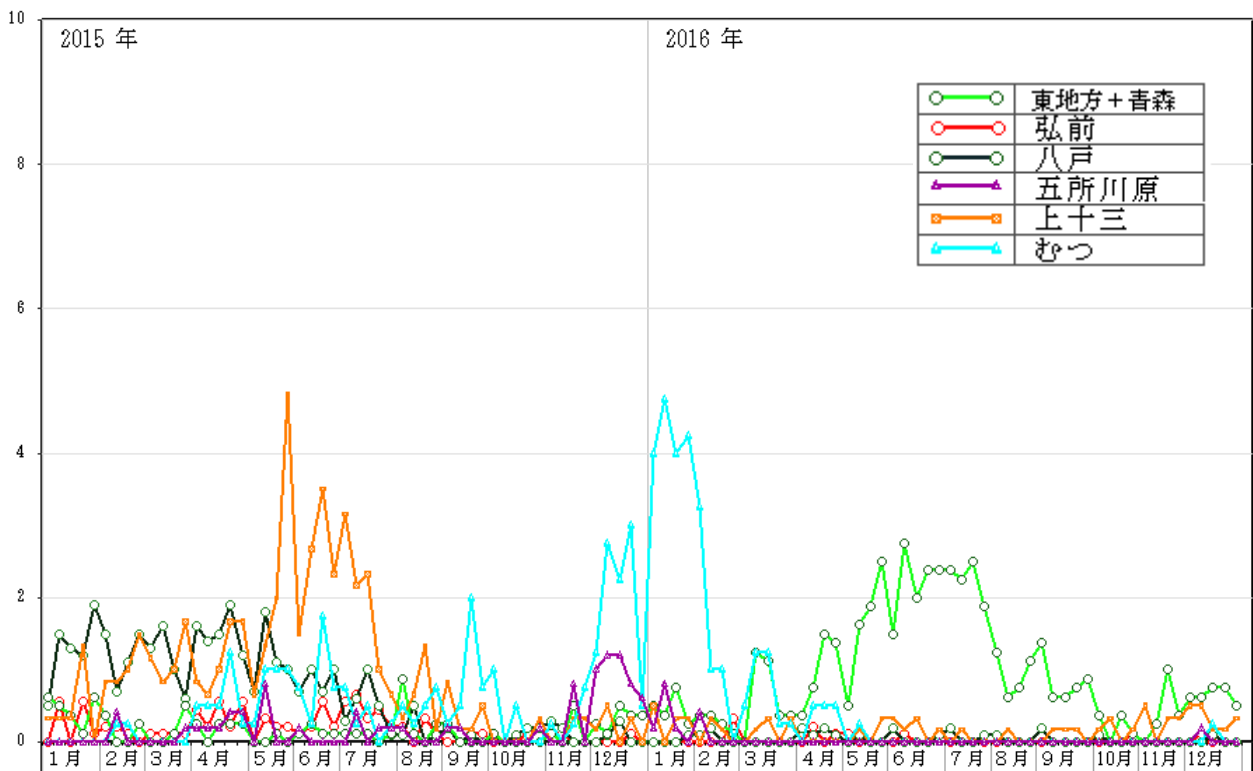


図 54 青森県における保健所管内別定点当たり報告状況（2015 年～2016 年）

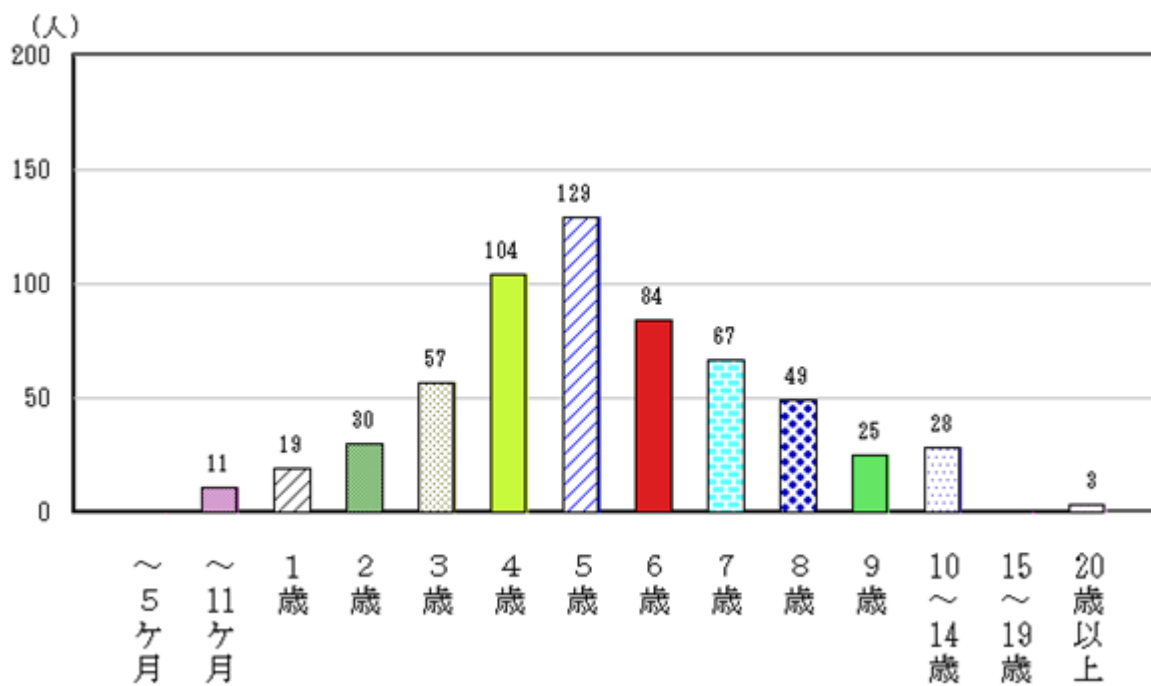


図55-1 青森県における年齢別報告数 平成28年（2016年）（606人）

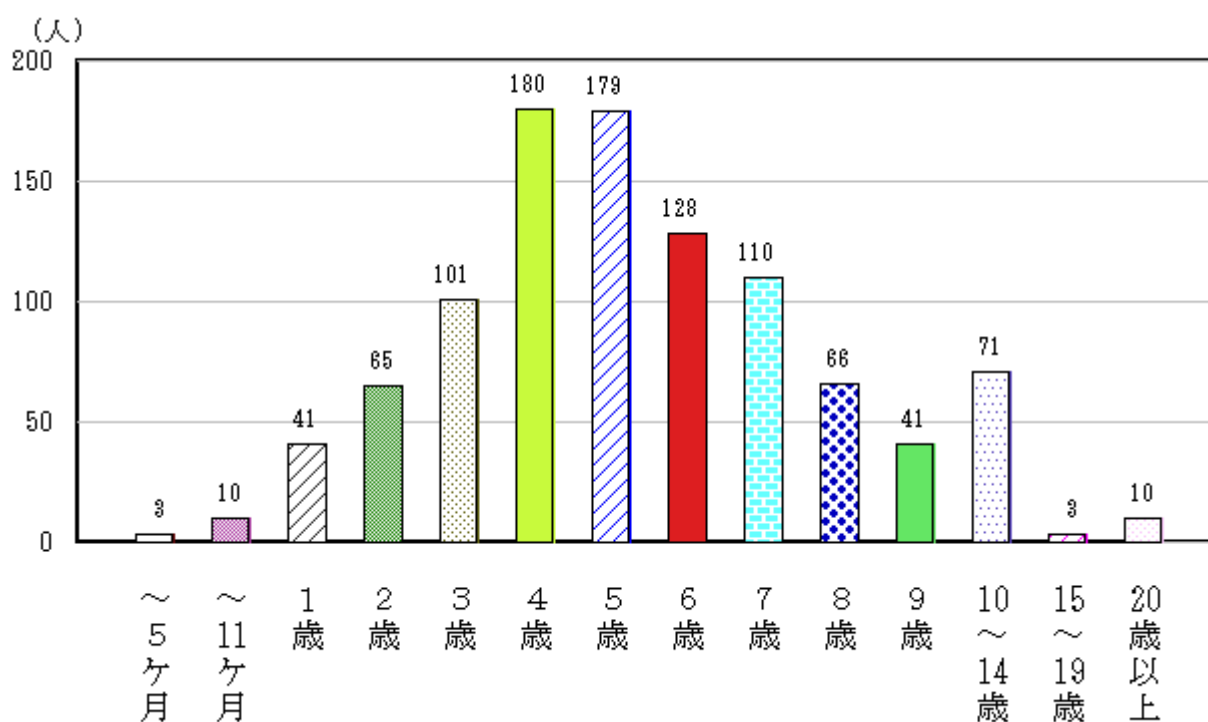


図55-2 青森県における年齢別報告数 平成27年（2015年）（1,008人）

(9) 突発性発しん

平成28年（2016年）の全国の報告状況は、年間を通じて、定点当たり報告数が0.5人前後で増減を繰り返した。青森県においても概ね同様の傾向であった（図56）。青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年（2016年）の定点当たり報告数は図57のとおりであった。

全国における定点当たり報告数は、平成28年（2016年）24.17人/定点で、平成27年（2015年）27.00人/定点に比べてやや少なかった。青森県においては、平成28年（2016年）22.34人/定点で、平成27年（2015年）23.67人/定点と同程度であった（p107表4-2）。

青森県における保健所管内別定点当たり報告状況（2015年～2016年）は図58のとおりであった。保健所管内別定点当たり報告数では、八戸保健所管内が最も多く、次いで東地方保健所＋青森市保健所管内であった（p109表5）。

年齢別報告数は、特に1歳の年齢層で多く、1歳以下の割合は全体の91.8%であった（図59-1）。

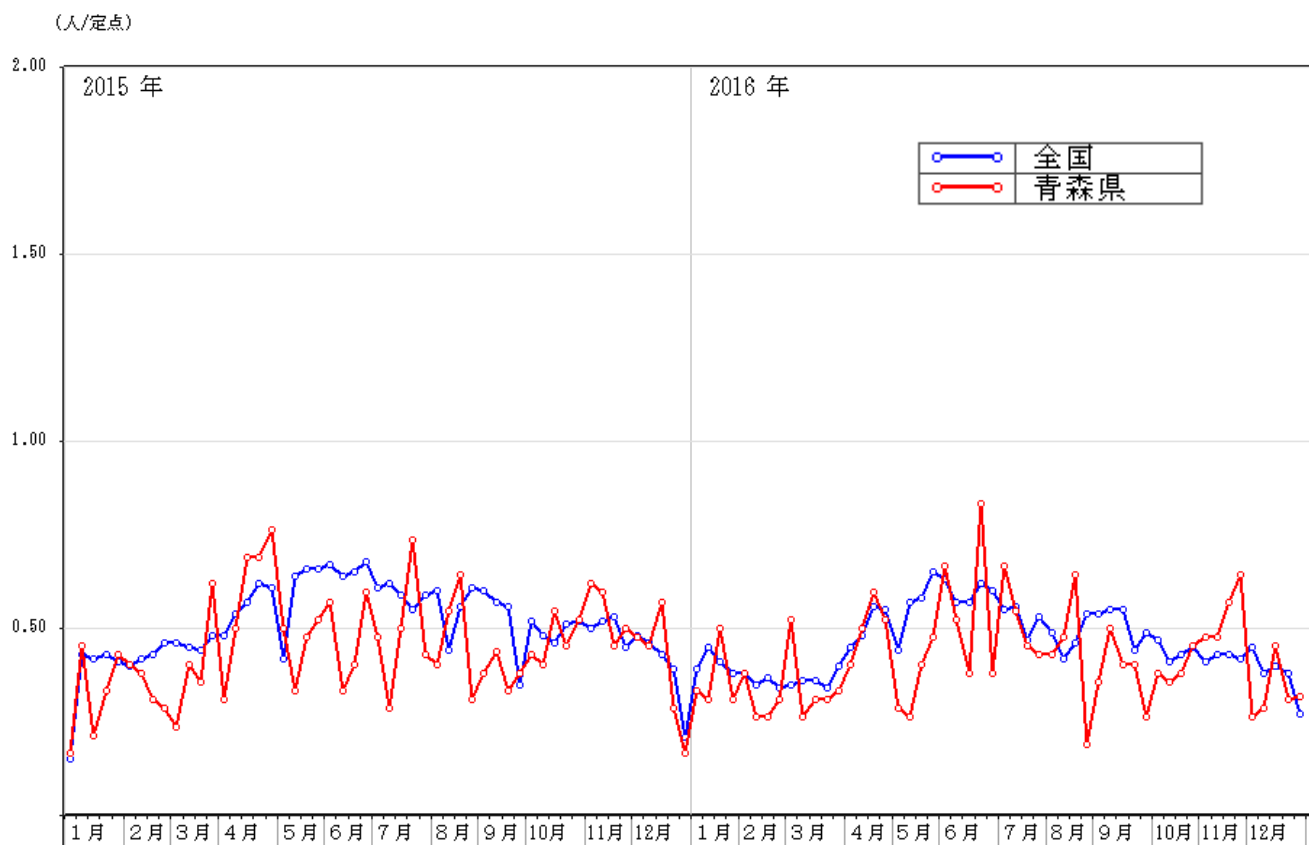


図 56 全国及び青森県における定点当たり報告状況（2015年～2016年）

人/定点

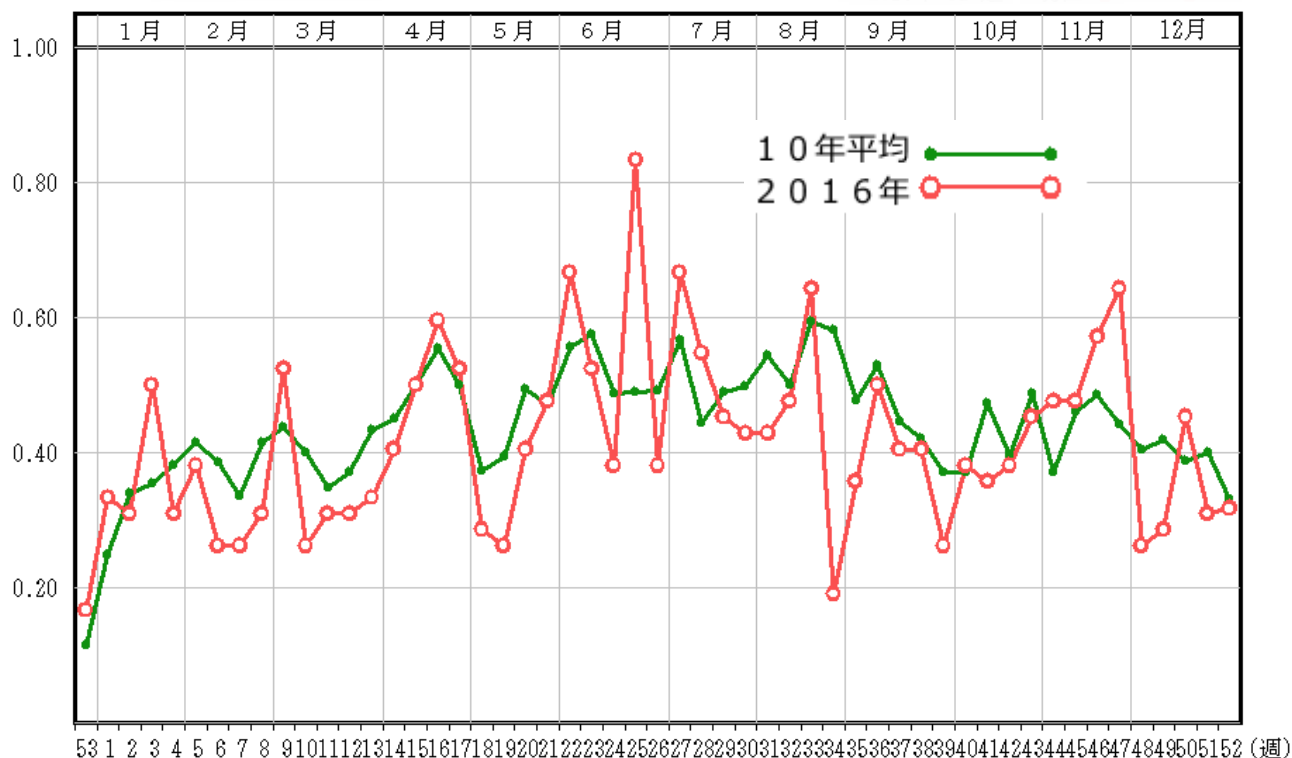


図 57 青森県の過去 10 年間の定点当たり報告数の平均及び平成 28 年（2016 年）の定点当たり報告数

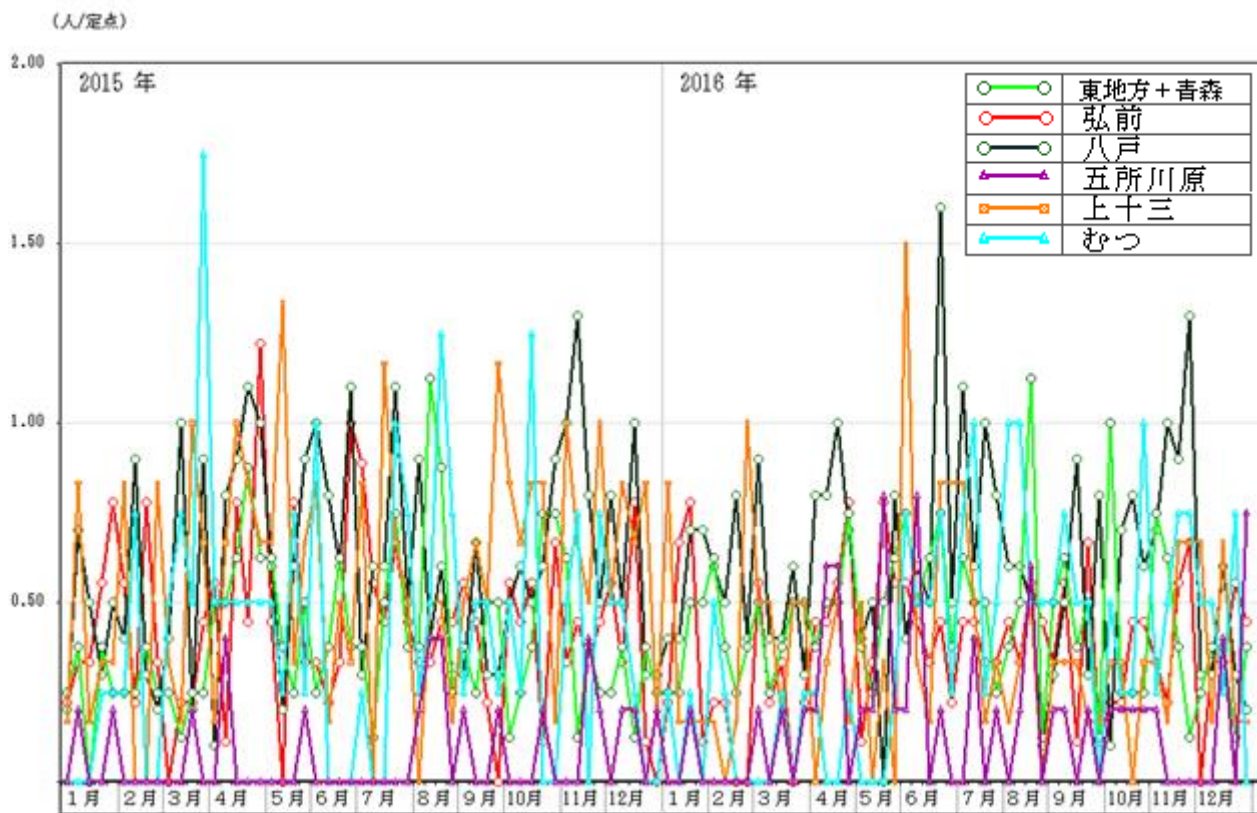


図 58 青森県における保健所管内別定点当たり報告状況(2015年～2016年)

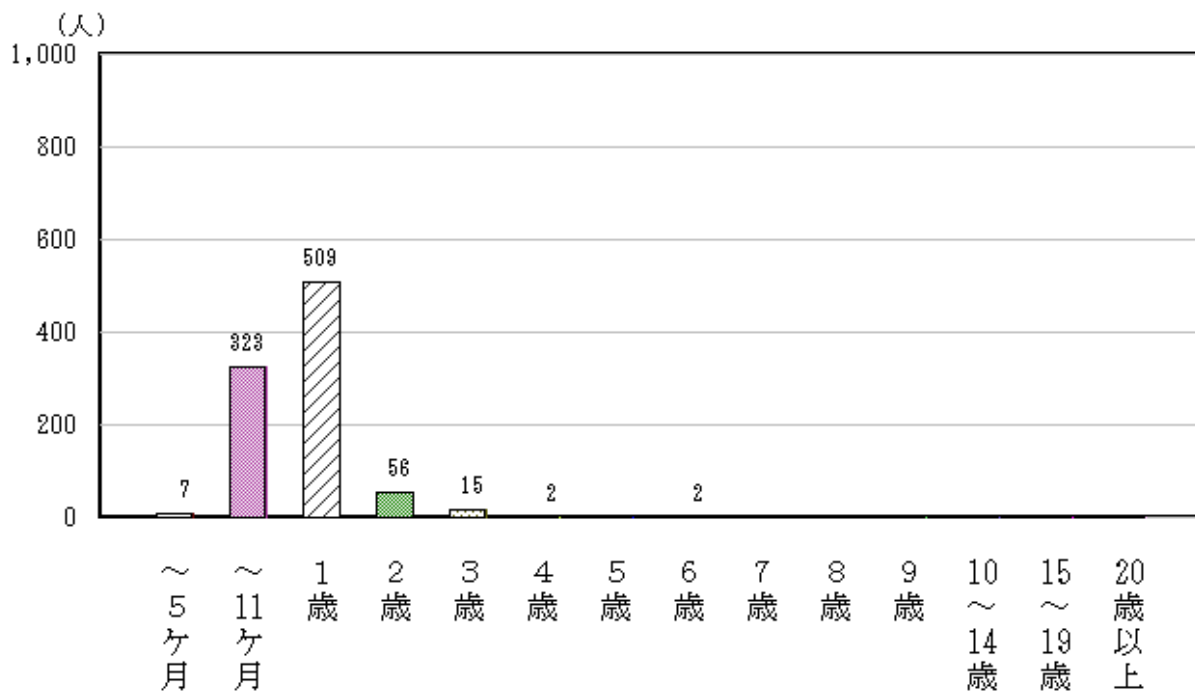


図59-1 青森県における年齢別報告数 平成28年（2016年）（914人）

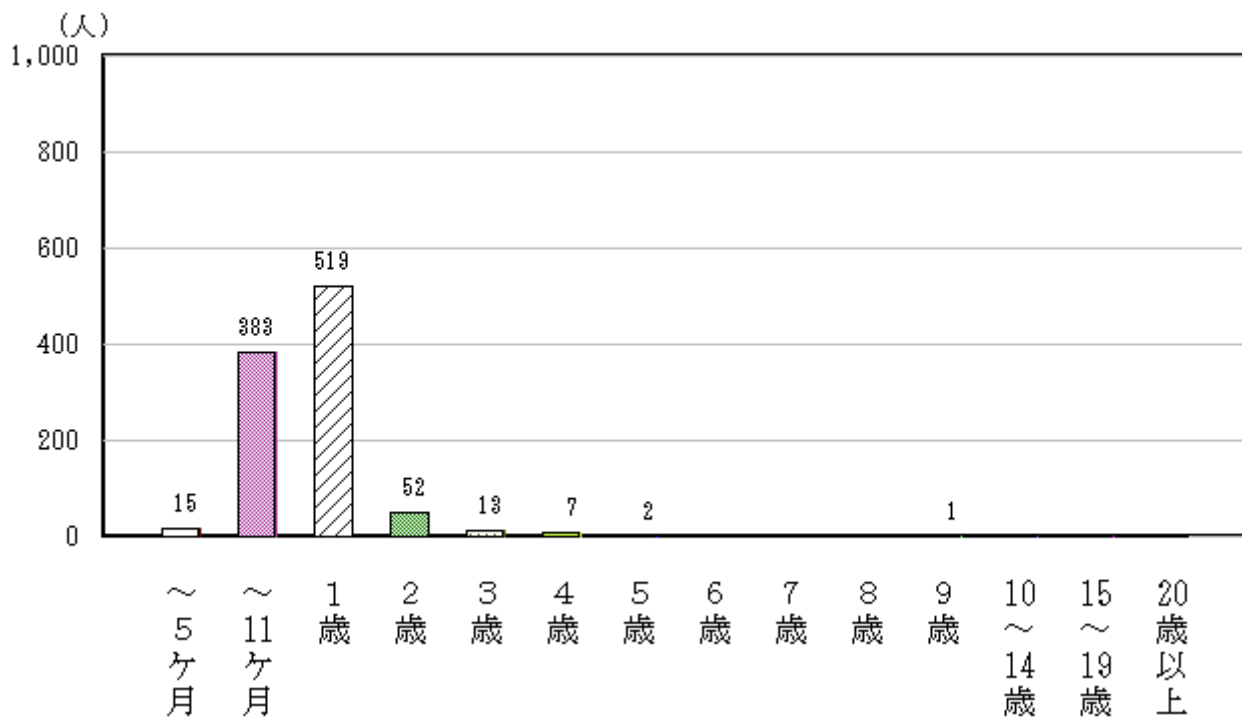


図 59-2 青森県における年齢別報告数 平成 27 年（2015 年）（992 人）

(10) 百日咳

平成28年（2016年）の全国の報告状況は、平成27年（2015年）と概ね同様で、報告数は年間を通じて少なかった。青森県においても同様の傾向であった（図60）。

全国における定点当たり報告数は平成28年（2016年）0.95人/定点で、平成27年（2015年）0.85人/定点に比べてやや多かった。青森県においても、平成28年（2016年）0.44人/定点で、平成27年（2015年）0.29人/定点に比べて多かった（p107表4-2）。

青森県における保健所管内別定点当たり報告状況（2015年～2016年）は図61のとおりであった。保健所管内別では、東地方保健所+青森市保健所が最も多く、次いで上十三保健所管内が多かった（p109表5）。

年齢別報告数は、6歳以下の割合が全体の61.1%であった（図62-1）。

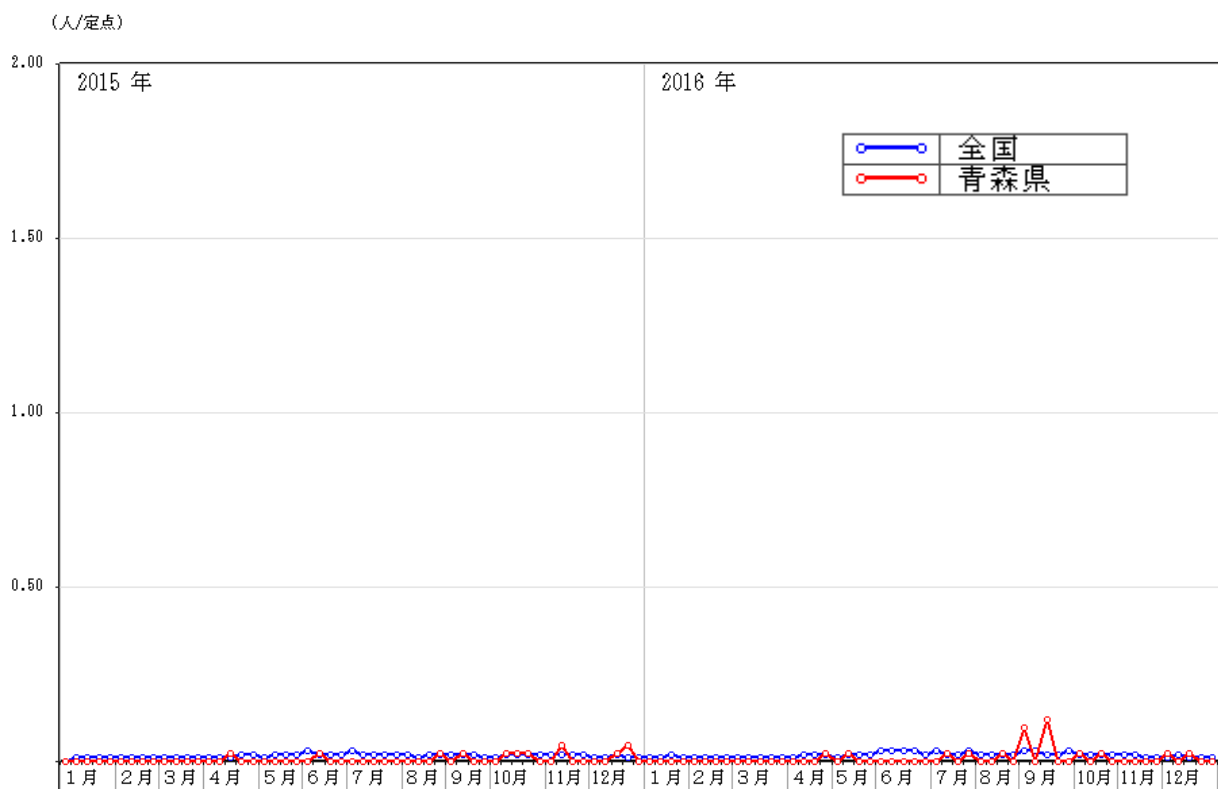


図60 全国及び青森県における定点当たり報告状況（2015年～2016年）

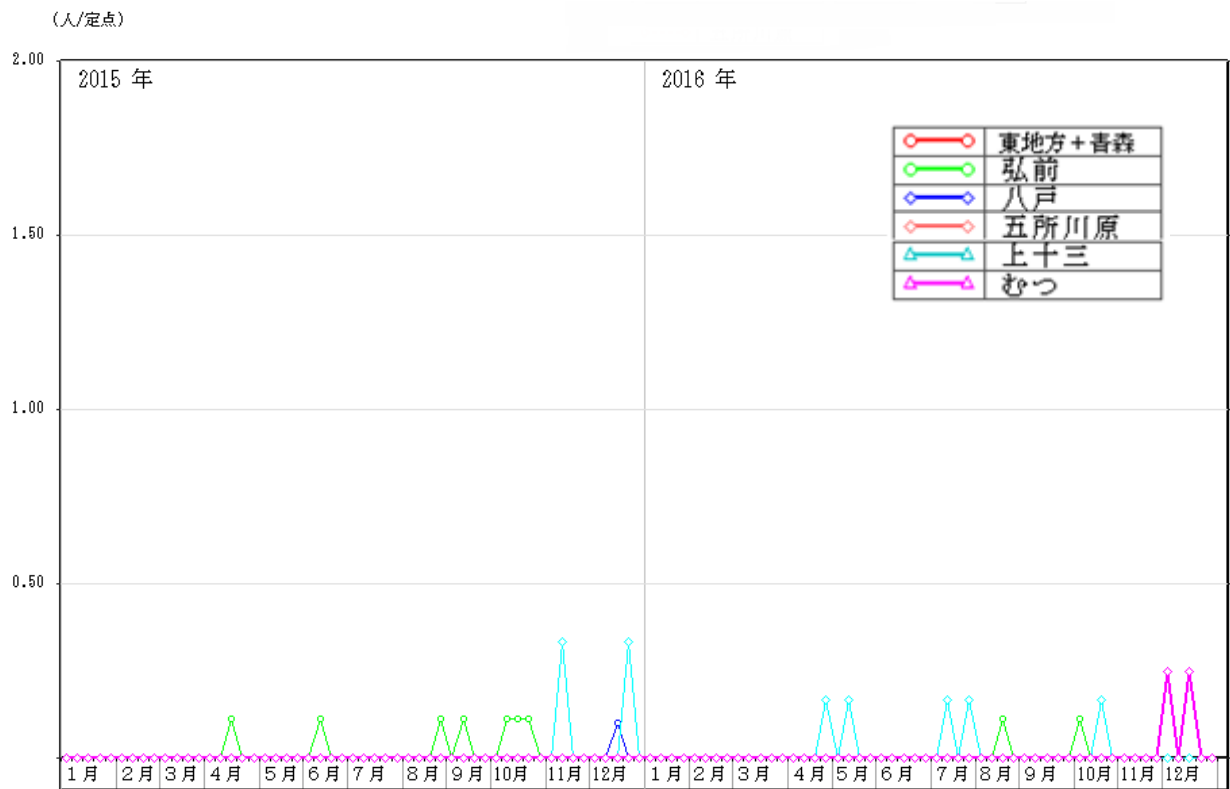


図61 青森県における保健所管内別定点当たり報告状況（2015年～2016年）

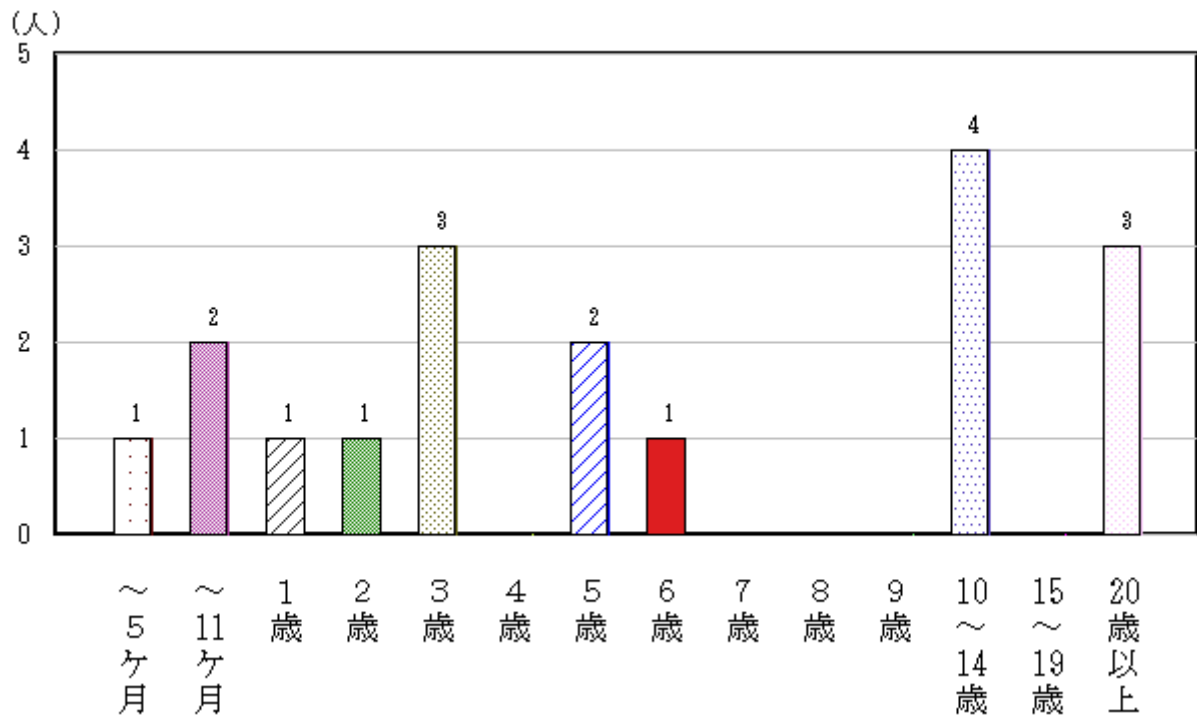


図62-1 青森県における年齢別報告数 平成28年（2016年）（18人）

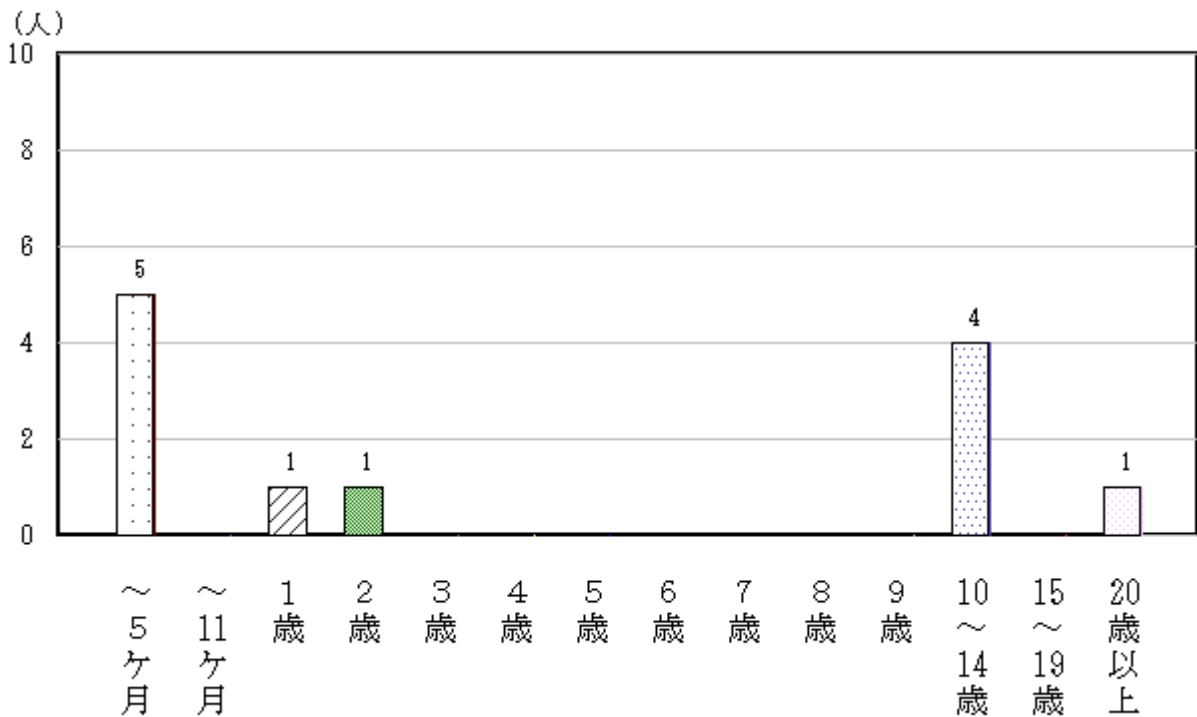


図62-2 青森県における年齢別報告数 平成27年（2015年）（12人）

(11) ヘルパンギーナ

平成28年（2016年）の全国の報告状況は平成27年（2015年）と概ね同様で、5月から報告数が増加して7月にピークを形成し、10月にかけて減少した。青森県においては、全国に比べて遅れて7月から増加し、9月にピークを形成し、11月にかけて減少した（図63）。青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年（2016年）の定点当たり報告数は図64のとおりであった。

全国における定点当たり報告数は平成28年（2016年）40.99人/定点で、平成27年（2015年）31.22人/定点に比べて多かった。青森県においても、平成28年（2016年）25.54人/定点で、平成27年（2015年）16.45人/に比べて多かった（p107表4-2）。

青森県における保健所管内別定点当たり報告状況（2015年～2016年）は図65のとおりであった。保健所管内別定点当たり報告数は、むつ保健所管内が最も多く、次いで東地方+青森市保健所管内が多かった（p109表5）。

年齢別報告数は、特に1歳の年齢層が多く、3歳以下の割合は全体の79.1%であった（図66-1）。

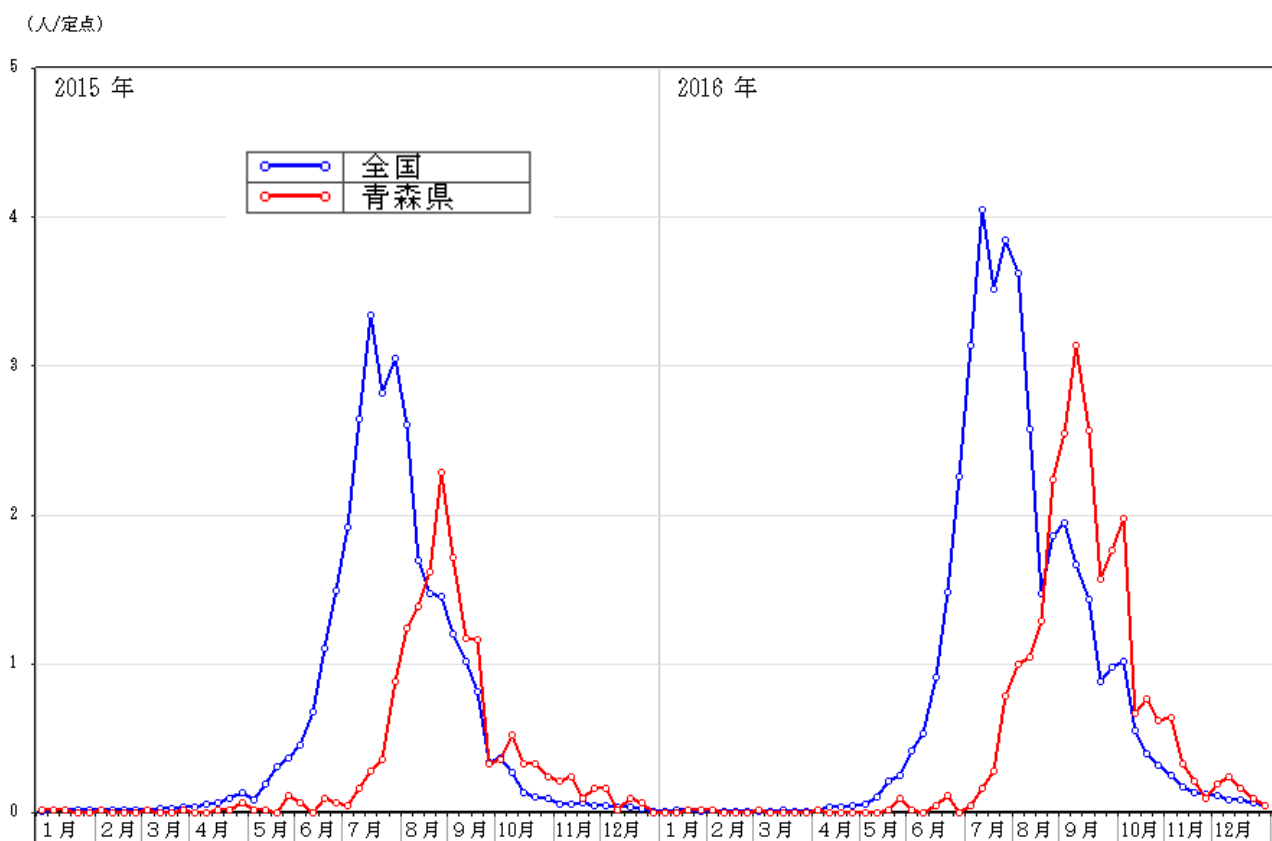


図63 全国及び青森県における定点当たり報告状況（2015年～2016年）

人/定点

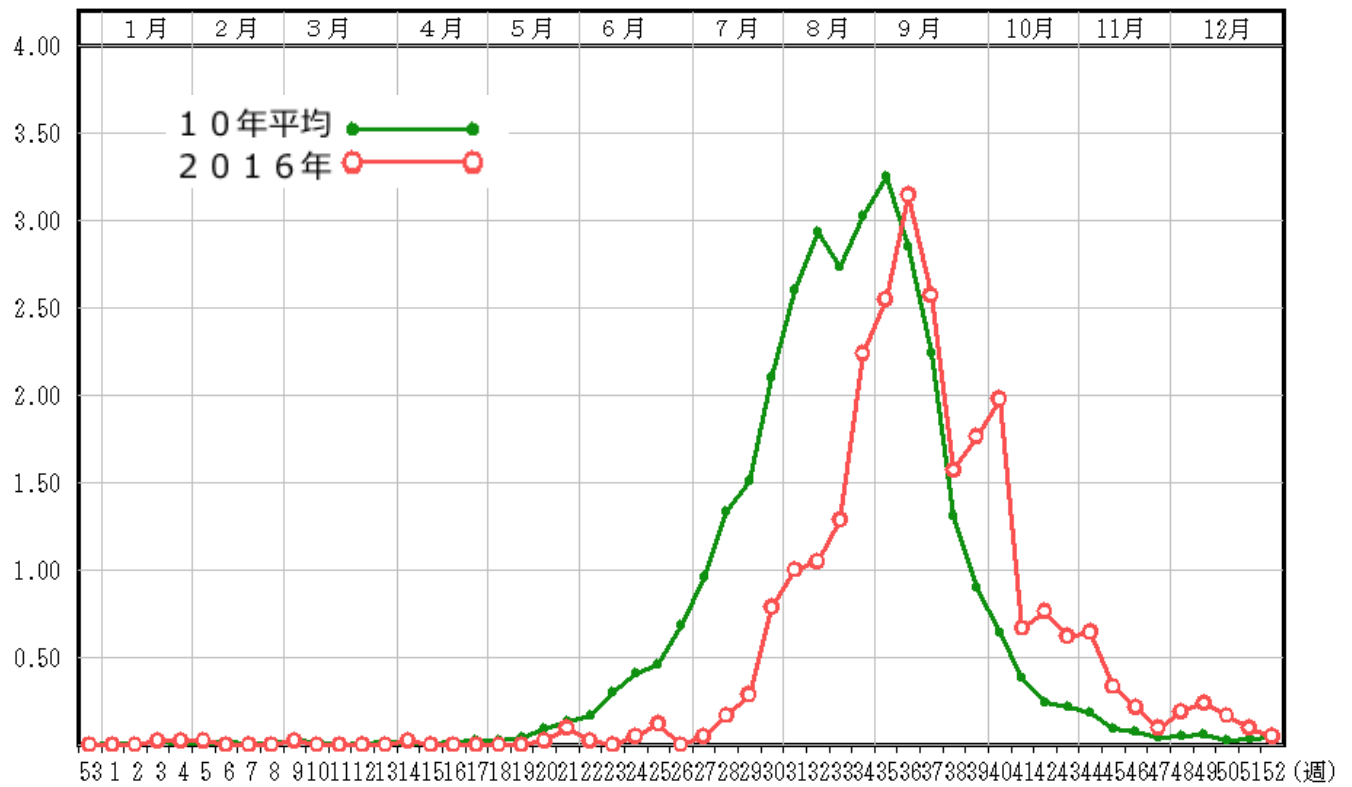


図64 青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年(2016年)の定点当たり報告数

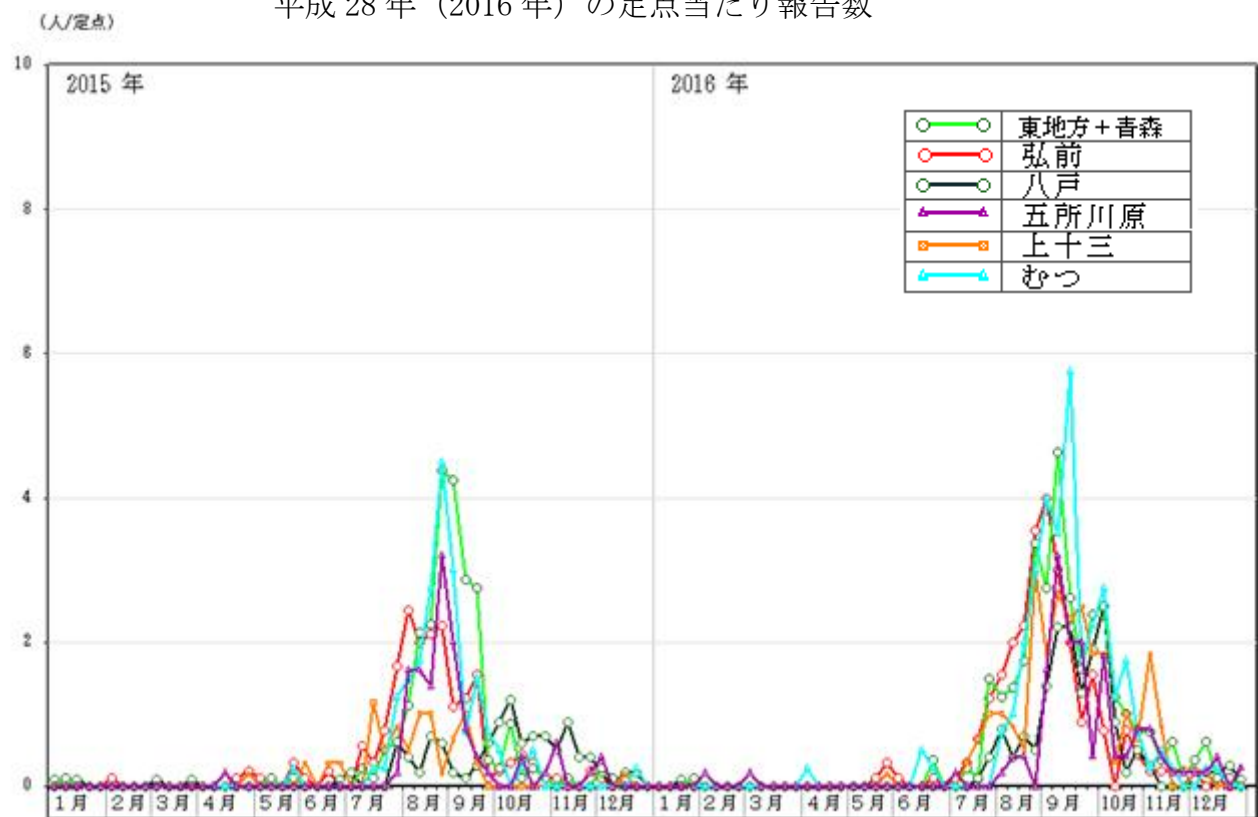


図65 青森県における保健所管内別定点当たり報告状況(2015年~2016年)

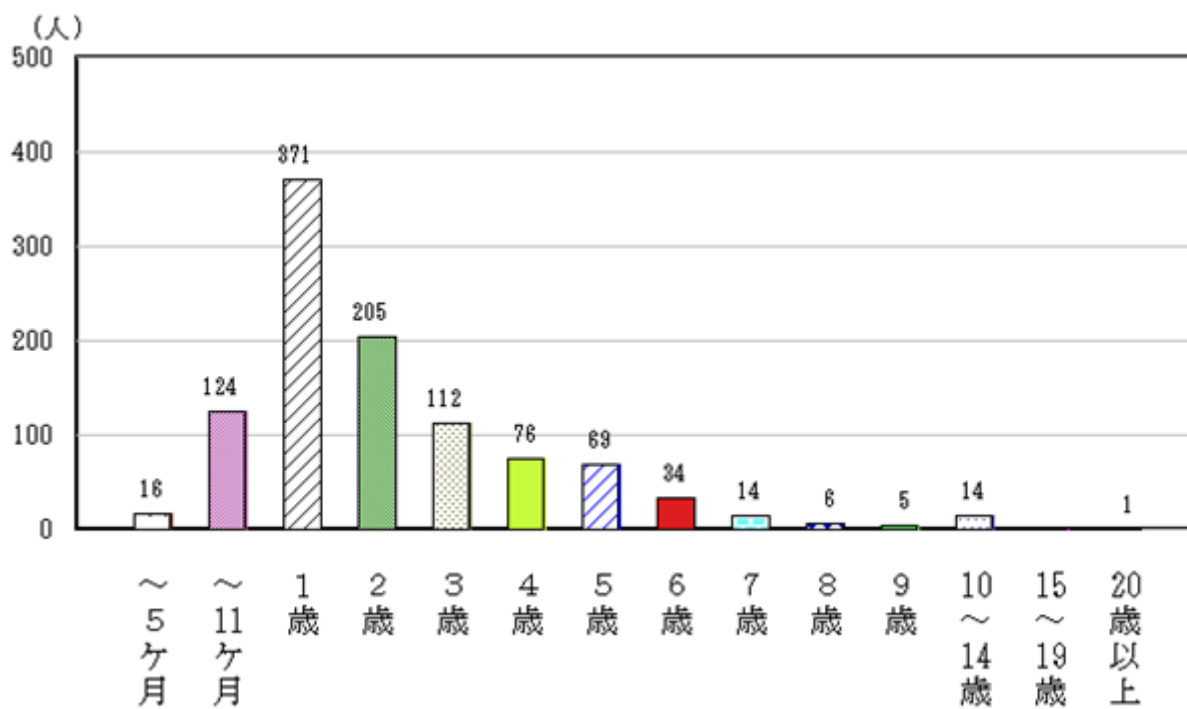


図66-1 青森県における年齢別報告数 平成28年（2016年）（1,047人）

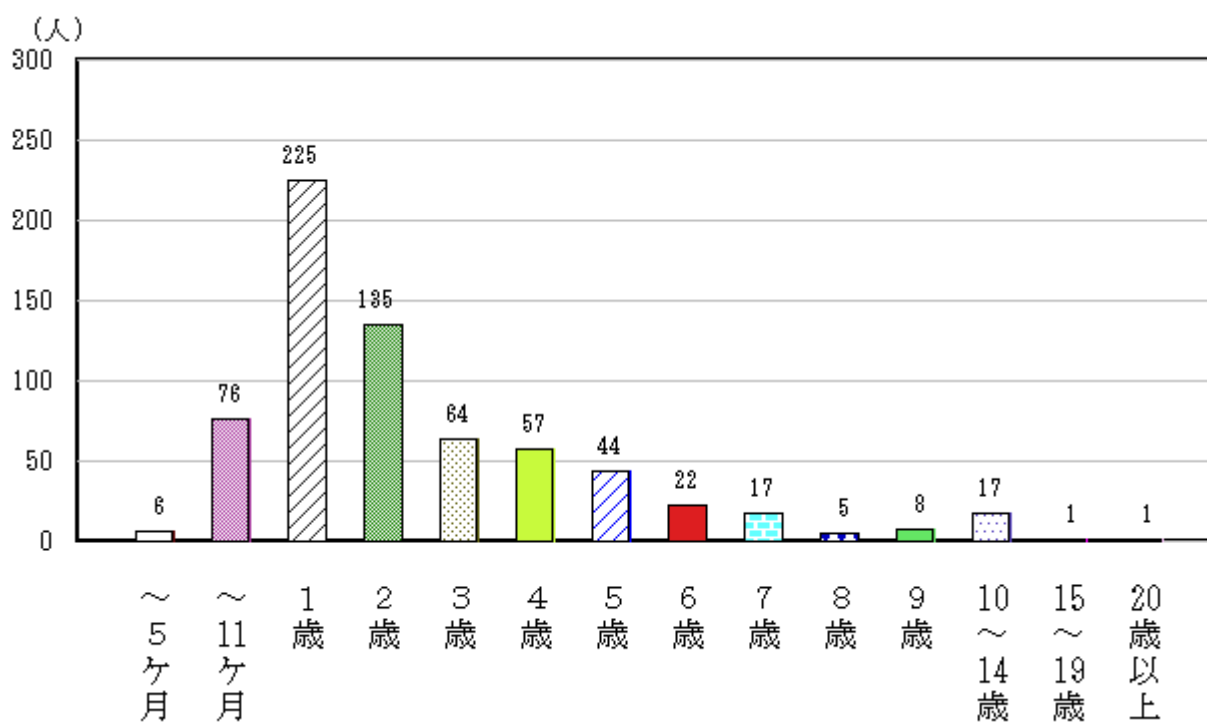


図66-2 青森県における年齢別報告数 平成27年（2015年）（678人）

(12) 流行性耳下腺炎

平成28年（2016年）の全国の報告状況は、1月上旬にピークを示した後、1月下旬から増減を繰り返しながら増加傾向を示し7月にピークを形成した。青森県においては、1月から増減を繰り返しながら12月にかけて減少傾向を示した（図67）。青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年（2016年）の定点当たり報告数は図68のとおりであった。

全国における定点当たり報告数は平成28年（2016年）50.39人/定点で、平成27年（2015年）25.76人/定点に比べて多かった。青森県においても、平成28年（2016年）26.63人/定点で、平成27年（2015年）8.21人/定点に比べて多かった（p107表4-2）。

青森県における保健所管内別定点当たり報告状況（2015年～2016年）は図69のとおりであった。保健所管内別定点当たり報告数は、東地方+青森市保健所管内が最も多く、次いでむつ保健所管内が多かった（p109表5）。

年齢別報告数は、4歳～6歳の年齢層が多かった（図70-1）。

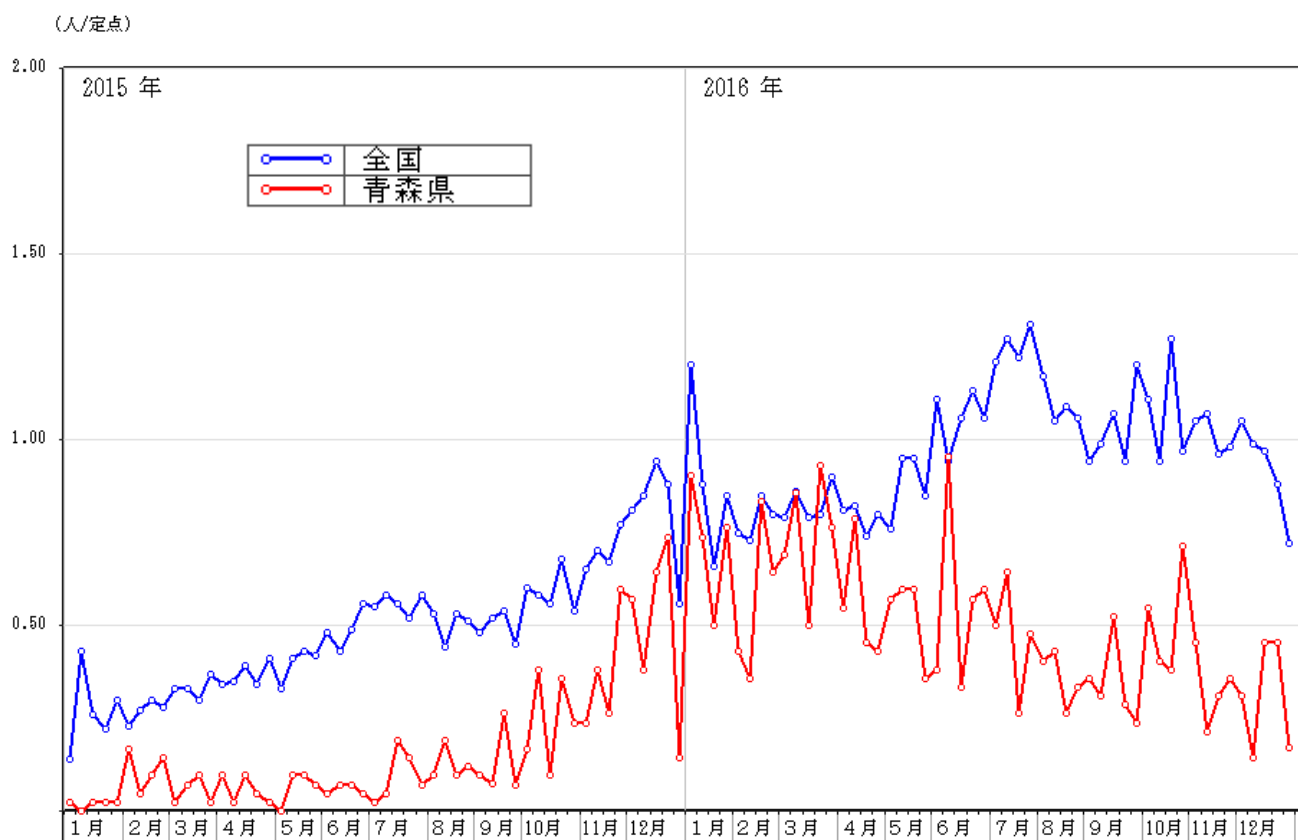


図67 全国及び青森県における定点当たり報告状況（2015年～2016年）

人/定点

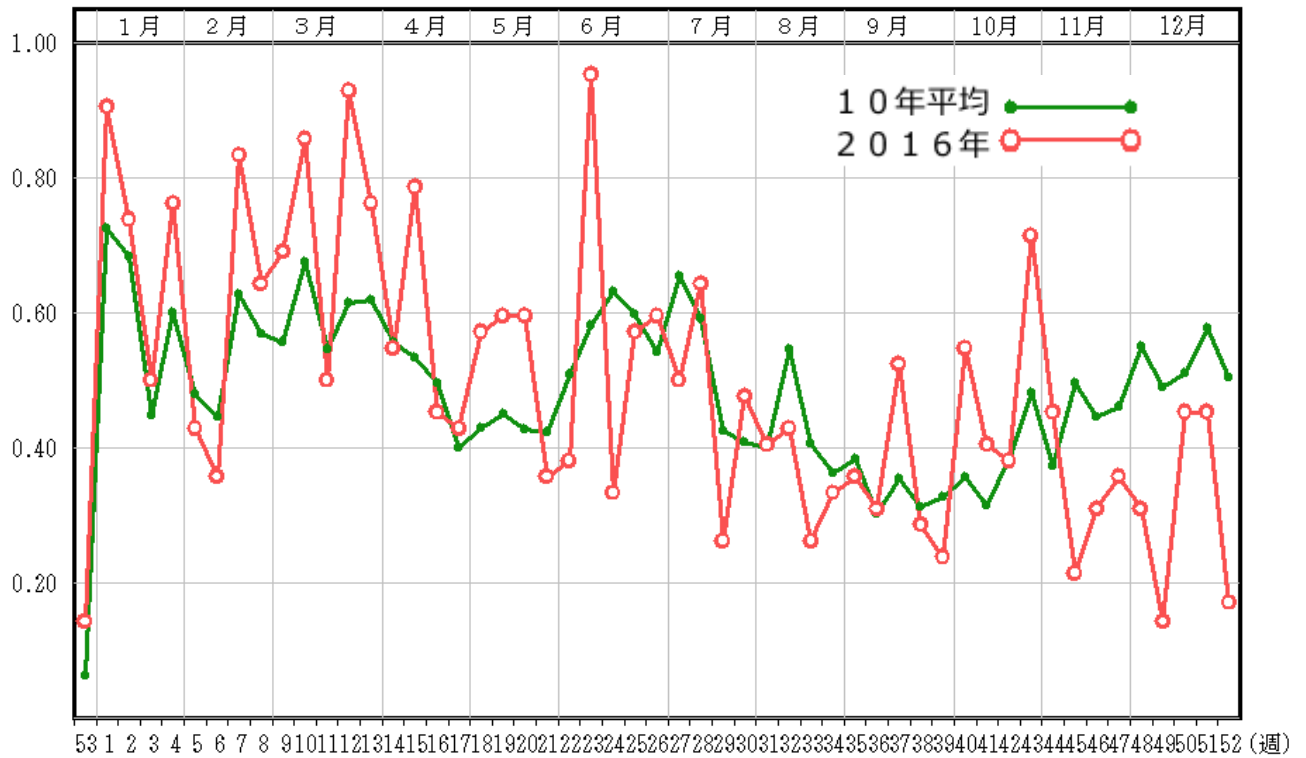


図 68 青森県の過去 10 年間の定点当たり報告数の平均及び平成 28 年 (2016 年) の定点当たり報告数

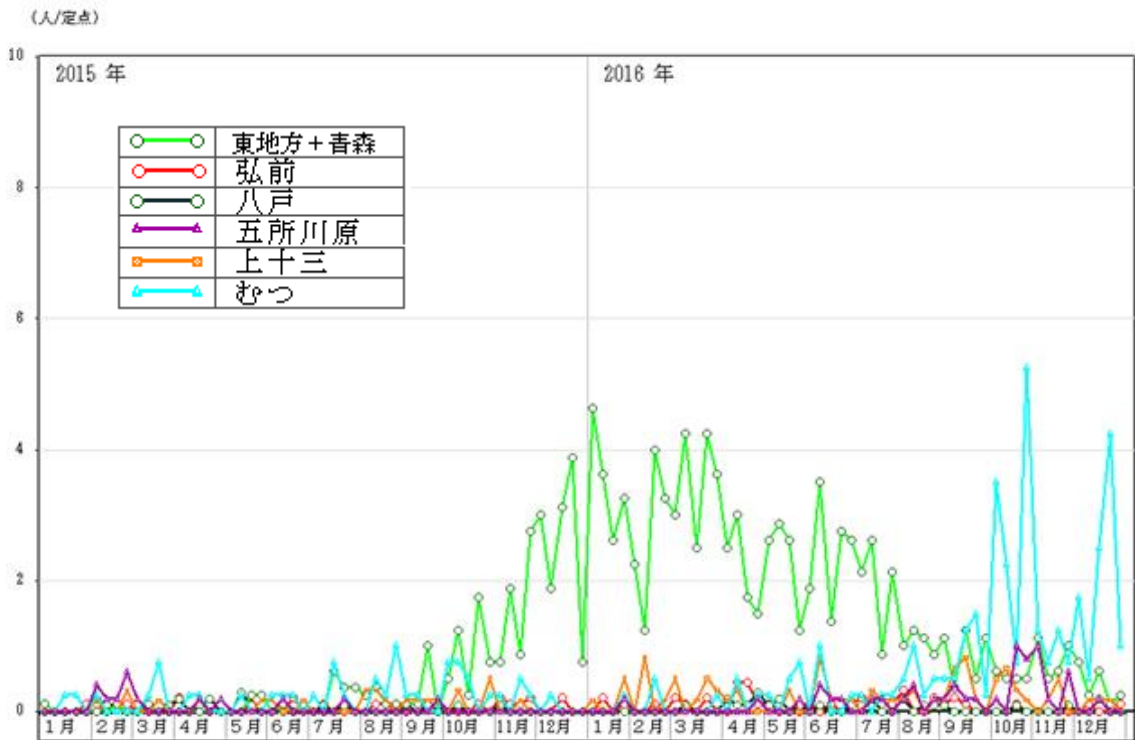


図 69 青森県における保健所管内別定点当たり報告状況 (2015 年～2016 年)

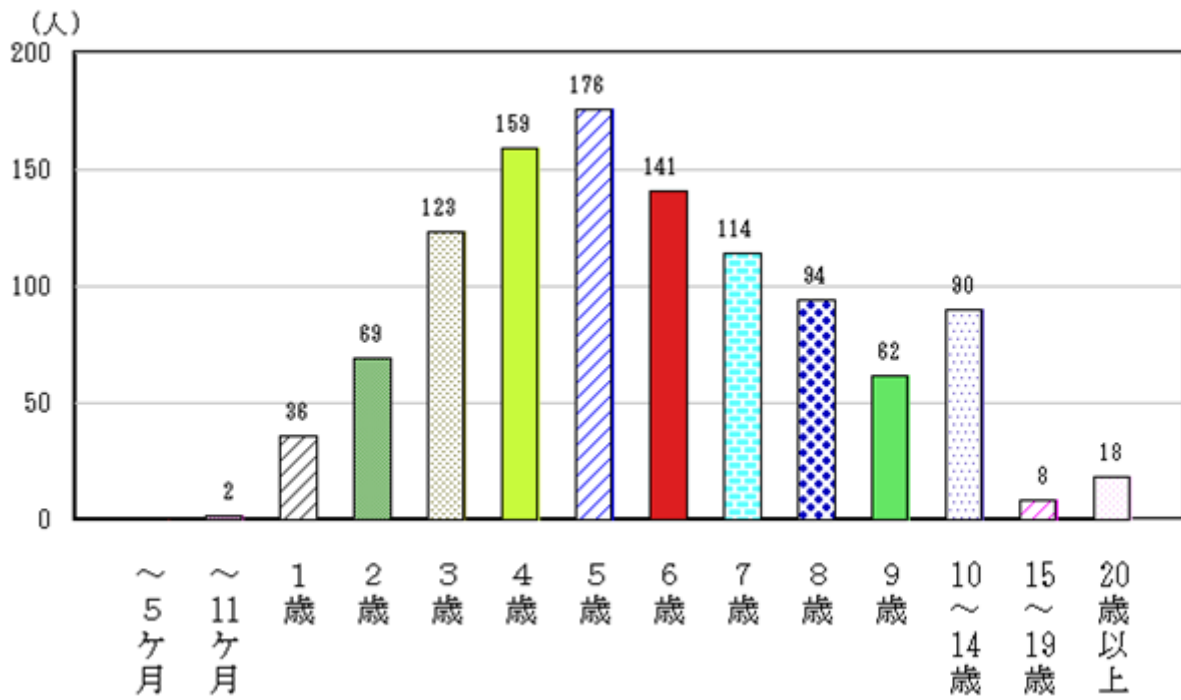


図70-1 青森県における年齢別報告数 平成28年（2016年）（1,092人）

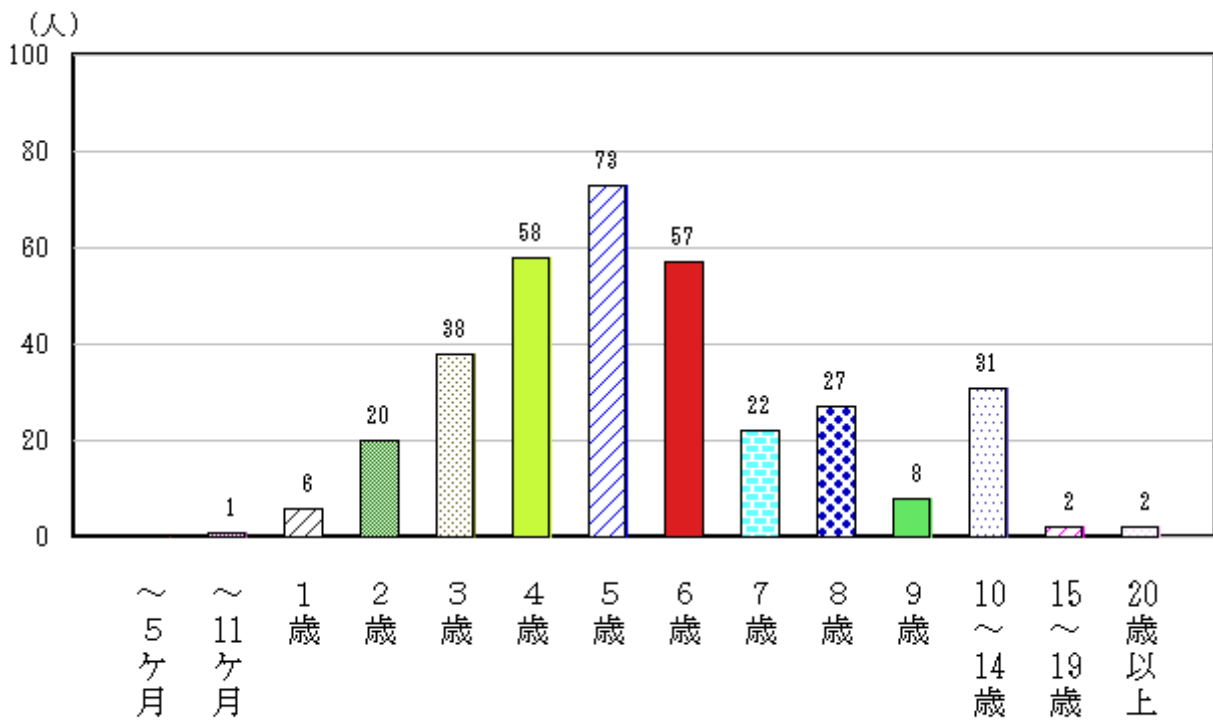


図70-2 青森県における年齢別報告数 平成27年（2015年）（345人）

<眼科定点把握対象疾患>

(13) 急性出血性結膜炎

平成28年（2016年）の全国の報告状況は、平成27年（2015年）同様、報告数は少なかった。青森県においても、報告数は少なかった（図71）。

全国における平成28年（2016年）の定点当たり報告数は、0.58人/定点で、平成27年（2015年）0.72人/定点に比べてやや少なかった。青森県においては、平成28年（2016年）は0.36人/定点であったが、平成27年（2015年）は患者報告が無かった。保健所管内別では、八戸保健所管内のみの報告であった（p109表5）。

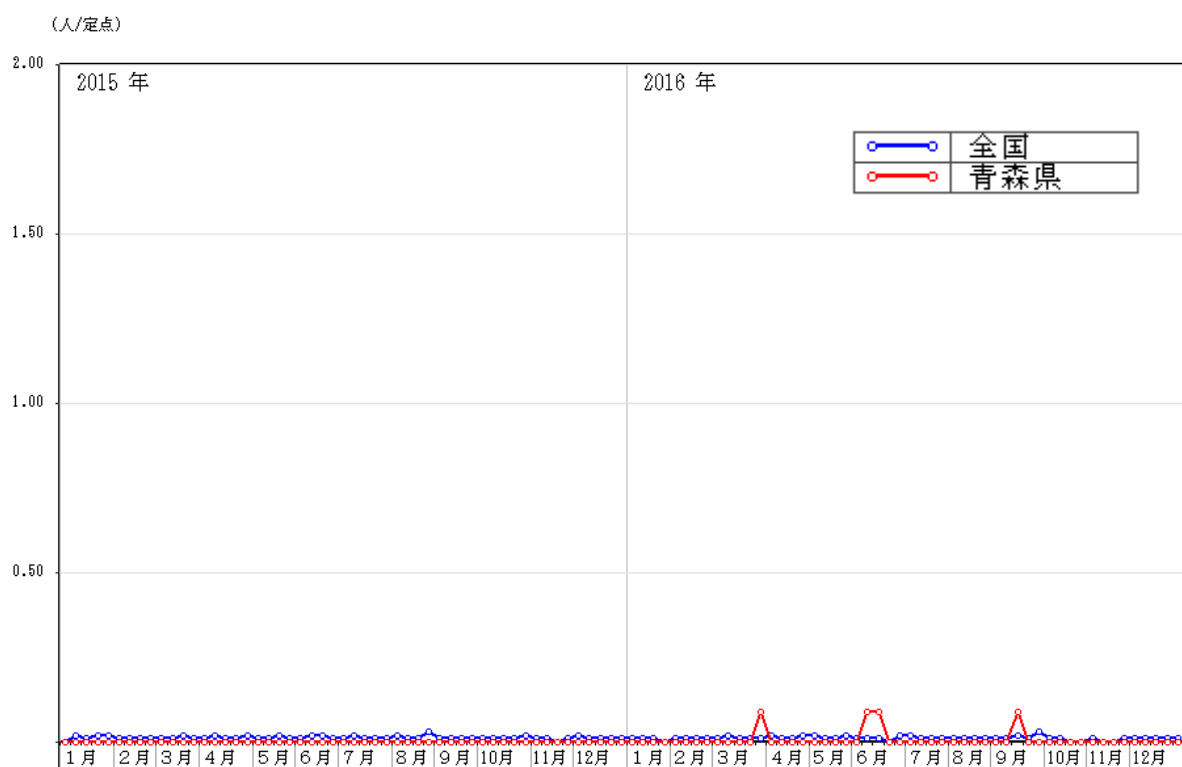


図 71 全国及び青森県における定点当たり報告状況（2015年～2016年）

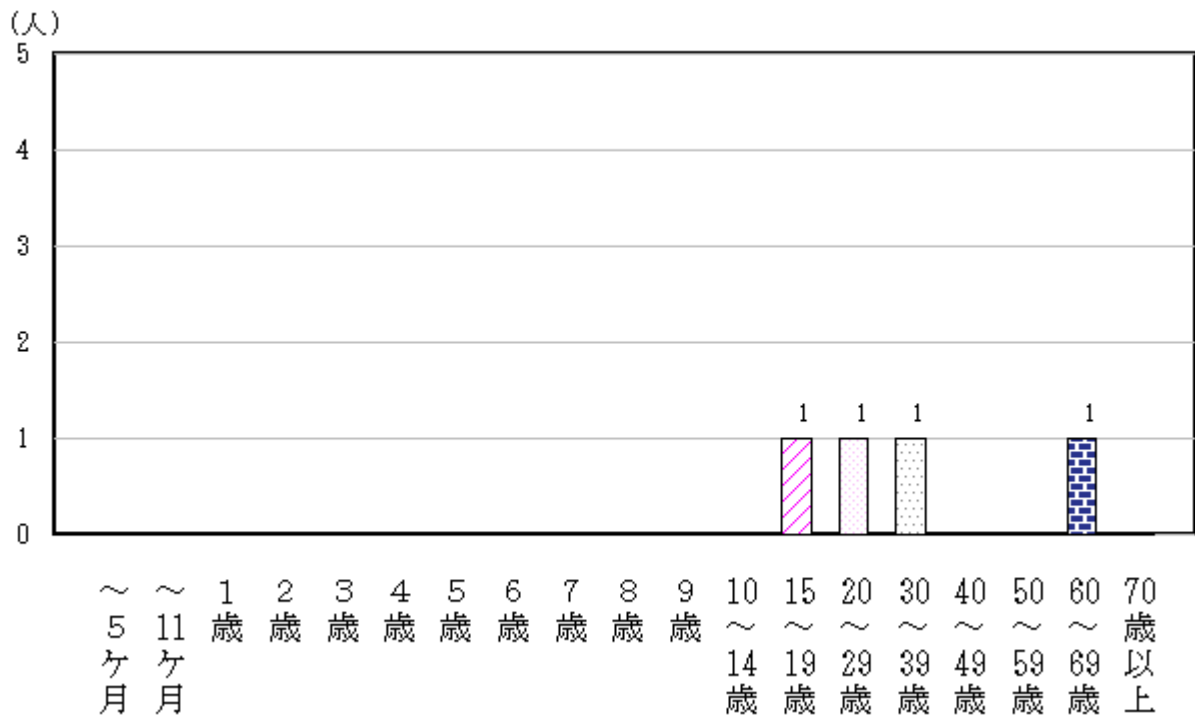


図72 青森県における年齢別報告数 平成28年（2016年）（4人）

(14) 流行性角結膜炎

平成28年（2016年）の全国の報告状況は、増減を繰り返しながら9月にかけて増加した。青森県においては、年間を通じて増減を繰り返した（図73）。青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年（2016年）の定点当たり報告数は図74のとおりであった。

全国における定点当たり報告数は、平成28年（2016年）37.72人/定点で、平成27年（2015年）36.44人/定点と同程度だった。青森県においても、平成28年（2016年）24.27人/定点で、平成27年（2015年）25.00人/定点と同程度であった（p108表4-3）。

青森県における保健所管内別定点当たり報告状況（2015年～2016年）は図75のとおりであった。保健所管内別定点当たり報告数では、八戸保健所管内が最も多く、次いで東地方+青森市保健所管内が多かった（p109表5）。

年齢別報告数では、特に30～39歳の年齢層が多かった（図76-1）。

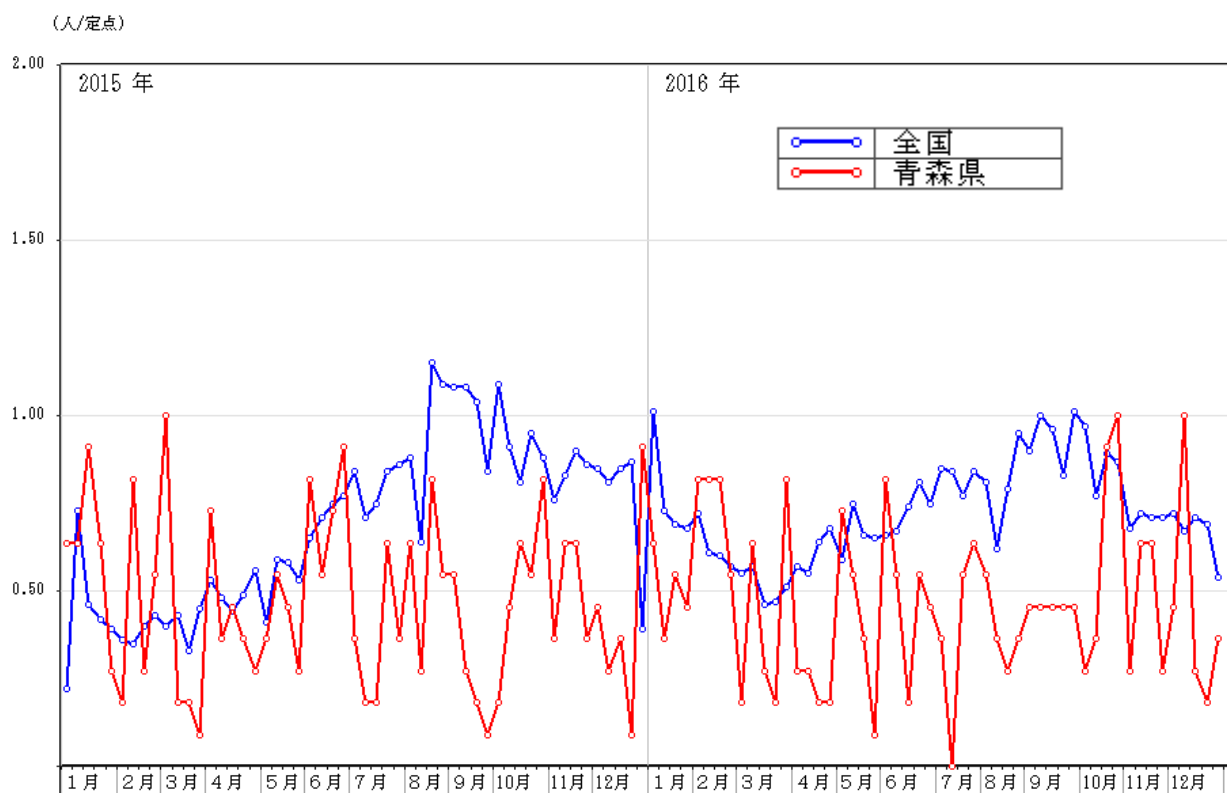


図73 全国及び青森県における定点当たり報告状況（2015年～2016年）

人/定点

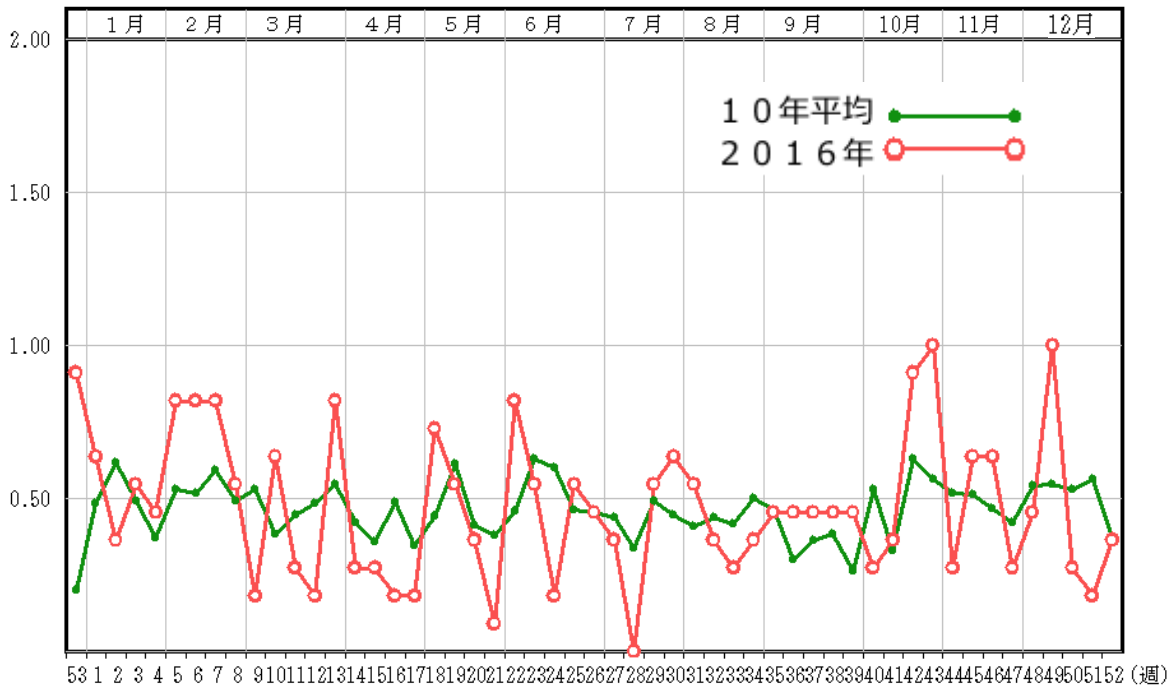


図 74 青森県の過去 10 年間の定点当たり報告数の平均及び平成 28 年 (2016 年) の定点当たり報告数

(人/定点)

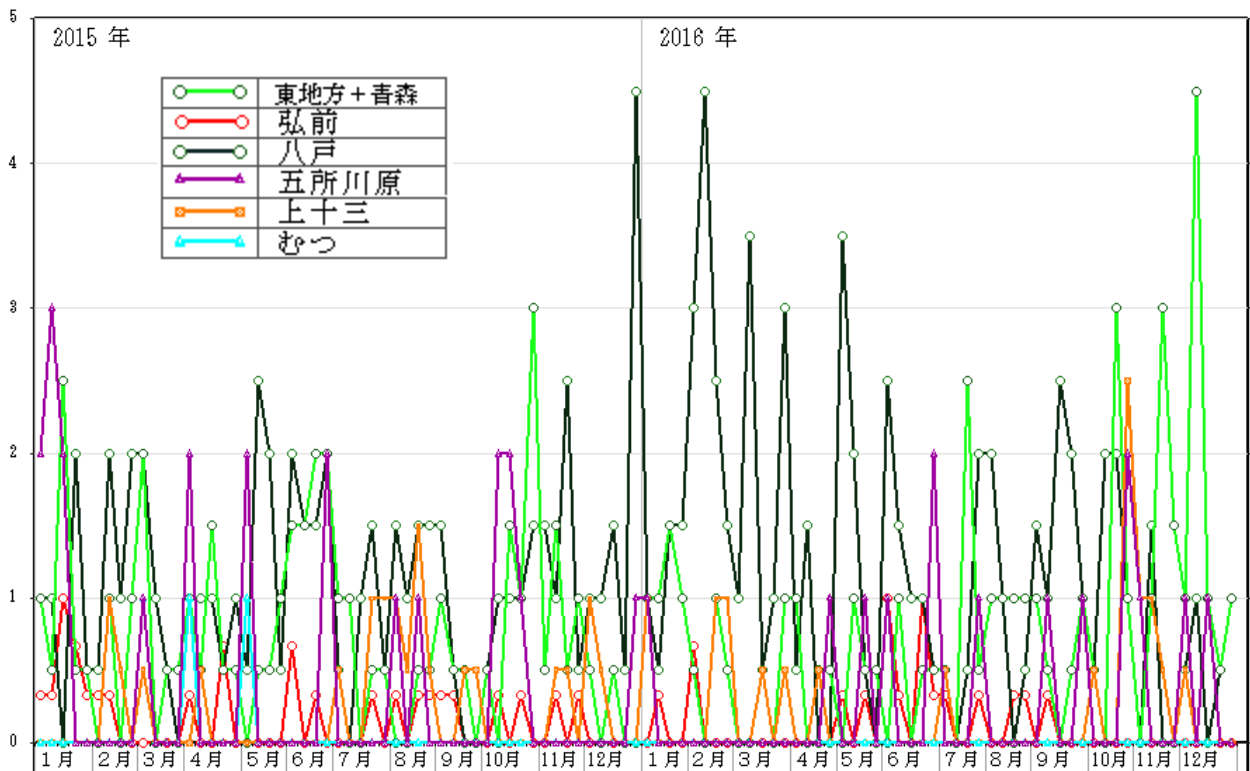


図 75 青森県における保健所管内別定点当たり報告状況(2015年~2016年)

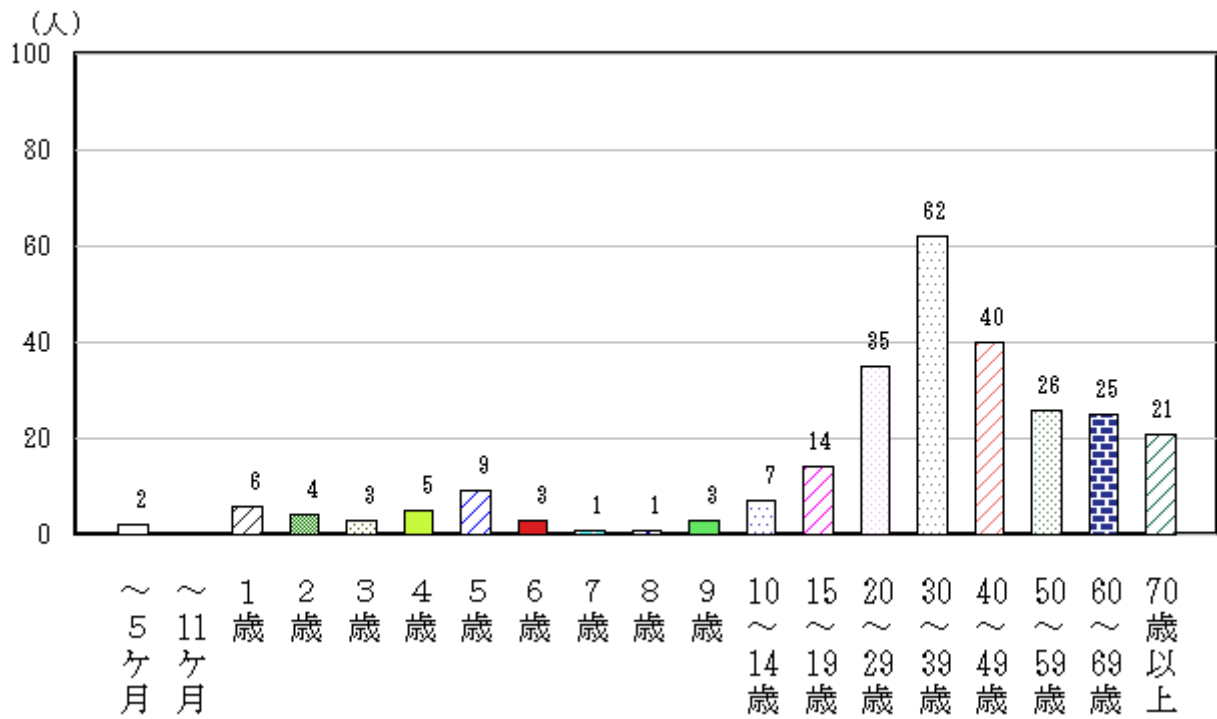


図76-1 青森県における年齢別報告数 平成28年（2016年）（267人）

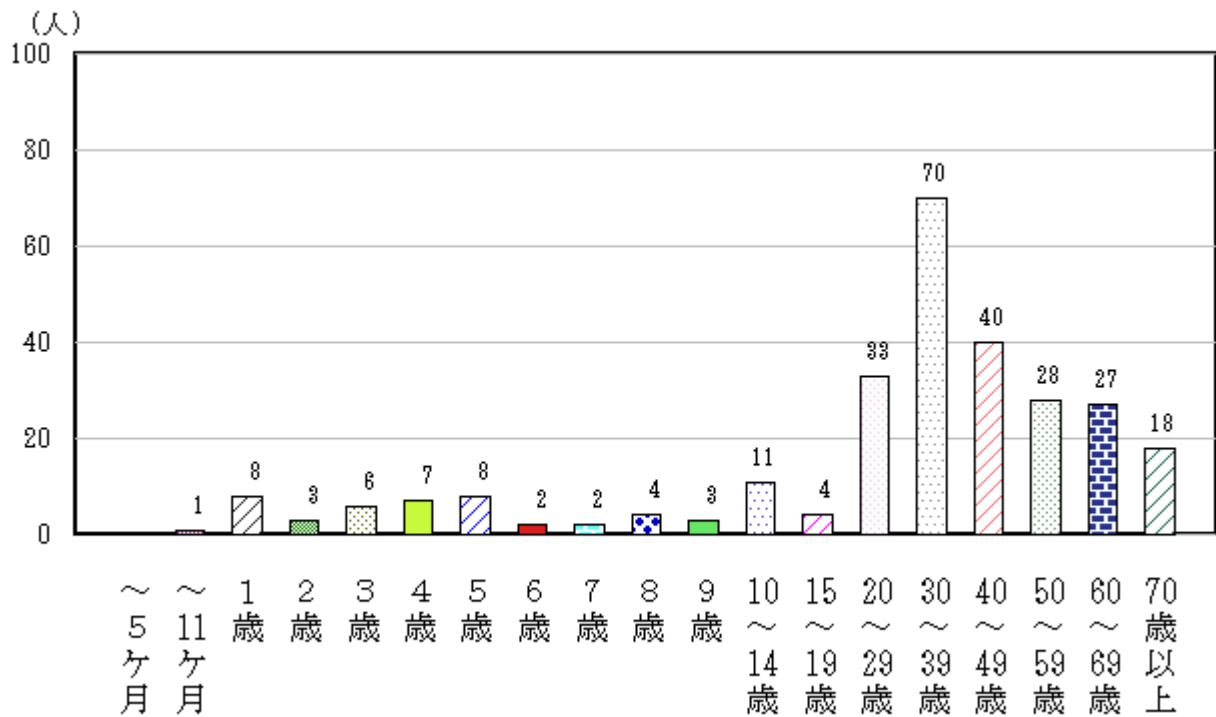


図76-2 青森県における年齢別報告数 平成27年（2015年）（275人）

〈基幹定点把握対象疾患〉

(15) 細菌性髄膜炎

平成28年（2016年）の全国の報告状況は、平成27年（2015年）と概ね同様に年間を通じて、報告数が少なかった。青森県においても、報告数は少なかった（図77）。

全国の定点当たり報告数は平成28年（2016年）1.03人/定点と平成27年（2015年）0.95人/定点と同程度であった。青森県においては、平成28年（2016年）の定点当たり報告数は2.33人/定点で、平成27年（2015年）1.83人/定点に比べてやや多かった（p108表4-3）。

青森県における保健所管内別定点当たり報告状況（2015年～2016年）は図78のとおりであった。保健所管内別では、八戸保健所管内が最も多かった（p109表5）。

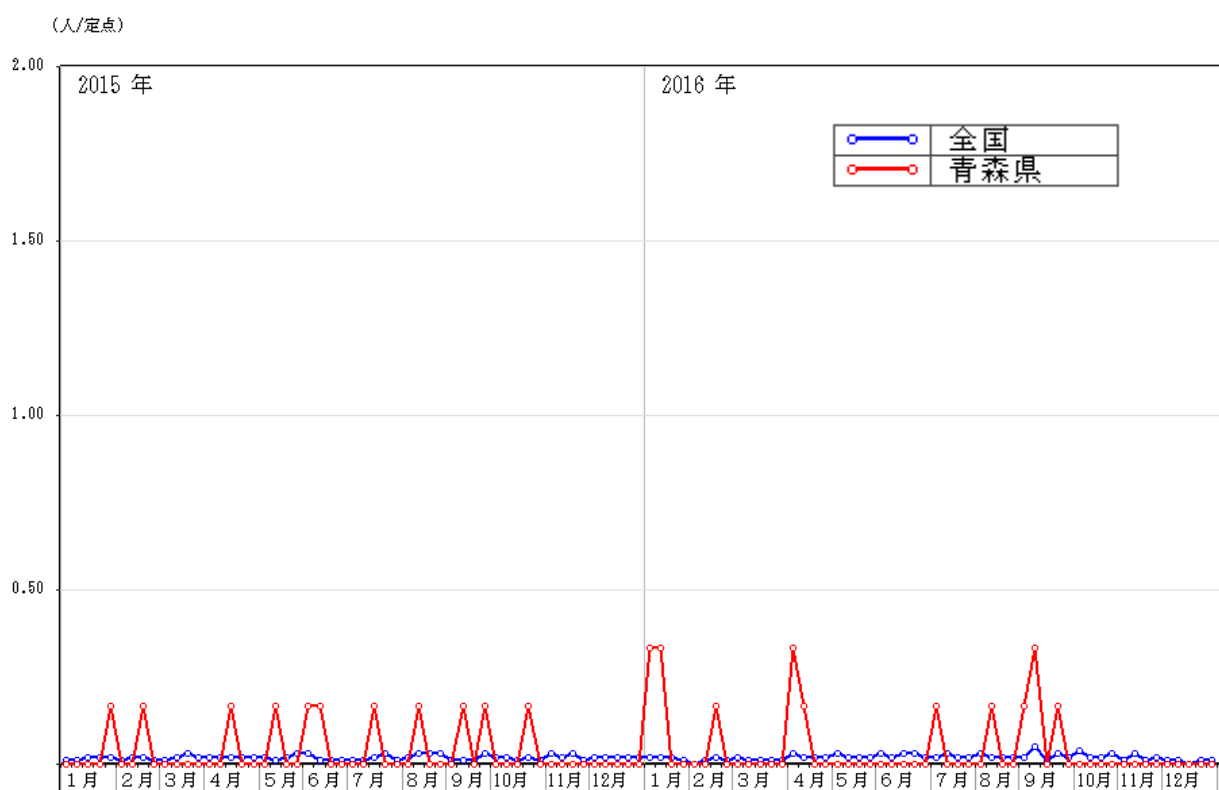


図 77 全国及び青森県における定点当たり報告状況（2015年～2016年）

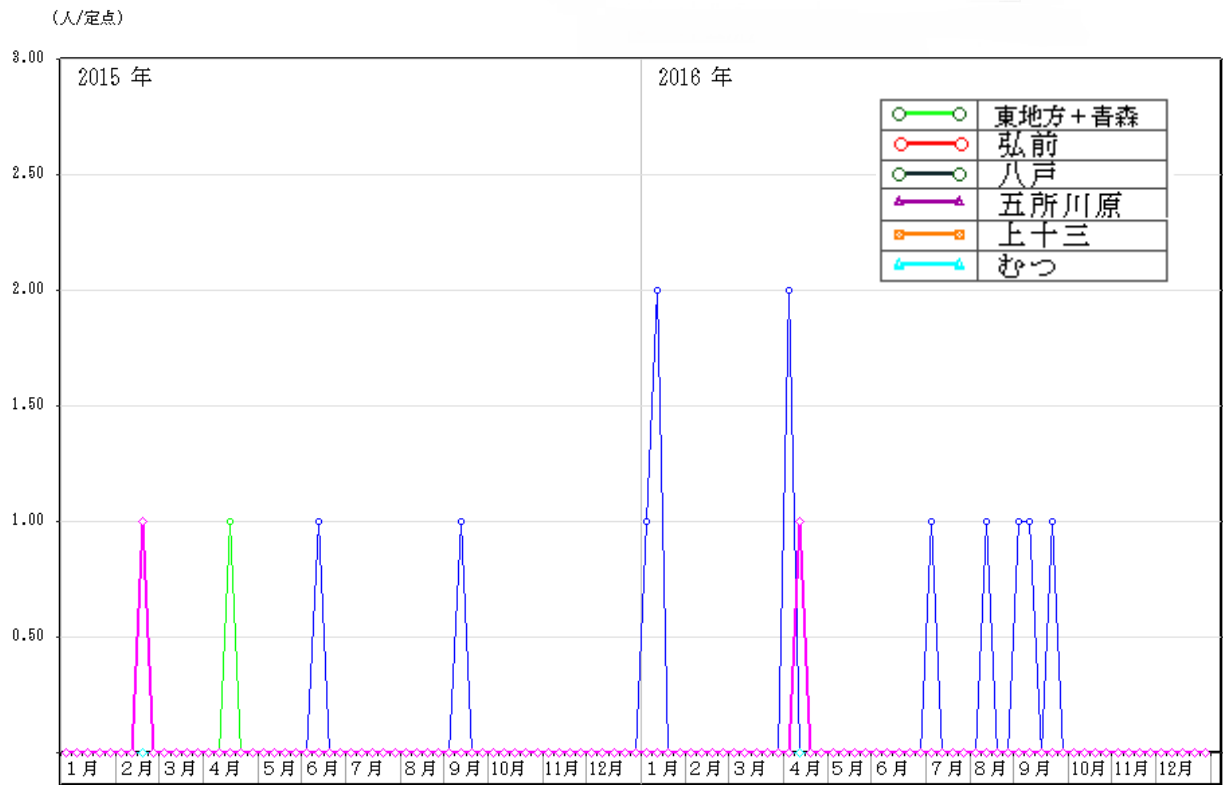


図78 青森県における保健所管内別定点当たり報告状況（2015年～2016年）

(16) 無菌性髄膜炎

平成28年（2016年）の全国の報告状況は、平成27年（2015年）と概ね同様で年間を通じて、報告数が少なかった。青森県においても年間を通じて、報告数が少なかった（図79）。青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年（2016年）の定点当たり報告数は図80のとおりであった。

平成28年（2016年）の全国の定点当たり報告数は2.89人/定点で、平成27年（2015年）2.24人/定点に比べてやや多かった。青森県においても、平成28年（2016年）の定点当たり報告数は3.00人/定点で、平成27年（2015年）2.67人/定点に比べてやや多かった（p108表4-3）。

青森県における保健所管内別定点当たり報告状況（2015年～2016年）は図81のとおりであった。保健所管内別では、東地方+青森市保健所管内が最も多く、次いで八戸保健所管内が多かった（p109表5）。

年齢別では、20歳代が多かった（図82-1）。

県内の病原体定点では、5月、7月～11月に水痘帯状疱疹ウイルス、マイコプラズマ、エコーウイルス6型、エコーウイルス18型が検出された（p133表）。

（人/定点）

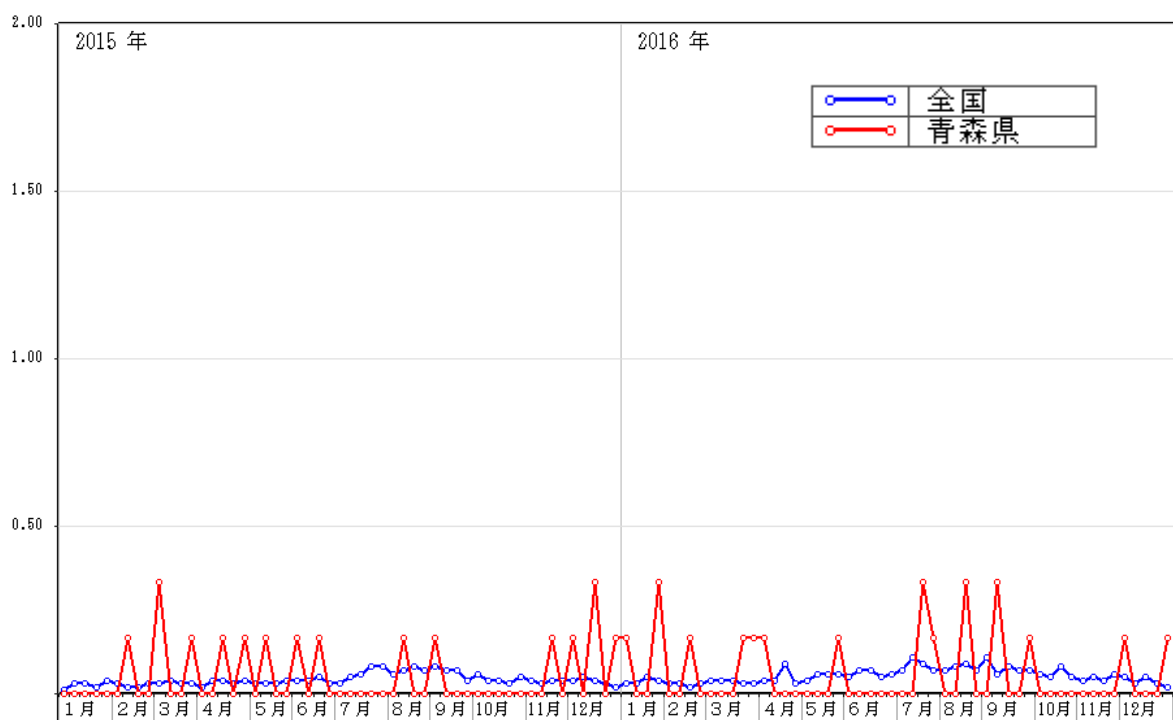


図79 全国及び青森県における定点当たり報告状況（2015年～2016年）

人/定点

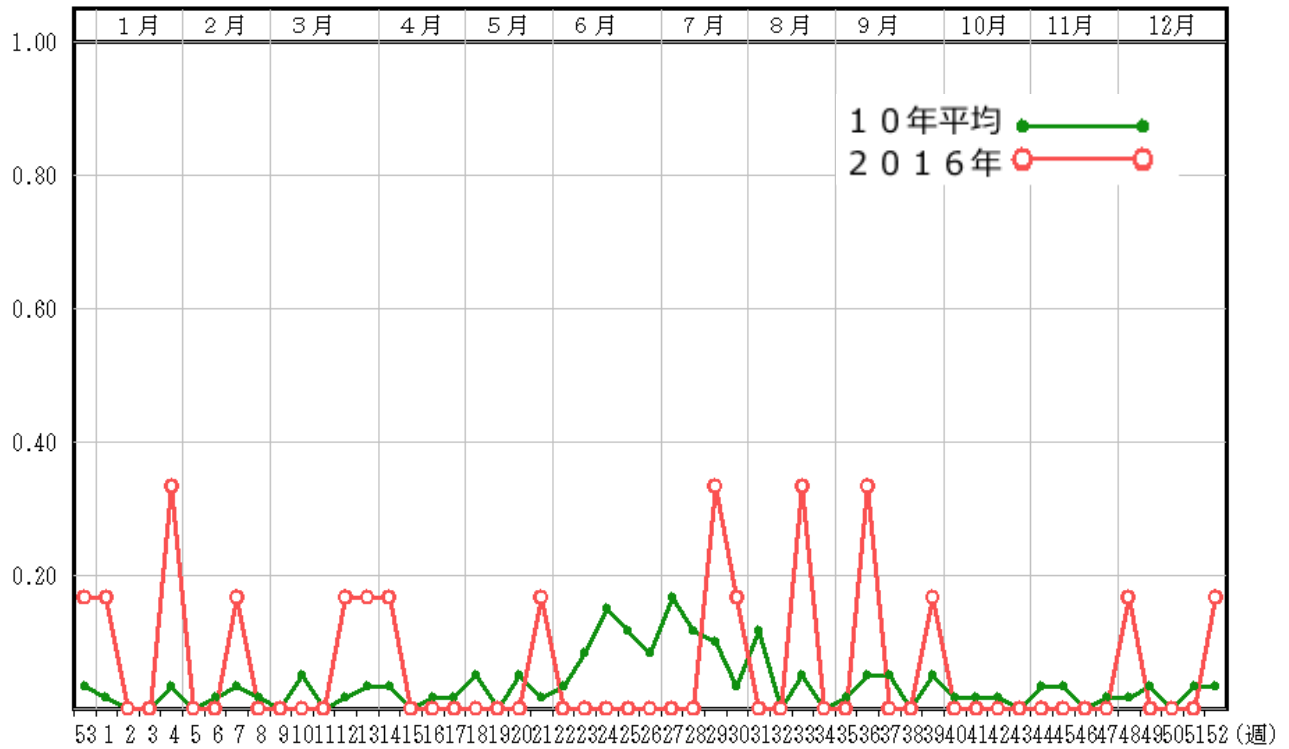


図80 青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年(2016年)の定点当たり報告数

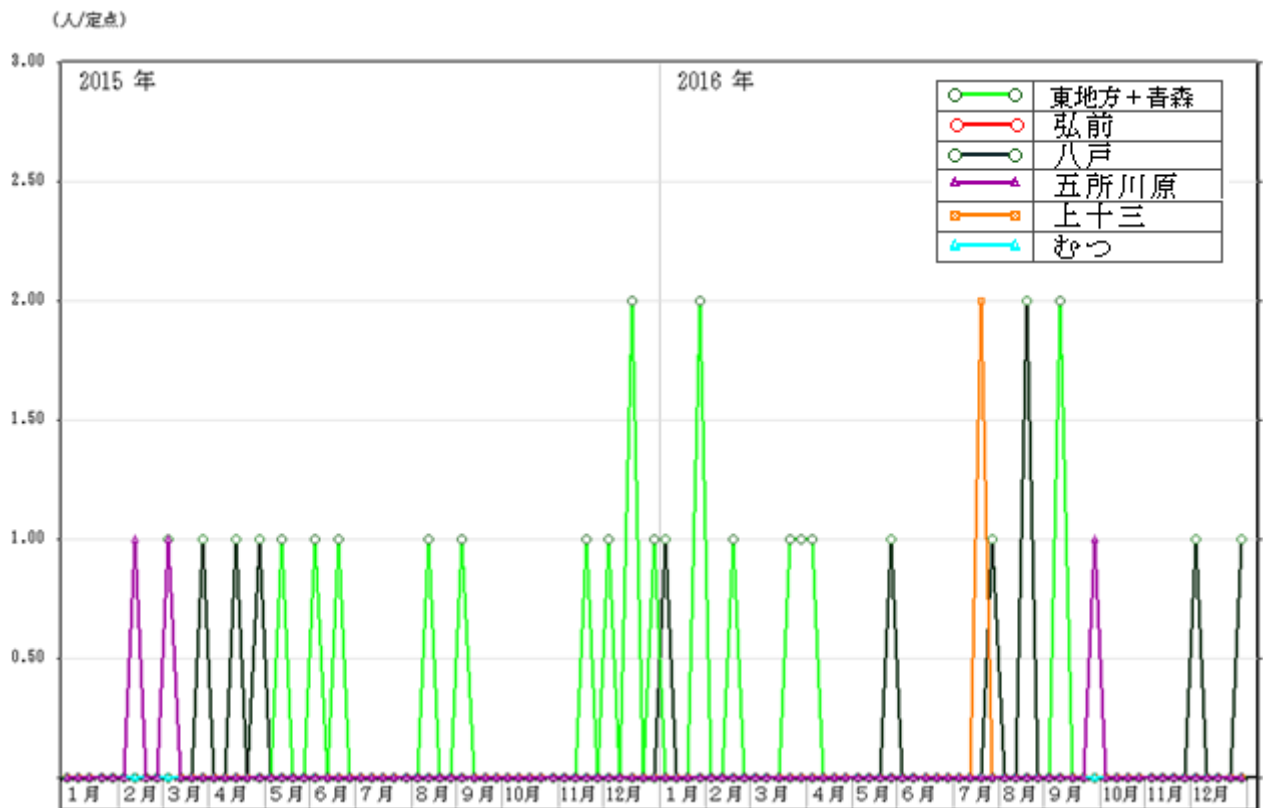


図81 青森県における保健所管内別定点当たり報告状況(2015年～2016年)

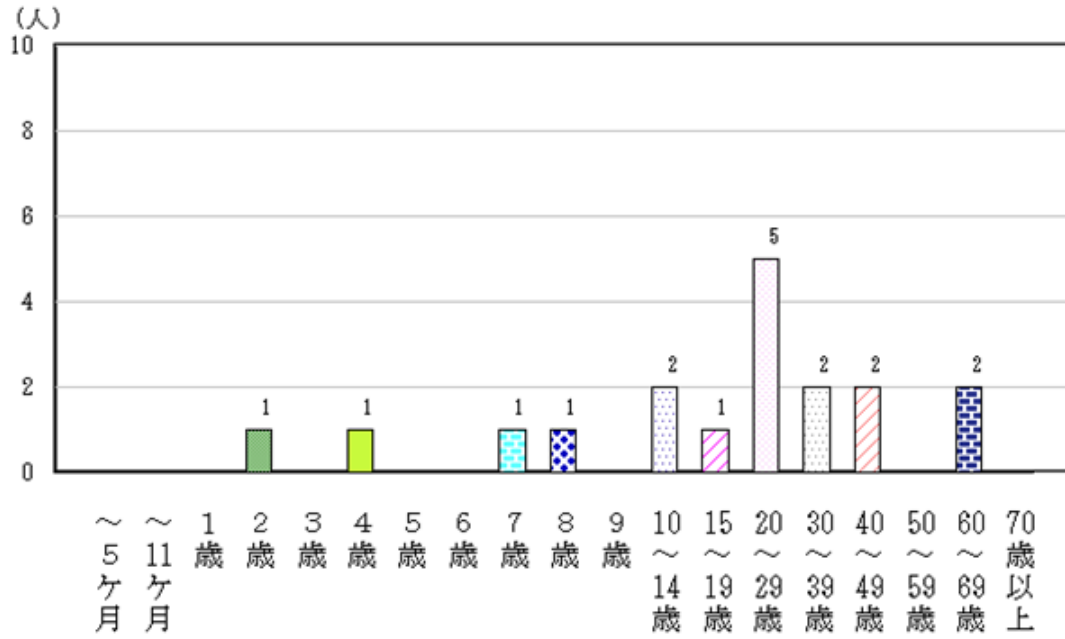


図82-1 青森県における年齢別報告数 平成28年（2016年）（18人）

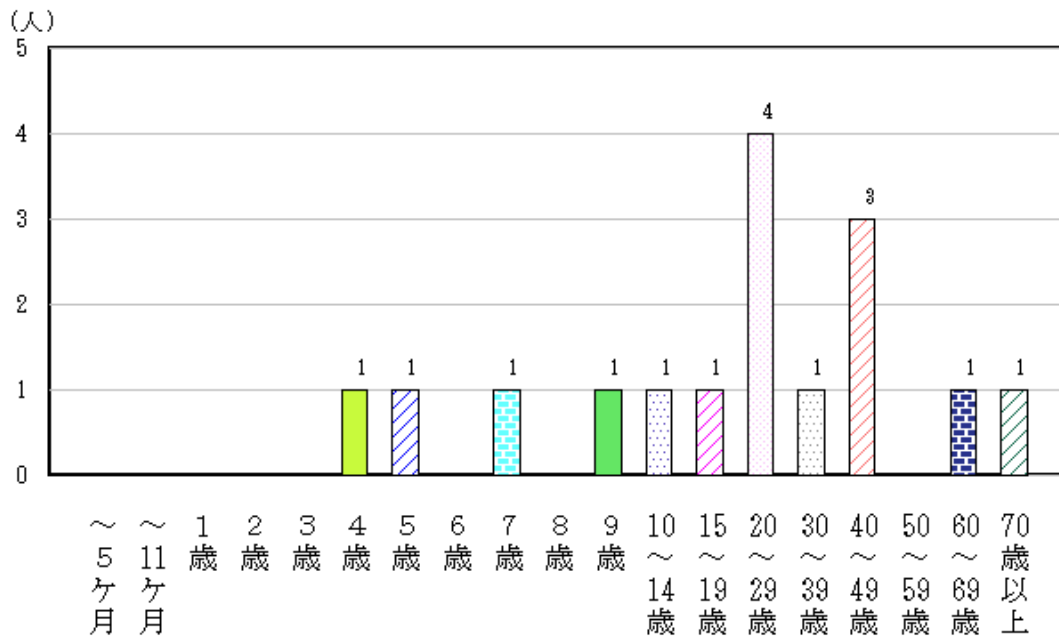


図82-2 青森県における年齢別報告数 平成27年（2015年）（16人）

(17) マイコプラズマ肺炎

平成28年（2016年）の全国の報告状況は、10月にかけて増加した。青森県においても、9月から報告数が増加して10月にピークを形成し、年末にかけて減少した。

（図83）。青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年（2016年）の定点当たり報告数は図84のとおりであった。

全国における定点当たり報告数は平成28年（2016年）41.34人/定点で、平成27年（2015年）21.73人/定点に比べて多かった。青森県においても、平成28年（2016年）54.00人/定点で、平成27年（2015年）37.00人/定点に比べて多かった（p108表4-3）。

青森県における保健所管内別定点当たり報告状況（2015年～2016年）は図85のとおりであった。保健所管内別定点当たり報告数は、むつ保健所管内が最も多く、次いで八戸保健所管内が多かった（p109表5）。

年齢別では、10～14歳が多かった（図86-1）。

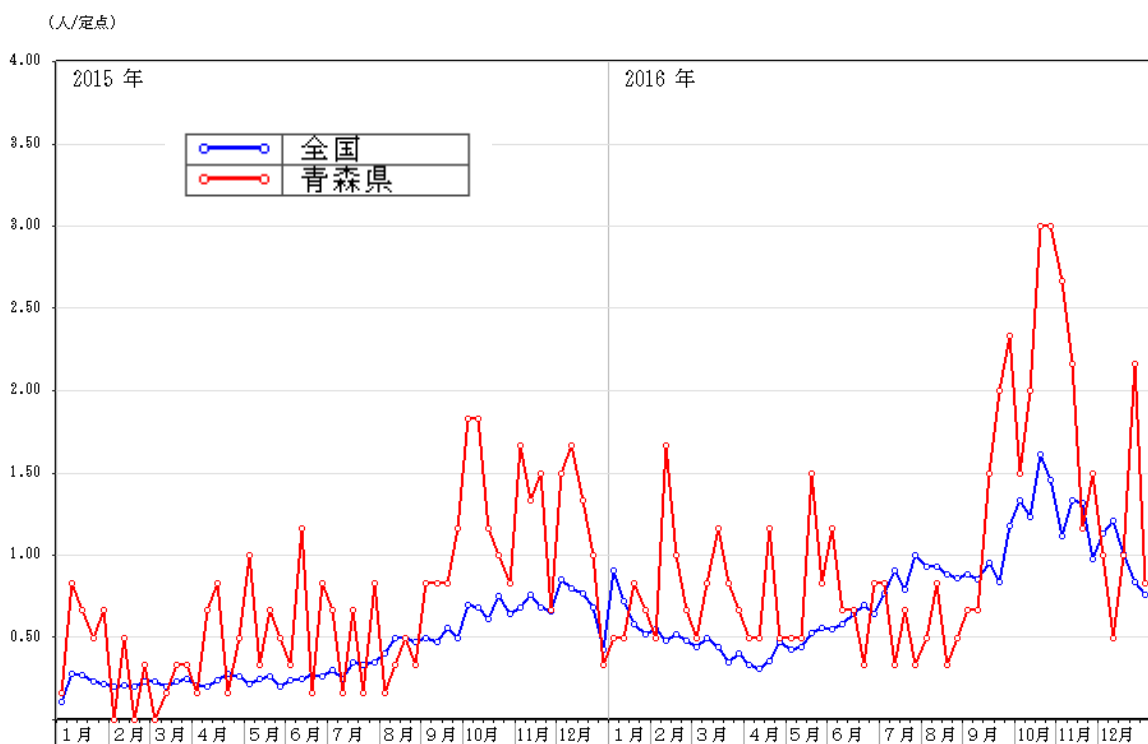


図83 全国及び青森県における定点当たり報告状況（2015年～2016年）

人/定点

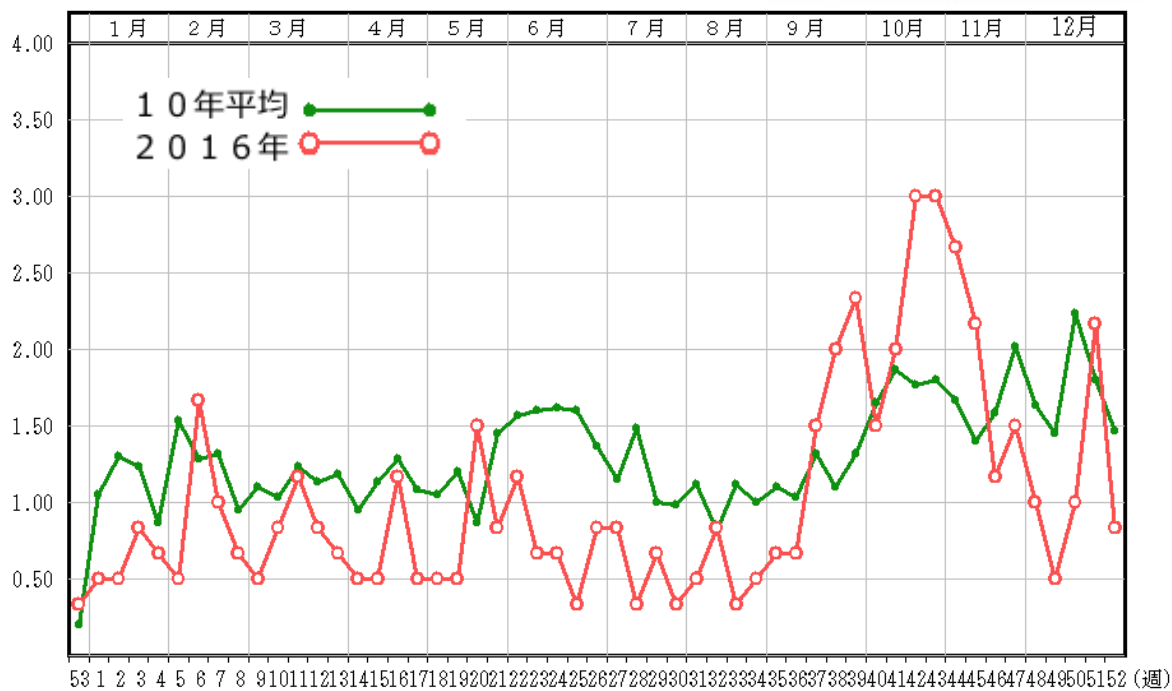


図 84 青森県の過去 10 年間の定点当たり報告数の平均及び平成 28 年（2016 年）の定点当たり報告数

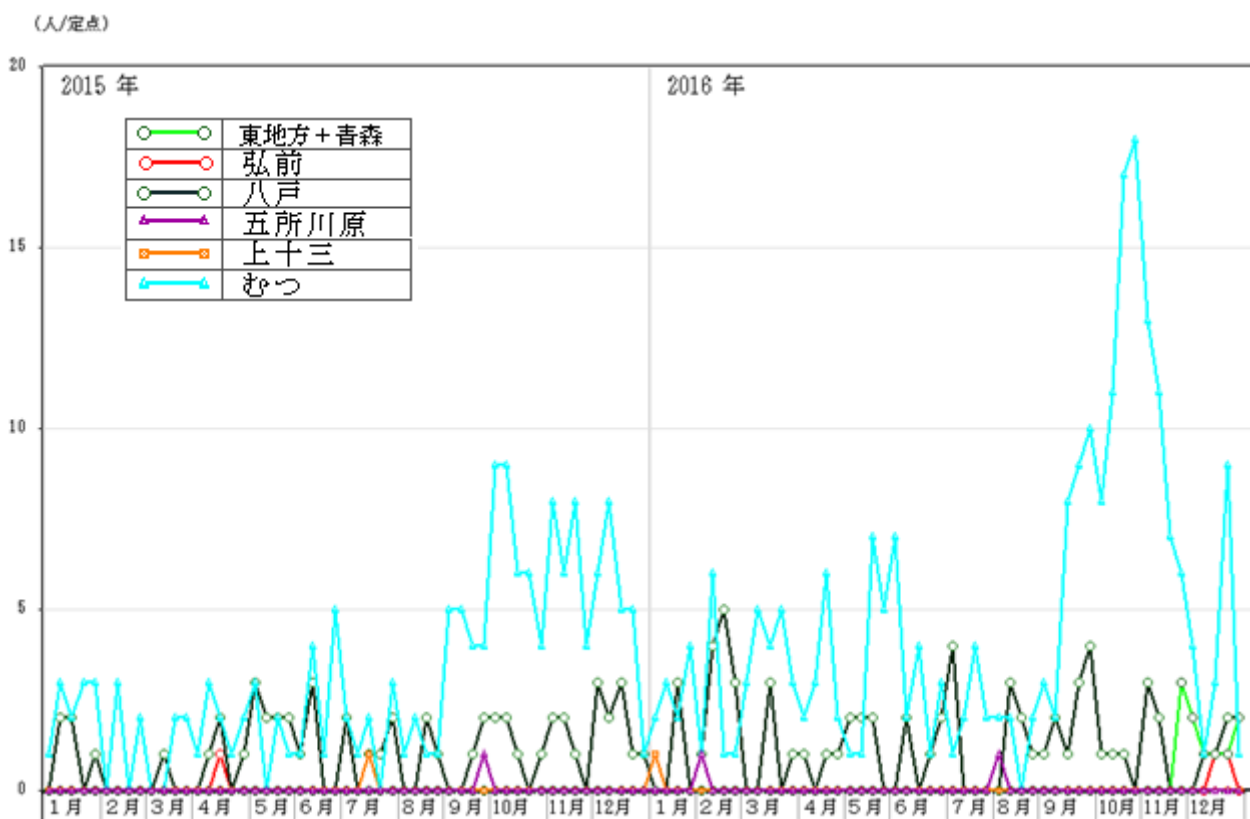


図 85 青森県における保健所管内別定点当たり報告状況(2015年～2016年)

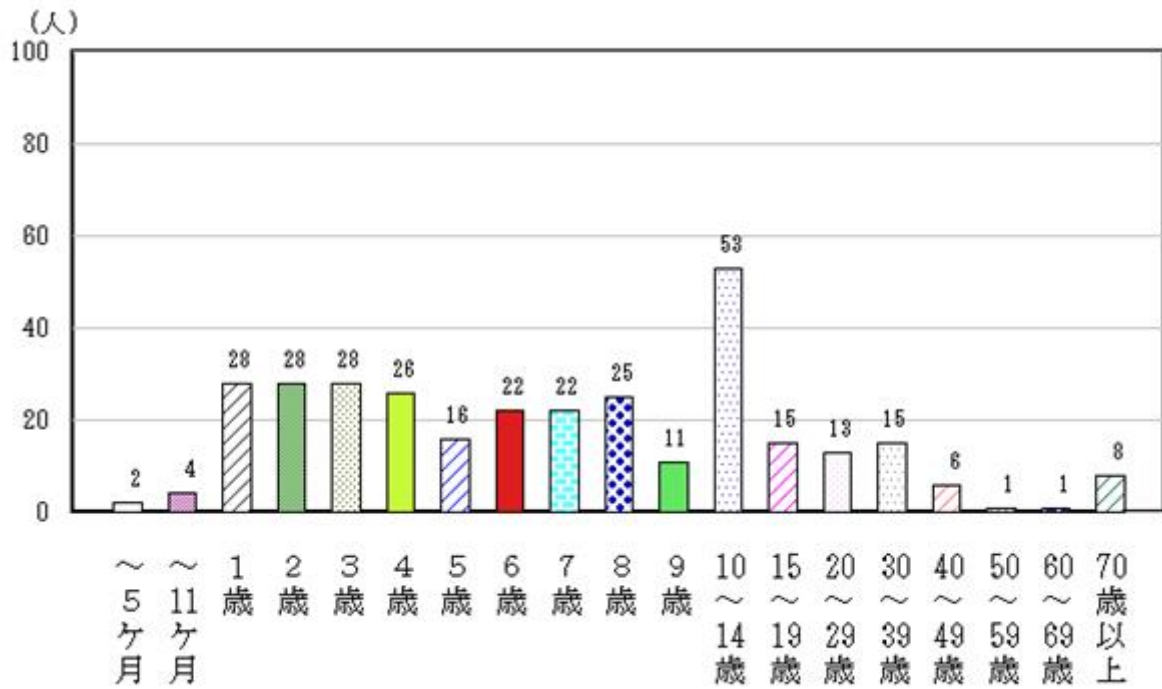


図86-1 青森県における年齢別報告数 平成28年（2016年）（324人）

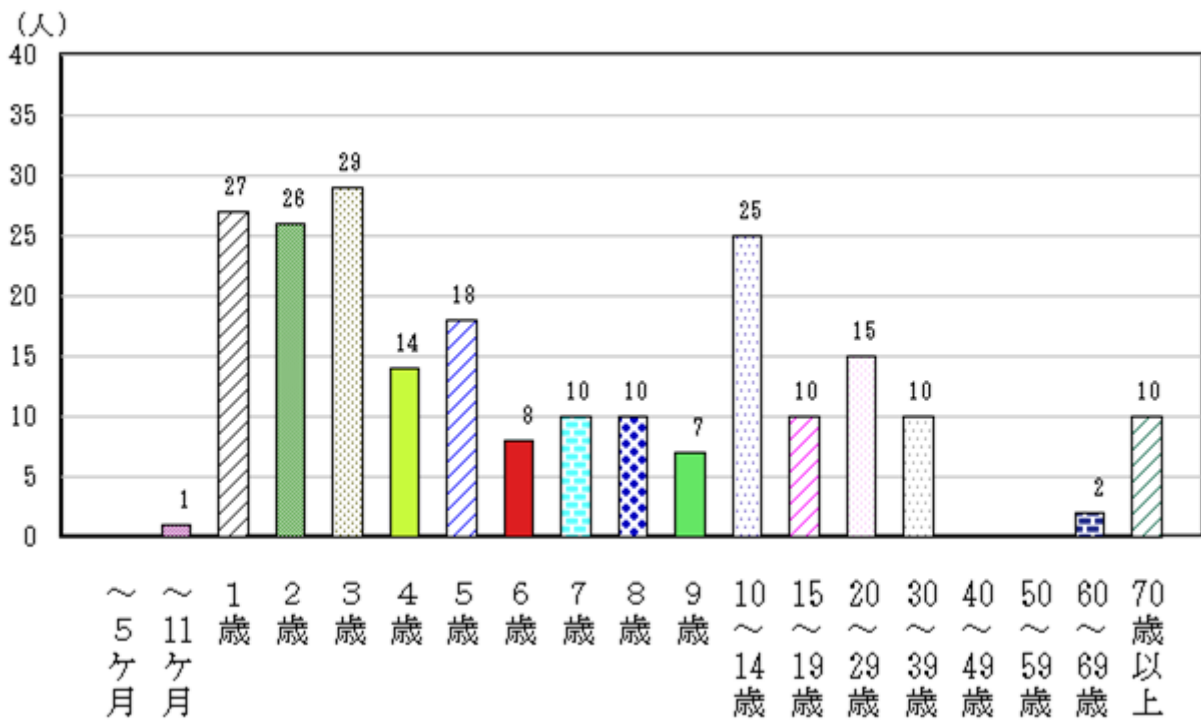


図86-2 青森県における年齢別報告数 平成27年（2015年）（222人）

(18) クラミジア肺炎

平成28年（2016年）の全国の報告数は、平成27年（2015年）と同様に少なく、平成28年（2016年）0.74人/定点で、平成27年（2015年）0.86人/定点に比べてやや少なかった（図87、p108表4-3）。

平成28年（2016年）の青森県は患者報告が無かった（p125表9-4）。

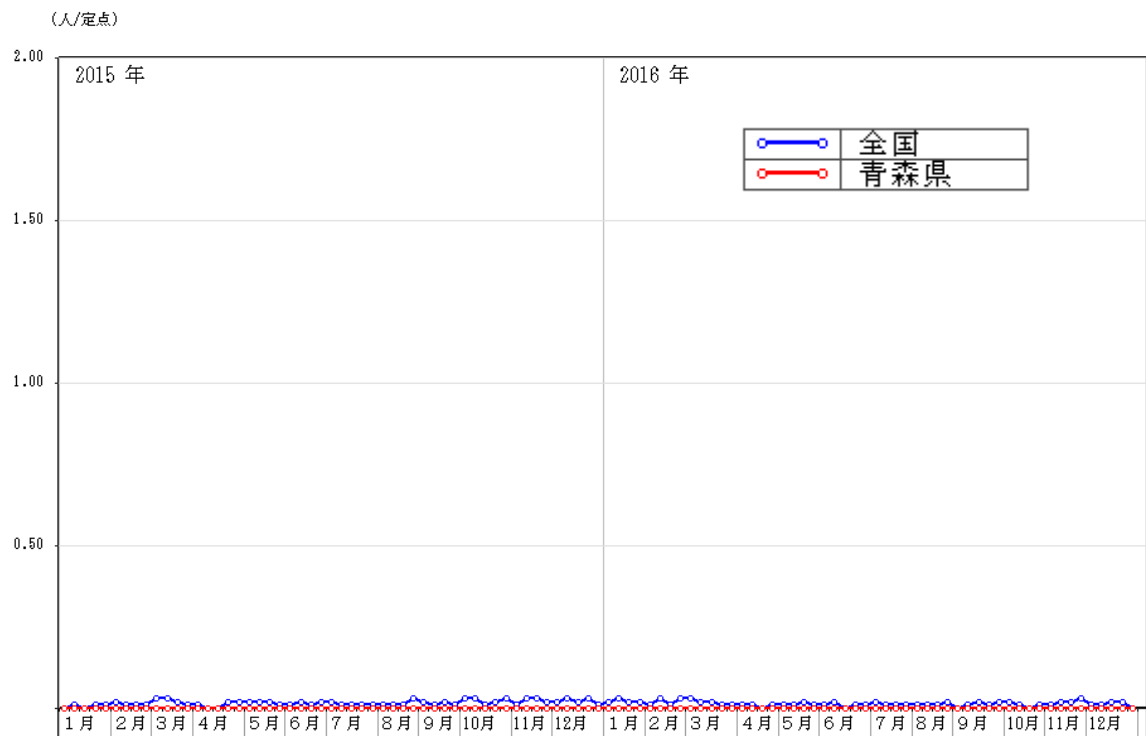


図87 全国及び青森県における定点当たり報告状況（2015年～2016年）

(19) 感染性胃腸炎（ロタウイルス）

平成28年（2016年）の全国の報告数は4月にかけて増加し、その後減少した。青森県においては、1月から6月まで増減を繰り返しながら推移した（図88）。

全国における平成28年（2016年）の定点当たり報告数は、11.04人/定点で、平成27年（2015年）9.12人/定点に比べてやや多かった。青森県においては、平成28年（2016年）18.83人/定点で、平成27年（2015年）20.17人/定点と同程度であった（p108表4-3）。

青森県における保健所管内別定点当たり報告状況（2015年～2016年）は図89のとおりであった。保健所管内別定点当たり報告数は、むつ保健所管内が最も多く、次いで五所川原保健所管内が多かった（p109表5）。

年齢別報告数は、6歳以下の年齢層が多く、6歳以下の割合は全体の91.2%であった（図90-1）。

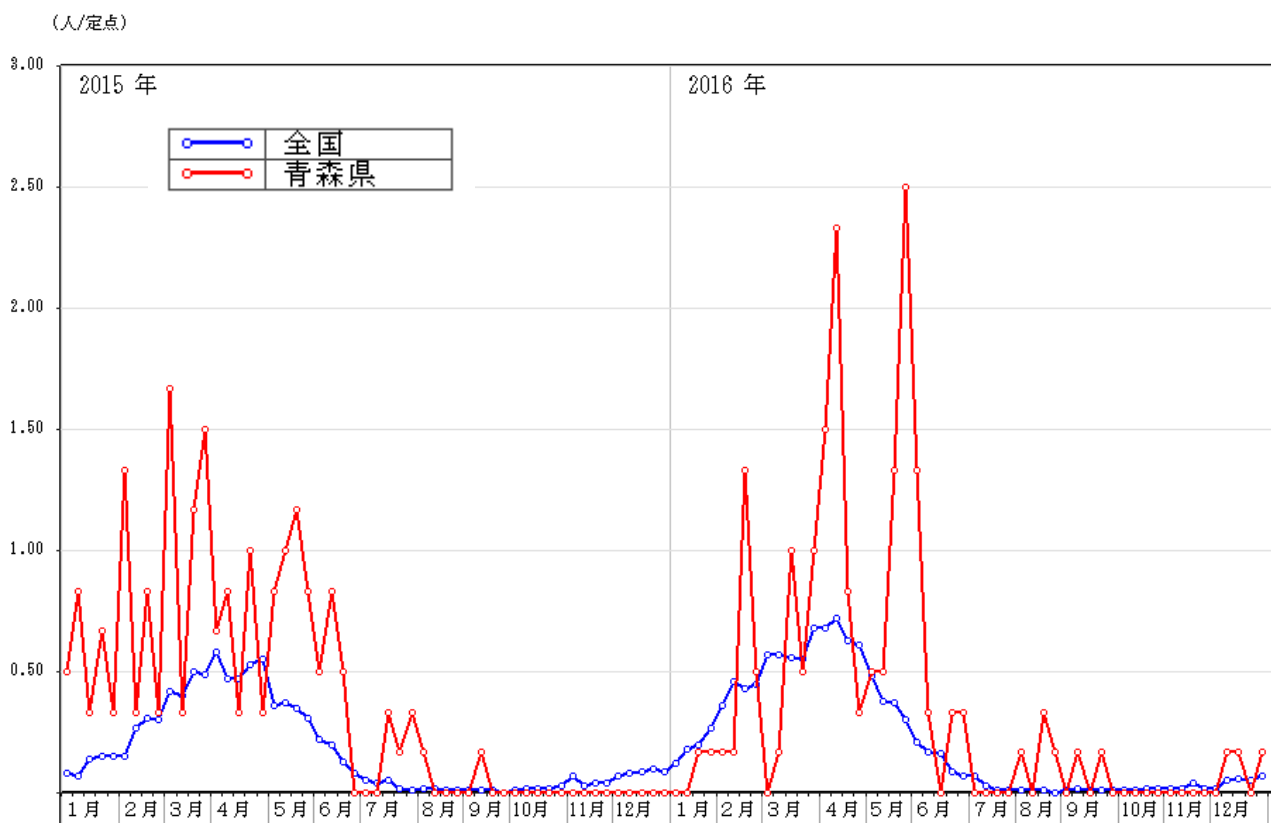


図88 全国及び青森県における定点当たり報告状況（2015年～2016年）

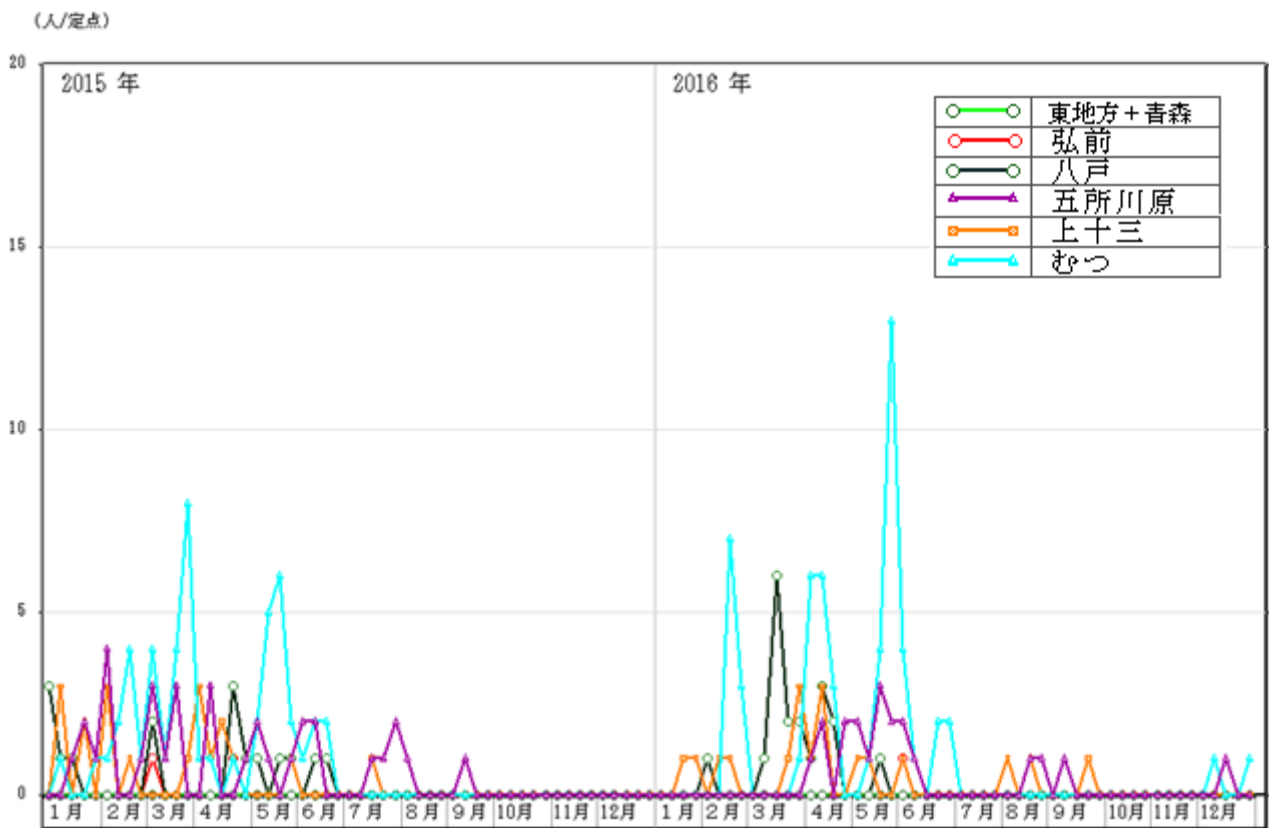


図89 青森県における保健所管内別定点当たり報告状況(2015年～2016年)

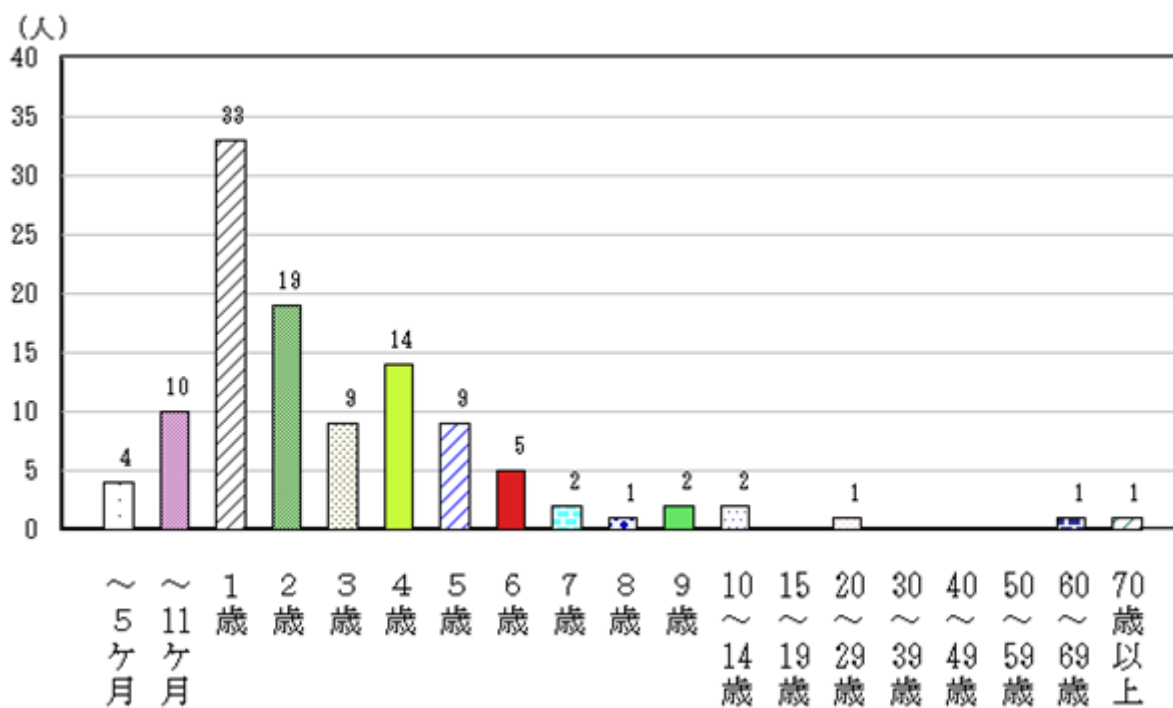


図90-1 青森県における年齢別報告数 平成28年（2016年）（113人）

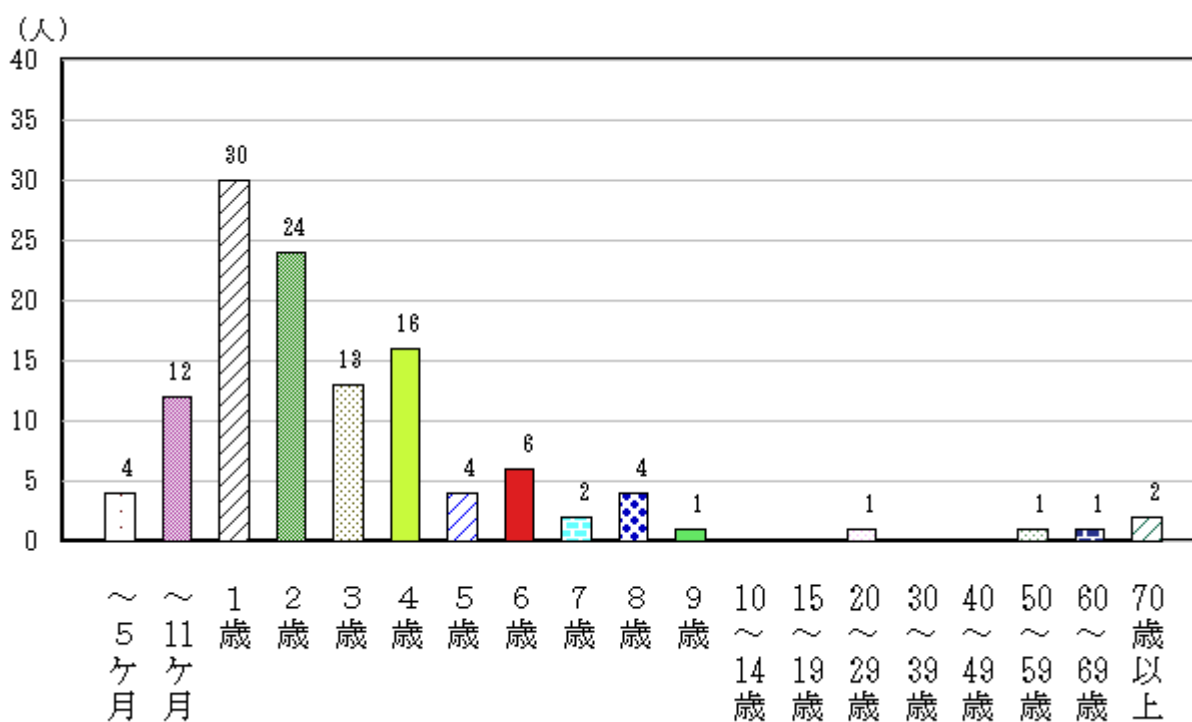


図90-2 青森県における年齢別報告数 平成27年（2015年）（121人）

3 五類定点把握対象感染症(月単位報告)

〈性感染症定点把握対象疾患〉

(1) 性器クラミジア感染症

平成28年(2016年)の全国における報告状況は、平成27年(2015年)と同様に月間の変動が少なく、青森県においては、多少変動が見られたものの全国と概ね同様の傾向であった(図91)。青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年(2016年)の定点当たり報告数は図92のとおりであった。

全国における定点当たり報告数は、平成28年(2016年)24.77人/定点で、平成27年(2015年)24.66人/定点と同程度であった。青森県においては、平成28年(2016年)23.08人/定点で、平成27年(2015年)20.62人/定点に比べてやや多かった(p126表10)。

青森県における保健所管内別定点当たり報告数は図93のとおりであり八戸保健所管内が最も多く、次いで上十三保健所管内が多かった(p127表11-1)。

青森県における性別報告数は、女性が多かった(p128表12-1)。

青森県における年齢別報告数は、全体では20~24歳の年齢層が最も多く、男性、女性ともに20~24歳の年齢層が最も多かった(p128表12-1、図94-1、94-2、94-3)。

(人/定点)

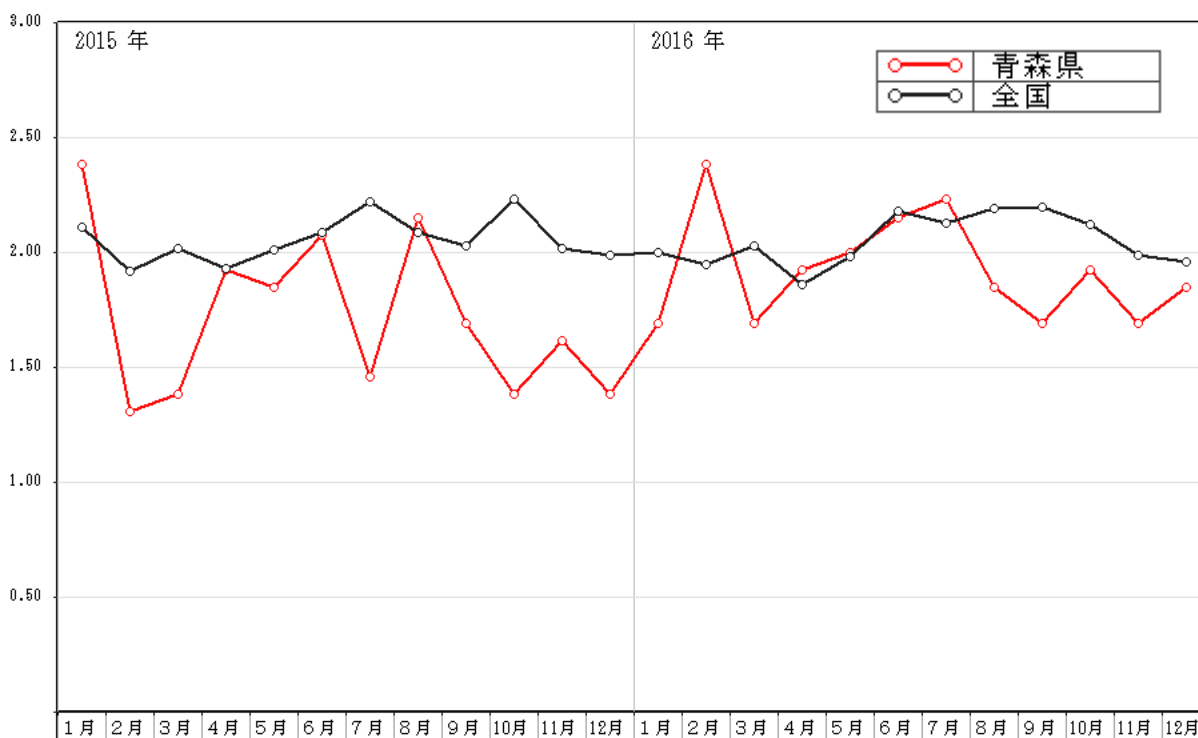


図91 全国及び青森県における定点当たり報告数(2015年~2016年)

人/定点

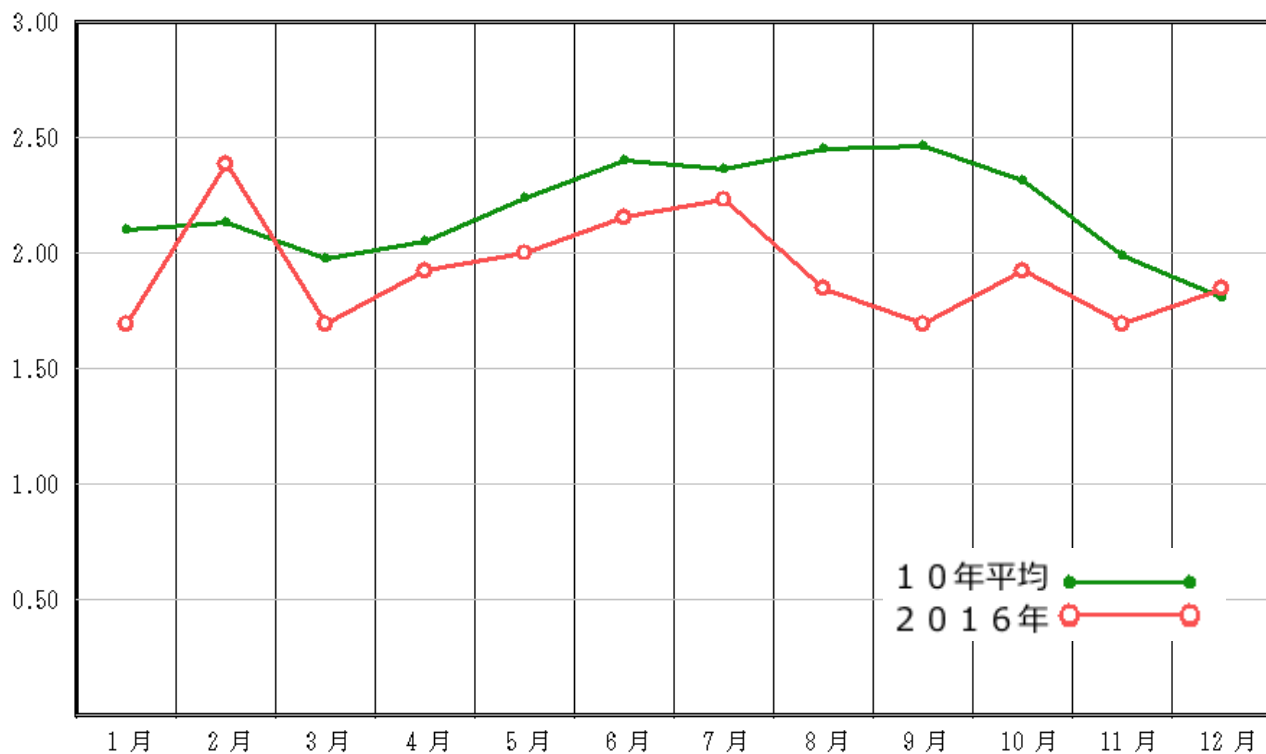


図 92 青森県の過去 10 年間の定点当たり報告数の平均及び平成 28 年 (2016 年) の定点当たり報告数

(人/定点)

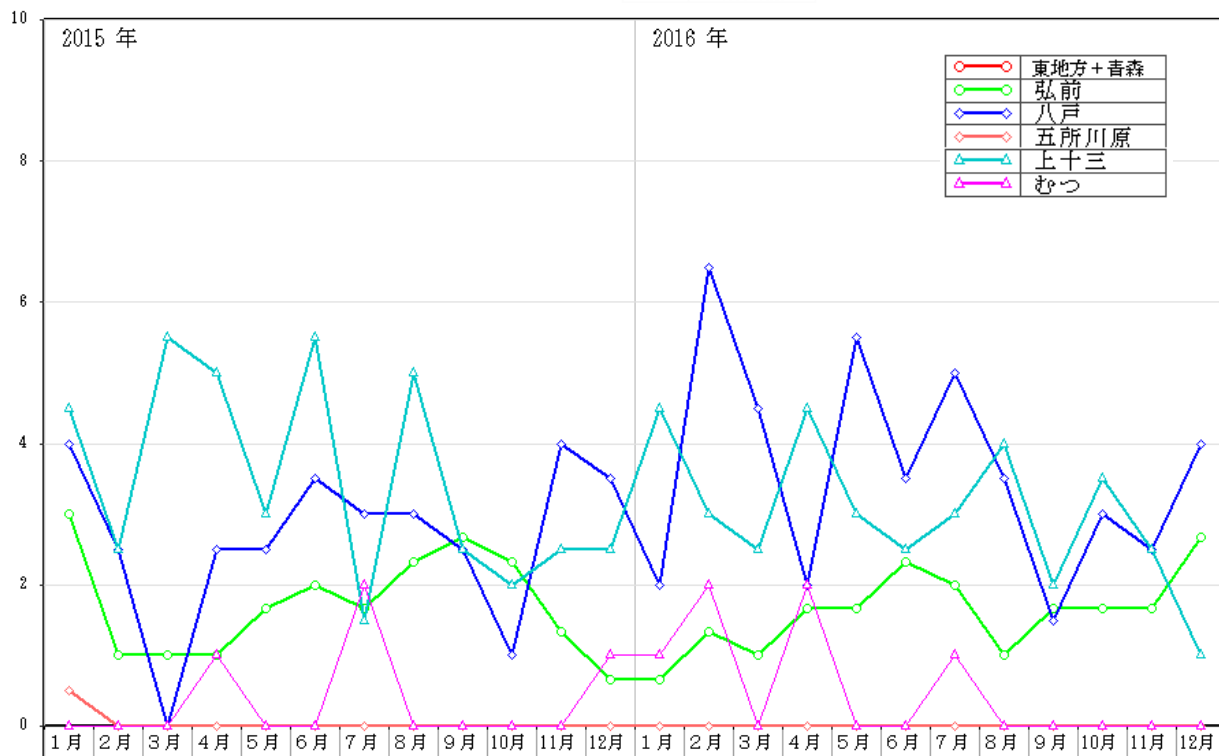


図 93 青森県における保健所管内別定点当たり報告数 (2015 年～2016 年)

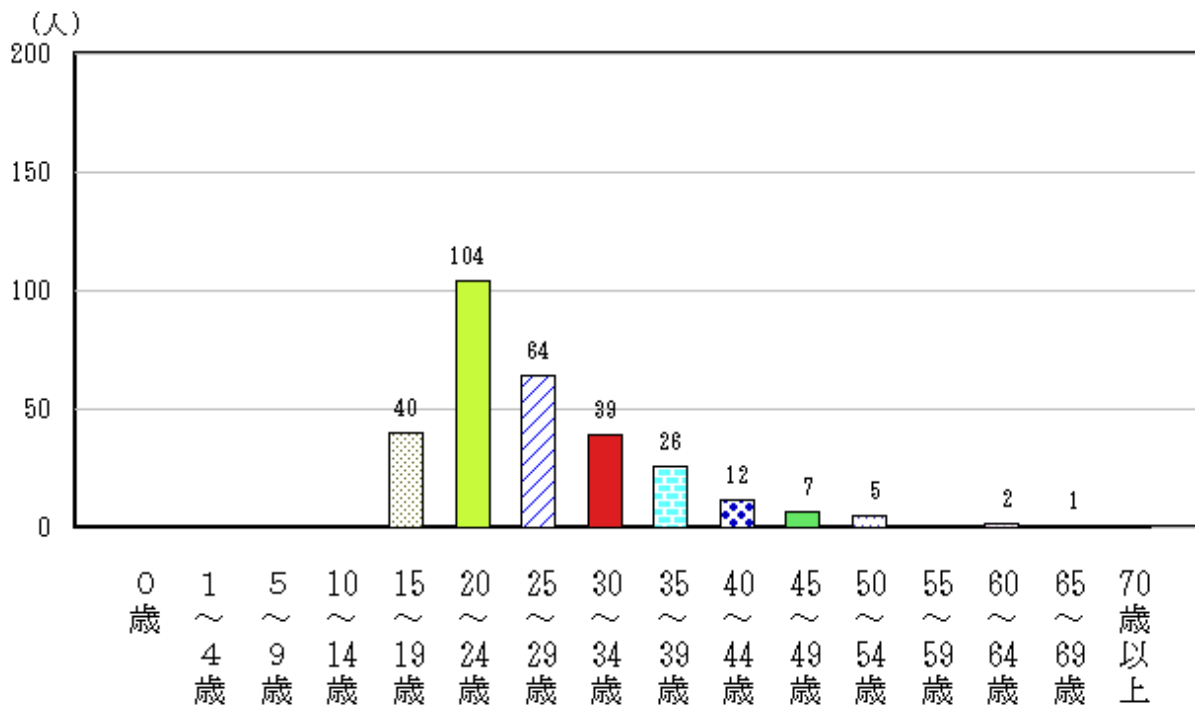


図94-1 青森県における年齢別報告数（総数）平成28年（2016年）（300人）

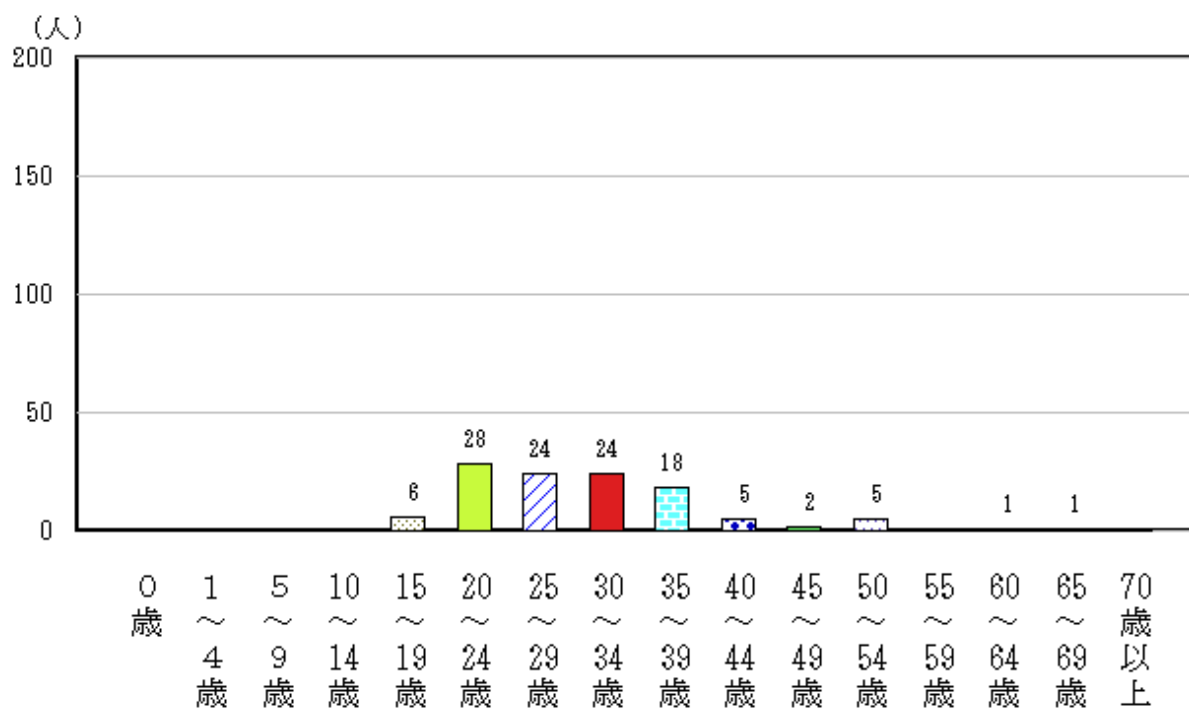


図94-2 青森県における年齢別報告数（男性）平成28年（2016年）（114人）

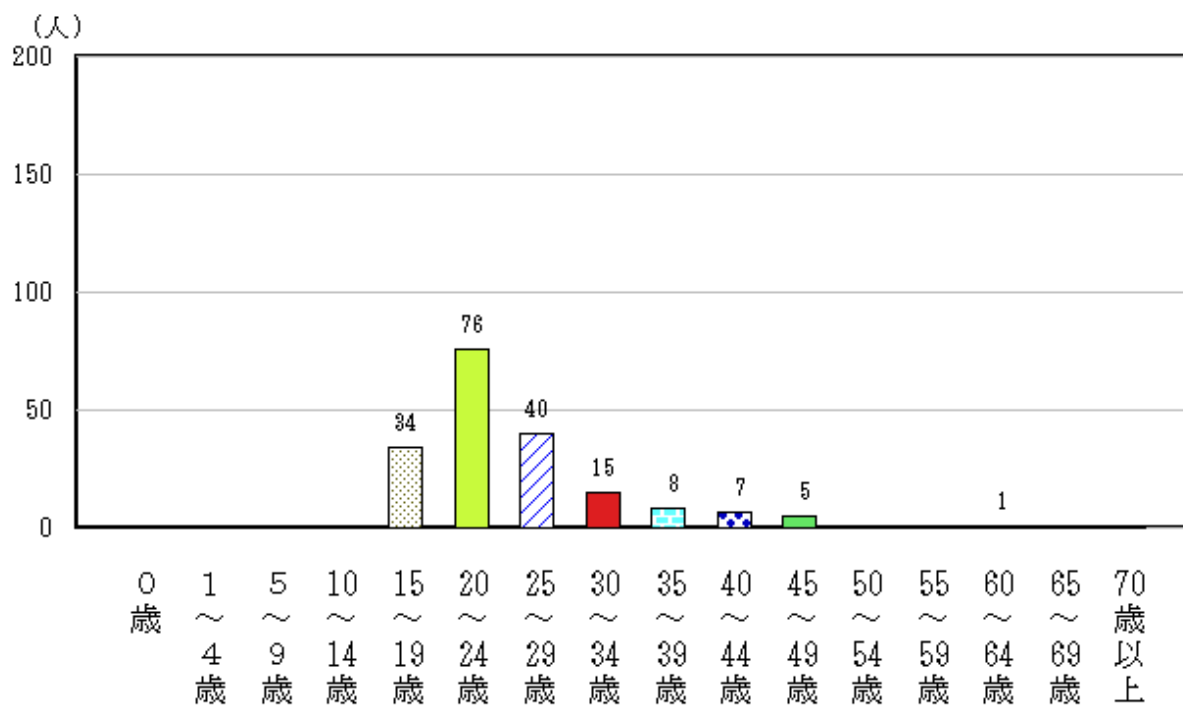


図94-3 青森県における年齢別報告数（女性）平成28年（2016年）（186人）

(2) 性器ヘルペスウイルス感染症

平成28年(2016年)の全国における報告状況は、平成27年(2015年)と同様に月間の変動が少なく、青森県においても全国と概ね同様の傾向であった(図95)。青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年(2016年)の定点当たり報告数は図96のとおりであった。

全国における定点当たり報告数は、平成28年(2016年)9.31人/定点で、平成27年(2015年)9.12人/定点と同程度だった。青森県においても、平成28年(2016年)7.15人/定点で、平成27年(2015年)7.00人/定点と同程度であった(p126表10、p127表11-1、11-2)。

青森県における保健所管内別定点当たり報告数は図97のとおりであり、上十三保健所管内が最も多く、次いで八戸保健所管内が多かった(p127表11-1)。

青森県における性別報告数は、県全体では女性が多かった(p128表12-1)。

青森県における年齢別報告数は、総数では20～39歳の年齢層が多く、男性では20～24歳、女性では25～29歳の年齢層が最も多かった(p128表12-1、図98-1、98-2、98-3)。

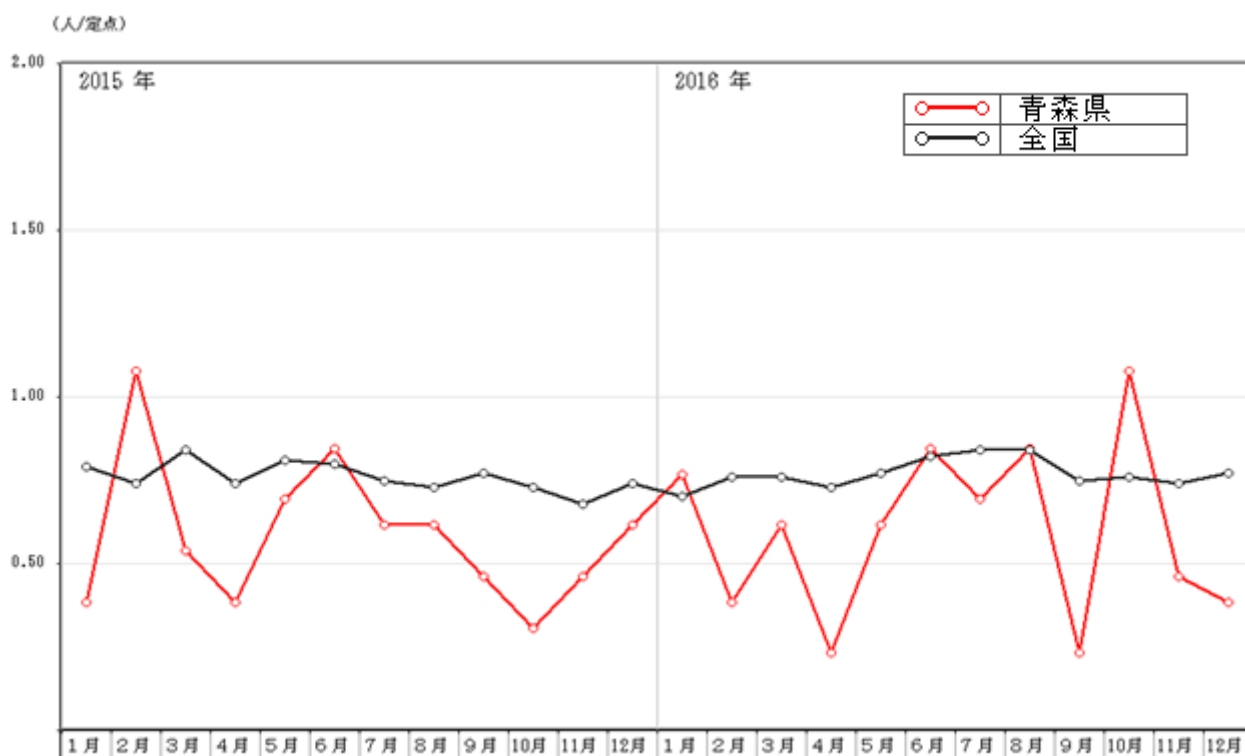


図95 全国及び青森県における定点当たり報告数(2015年～2016年)

人/定点

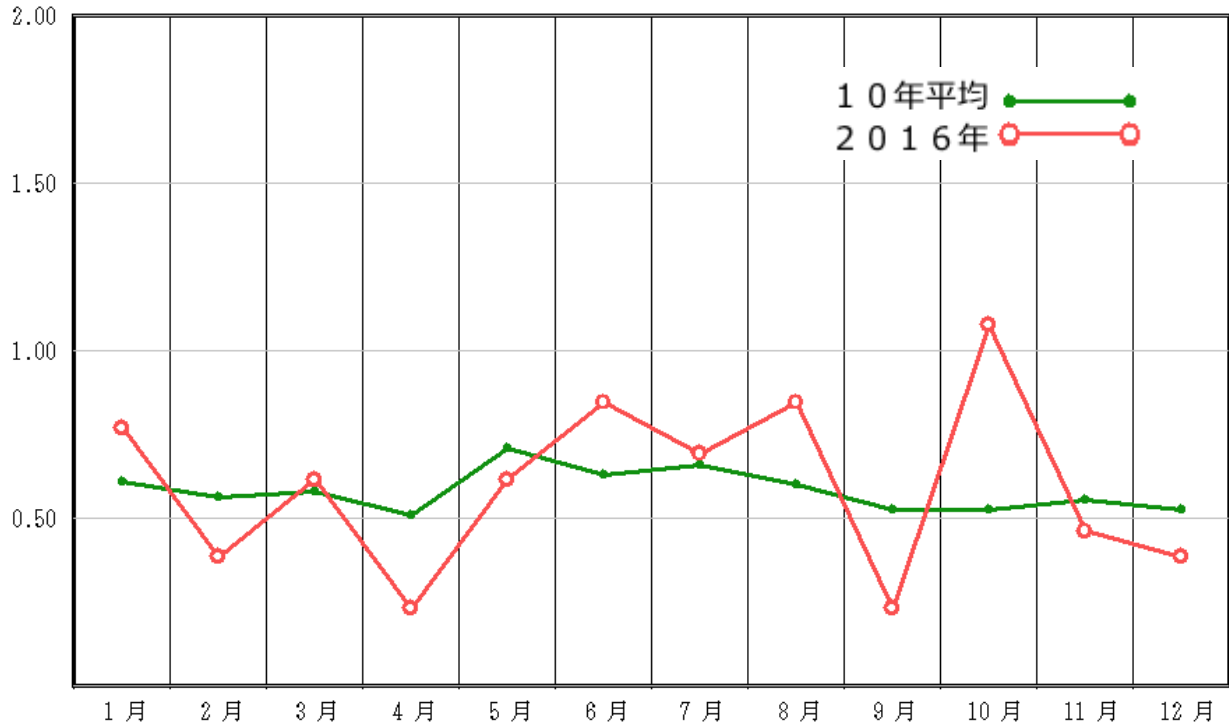


図 96 青森県の過去 10 年間の定点当たり報告数の平均及び平成 28 年（2016 年）の定点当たり報告数

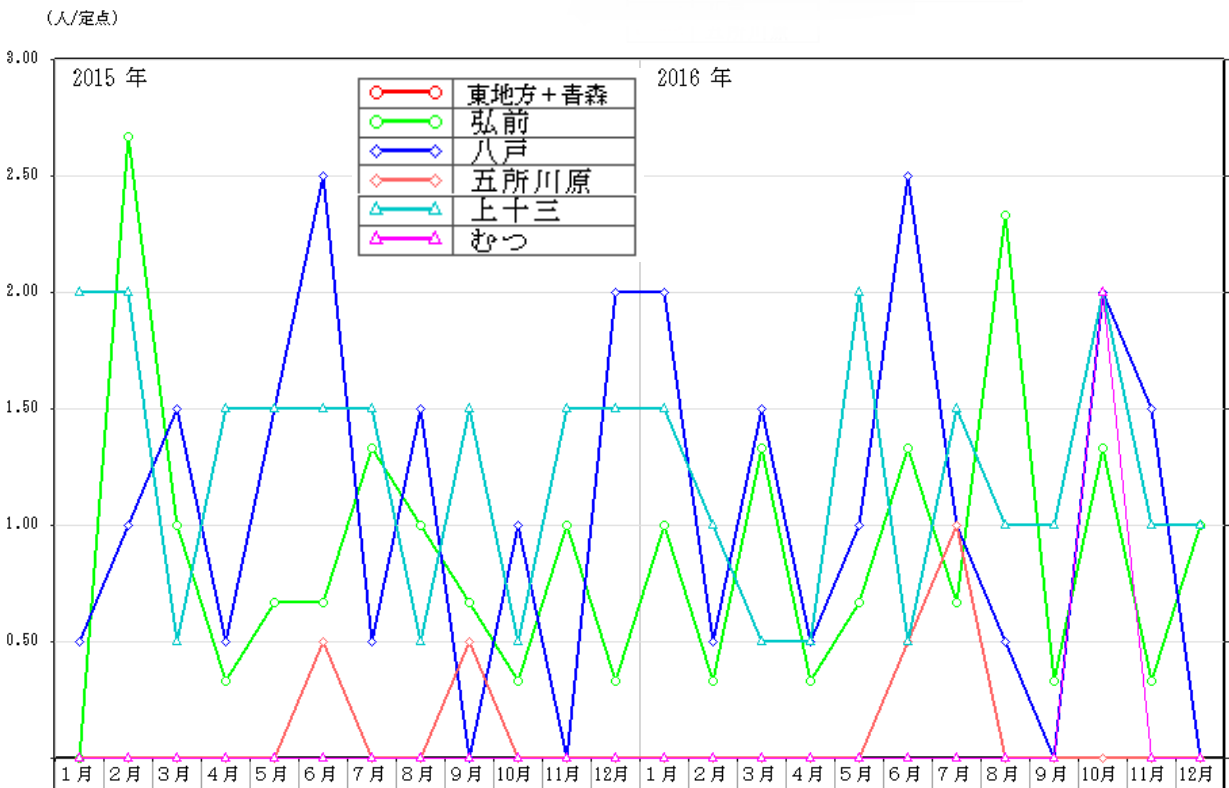


図 97 青森県における保健所管内別定点当たり報告数（2015 年～2016 年）

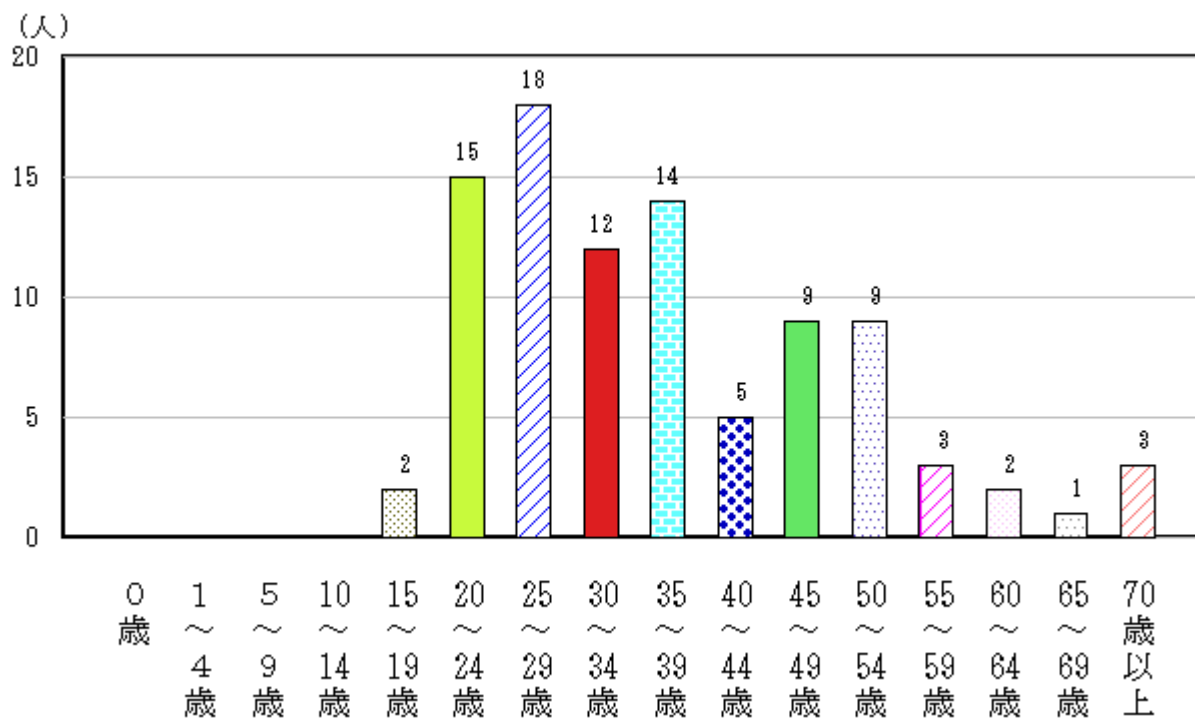


図98-1 青森県における年齢別報告数（総数）平成28年（2016年）（93人）

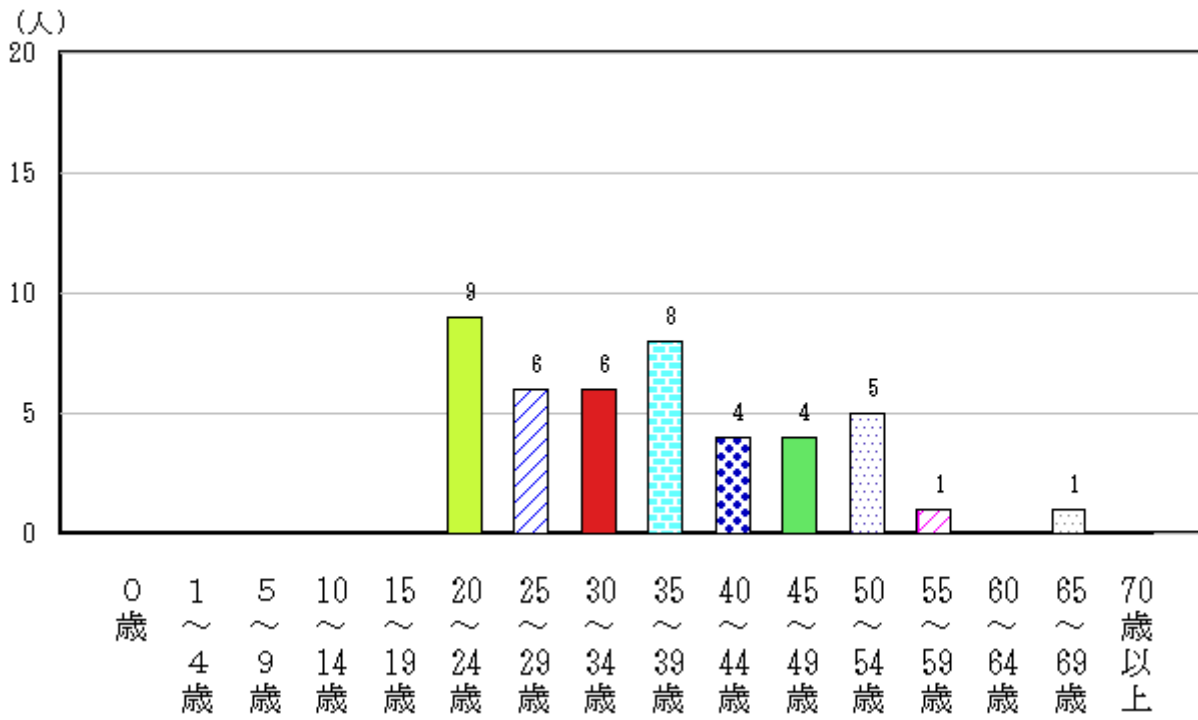


図98-2 青森県における年齢別報告数（男性）平成28年（2016年）（44人）

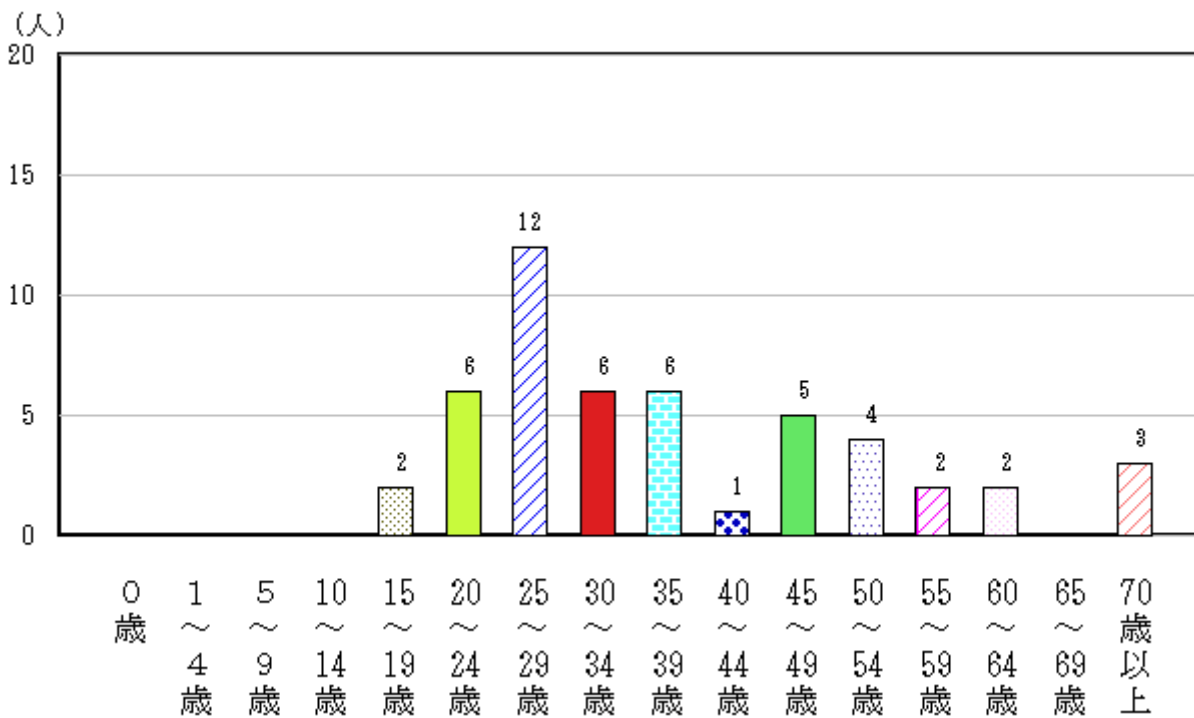


図98-3 青森県における年齢別報告数（女性）平成28年(2016年)（49人）

(3) 尖圭コンジローマ

平成28年（2016年）の全国における報告状況は、平成27年（2015年）と同様に月間の変動が少なく、青森県においても全国と概ね同様の傾向であった（図99）。青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年（2016年）の定点当たり報告数は図100のとおりであった。

全国における定点当たり報告数は、平成28年（2016年）5.82人/定点で、平成27年（2015年）5.89人/定点と同程度であった。青森県においては、平成28年（2016年）3.85人/定点で、平成27年（2015年）4.85人/定点に比べてやや少なかった（p126表10、p127表11-1、11-2）。

青森県における保健所別定点当たり報告数は図101のとおりであり、八戸保健所管内が最も多く、次いで上十三保健所管内が多かった（p127表11-1）。

青森県における性別報告数は、男性が多かった（p127表11-1、p128表12-1）。

青森県における年齢別報告数は、総数及び女性では25～34歳の年齢層が多く、男性では30～34歳の年齢層が最も多かった（p128表12-1、図102-1、102-2、102-3）。

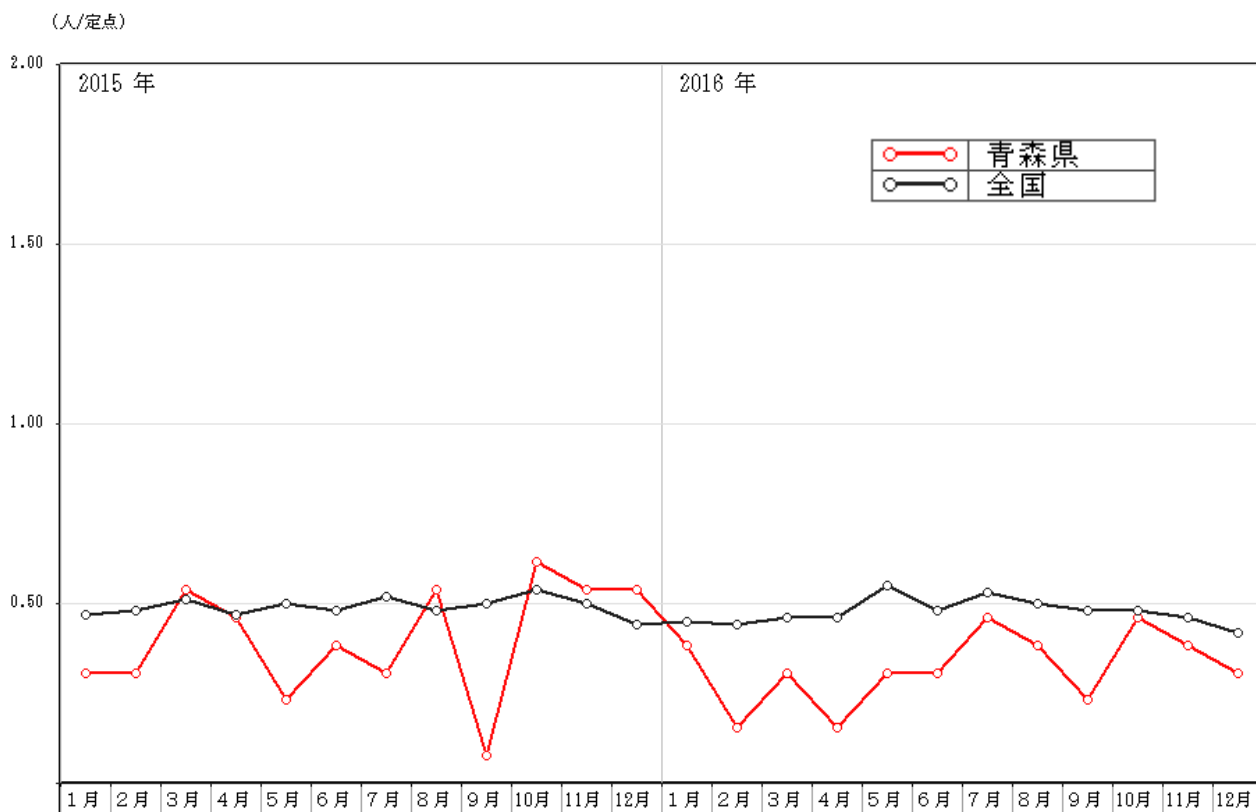


図99 全国及び青森県における定点当たり報告数（2015年～2016年）

人/定点

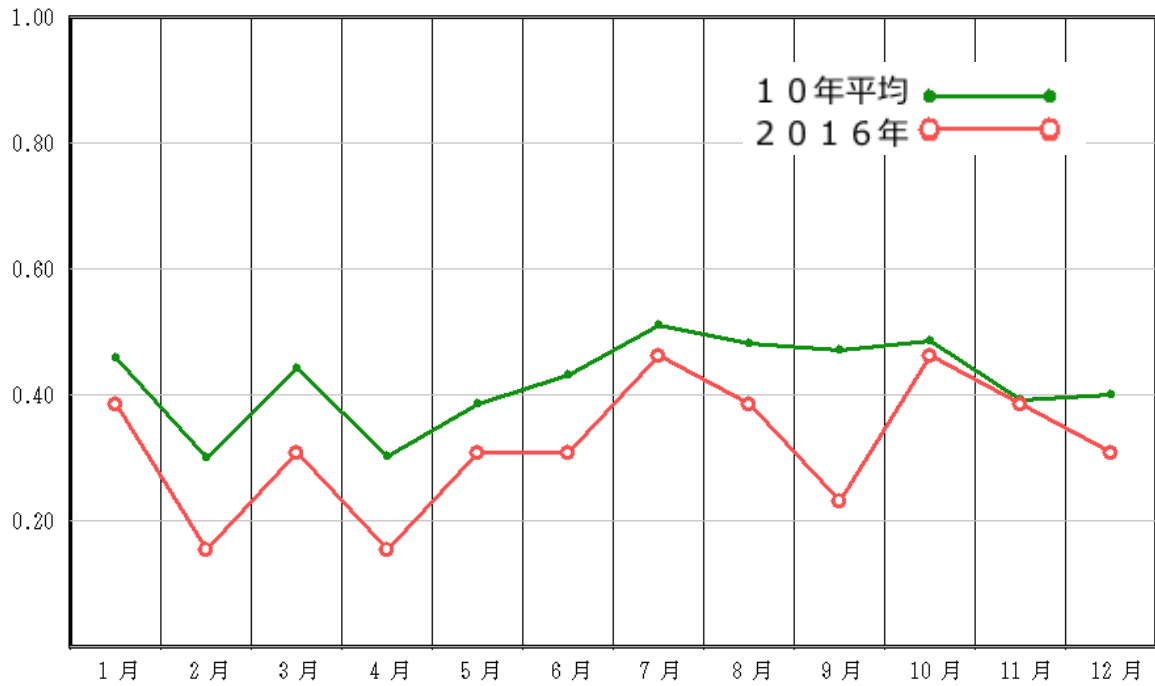


図100 青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年(2016年)の定点当たり報告数

(人/定点)

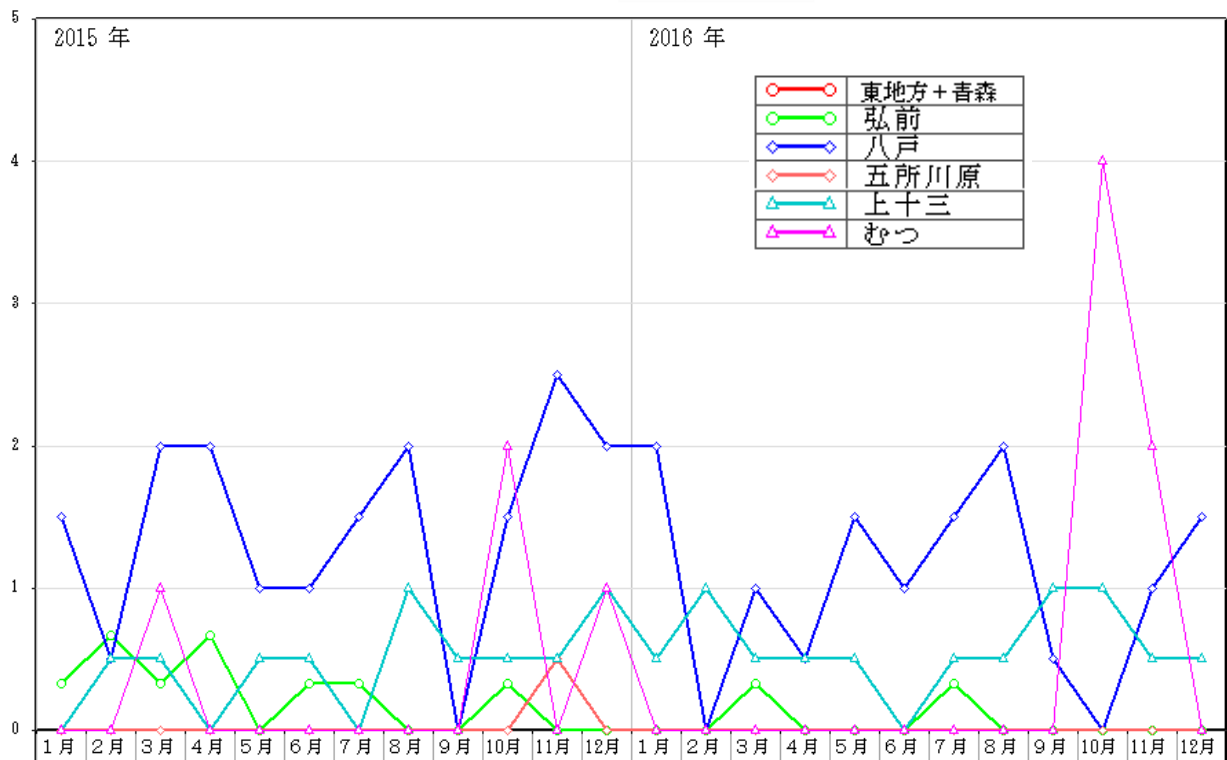


図101 青森県における保健所管内別定点当たり報告数(2015年~2016年)

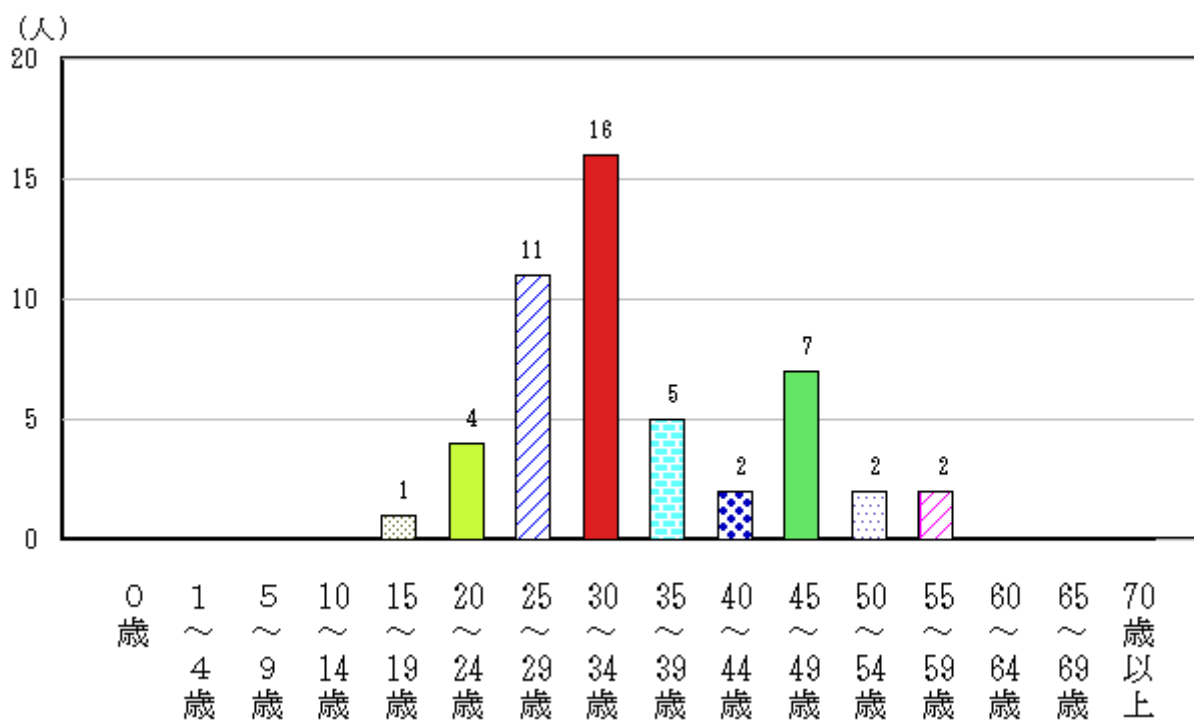


図 102-1 青森県における年齢別報告数（総数）平成 28 年（2016 年）（50 人）

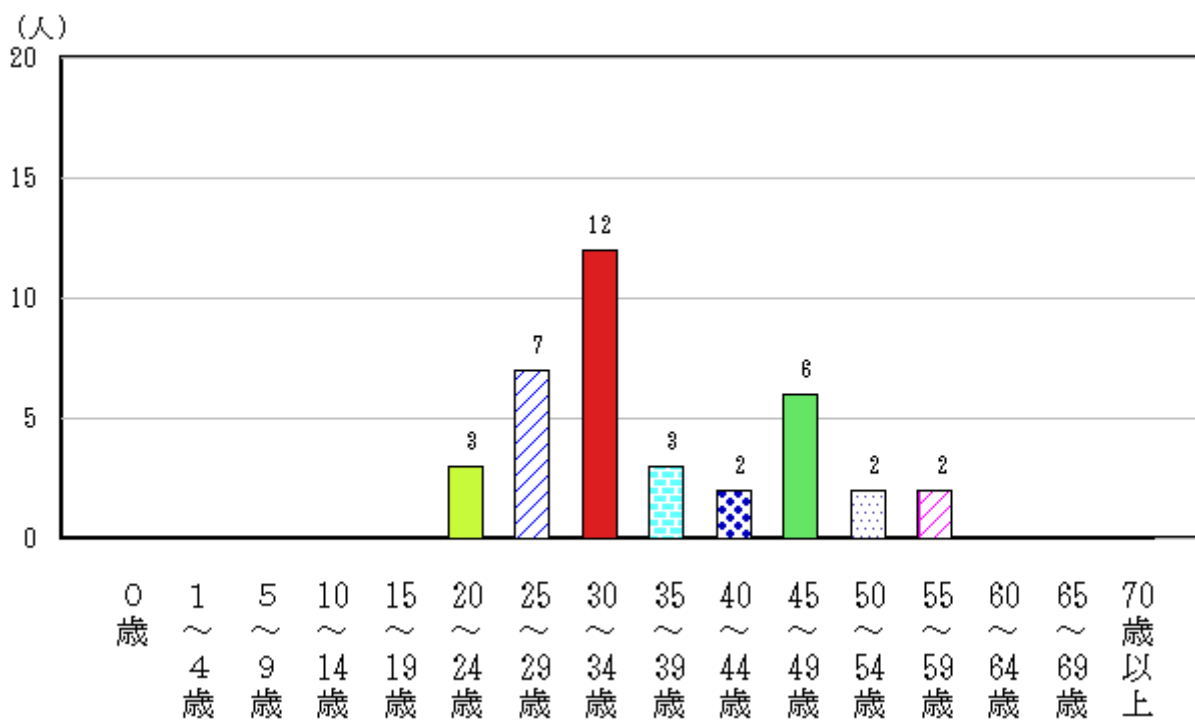


図102-2 青森県における年齢別報告数（男性）平成28年（2016年）（37人）

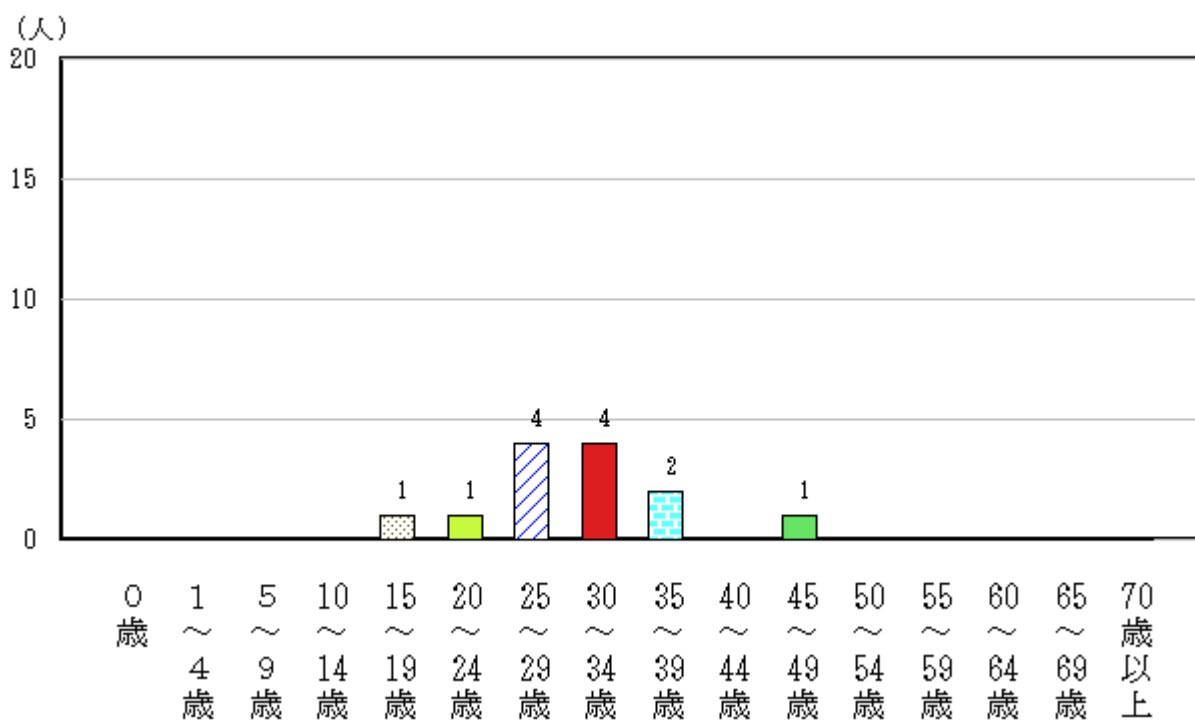


図102-3 青森県における年齢別報告数（女性）平成28年（2016年）（13人）

(4) 淋菌感染症

平成28年（2016年）の全国における報告状況は、平成27年（2015年）と同様に月間の変動が少なかった。青森県においては、月間の報告数は増減を繰り返し、全国に比べて少なかった（図103）。青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年（2016年）の定点当たり報告数は図104のとおりであった。

全国における定点当たり報告数は、平成28年（2016年）8.42人/定点で、平成27年（2015年）8.84人/定点と同程度だった。青森県においても、平成28年（2016年）2.85人/定点で、平成27年（2015年）2.92人/定点と同程度だった（p126表10、p127表11-1、11-2）。

青森県における保健所別定点当たり報告数は図105のとおりであり、八戸保健所管内が最も多く、次いで東地方+青森市保健所管内が多かった（p127表11-1）。

青森県における性別報告数は、男性が多かった（p127表11-1、p128表12-1）。

青森県における年齢別報告数は、総数、男性、女性ともに20～24歳の年齢層が最も多かった（p128表12-1、図106-1、106-2、106-3）。

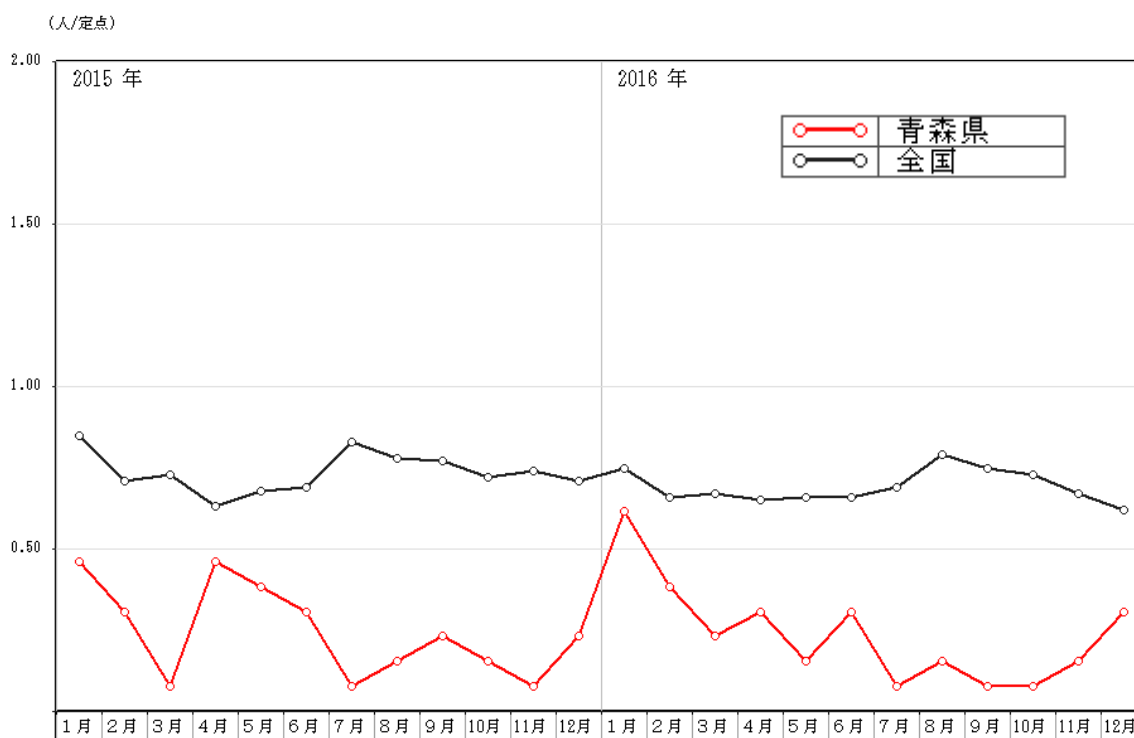


図103 全国及び青森県における定点当たり報告数（2015年～2016年）

人/定点

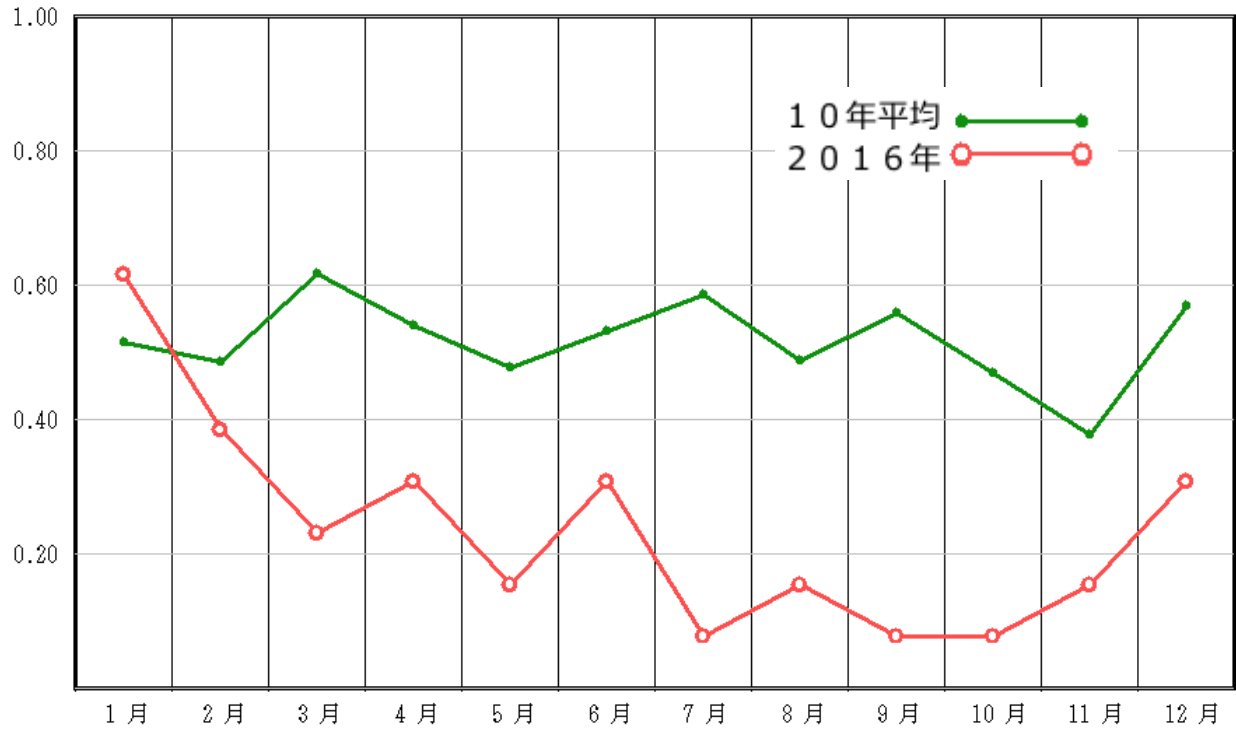


図104 青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年(2016年)の定点当たり報告数

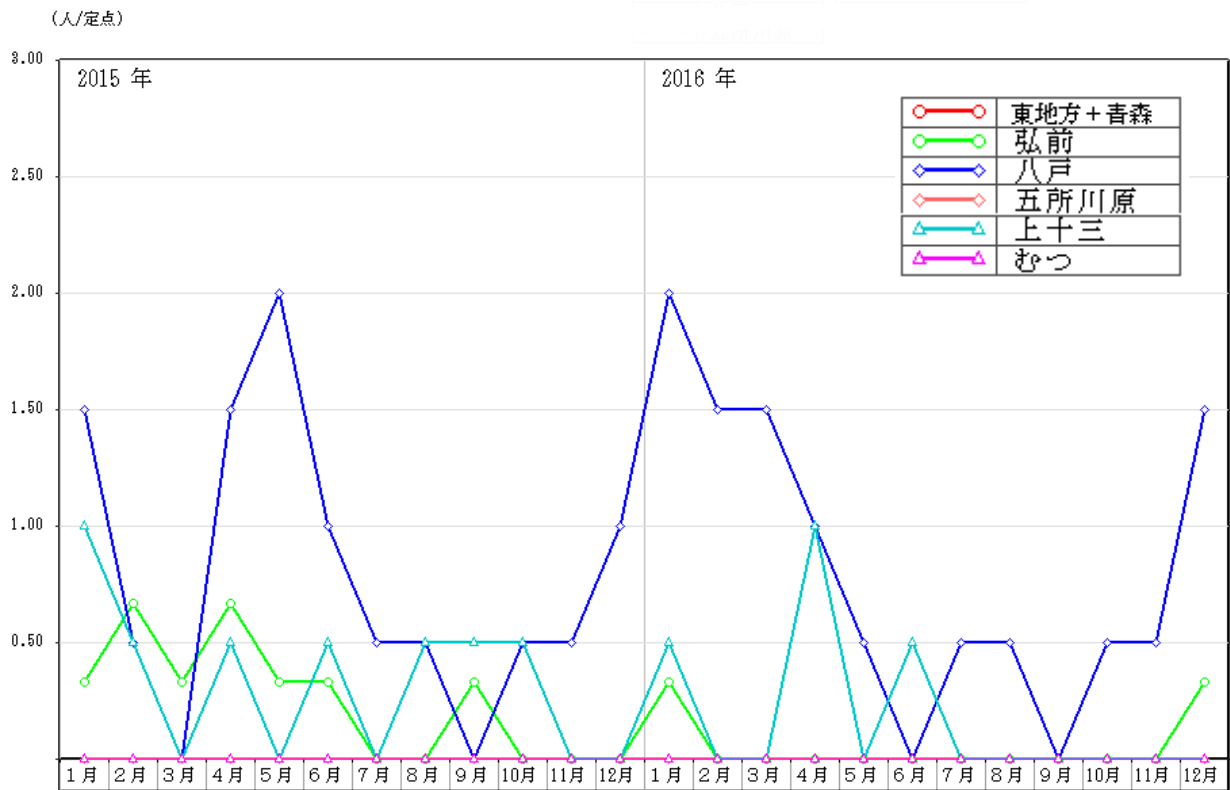


図105 青森県における保健所管内別定点当たり報告数 (2015年～2016年)

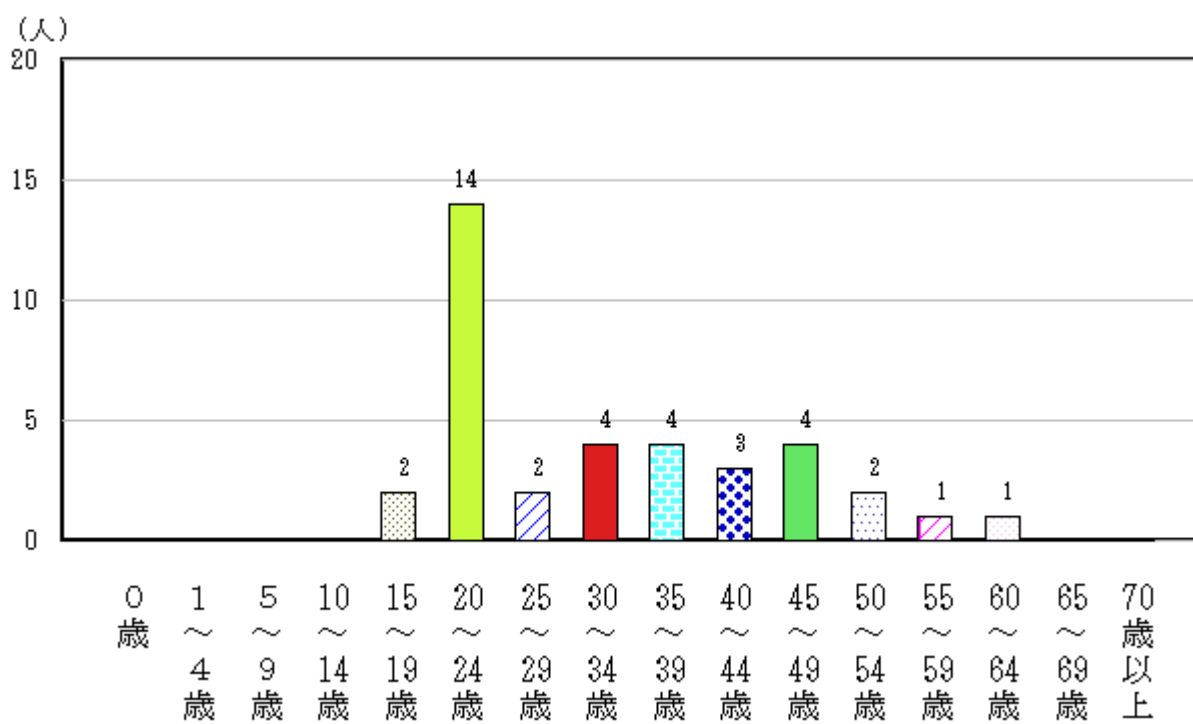


図106-1 青森県における年齢別報告数（総数）平成28年（2016年）（37人）

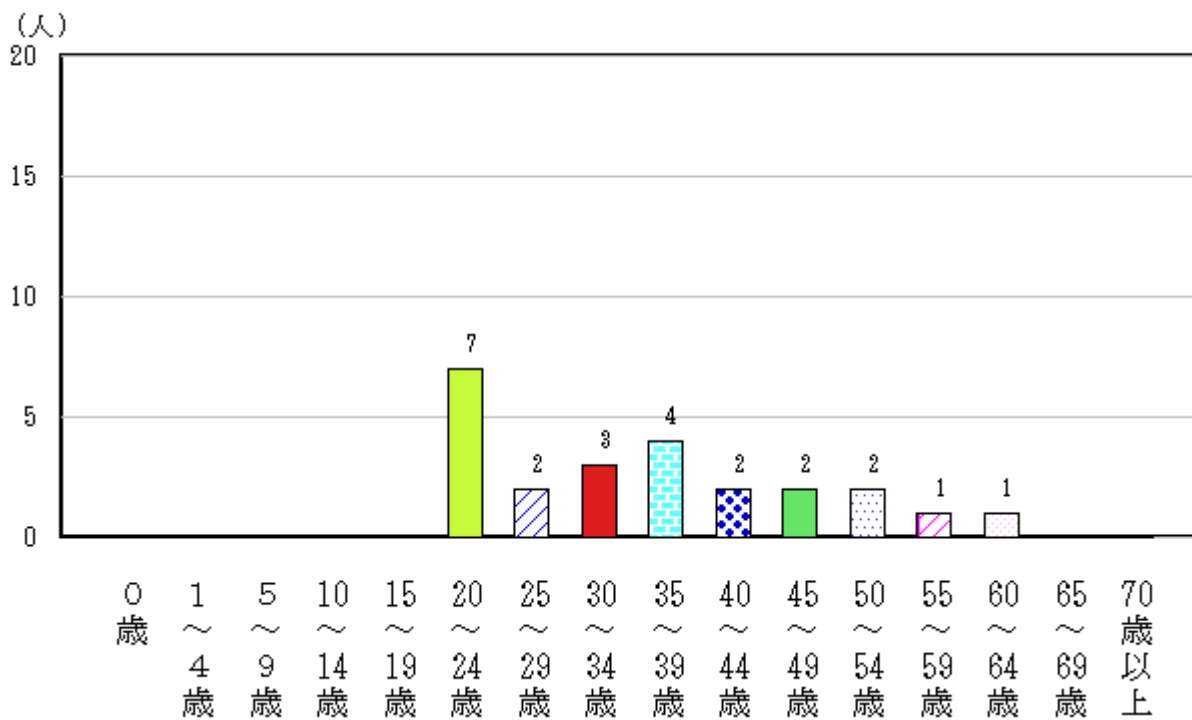


図106-2 青森県における年齢別報告数（男性）平成28年（2016年）（24人）

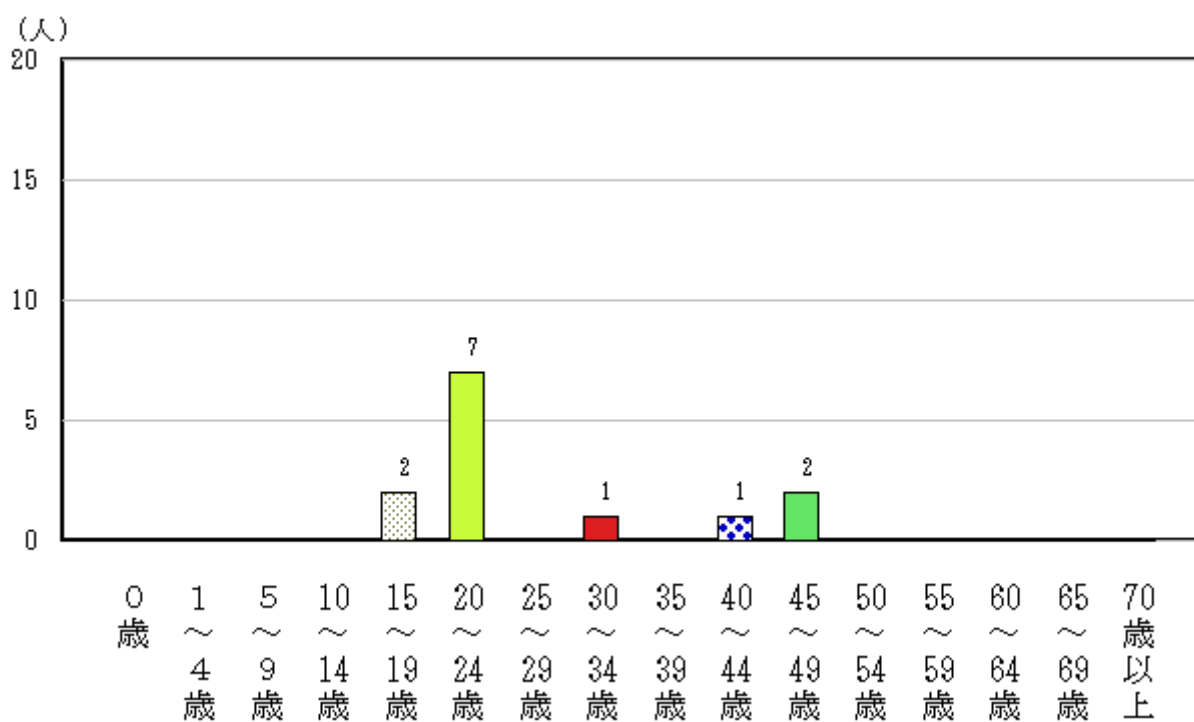


図106-3 青森県における年齢別報告数（女性）平成28年（2016年）（13人）

〈基幹定点把握対象疾患〉

(5) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

平成28年（2016年）の全国における報告状況は、平成27年（2015年）と同様に月間の変動が少なかった。青森県においては、1月のみ全国に比べて定点当たり報告数が多く、その後増減を繰り返しながらも全国に比べて少ない報告数であった（図107）。青森県の過去10年間の定点当たり報告数の平均及び平成28年（2016年）の定点当たり報告数は図108のとおりであった。

全国における定点当たり報告数は、平成28年（2016年）34.10人/定点で、平成27年（2015年）35.11人/定点と同程度だった。青森県においては、平成28年（2016年）22.67人/定点で、平成27年（2015年）15.83人/定点に比べて多かった（p129表13）。

青森県における保健所管内別定点当たり報告数は図109のとおりであり、八戸保健所管内が最も多く、次いで五所川原保健所管内が多かった（p132表15-1、p133表16-1）。

青森県における性別報告数は、男性が多かった（p129表13、p132表15-1）。

青森県における年齢別報告数は、総数では70歳以上の年齢層が最も多かった（p133表16-1、図110）。

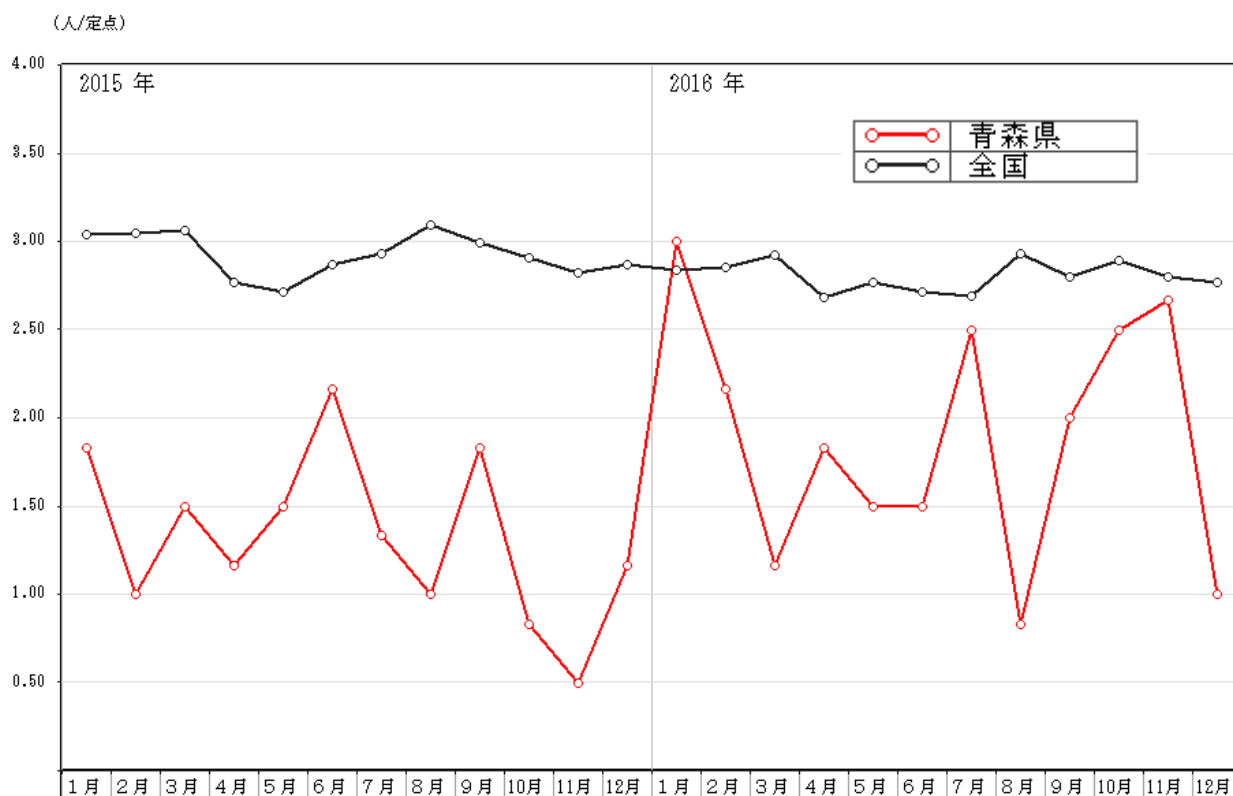


図107 全国及び青森県における定点当たり報告数（2015年～2016年）

人/定点

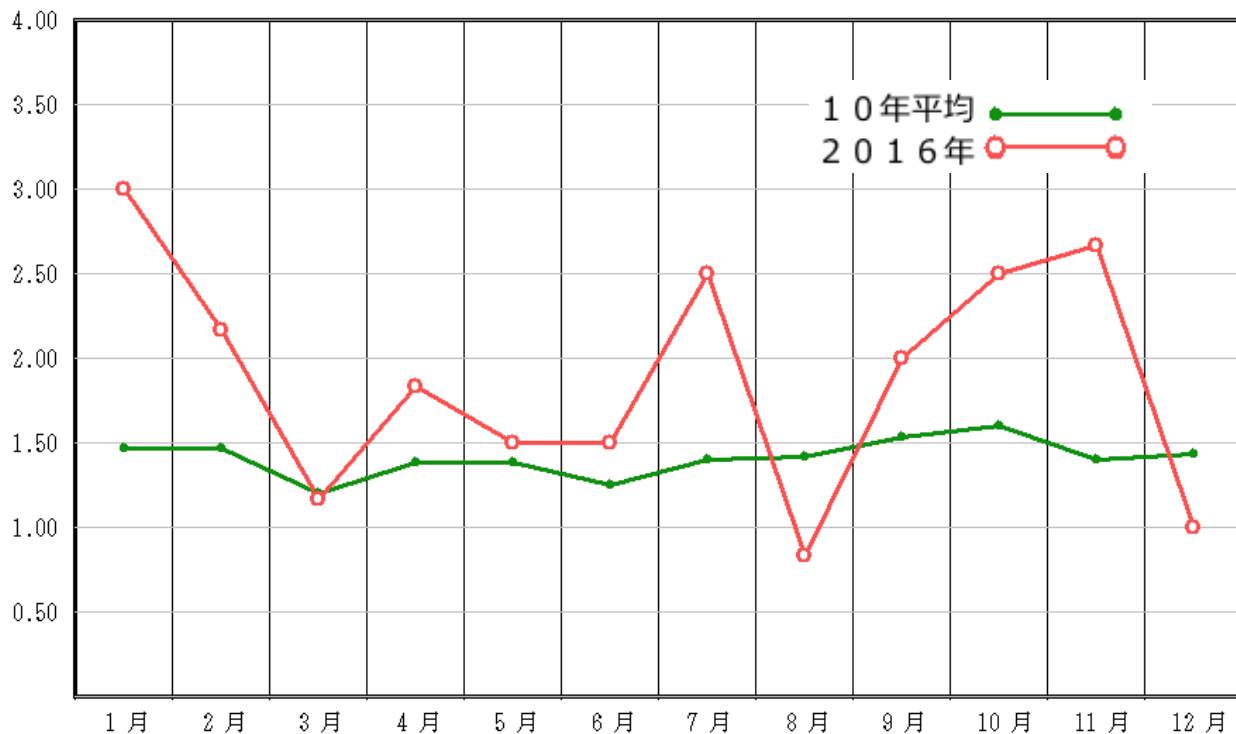


図 108 青森県の過去 10 年間の定点当たり報告数の平均及び平成 28 年（2016 年）の定点当たり報告数

(人/定点)

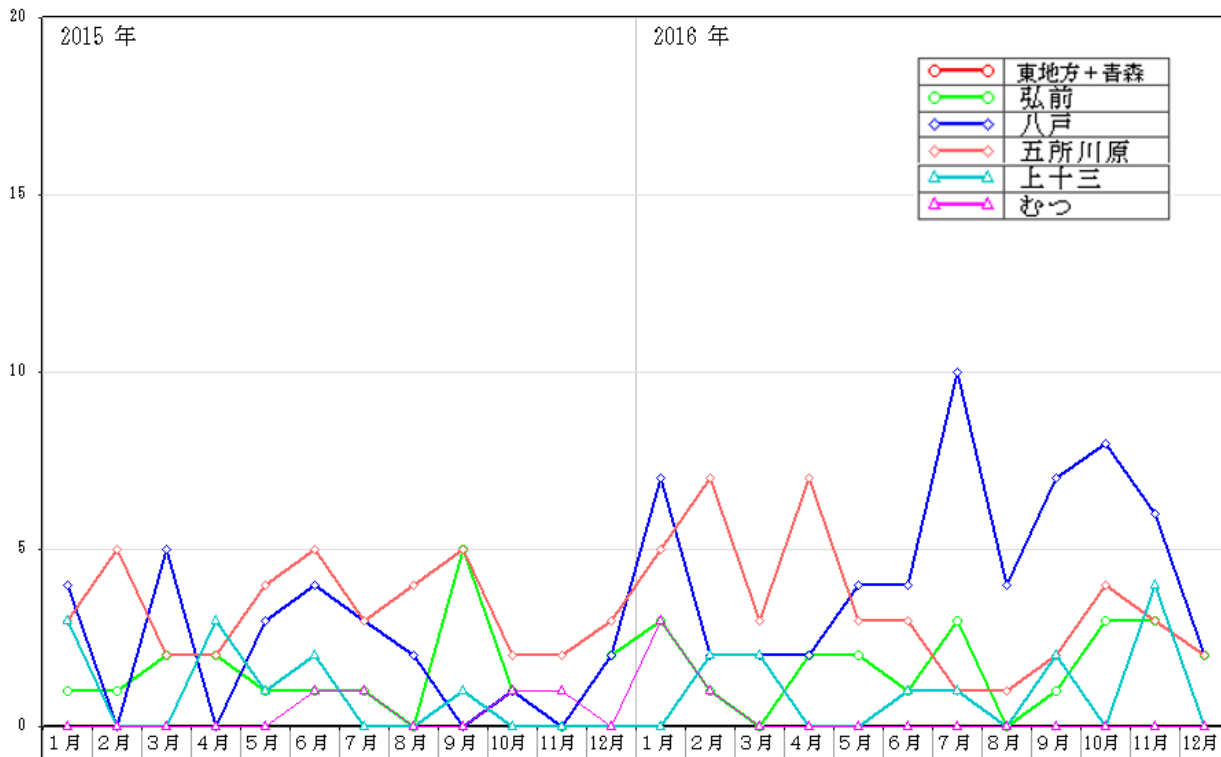


図 109 青森県における保健所管内別定点当たり報告数（2015 年～2016 年）

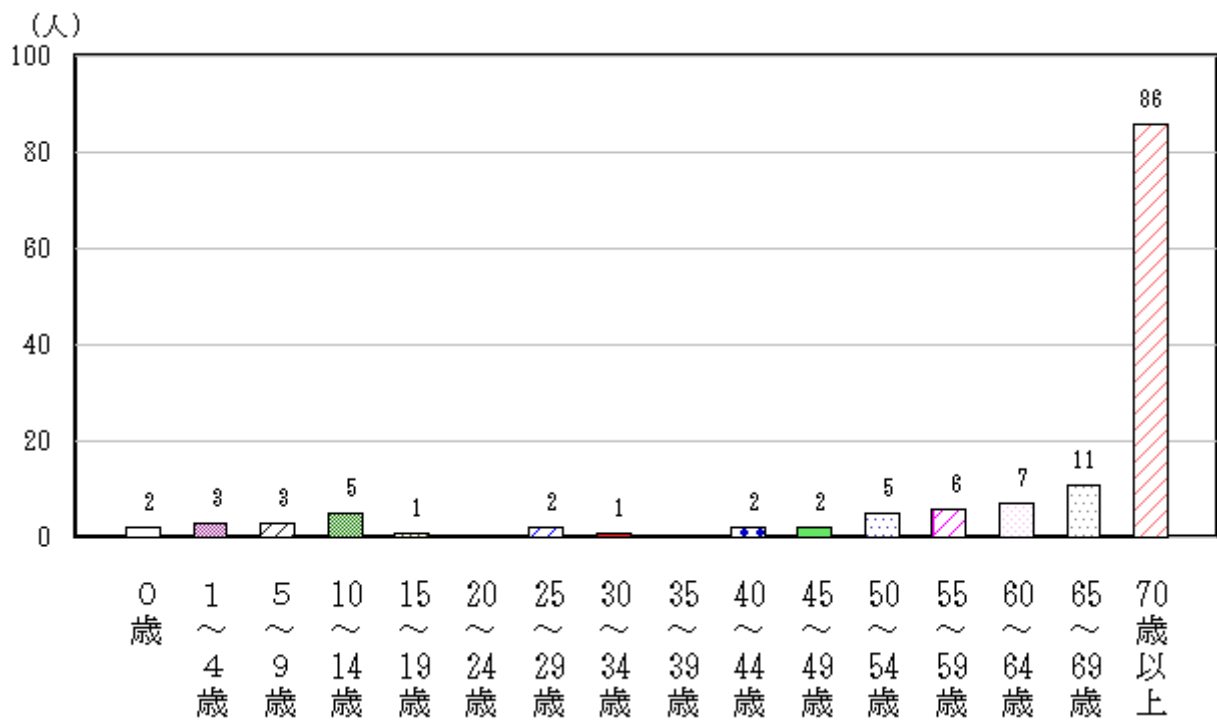


図110 青森県における年齢別報告数（総数）平成28年（2016年）（136人）

(6) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

平成28年（2016年）の全国における報告状況は、平成27年（2015年）と同様に月間の変動が少なく、青森県においては、6月のみが全国に比べて報告数が多かった(図111)。

全国の定点当たり報告数は、平成28年（2016年）4.18人/定点で、平成27年（2015年）4.17人/定点と同程度だった。青森県の患者報告数は、平成28年（2016年）は8人、平成27年（2015年）も8人であった（p133表16-1、16-2）。

青森県における保健所管内別定点当たり報告数は、上十三保健所管内のみで8人であった（p132表15-1）。

青森県における性別報告数は、男性が多かった（p129表13、p132表15-1）。

青森県における年齢別報告数は、70歳以上の年齢層が最も多く6人であった（p133表16-1）。

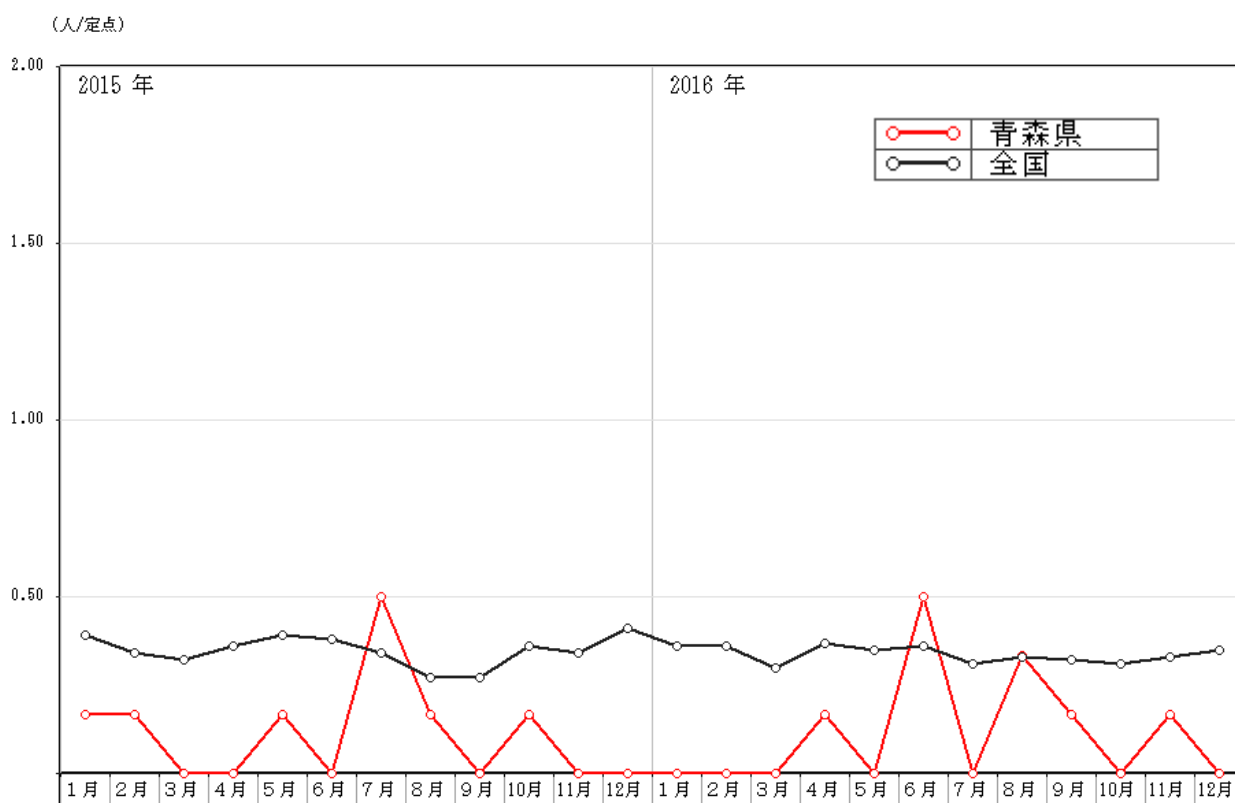


図111 全国及び青森県における定点当たり報告数（2015年～2016年）

(7) 薬剤耐性緑膿菌感染症

平成28年（2016年）の全国における報告状況は、平成27年（2015年）と同様に、月間の変動が少なく、青森県においても大きな変動はなかった（図112）。

全国における定点当たり報告数は、平成28年（2016年）0.33人/定点で、平成27年（2015年）0.50人/定点に比べて少なかった。青森県の患者報告数は、平成28年（2016年）は4人、平成27年（2015年）は5人であった（p133表16-1、16-2）。

保健所管内別報告数は、東地方+青森市保健所管内において2人、八戸保健所管内において2人、合計4人であった（p132表15-1）。

青森県における性別報告数は、男性のみで4人であった（p133表16-1）。

青森県における年齢別報告数は、25～29歳が1人、65～69歳が1人、70歳以上が2人であった（p133表16-1）。

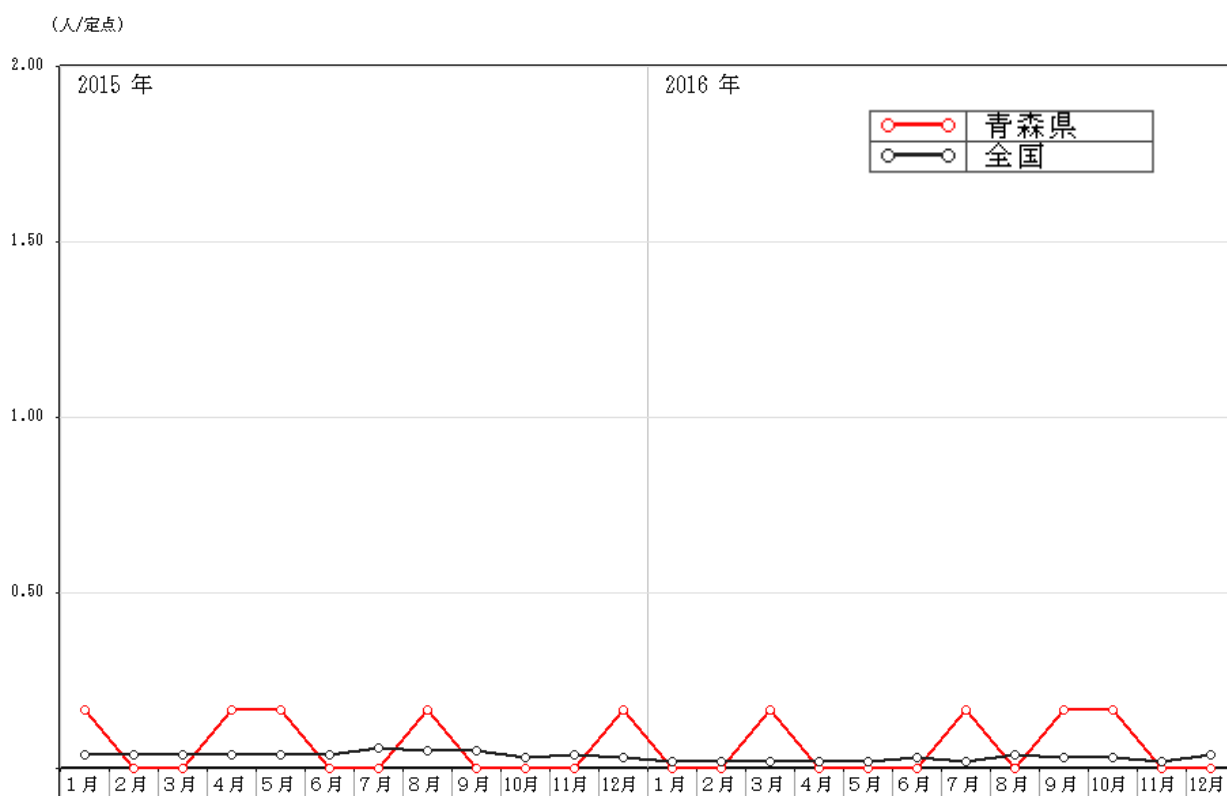


図112 全国及び青森県における定点当たり報告数（2015年～2016年）

Ⅲ 資 料

(患者報告数・定点当たり患者報告数)

表1-1 全数把握対象疾患 患者報告数 (2015年～2016年)

(人)

分類	疾患名	青森県		全国	
		2015年	2016年	2015年	2016年
一類	エボラ出血熱				
	クリミア・コンゴ出血熱				
	痘そう				
	南米出血熱				
	ペスト				
	マールブルグ病				
	ラッサ熱				
二類	急性灰白髄炎				
	結核	302	299	24,526	24,662
	ジフテリア				
	重症急性呼吸器症候群 (病原体がコロナウイルス属SARSコロナウ イルスであるものに限る。)				
	鳥インフルエンザ(H5N1)				
三類	コレラ			7	10
	細菌性赤痢	1	2	156	121
	腸管出血性大腸菌感染症	47	97	3,567	3,645
	腸チフス			37	52
	パラチフス			32	20
四類	E型肝炎		5	212	356
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。)				
	A型肝炎		3	244	271
	エキノкокクス症			25	22
	黄熱				
	オウム病			5	6
	オムスク出血熱				
	回帰熱			4	7
	キャサヌル森林熱				
	Q熱				
	狂犬病				

表1-2 全数把握対象疾患 患者報告数 (2015年～2016年)

(人)

分類	疾患名	青森県		全国	
		2015年	2016年	2015年	2016年
四類	コクシジオイデス症			3	3
	サル痘				
	ジカウイルス感染症				12
	重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)			60	60
	腎症候性出血熱				
	西部ウマ脳炎				
	ダニ媒介性脳炎				1
	炭疽				
	チクングニア熱			17	13
	つつが虫病	8	9	415	505
	デング熱		1	292	339
	東部ウマ脳炎				
	鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。)				
	ニパウイルス感染症				
	日本紅斑熱			212	276
	日本脳炎			2	11
	ハンタウイルス肺症候群				
	Bウイルス病				
	鼻疽				
	ブルセラ症			5	2
	ベネズエラウマ脳炎				
	ヘンドラウイルス感染症				
	発しんチフス				
	ボツリヌス症			1	5
マラリア			41	54	
野兔病			2		
ライム病			10	8	
リッサウイルス感染症					
リフトバレー熱					

表1-3 全数把握対象疾患 患者報告数 (2015年～2016年) (人)

分類	疾患名	青森県		全国	
		2015年	2016年	2015年	2016年
四類	類鼻疽				
	レジオネラ症	4	8	1,592	1,602
	レプトスピラ症			33	76
	ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	12	6	1,108	1,150
	ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	1		254	276
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 感染症	17	17	1,680	1,570
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性 脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ 脳炎及びリフトバレー熱を除く。)	2		511	764
	クリプトスポリジウム症		1	15	14
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	4	191	175
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	4	434	497
	後天性免疫不全症候群	3	4	1,431	1,442
	ジアルジア症			80	71
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3		252	312
	侵襲性髄膜炎菌感染症			34	43
	侵襲性肺炎球菌感染症	19	10	2,402	2,736
	水痘 (患者が入院を要すると認められるものに限る。)	3	3	314	318
	先天性風しん症候群				
	梅毒	8	28	2,697	4,559
	播種性クリプトコックス症	1		119	137
	破傷風	1	2	120	129
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2		66	63
	風しん			163	126
麻しん			35	165	
薬剤耐性アシネトバクター感染症			37	33	

表2-1 全数把握対象疾患 推移表 青森県 平成28年（2016年） (人)

年	週			結核	細菌性 赤痢	腸管出血 性大腸菌 感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ 症	アメーバ 赤痢
28	1	H28.1.4	～	H28.1.10	3		2					
28	2	H28.1.11	～	H28.1.17	6						1	
28	3	H28.1.18	～	H28.1.24	9							
28	4	H28.1.25	～	H28.1.31	2							1
28	5	H28.2.1	～	H28.2.7	8							
28	6	H28.2.8	～	H28.2.14	3		1			1		
28	7	H28.2.15	～	H28.2.21	5		1					
28	8	H28.2.22	～	H28.2.28	5							
28	9	H28.2.29	～	H28.3.6	4							
28	10	H28.3.7	～	H28.3.13	3							
28	11	H28.3.14	～	H28.3.20	7							
28	12	H28.3.21	～	H28.3.27	6							
28	13	H28.3.28	～	H28.4.3	6							
28	14	H28.4.4	～	H28.4.10	4						1	
28	15	H28.4.11	～	H28.4.17	6							
28	16	H28.4.18	～	H28.4.24	7							
28	17	H28.4.25	～	H28.5.1	8			1				1
28	18	H28.5.2	～	H28.5.8	5							
28	19	H28.5.9	～	H28.5.15	4				1			
28	20	H28.5.16	～	H28.5.22	5			1				
28	21	H28.5.23	～	H28.5.29	6			1	1			
28	22	H28.5.30	～	H28.6.5	7							
28	23	H28.6.6	～	H28.6.12	4							
28	24	H28.6.13	～	H28.6.19	6	2				2		
28	25	H28.6.20	～	H28.6.26	9							
28	26	H28.6.27	～	H28.7.3	9						1	
28	27	H28.7.4	～	H28.7.10	9							
28	28	H28.7.11	～	H28.7.17	6							
28	29	H28.7.18	～	H28.7.24	8		1					
28	30	H28.7.25	～	H28.7.31	6				1			
28	31	H28.8.1	～	H28.8.7	3							
28	32	H28.8.8	～	H28.8.14	2	3						
28	33	H28.8.15	～	H28.8.21	5	68						
28	34	H28.8.22	～	H28.8.28	6	12						
28	35	H28.8.29	～	H28.9.4	5	1						
28	36	H28.9.5	～	H28.9.11	8	3						
28	37	H28.9.12	～	H28.9.18	8						1	1
28	38	H28.9.19	～	H28.9.25	4						1	
28	39	H28.9.26	～	H28.10.2	9							
28	40	H28.10.3	～	H28.10.9	5	1	1					
28	41	H28.10.10	～	H28.10.16	4	1						
28	42	H28.10.17	～	H28.10.23	5	3						
28	43	H28.10.24	～	H28.10.30	8	1	1		2			2
28	44	H28.10.31	～	H28.11.6	5	1					1	
28	45	H28.11.7	～	H28.11.13	8							
28	46	H28.11.14	～	H28.11.20	7	1			1			
28	47	H28.11.21	～	H28.11.27	1				1			
28	48	H28.11.28	～	H28.12.4	5							
28	49	H28.12.5	～	H28.12.11	6						1	
28	50	H28.12.12	～	H28.12.18	6						1	
28	51	H28.12.19	～	H28.12.25	8							1
28	52	H28.12.26	～	H29.1.1	5							
合計				299	2	97	5	3	9	1	8	6

表2-2 全数把握対象疾患 推移表 青森県 平成28年 (2016年)

(人)

年	週			カルバペ ネム耐性 腸内細菌 科細菌 感染症	クリプトスポ リジウム症	クロイツ フェルト・ヤ コブ病	劇症型 溶血性 レンサ球菌 感染症	後天性免 疫不全症 候群	侵襲性肺 炎球菌感 染症	水痘 (入院例)	梅毒	破傷風
28	1	H28.1.4	～ H28.1.10	2						1		
28	2	H28.1.11	～ H28.1.17									
28	3	H28.1.18	～ H28.1.24	1			1					
28	4	H28.1.25	～ H28.1.31			1						
28	5	H28.2.1	～ H28.2.7									
28	6	H28.2.8	～ H28.2.14	1							1	
28	7	H28.2.15	～ H28.2.21	1								
28	8	H28.2.22	～ H28.2.28	2					1			
28	9	H28.2.29	～ H28.3.6								1	
28	10	H28.3.7	～ H28.3.13		1				1			
28	11	H28.3.14	～ H28.3.20									
28	12	H28.3.21	～ H28.3.27	1							1	
28	13	H28.3.28	～ H28.4.3								1	
28	14	H28.4.4	～ H28.4.10						1			
28	15	H28.4.11	～ H28.4.17									
28	16	H28.4.18	～ H28.4.24									
28	17	H28.4.25	～ H28.5.1									
28	18	H28.5.2	～ H28.5.8									
28	19	H28.5.9	～ H28.5.15								2	
28	20	H28.5.16	～ H28.5.22									
28	21	H28.5.23	～ H28.5.29						1			
28	22	H28.5.30	～ H28.6.5									
28	23	H28.6.6	～ H28.6.12					1				
28	24	H28.6.13	～ H28.6.19									
28	25	H28.6.20	～ H28.6.26								1	
28	26	H28.6.27	～ H28.7.3									
28	27	H28.7.4	～ H28.7.10							1	1	
28	28	H28.7.11	～ H28.7.17			1						
28	29	H28.7.18	～ H28.7.24	1							1	
28	30	H28.7.25	～ H28.7.31							1		
28	31	H28.8.1	～ H28.8.7				2		2		1	
28	32	H28.8.8	～ H28.8.14			1						
28	33	H28.8.15	～ H28.8.21					1	1			
28	34	H28.8.22	～ H28.8.28									
28	35	H28.8.29	～ H28.9.4									
28	36	H28.9.5	～ H28.9.11	1							1	
28	37	H28.9.12	～ H28.9.18								1	
28	38	H28.9.19	～ H28.9.25								1	
28	39	H28.9.26	～ H28.10.2								2	
28	40	H28.10.3	～ H28.10.9	1								1
28	41	H28.10.10	～ H28.10.16	1							3	
28	42	H28.10.17	～ H28.10.23	1				1	1		1	
28	43	H28.10.24	～ H28.10.30	1								
28	44	H28.10.31	～ H28.11.6									
28	45	H28.11.7	～ H28.11.13								1	
28	46	H28.11.14	～ H28.11.20	1							3	1
28	47	H28.11.21	～ H28.11.27			1	1					
28	48	H28.11.28	～ H28.12.4	1					1			
28	49	H28.12.5	～ H28.12.11								1	
28	50	H28.12.12	～ H28.12.18	1				1			3	
28	51	H28.12.19	～ H28.12.25								1	
28	52	H28.12.26	～ H29.1.1						1			
合計				17	1	4	4	4	10	3	28	2

表3 全数把握対象疾患 保健所別累計表 平成28年（2016年）

（人）

	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌 感染症	E型肝炎
東地方+青森市	57	1	5	1
弘前	84	0	4	3
八戸	82	1	83	0
五所川原	31	0	1	1
上十三	34	0	3	0
むつ	11	0	1	0
合計	299	2	97	5

	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症
東地方+青森市	0	2	1	2
弘前	0	2	0	2
八戸	3	3	0	1
五所川原	0	0	0	2
上十三	0	2	0	1
むつ	0	0	0	0
合計	3	9	1	8

	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ 病
東地方+青森市	3	4	0	1
弘前	0	7	0	2
八戸	1	4	0	0
五所川原	0	0	0	1
上十三	0	1	1	0
むつ	2	1	0	0
合計	6	17	1	4

	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)
東地方+青森市	1	2	4	0
弘前	2	0	3	0
八戸	1	2	2	0
五所川原	0	0	0	0
上十三	0	0	1	2
むつ	0	0	0	1
合計	4	4	10	3

	梅毒	破傷風
東地方+青森市	2	0
弘前	10	0
八戸	12	2
五所川原	2	0
上十三	2	0
むつ	0	0
合計	28	2

表4-1 定点把握対象疾患 都道府県別累計表 平成28年（2016年）（人/定点）

	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘
0 全国	354.58	33.18	21.38	116.54	353.87	20.72
1 北海道	426.56	36.51	21.77	207.76	151.53	27.87
2 青森県	285.83	24.98	16.80	77.10	206.71	12.02
3 岩手県	385.45	33.73	18.65	163.55	297.30	16.20
4 宮城県	327.56	37.39	13.00	163.85	459.92	26.17
5 秋田県	312.41	20.74	12.06	77.00	185.43	14.80
6 山形県	316.79	55.38	26.00	262.90	478.76	22.00
7 福島県	349.25	55.50	22.48	93.33	244.78	23.91
8 茨城県	315.91	20.77	13.23	94.27	340.91	20.73
9 栃木県	317.24	28.65	10.35	78.92	213.88	15.04
10 群馬県	339.09	26.75	16.75	142.96	311.93	17.05
11 埼玉県	385.66	25.06	19.46	136.63	413.59	29.50
12 千葉県	369.75	20.96	15.59	161.01	346.82	22.54
13 東京都	304.64	27.11	19.41	120.51	425.63	21.39
14 神奈川県	338.07	19.53	16.33	97.38	385.93	24.74
15 新潟県	420.87	60.98	34.93	136.69	330.05	21.88
16 富山県	355.53	34.50	23.79	118.04	359.21	18.64
17 石川県	385.69	36.86	42.14	119.72	302.07	16.24
18 福井県	457.06	41.55	48.00	115.32	416.41	21.09
19 山梨県	364.30	23.79	18.00	113.00	294.63	14.96
20 長野県	410.40	28.94	9.26	121.64	326.43	18.11
21 岐阜県	404.79	20.65	14.83	60.15	214.38	10.58
22 静岡県	339.66	26.40	17.88	178.84	333.99	15.79
23 愛知県	474.79	26.10	14.40	92.47	298.83	16.06
24 三重県	347.47	35.98	25.16	69.56	424.67	15.07
25 滋賀県	319.67	19.94	14.32	71.19	356.26	24.42
26 京都府	295.57	18.44	19.48	65.07	338.60	16.03
27 大阪府	314.99	42.71	26.16	108.04	372.33	21.27
28 兵庫県	335.43	31.53	23.43	77.40	417.17	22.50
29 奈良県	306.33	38.97	22.82	83.32	342.74	16.35
30 和歌山県	243.04	37.87	19.52	31.19	210.39	17.45
31 鳥取県	278.86	39.47	30.74	237.05	366.11	17.63
32 島根県	214.58	45.22	52.26	119.00	452.00	14.39
33 岡山県	288.35	23.35	15.59	51.70	378.48	14.81
34 広島県	342.47	32.14	30.59	100.39	420.35	20.30
35 山口県	382.65	51.29	19.33	138.77	360.00	14.63
36 徳島県	265.08	85.91	19.48	58.57	422.09	13.04
37 香川県	315.32	33.61	27.39	86.07	415.71	13.79
38 愛媛県	374.36	44.08	16.86	138.78	471.78	17.27
39 高知県	324.73	39.13	23.83	84.57	239.43	19.13
40 福岡県	448.43	52.03	35.99	153.25	407.63	26.33
41 佐賀県	341.38	41.74	38.22	92.61	228.39	17.65
42 長崎県	362.70	31.45	20.95	106.61	233.52	19.27
43 熊本県	302.05	50.33	20.80	72.76	464.63	18.20
44 大分県	362.71	45.61	24.06	167.56	588.69	32.14
45 宮崎県	371.07	56.86	30.44	110.36	530.39	22.44
46 鹿児島県	395.33	40.98	37.04	124.93	437.78	25.85
47 沖縄県	587.31	49.38	27.59	47.56	229.59	22.91

表4-2 定点把握対象疾患 都道府県別累計表 平成28年（2016年）（人/定点）

	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
0 全国	21.91	16.29	24.17	0.95	40.99	50.39
1 北海道	11.49	22.27	15.23	0.64	51.35	61.46
2 青森県	10.54	14.73	22.34	0.44	25.54	26.63
3 岩手県	6.43	6.83	20.95	0.23	28.85	27.48
4 宮城県	39.59	5.93	27.85	0.44	65.03	16.71
5 秋田県	8.49	43.14	13.46	4.17	27.49	9.34
6 山形県	13.90	50.62	33.59	0.72	101.41	104.48
7 福島県	13.46	24.91	32.20	0.63	54.67	11.43
8 茨城県	26.56	11.00	15.33	0.56	29.71	37.08
9 栃木県	21.46	27.54	26.73	0.33	45.40	27.56
10 群馬県	13.74	21.26	24.63	1.86	45.14	29.77
11 埼玉県	23.86	12.55	27.37	0.45	48.58	56.49
12 千葉県	43.78	15.14	23.68	1.01	41.38	44.52
13 東京都	27.00	9.59	27.92	0.70	50.56	32.92
14 神奈川県	22.73	6.88	26.17	0.50	48.49	47.59
15 新潟県	9.34	13.21	24.95	2.79	69.76	111.17
16 富山県	7.00	23.71	21.54	0.79	42.39	108.57
17 石川県	17.79	16.41	22.21	0.10	32.59	79.31
18 福井県	6.64	28.41	21.77	1.91	35.23	25.86
19 山梨県	22.83	22.71	16.04	1.13	46.13	24.83
20 長野県	16.47	22.43	18.89	2.81	52.66	65.47
21 岐阜県	18.13	7.04	15.08	0.75	21.56	32.40
22 静岡県	17.94	9.03	20.84	0.45	41.91	41.67
23 愛知県	13.98	15.65	19.03	0.62	31.02	28.64
24 三重県	10.53	32.47	25.00	0.78	51.91	15.49
25 滋賀県	22.48	7.42	19.94	0.45	50.71	39.90
26 京都府	24.75	10.33	16.53	0.28	26.93	49.45
27 大阪府	13.45	9.99	24.29	0.83	42.82	72.52
28 兵庫県	11.43	13.36	20.78	0.79	33.15	60.46
29 奈良県	12.06	25.06	26.62	0.41	32.12	76.00
30 和歌山県	5.16	26.48	24.00	0.61	43.45	62.61
31 鳥取県	12.74	30.74	22.58	1.21	45.68	34.26
32 島根県	24.52	32.91	31.83	0.65	23.09	48.91
33 岡山県	17.78	13.07	19.07	0.41	31.48	56.50
34 広島県	12.34	26.83	21.01	1.65	23.49	35.31
35 山口県	8.73	31.21	27.23	0.83	29.38	48.90
36 徳島県	14.43	14.91	34.70	1.30	38.09	60.83
37 香川県	17.21	20.04	24.43	1.46	43.68	49.07
38 愛媛県	30.68	26.41	32.35	1.08	52.32	28.97
39 高知県	11.97	11.97	17.50	4.13	26.40	32.13
40 福岡県	31.28	17.37	35.63	1.53	30.61	65.98
41 佐賀県	21.00	16.57	38.26	0.87	31.22	100.83
42 長崎県	18.39	9.43	21.93	0.30	15.86	58.09
43 熊本県	42.02	29.65	36.27	0.45	41.08	91.39
44 大分県	18.31	19.67	38.14	1.69	51.39	24.25
45 宮崎県	65.92	46.14	46.42	0.50	48.92	120.25
46 鹿児島県	75.20	16.82	22.76	0.91	26.27	98.55
47 沖縄県	77.26	4.06	14.12	6.68	11.29	61.79

表4-3 定点把握対象疾患 都道府県別累計表 平成28年（2016年）（人/定点）

	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイクラマ 肺炎	クラミア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)
0 全国	0.58	37.72	1.03	2.89	41.34	0.74	11.04
1 北海道	0.07	18.24	0.55	1.86	58.55	0.32	17.00
2 青森県	0.36	24.27	2.33	3.00	54.00	-	18.83
3 岩手県	0.36	23.50	0.26	0.63	26.05	0.05	8.95
4 宮城県	-	10.58	1.08	0.17	43.08	-	1.67
5 秋田県	0.43	12.71	0.13	0.13	38.00	-	17.63
6 山形県	0.13	8.63	0.70	1.30	19.10	0.40	2.00
7 福島県	-	38.83	1.33	2.50	38.50	1.33	12.17
8 茨城県	0.41	56.47	0.23	1.08	34.62	-	2.69
9 栃木県	0.50	47.00	0.71	3.57	36.71	1.14	5.00
10 群馬県	0.14	46.93	0.50	1.25	81.13	0.13	9.13
11 埼玉県	1.15	32.88	0.70	3.50	47.30	3.10	5.50
12 千葉県	0.52	37.18	2.78	7.44	45.56	0.33	3.56
13 東京都	0.29	31.61	1.32	3.08	41.88	2.00	4.32
14 神奈川県	1.39	85.12	0.80	4.50	29.90	0.10	6.90
15 新潟県	1.90	33.00	0.69	1.00	25.00	6.46	4.69
16 富山県	0.14	5.86	0.20	0.80	57.40	0.60	5.20
17 石川県	-	13.00	1.20	3.40	71.80	-	6.00
18 福井県	0.33	6.00	2.83	1.50	40.00	0.67	6.17
19 山梨県	0.33	19.67	0.60	2.20	28.80	0.30	2.80
20 長野県	0.18	45.64	0.36	0.45	42.73	-	11.91
21 岐阜県	0.18	25.45	0.20	5.40	119.00	-	17.80
22 静岡県	0.38	25.76	0.67	3.33	65.22	6.11	2.44
23 愛知県	0.49	32.57	2.13	3.40	54.27	0.27	24.33
24 三重県	0.92	8.58	1.44	4.67	32.56	2.22	2.33
25 滋賀県	-	9.13	1.43	2.29	15.00	-	14.29
26 京都府	0.18	12.53	0.14	2.14	32.29	0.14	17.57
27 大阪府	0.61	28.51	1.71	3.47	64.76	0.24	23.88
28 兵庫県	0.44	20.76	2.54	3.85	39.08	0.08	15.38
29 奈良県	0.44	37.67	2.83	2.33	53.67	0.17	16.50
30 和歌山県	1.75	14.00	0.27	2.73	18.64	0.45	9.00
31 鳥取県	3.00	66.75	1.40	3.00	38.80	0.40	27.40
32 島根県	-	26.00	0.25	5.13	24.00	0.25	30.00
33 岡山県	0.58	17.17	1.20	3.80	14.60	0.20	5.00
34 広島県	0.67	46.33	0.43	0.52	22.24	0.14	18.14
35 山口県	0.25	24.25	1.33	0.89	43.67	-	12.44
36 徳島県	0.25	7.50	0.29	0.43	8.14	0.14	8.29
37 香川県	0.80	18.80	1.20	2.20	52.20	0.40	30.40
38 愛媛県	0.63	96.13	0.67	0.83	34.67	-	14.00
39 高知県	-	7.00	1.25	4.25	40.50	4.25	30.25
40 福岡県	0.77	52.85	2.43	10.07	102.57	0.14	2.00
41 佐賀県	-	70.67	0.33	2.83	32.17	-	10.50
42 長崎県	0.50	106.13	0.25	4.92	38.25	-	4.50
43 熊本県	1.00	125.50	0.73	5.87	27.13	0.20	11.87
44 大分県	0.80	31.80	-	0.18	32.09	0.27	4.00
45 宮崎県	1.60	185.20	0.29	4.14	43.71	-	12.00
46 鹿児島県	-	73.86	0.33	1.67	21.00	-	10.75
47 沖縄県	2.00	58.89	6.57	13.86	69.43	0.29	14.29

表5 定点把握対象疾患 保健所別累計表 平成28年（2016年）

（人/定点）

	年間平均定点数				インフルエンザ*	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱
	インフルエンザ*	小児科	眼科	基幹			
東地方+青森市	13	8	2	1	333.23	22.88	21.25
弘前	15	9	3	1	177.67	26.56	14.22
八戸	15	10	2	1	294.47	27.00	23.90
五所川原	7	5	1	1	283.00	30.75	20.00
上十三	9	6	2	1	354.56	24.50	10.67
むつ	6	4	1	1	331.67	15.50	2.00

	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑
東地方+青森市	67.25	292.13	8.75	7.13	50.38
弘前	63.22	150.44	6.56	16.22	1.22
八戸	165.50	200.30	9.70	6.90	2.00
五所川原	25.00	223.75	8.50	7.00	2.25
上十三	24.50	156.00	14.17	16.17	8.33
むつ	38.00	237.50	37.00	8.75	27.75

	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎
東地方+青森市	23.38	1.13	32.75	96.50	-
弘前	19.44	0.22	27.00	4.33	-
八戸	31.80	-	17.30	2.60	2.00
五所川原	11.00	-	21.00	9.50	-
上十三	19.17	0.83	25.50	11.33	-
むつ	19.25	0.50	33.00	37.25	-

	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
東地方+青森市	42.50	3.00	8.00	10.00	-	-
弘前	6.00	-	-	2.00	-	1.00
八戸	64.00	10.00	7.00	69.00	-	19.00
五所川原	14.00	-	1.00	2.00	-	20.00
上十三	11.00	-	2.00	1.00	-	18.00
むつ	-	1.00	-	240.00	-	55.00

表6-1 定点把握対象疾患 推移表 全国 平成28年（2016年） (人/定点)

年	週			インフルエンザ*	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎
28	1	H28.1.4	～ H28.1.10	2.03	1.16	0.54	2.17
28	2	H28.1.11	～ H28.1.17	4.12	0.73	0.36	2.35
28	3	H28.1.18	～ H28.1.24	10.58	0.71	0.41	3.04
28	4	H28.1.25	～ H28.1.31	22.58	0.62	0.41	3.36
28	5	H28.2.1	～ H28.2.7	34.77	0.50	0.38	3.64
28	6	H28.2.8	～ H28.2.14	40.08	0.42	0.36	3.31
28	7	H28.2.15	～ H28.2.21	37.20	0.37	0.36	3.27
28	8	H28.2.22	～ H28.2.28	36.18	0.33	0.31	3.23
28	9	H28.2.29	～ H28.3.6	35.40	0.31	0.30	3.00
28	10	H28.3.7	～ H28.3.13	28.22	0.28	0.28	2.82
28	11	H28.3.14	～ H28.3.20	21.24	0.26	0.30	2.72
28	12	H28.3.21	～ H28.3.27	13.82	0.20	0.21	2.00
28	13	H28.3.28	～ H28.4.3	11.20	0.18	0.23	1.97
28	14	H28.4.4	～ H28.4.10	7.01	0.14	0.23	1.85
28	15	H28.4.11	～ H28.4.17	5.08	0.20	0.27	2.30
28	16	H28.4.18	～ H28.4.24	4.22	0.19	0.35	2.63
28	17	H28.4.25	～ H28.5.1	2.51	0.16	0.40	2.41
28	18	H28.5.2	～ H28.5.8	1.24	0.11	0.41	1.66
28	19	H28.5.9	～ H28.5.15	0.68	0.10	0.54	2.56
28	20	H28.5.16	～ H28.5.22	0.48	0.10	0.55	2.82
28	21	H28.5.23	～ H28.5.29	0.29	0.11	0.73	2.97
28	22	H28.5.30	～ H28.6.5	0.17	0.09	0.75	2.92
28	23	H28.6.6	～ H28.6.12	0.13	0.09	0.79	3.16
28	24	H28.6.13	～ H28.6.19	0.07	0.08	0.73	2.82
28	25	H28.6.20	～ H28.6.26	0.04	0.12	0.70	2.75
28	26	H28.6.27	～ H28.7.3	0.03	0.12	0.69	2.69
28	27	H28.7.4	～ H28.7.10	0.03	0.14	0.61	2.54
28	28	H28.7.11	～ H28.7.17	0.03	0.20	0.58	2.43
28	29	H28.7.18	～ H28.7.24	0.02	0.20	0.48	1.73
28	30	H28.7.25	～ H28.7.31	0.02	0.26	0.47	1.77
28	31	H28.8.1	～ H28.8.7	0.02	0.35	0.42	1.54
28	32	H28.8.8	～ H28.8.14	0.03	0.35	0.36	1.08
28	33	H28.8.15	～ H28.8.21	0.02	0.38	0.38	0.96
28	34	H28.8.22	～ H28.8.28	0.03	0.52	0.36	1.12
28	35	H28.8.29	～ H28.9.4	0.03	0.86	0.43	1.26
28	36	H28.9.5	～ H28.9.11	0.05	1.06	0.39	1.44
28	37	H28.9.12	～ H28.9.18	0.10	1.47	0.38	1.61
28	38	H28.9.19	～ H28.9.25	0.12	1.34	0.25	1.20
28	39	H28.9.26	～ H28.10.2	0.16	1.73	0.28	1.51
28	40	H28.10.3	～ H28.10.9	0.23	2.33	0.26	1.63
28	41	H28.10.10	～ H28.10.16	0.24	2.02	0.21	1.28
28	42	H28.10.17	～ H28.10.23	0.38	1.91	0.22	1.72
28	43	H28.10.24	～ H28.10.30	0.47	1.68	0.24	1.69
28	44	H28.10.31	～ H28.11.6	0.59	1.34	0.24	1.70
28	45	H28.11.7	～ H28.11.13	0.84	1.20	0.28	1.97
28	46	H28.11.14	～ H28.11.20	1.38	1.11	0.31	2.22
28	47	H28.11.21	～ H28.11.27	1.79	1.02	0.37	2.09
28	48	H28.11.28	～ H28.12.4	2.50	0.97	0.43	2.41
28	49	H28.12.5	～ H28.12.11	3.31	0.94	0.47	2.56
28	50	H28.12.12	～ H28.12.18	5.03	0.80	0.51	2.66
28	51	H28.12.19	～ H28.12.25	8.40	0.71	0.48	2.37
28	52	H28.12.26	～ H29.1.1	8.55	0.60	0.40	1.54

表6-2 定点把握対象疾患 推移表 全国 平成28年（2016年） (人/定点)

年	週			感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん
28	1	H28.1.4	～ H28.1.10	7.77	0.88	0.05	0.84	0.39
28	2	H28.1.11	～ H28.1.17	7.71	0.47	0.04	0.81	0.45
28	3	H28.1.18	～ H28.1.24	8.11	0.48	0.04	0.77	0.41
28	4	H28.1.25	～ H28.1.31	7.78	0.39	0.05	0.76	0.38
28	5	H28.2.1	～ H28.2.7	7.57	0.40	0.03	0.59	0.38
28	6	H28.2.8	～ H28.2.14	6.72	0.37	0.03	0.52	0.35
28	7	H28.2.15	～ H28.2.21	6.66	0.40	0.02	0.44	0.37
28	8	H28.2.22	～ H28.2.28	6.33	0.34	0.02	0.46	0.34
28	9	H28.2.29	～ H28.3.6	6.50	0.35	0.03	0.49	0.35
28	10	H28.3.7	～ H28.3.13	6.28	0.32	0.02	0.43	0.37
28	11	H28.3.14	～ H28.3.20	5.97	0.33	0.02	0.42	0.36
28	12	H28.3.21	～ H28.3.27	4.88	0.32	0.02	0.29	0.34
28	13	H28.3.28	～ H28.4.3	5.56	0.37	0.02	0.33	0.40
28	14	H28.4.4	～ H28.4.10	5.36	0.35	0.02	0.34	0.45
28	15	H28.4.11	～ H28.4.17	5.83	0.31	0.03	0.37	0.48
28	16	H28.4.18	～ H28.4.24	6.54	0.35	0.05	0.38	0.56
28	17	H28.4.25	～ H28.5.1	6.01	0.36	0.06	0.34	0.55
28	18	H28.5.2	～ H28.5.8	4.39	0.38	0.06	0.29	0.44
28	19	H28.5.9	～ H28.5.15	5.88	0.51	0.09	0.36	0.57
28	20	H28.5.16	～ H28.5.22	6.21	0.37	0.14	0.42	0.58
28	21	H28.5.23	～ H28.5.29	6.30	0.56	0.18	0.42	0.65
28	22	H28.5.30	～ H28.6.5	5.95	0.43	0.19	0.35	0.63
28	23	H28.6.6	～ H28.6.12	6.28	0.45	0.26	0.45	0.57
28	24	H28.6.13	～ H28.6.19	5.84	0.48	0.35	0.41	0.57
28	25	H28.6.20	～ H28.6.26	5.43	0.44	0.41	0.44	0.62
28	26	H28.6.27	～ H28.7.3	5.00	0.45	0.48	0.42	0.61
28	27	H28.7.4	～ H28.7.10	4.55	0.38	0.64	0.39	0.56
28	28	H28.7.11	～ H28.7.17	4.47	0.39	0.73	0.33	0.56
28	29	H28.7.18	～ H28.7.24	3.52	0.32	0.71	0.28	0.47
28	30	H28.7.25	～ H28.7.31	3.74	0.31	0.71	0.28	0.53
28	31	H28.8.1	～ H28.8.7	3.59	0.28	0.75	0.24	0.49
28	32	H28.8.8	～ H28.8.14	2.92	0.27	0.58	0.16	0.43
28	33	H28.8.15	～ H28.8.21	2.99	0.26	0.50	0.14	0.46
28	34	H28.8.22	～ H28.8.28	3.51	0.25	0.62	0.17	0.54
28	35	H28.8.29	～ H28.9.4	3.90	0.22	0.70	0.17	0.54
28	36	H28.9.5	～ H28.9.11	3.77	0.26	0.73	0.17	0.55
28	37	H28.9.12	～ H28.9.18	3.75	0.27	0.80	0.13	0.55
28	38	H28.9.19	～ H28.9.25	2.95	0.26	0.79	0.10	0.44
28	39	H28.9.26	～ H28.10.2	3.64	0.28	1.08	0.15	0.50
28	40	H28.10.3	～ H28.10.9	3.73	0.29	1.40	0.12	0.48
28	41	H28.10.10	～ H28.10.16	3.44	0.26	1.09	0.09	0.41
28	42	H28.10.17	～ H28.10.23	4.37	0.29	1.04	0.13	0.43
28	43	H28.10.24	～ H28.10.30	5.27	0.37	1.06	0.09	0.45
28	44	H28.10.31	～ H28.11.6	6.41	0.33	0.91	0.10	0.41
28	45	H28.11.7	～ H28.11.13	9.43	0.47	0.73	0.10	0.43
28	46	H28.11.14	～ H28.11.20	13.13	0.51	0.73	0.12	0.43
28	47	H28.11.21	～ H28.11.27	12.86	0.60	0.70	0.13	0.43
28	48	H28.11.28	～ H28.12.4	17.39	0.62	0.61	0.13	0.45
28	49	H28.12.5	～ H28.12.11	19.44	0.65	0.52	0.13	0.38
28	50	H28.12.12	～ H28.12.18	20.96	0.65	0.43	0.13	0.40
28	51	H28.12.19	～ H28.12.25	17.29	0.61	0.39	0.13	0.38
28	52	H28.12.26	～ H29.1.1	9.69	0.51	0.24	0.08	0.28

表6-3 定点把握対象疾患 推移表 全国 平成28年（2016年）（人/定点）

年	週			百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	
28	1	H28.1.4	～	H28.1.10	0.01	0.01	1.21	0.01	1.01
28	2	H28.1.11	～	H28.1.17	0.01	0.02	0.88	0.02	0.73
28	3	H28.1.18	～	H28.1.24	0.02	0.02	0.66	0.01	0.69
28	4	H28.1.25	～	H28.1.31	0.01	0.01	0.86	-	0.67
28	5	H28.2.1	～	H28.2.7	0.01	0.02	0.75	0.01	0.71
28	6	H28.2.8	～	H28.2.14	0.01	0.01	0.73	0.01	0.61
28	7	H28.2.15	～	H28.2.21	0.01	0.01	0.85	0.01	0.60
28	8	H28.2.22	～	H28.2.28	0.01	0.01	0.80	0.01	0.57
28	9	H28.2.29	～	H28.3.6	0.01	0.01	0.79	0.01	0.55
28	10	H28.3.7	～	H28.3.13	0.01	0.01	0.86	0.02	0.56
28	11	H28.3.14	～	H28.3.20	0.01	0.02	0.79	0.01	0.46
28	12	H28.3.21	～	H28.3.27	0.01	0.01	0.80	0.01	0.46
28	13	H28.3.28	～	H28.4.3	0.01	0.01	0.90	0.01	0.52
28	14	H28.4.4	～	H28.4.10	0.01	0.02	0.81	0.02	0.57
28	15	H28.4.11	～	H28.4.17	0.02	0.04	0.82	0.01	0.55
28	16	H28.4.18	～	H28.4.24	0.02	0.04	0.74	0.01	0.64
28	17	H28.4.25	～	H28.5.1	0.02	0.05	0.81	0.02	0.68
28	18	H28.5.2	～	H28.5.8	0.01	0.06	0.77	0.02	0.58
28	19	H28.5.9	～	H28.5.15	0.02	0.11	0.95	0.01	0.75
28	20	H28.5.16	～	H28.5.22	0.02	0.21	0.95	0.01	0.65
28	21	H28.5.23	～	H28.5.29	0.03	0.25	0.85	0.02	0.65
28	22	H28.5.30	～	H28.6.5	0.02	0.42	1.11	0.01	0.66
28	23	H28.6.6	～	H28.6.12	0.03	0.53	0.94	0.01	0.67
28	24	H28.6.13	～	H28.6.19	0.03	0.91	1.06	0.01	0.74
28	25	H28.6.20	～	H28.6.26	0.03	1.48	1.13	-	0.80
28	26	H28.6.27	～	H28.7.3	0.02	2.26	1.06	0.02	0.75
28	27	H28.7.4	～	H28.7.10	0.03	3.14	1.21	0.02	0.84
28	28	H28.7.11	～	H28.7.17	0.02	4.05	1.27	0.01	0.83
28	29	H28.7.18	～	H28.7.24	0.02	3.53	1.22	0.01	0.76
28	30	H28.7.25	～	H28.7.31	0.03	3.85	1.31	0.01	0.84
28	31	H28.8.1	～	H28.8.7	0.02	3.63	1.17	0.01	0.80
28	32	H28.8.8	～	H28.8.14	0.02	2.60	1.06	0.01	0.65
28	33	H28.8.15	～	H28.8.21	0.02	1.47	1.09	0.01	0.79
28	34	H28.8.22	～	H28.8.28	0.02	1.86	1.06	0.01	0.94
28	35	H28.8.29	～	H28.9.4	0.03	1.95	0.94	0.01	0.90
28	36	H28.9.5	～	H28.9.11	0.03	1.67	0.99	0.01	1.00
28	37	H28.9.12	～	H28.9.18	0.02	1.45	1.08	0.02	0.97
28	38	H28.9.19	～	H28.9.25	0.01	0.88	0.93	0.01	0.83
28	39	H28.9.26	～	H28.10.2	0.03	0.98	1.20	0.03	1.01
28	40	H28.10.3	～	H28.10.9	0.02	1.03	1.12	0.02	0.97
28	41	H28.10.10	～	H28.10.16	0.02	0.55	0.94	0.01	0.77
28	42	H28.10.17	～	H28.10.23	0.02	0.41	1.27	-	0.89
28	43	H28.10.24	～	H28.10.30	0.02	0.32	0.97	-	0.87
28	44	H28.10.31	～	H28.11.6	0.02	0.25	1.05	0.01	0.68
28	45	H28.11.7	～	H28.11.13	0.02	0.17	1.06	-	0.72
28	46	H28.11.14	～	H28.11.20	0.01	0.14	0.96	-	0.71
28	47	H28.11.21	～	H28.11.27	0.01	0.13	0.98	0.01	0.71
28	48	H28.11.28	～	H28.12.4	0.01	0.12	1.06	0.01	0.72
28	49	H28.12.5	～	H28.12.11	0.02	0.09	0.99	0.01	0.67
28	50	H28.12.12	～	H28.12.18	0.01	0.09	0.97	0.01	0.71
28	51	H28.12.19	～	H28.12.25	0.01	0.07	0.88	0.01	0.69
28	52	H28.12.26	～	H29.1.1	0.01	0.05	0.72	0.01	0.54

表6-4 定点把握対象疾患 推移表 全国 平成28年(2016年)

(人/定点)

年	週			細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	
28	1	H28.1.4	～	H28.1.10	0.02	0.03	0.91	0.02	0.12
28	2	H28.1.11	～	H28.1.17	0.02	0.03	0.75	0.03	0.18
28	3	H28.1.18	～	H28.1.24	0.02	0.05	0.58	0.02	0.20
28	4	H28.1.25	～	H28.1.31	0.01	0.04	0.53	0.02	0.28
28	5	H28.2.1	～	H28.2.7	0.01	0.03	0.56	0.01	0.36
28	6	H28.2.8	～	H28.2.14	0.01	0.03	0.50	0.03	0.46
28	7	H28.2.15	～	H28.2.21	0.02	0.02	0.56	0.01	0.44
28	8	H28.2.22	～	H28.2.28	0.01	0.03	0.50	0.03	0.46
28	9	H28.2.29	～	H28.3.6	0.02	0.04	0.45	0.03	0.58
28	10	H28.3.7	～	H28.3.13	0.01	0.04	0.51	0.02	0.58
28	11	H28.3.14	～	H28.3.20	0.01	0.04	0.46	0.02	0.58
28	12	H28.3.21	～	H28.3.27	0.01	0.03	0.36	0.01	0.55
28	13	H28.3.28	～	H28.4.3	0.02	0.03	0.41	0.01	0.68
28	14	H28.4.4	～	H28.4.10	0.03	0.04	0.34	0.01	0.68
28	15	H28.4.11	～	H28.4.17	0.02	0.04	0.31	0.01	0.73
28	16	H28.4.18	～	H28.4.24	0.02	0.08	0.37	-	0.63
28	17	H28.4.25	～	H28.5.1	0.02	0.04	0.48	0.01	0.62
28	18	H28.5.2	～	H28.5.8	0.02	0.04	0.44	0.01	0.49
28	19	H28.5.9	～	H28.5.15	0.02	0.06	0.46	0.01	0.39
28	20	H28.5.16	～	H28.5.22	0.02	0.06	0.55	0.02	0.37
28	21	H28.5.23	～	H28.5.29	0.03	0.06	0.58	0.01	0.30
28	22	H28.5.30	～	H28.6.5	0.03	0.04	0.56	0.01	0.21
28	23	H28.6.6	～	H28.6.12	0.02	0.06	0.60	0.02	0.17
28	24	H28.6.13	～	H28.6.19	0.03	0.07	0.66	-	0.16
28	25	H28.6.20	～	H28.6.26	0.03	0.05	0.72	0.01	0.09
28	26	H28.6.27	～	H28.7.3	0.02	0.06	0.65	0.01	0.07
28	27	H28.7.4	～	H28.7.10	0.02	0.07	0.78	0.02	0.07
28	28	H28.7.11	～	H28.7.17	0.03	0.11	0.92	0.01	0.03
28	29	H28.7.18	～	H28.7.24	0.02	0.09	0.79	0.01	0.01
28	30	H28.7.25	～	H28.7.31	0.01	0.08	1.03	0.01	0.01
28	31	H28.8.1	～	H28.8.7	0.03	0.08	0.94	0.01	0.01
28	32	H28.8.8	～	H28.8.14	0.02	0.09	0.93	0.01	0.01
28	33	H28.8.15	～	H28.8.21	0.02	0.09	0.91	0.01	0.01
28	34	H28.8.22	～	H28.8.28	0.02	0.07	0.87	0.02	-
28	35	H28.8.29	～	H28.9.4	0.02	0.11	0.90	-	0.01
28	36	H28.9.5	～	H28.9.11	0.04	0.06	0.86	0.01	0.02
28	37	H28.9.12	～	H28.9.18	0.02	0.09	0.96	0.02	0.01
28	38	H28.9.19	～	H28.9.25	0.03	0.07	0.86	0.01	0.01
28	39	H28.9.26	～	H28.10.2	0.02	0.07	1.21	0.02	0.01
28	40	H28.10.3	～	H28.10.9	0.04	0.06	1.35	0.02	0.01
28	41	H28.10.10	～	H28.10.16	0.02	0.05	1.24	0.01	0.01
28	42	H28.10.17	～	H28.10.23	0.02	0.08	1.64	-	0.02
28	43	H28.10.24	～	H28.10.30	0.04	0.06	1.48	0.01	0.02
28	44	H28.10.31	～	H28.11.6	0.01	0.05	1.14	0.01	0.02
28	45	H28.11.7	～	H28.11.13	0.03	0.05	1.35	0.02	0.03
28	46	H28.11.14	～	H28.11.20	0.01	0.04	1.32	0.02	0.04
28	47	H28.11.21	～	H28.11.27	0.02	0.06	1.00	0.03	0.02
28	48	H28.11.28	～	H28.12.4	0.01	0.05	1.14	0.01	0.02
28	49	H28.12.5	～	H28.12.11	0.01	0.03	1.22	0.01	0.05
28	50	H28.12.12	～	H28.12.18	0.01	0.05	1.04	0.02	0.05
28	51	H28.12.19	～	H28.12.25	0.01	0.03	0.85	0.02	0.05
28	52	H28.12.26	～	H29.1.1	0.01	0.03	0.80	-	0.07

表7-1 定点把握対象疾患 推移表 青森県 平成28年（2016年） (人/定点)

年	週		インフルエンザ*	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎
28	1	H28.1.4 ~ H28.1.10	2.18	0.74	0.55	1.24
28	2	H28.1.11 ~ H28.1.17	7.12	0.31	0.14	1.52
28	3	H28.1.18 ~ H28.1.24	16.45	0.21	0.48	1.24
28	4	H28.1.25 ~ H28.1.31	21.05	0.29	0.21	1.95
28	5	H28.2.1 ~ H28.2.7	24.42	0.07	0.36	1.31
28	6	H28.2.8 ~ H28.2.14	25.28	0.10	0.36	2.00
28	7	H28.2.15 ~ H28.2.21	18.77	0.02	0.38	1.60
28	8	H28.2.22 ~ H28.2.28	16.89	-	0.40	1.93
28	9	H28.2.29 ~ H28.3.6	15.35	0.10	0.21	1.60
28	10	H28.3.7 ~ H28.3.13	16.12	0.07	0.26	2.12
28	11	H28.3.14 ~ H28.3.20	17.55	0.10	0.38	2.26
28	12	H28.3.21 ~ H28.3.27	16.86	-	0.07	1.76
28	13	H28.3.28 ~ H28.4.3	17.28	0.02	0.19	1.40
28	14	H28.4.4 ~ H28.4.10	12.66	-	0.31	1.79
28	15	H28.4.11 ~ H28.4.17	13.65	0.02	0.19	1.76
28	16	H28.4.18 ~ H28.4.24	11.15	0.12	0.21	1.62
28	17	H28.4.25 ~ H28.5.1	6.15	0.14	0.33	1.71
28	18	H28.5.2 ~ H28.5.8	3.78	0.05	0.50	1.31
28	19	H28.5.9 ~ H28.5.15	2.60	-	0.43	1.50
28	20	H28.5.16 ~ H28.5.22	2.17	0.07	0.26	1.52
28	21	H28.5.23 ~ H28.5.29	0.89	0.02	0.57	1.48
28	22	H28.5.30 ~ H28.6.5	0.25	0.05	0.67	1.43
28	23	H28.6.6 ~ H28.6.12	0.26	0.05	0.50	1.95
28	24	H28.6.13 ~ H28.6.19	0.09	-	0.36	1.48
28	25	H28.6.20 ~ H28.6.26	0.03	0.19	0.79	1.48
28	26	H28.6.27 ~ H28.7.3	-	0.05	0.74	1.71
28	27	H28.7.4 ~ H28.7.10	-	0.24	0.50	1.64
28	28	H28.7.11 ~ H28.7.17	-	0.12	0.50	1.62
28	29	H28.7.18 ~ H28.7.24	-	0.14	0.36	1.12
28	30	H28.7.25 ~ H28.7.31	-	0.17	0.31	1.52
28	31	H28.8.1 ~ H28.8.7	-	0.33	0.33	1.40
28	32	H28.8.8 ~ H28.8.14	0.03	0.14	0.26	1.07
28	33	H28.8.15 ~ H28.8.21	0.03	0.31	0.19	0.64
28	34	H28.8.22 ~ H28.8.28	-	1.12	0.26	1.00
28	35	H28.8.29 ~ H28.9.4	-	1.64	0.10	1.17
28	36	H28.9.5 ~ H28.9.11	-	1.33	0.02	1.14
28	37	H28.9.12 ~ H28.9.18	0.02	1.95	0.12	1.07
28	38	H28.9.19 ~ H28.9.25	-	1.31	0.05	0.67
28	39	H28.9.26 ~ H28.10.2	0.02	1.43	-	1.29
28	40	H28.10.3 ~ H28.10.9	-	1.81	0.07	1.40
28	41	H28.10.10 ~ H28.10.16	-	1.45	0.05	0.76
28	42	H28.10.17 ~ H28.10.23	-	1.02	0.14	1.62
28	43	H28.10.24 ~ H28.10.30	-	0.88	0.24	1.21
28	44	H28.10.31 ~ H28.11.6	0.22	0.90	0.19	1.29
28	45	H28.11.7 ~ H28.11.13	0.09	1.31	0.29	1.17
28	46	H28.11.14 ~ H28.11.20	0.22	0.98	0.40	1.38
28	47	H28.11.21 ~ H28.11.27	0.25	0.69	0.21	1.21
28	48	H28.11.28 ~ H28.12.4	0.82	0.69	0.14	1.33
28	49	H28.12.5 ~ H28.12.11	1.11	0.36	0.43	1.48
28	50	H28.12.12 ~ H28.12.18	2.22	0.64	0.38	1.71
28	51	H28.12.19 ~ H28.12.25	2.09	0.40	0.52	1.57
28	52	H28.12.26 ~ H29.1.1	5.32	0.21	0.48	1.10

表7-2 定点把握対象疾患 推移表 青森県 平成28年（2016年） (人/定点)

年	週		感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん
28	1	H28.1.4 ~ H28.1.10	4.79	0.33	-	0.57	0.33
28	2	H28.1.11 ~ H28.1.17	3.17	0.17	-	0.62	0.31
28	3	H28.1.18 ~ H28.1.24	3.29	0.38	-	0.60	0.50
28	4	H28.1.25 ~ H28.1.31	3.33	0.19	0.10	0.52	0.31
28	5	H28.2.1 ~ H28.2.7	2.76	0.21	0.10	0.45	0.38
28	6	H28.2.8 ~ H28.2.14	3.33	0.19	0.02	0.26	0.26
28	7	H28.2.15 ~ H28.2.21	3.38	0.12	0.05	0.17	0.26
28	8	H28.2.22 ~ H28.2.28	3.55	0.43	0.02	0.10	0.31
28	9	H28.2.29 ~ H28.3.6	3.29	0.10	0.02	0.05	0.52
28	10	H28.3.7 ~ H28.3.13	3.10	0.05	0.02	0.38	0.26
28	11	H28.3.14 ~ H28.3.20	4.86	0.10	-	0.38	0.31
28	12	H28.3.21 ~ H28.3.27	3.60	0.14	-	0.10	0.31
28	13	H28.3.28 ~ H28.4.3	3.98	0.26	-	0.14	0.33
28	14	H28.4.4 ~ H28.4.10	3.88	0.21	-	0.12	0.40
28	15	H28.4.11 ~ H28.4.17	4.50	0.14	0.02	0.26	0.50
28	16	H28.4.18 ~ H28.4.24	4.64	0.26	0.02	0.38	0.60
28	17	H28.4.25 ~ H28.5.1	3.88	0.14	-	0.36	0.52
28	18	H28.5.2 ~ H28.5.8	3.05	0.31	-	0.12	0.29
28	19	H28.5.9 ~ H28.5.15	5.14	0.36	0.02	0.38	0.26
28	20	H28.5.16 ~ H28.5.22	6.57	0.29	0.02	0.36	0.40
28	21	H28.5.23 ~ H28.5.29	6.90	0.71	-	0.52	0.48
28	22	H28.5.30 ~ H28.6.5	5.81	0.52	0.02	0.38	0.67
28	23	H28.6.6 ~ H28.6.12	4.90	0.55	0.14	0.57	0.52
28	24	H28.6.13 ~ H28.6.19	3.40	0.12	0.10	0.43	0.38
28	25	H28.6.20 ~ H28.6.26	3.17	0.52	-	0.45	0.83
28	26	H28.6.27 ~ H28.7.3	2.40	0.33	0.07	0.52	0.38
28	27	H28.7.4 ~ H28.7.10	2.26	0.50	0.02	0.50	0.67
28	28	H28.7.11 ~ H28.7.17	2.79	0.19	0.05	0.45	0.55
28	29	H28.7.18 ~ H28.7.24	2.24	0.33	0.19	0.48	0.45
28	30	H28.7.25 ~ H28.7.31	2.29	0.21	0.12	0.38	0.43
28	31	H28.8.1 ~ H28.8.7	2.43	0.17	0.19	0.26	0.43
28	32	H28.8.8 ~ H28.8.14	1.55	0.19	0.33	0.14	0.48
28	33	H28.8.15 ~ H28.8.21	2.33	0.12	0.29	0.14	0.64
28	34	H28.8.22 ~ H28.8.28	2.55	0.19	0.64	0.21	0.19
28	35	H28.8.29 ~ H28.9.4	2.57	0.12	0.74	0.26	0.40
28	36	H28.9.5 ~ H28.9.11	2.86	0.21	0.83	0.14	0.50
28	37	H28.9.12 ~ H28.9.18	1.79	0.14	0.88	0.14	0.40
28	38	H28.9.19 ~ H28.9.25	1.62	0.19	0.29	0.17	0.40
28	39	H28.9.26 ~ H28.10.2	1.67	0.10	0.45	0.17	0.26
28	40	H28.10.3 ~ H28.10.9	2.07	0.02	0.48	0.12	0.38
28	41	H28.10.10 ~ H28.10.16	1.86	0.10	0.31	0.05	0.36
28	42	H28.10.17 ~ H28.10.23	2.02	0.05	0.29	0.07	0.38
28	43	H28.10.24 ~ H28.10.30	2.36	0.07	0.45	0.07	0.45
28	44	H28.10.31 ~ H28.11.6	2.52	0.10	0.55	0.07	0.48
28	45	H28.11.7 ~ H28.11.13	3.52	0.10	0.52	0.05	0.48
28	46	H28.11.14 ~ H28.11.20	4.86	0.24	0.31	0.24	0.57
28	47	H28.11.21 ~ H28.11.27	5.48	0.29	0.45	0.12	0.64
28	48	H28.11.28 ~ H28.12.4	7.14	0.12	0.38	0.19	0.26
28	49	H28.12.5 ~ H28.12.11	8.60	0.12	0.21	0.24	0.29
28	50	H28.12.12 ~ H28.12.18	10.83	0.29	0.19	0.21	0.45
28	51	H28.12.19 ~ H28.12.25	9.02	0.21	0.17	0.17	0.31
28	52	H28.12.26 ~ H29.1.1	7.90	0.24	0.19	0.14	0.31

表7-3 定点把握対象疾患 推移表 青森県 平成28年(2016年)

(人/定点)

年	週		百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
28	1	H28.1.4 ~ H28.1.10	-	-	0.90	-	0.64
28	2	H28.1.11 ~ H28.1.17	-	-	0.74	-	0.36
28	3	H28.1.18 ~ H28.1.24	-	0.02	0.50	-	0.55
28	4	H28.1.25 ~ H28.1.31	-	0.02	0.76	-	0.45
28	5	H28.2.1 ~ H28.2.7	-	0.02	0.43	-	0.82
28	6	H28.2.8 ~ H28.2.14	-	-	0.36	-	0.82
28	7	H28.2.15 ~ H28.2.21	-	-	0.83	-	0.82
28	8	H28.2.22 ~ H28.2.28	-	-	0.64	-	0.55
28	9	H28.2.29 ~ H28.3.6	-	0.02	0.69	-	0.18
28	10	H28.3.7 ~ H28.3.13	-	-	0.86	-	0.64
28	11	H28.3.14 ~ H28.3.20	-	-	0.50	-	0.27
28	12	H28.3.21 ~ H28.3.27	-	-	0.93	-	0.18
28	13	H28.3.28 ~ H28.4.3	-	-	0.76	0.09	0.82
28	14	H28.4.4 ~ H28.4.10	-	0.02	0.55	-	0.27
28	15	H28.4.11 ~ H28.4.17	-	-	0.79	-	0.27
28	16	H28.4.18 ~ H28.4.24	-	-	0.45	-	0.18
28	17	H28.4.25 ~ H28.5.1	0.02	-	0.43	-	0.18
28	18	H28.5.2 ~ H28.5.8	-	-	0.57	-	0.73
28	19	H28.5.9 ~ H28.5.15	0.02	-	0.60	-	0.55
28	20	H28.5.16 ~ H28.5.22	-	0.02	0.60	-	0.36
28	21	H28.5.23 ~ H28.5.29	-	0.10	0.36	-	0.09
28	22	H28.5.30 ~ H28.6.5	-	0.02	0.38	-	0.82
28	23	H28.6.6 ~ H28.6.12	-	-	0.95	0.09	0.55
28	24	H28.6.13 ~ H28.6.19	-	0.05	0.33	0.09	0.18
28	25	H28.6.20 ~ H28.6.26	-	0.12	0.57	-	0.55
28	26	H28.6.27 ~ H28.7.3	-	-	0.60	-	0.45
28	27	H28.7.4 ~ H28.7.10	-	0.05	0.50	-	0.36
28	28	H28.7.11 ~ H28.7.17	0.02	0.17	0.64	-	-
28	29	H28.7.18 ~ H28.7.24	-	0.29	0.26	-	0.55
28	30	H28.7.25 ~ H28.7.31	0.02	0.79	0.48	-	0.64
28	31	H28.8.1 ~ H28.8.7	-	1.00	0.40	-	0.55
28	32	H28.8.8 ~ H28.8.14	-	1.05	0.43	-	0.36
28	33	H28.8.15 ~ H28.8.21	0.02	1.29	0.26	-	0.27
28	34	H28.8.22 ~ H28.8.28	-	2.24	0.33	-	0.36
28	35	H28.8.29 ~ H28.9.4	0.10	2.55	0.36	-	0.45
28	36	H28.9.5 ~ H28.9.11	-	3.14	0.31	-	0.45
28	37	H28.9.12 ~ H28.9.18	0.12	2.57	0.52	0.09	0.45
28	38	H28.9.19 ~ H28.9.25	-	1.57	0.29	-	0.45
28	39	H28.9.26 ~ H28.10.2	-	1.76	0.24	-	0.45
28	40	H28.10.3 ~ H28.10.9	0.02	1.98	0.55	-	0.27
28	41	H28.10.10 ~ H28.10.16	-	0.67	0.40	-	0.36
28	42	H28.10.17 ~ H28.10.23	0.02	0.76	0.38	-	0.91
28	43	H28.10.24 ~ H28.10.30	-	0.62	0.71	-	1.00
28	44	H28.10.31 ~ H28.11.6	-	0.64	0.45	-	0.27
28	45	H28.11.7 ~ H28.11.13	-	0.33	0.21	-	0.64
28	46	H28.11.14 ~ H28.11.20	-	0.21	0.31	-	0.64
28	47	H28.11.21 ~ H28.11.27	-	0.10	0.36	-	0.27
28	48	H28.11.28 ~ H28.12.4	0.02	0.19	0.31	-	0.45
28	49	H28.12.5 ~ H28.12.11	-	0.24	0.14	-	1.00
28	50	H28.12.12 ~ H28.12.18	0.02	0.17	0.45	-	0.27
28	51	H28.12.19 ~ H28.12.25	-	0.10	0.45	-	0.18
28	52	H28.12.26 ~ H29.1.1	-	0.05	0.17	-	0.36

表7-4 定点把握対象疾患 推移表 青森県 平成28年（2016年） (人/定点)

年	週		細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)
28	1	H28.1.4 ~ H28.1.10	0.33	0.17	0.50	-	-
28	2	H28.1.11 ~ H28.1.17	0.33	-	0.50	-	-
28	3	H28.1.18 ~ H28.1.24	-	-	0.83	-	0.17
28	4	H28.1.25 ~ H28.1.31	-	0.33	0.67	-	0.17
28	5	H28.2.1 ~ H28.2.7	-	-	0.50	-	0.17
28	6	H28.2.8 ~ H28.2.14	-	-	1.67	-	0.17
28	7	H28.2.15 ~ H28.2.21	0.17	0.17	1.00	-	1.33
28	8	H28.2.22 ~ H28.2.28	-	-	0.67	-	0.50
28	9	H28.2.29 ~ H28.3.6	-	-	0.50	-	-
28	10	H28.3.7 ~ H28.3.13	-	-	0.83	-	0.17
28	11	H28.3.14 ~ H28.3.20	-	-	1.17	-	1.00
28	12	H28.3.21 ~ H28.3.27	-	0.17	0.83	-	0.50
28	13	H28.3.28 ~ H28.4.3	-	0.17	0.67	-	1.00
28	14	H28.4.4 ~ H28.4.10	0.33	0.17	0.50	-	1.50
28	15	H28.4.11 ~ H28.4.17	0.17	-	0.50	-	2.33
28	16	H28.4.18 ~ H28.4.24	-	-	1.17	-	0.83
28	17	H28.4.25 ~ H28.5.1	-	-	0.50	-	0.33
28	18	H28.5.2 ~ H28.5.8	-	-	0.50	-	0.50
28	19	H28.5.9 ~ H28.5.15	-	-	0.50	-	0.50
28	20	H28.5.16 ~ H28.5.22	-	-	1.50	-	1.33
28	21	H28.5.23 ~ H28.5.29	-	0.17	0.83	-	2.50
28	22	H28.5.30 ~ H28.6.5	-	-	1.17	-	1.33
28	23	H28.6.6 ~ H28.6.12	-	-	0.67	-	0.33
28	24	H28.6.13 ~ H28.6.19	-	-	0.67	-	-
28	25	H28.6.20 ~ H28.6.26	-	-	0.33	-	0.33
28	26	H28.6.27 ~ H28.7.3	-	-	0.83	-	0.33
28	27	H28.7.4 ~ H28.7.10	0.17	-	0.83	-	-
28	28	H28.7.11 ~ H28.7.17	-	-	0.33	-	-
28	29	H28.7.18 ~ H28.7.24	-	0.33	0.67	-	-
28	30	H28.7.25 ~ H28.7.31	-	0.17	0.33	-	-
28	31	H28.8.1 ~ H28.8.7	-	-	0.50	-	0.17
28	32	H28.8.8 ~ H28.8.14	0.17	-	0.83	-	-
28	33	H28.8.15 ~ H28.8.21	-	0.33	0.33	-	0.33
28	34	H28.8.22 ~ H28.8.28	-	-	0.50	-	0.17
28	35	H28.8.29 ~ H28.9.4	0.17	-	0.67	-	-
28	36	H28.9.5 ~ H28.9.11	0.33	0.33	0.67	-	0.17
28	37	H28.9.12 ~ H28.9.18	-	-	1.50	-	-
28	38	H28.9.19 ~ H28.9.25	0.17	-	2.00	-	0.17
28	39	H28.9.26 ~ H28.10.2	-	0.17	2.33	-	-
28	40	H28.10.3 ~ H28.10.9	-	-	1.50	-	-
28	41	H28.10.10 ~ H28.10.16	-	-	2.00	-	-
28	42	H28.10.17 ~ H28.10.23	-	-	3.00	-	-
28	43	H28.10.24 ~ H28.10.30	-	-	3.00	-	-
28	44	H28.10.31 ~ H28.11.6	-	-	2.67	-	-
28	45	H28.11.7 ~ H28.11.13	-	-	2.17	-	-
28	46	H28.11.14 ~ H28.11.20	-	-	1.17	-	-
28	47	H28.11.21 ~ H28.11.27	-	-	1.50	-	-
28	48	H28.11.28 ~ H28.12.4	-	0.17	1.00	-	-
28	49	H28.12.5 ~ H28.12.11	-	-	0.50	-	0.17
28	50	H28.12.12 ~ H28.12.18	-	-	1.00	-	0.17
28	51	H28.12.19 ~ H28.12.25	-	-	2.17	-	-
28	52	H28.12.26 ~ H29.1.1	-	0.17	0.83	-	0.17

表8-1 定点把握対象疾患 推移表 全国 平成28年(2016年)

(人)

年	週			インフルエンザ*	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎
28	1	H28.1.4	~ H28.1.10	10,058	3,665	1,707	6,832
28	2	H28.1.11	~ H28.1.17	20,436	2,303	1,124	7,440
28	3	H28.1.18	~ H28.1.24	52,351	2,230	1,291	9,599
28	4	H28.1.25	~ H28.1.31	111,885	1,953	1,287	10,607
28	5	H28.2.1	~ H28.2.7	172,326	1,583	1,210	11,490
28	6	H28.2.8	~ H28.2.14	198,674	1,323	1,151	10,473
28	7	H28.2.15	~ H28.2.21	184,458	1,176	1,145	10,348
28	8	H28.2.22	~ H28.2.28	179,140	1,039	970	10,188
28	9	H28.2.29	~ H28.3.6	175,467	986	939	9,464
28	10	H28.3.7	~ H28.3.13	139,842	874	886	8,938
28	11	H28.3.14	~ H28.3.20	105,077	806	936	8,581
28	12	H28.3.21	~ H28.3.27	68,504	637	678	6,336
28	13	H28.3.28	~ H28.4.3	55,419	578	718	6,223
28	14	H28.4.4	~ H28.4.10	34,709	457	718	5,829
28	15	H28.4.11	~ H28.4.17	25,117	643	847	7,266
28	16	H28.4.18	~ H28.4.24	20,922	590	1,102	8,311
28	17	H28.4.25	~ H28.5.1	12,392	493	1,270	7,602
28	18	H28.5.2	~ H28.5.8	6,121	351	1,284	5,226
28	19	H28.5.9	~ H28.5.15	3,355	327	1,707	8,083
28	20	H28.5.16	~ H28.5.22	2,370	315	1,754	8,909
28	21	H28.5.23	~ H28.5.29	1,427	344	2,316	9,371
28	22	H28.5.30	~ H28.6.5	865	269	2,369	9,229
28	23	H28.6.6	~ H28.6.12	646	280	2,508	9,980
28	24	H28.6.13	~ H28.6.19	365	262	2,293	8,928
28	25	H28.6.20	~ H28.6.26	184	367	2,206	8,687
28	26	H28.6.27	~ H28.7.3	162	369	2,186	8,529
28	27	H28.7.4	~ H28.7.10	134	433	1,927	8,034
28	28	H28.7.11	~ H28.7.17	136	644	1,816	7,669
28	29	H28.7.18	~ H28.7.24	87	636	1,507	5,492
28	30	H28.7.25	~ H28.7.31	96	837	1,479	5,588
28	31	H28.8.1	~ H28.8.7	85	1,095	1,312	4,850
28	32	H28.8.8	~ H28.8.14	124	1,075	1,120	3,348
28	33	H28.8.15	~ H28.8.21	97	1,176	1,183	2,984
28	34	H28.8.22	~ H28.8.28	141	1,638	1,135	3,510
28	35	H28.8.29	~ H28.9.4	163	2,728	1,351	3,986
28	36	H28.9.5	~ H28.9.11	263	3,359	1,221	4,545
28	37	H28.9.12	~ H28.9.18	474	4,636	1,188	5,091
28	38	H28.9.19	~ H28.9.25	573	4,234	778	3,785
28	39	H28.9.26	~ H28.10.2	801	5,479	872	4,768
28	40	H28.10.3	~ H28.10.9	1,123	7,341	809	5,129
28	41	H28.10.10	~ H28.10.16	1,166	6,397	670	4,042
28	42	H28.10.17	~ H28.10.23	1,862	6,020	700	5,444
28	43	H28.10.24	~ H28.10.30	2,345	5,304	774	5,356
28	44	H28.10.31	~ H28.11.6	2,923	4,226	768	5,384
28	45	H28.11.7	~ H28.11.13	4,157	3,797	878	6,222
28	46	H28.11.14	~ H28.11.20	6,858	3,519	987	7,013
28	47	H28.11.21	~ H28.11.27	8,871	3,234	1,181	6,609
28	48	H28.11.28	~ H28.12.4	12,378	3,062	1,359	7,640
28	49	H28.12.5	~ H28.12.11	16,431	2,979	1,476	8,127
28	50	H28.12.12	~ H28.12.18	24,956	2,524	1,613	8,432
28	51	H28.12.19	~ H28.12.25	41,595	2,238	1,527	7,481
28	52	H28.12.26	~ H29.1.1	41,857	1,872	1,254	4,817
合計				1,751,968	104,703	67,487	367,815

表8-2 定点把握対象疾患 推移表 全国 平成28年 (2016年) (人)

年	週			感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん
28	1	H28.1.4	～ H28.1.10	24,478	2,768	160	2,632	1,243
28	2	H28.1.11	～ H28.1.17	24,367	1,494	129	2,545	1,432
28	3	H28.1.18	～ H28.1.24	25,600	1,503	123	2,435	1,295
28	4	H28.1.25	～ H28.1.31	24,585	1,226	168	2,398	1,208
28	5	H28.2.1	～ H28.2.7	23,924	1,253	108	1,854	1,212
28	6	H28.2.8	～ H28.2.14	21,259	1,169	95	1,647	1,118
28	7	H28.2.15	～ H28.2.21	21,075	1,255	76	1,388	1,172
28	8	H28.2.22	～ H28.2.28	19,992	1,063	77	1,452	1,072
28	9	H28.2.29	～ H28.3.6	20,540	1,094	93	1,557	1,094
28	10	H28.3.7	～ H28.3.13	19,860	1,020	53	1,351	1,155
28	11	H28.3.14	～ H28.3.20	18,843	1,043	68	1,337	1,145
28	12	H28.3.21	～ H28.3.27	15,419	1,016	78	908	1,082
28	13	H28.3.28	～ H28.4.3	17,551	1,164	61	1,041	1,258
28	14	H28.4.4	～ H28.4.10	16,908	1,090	74	1,068	1,414
28	15	H28.4.11	～ H28.4.17	18,391	965	109	1,156	1,516
28	16	H28.4.18	～ H28.4.24	20,660	1,114	156	1,195	1,772
28	17	H28.4.25	～ H28.5.1	18,910	1,123	176	1,070	1,743
28	18	H28.5.2	～ H28.5.8	13,825	1,210	185	900	1,399
28	19	H28.5.9	～ H28.5.15	18,591	1,617	282	1,122	1,813
28	20	H28.5.16	～ H28.5.22	19,634	1,155	439	1,325	1,850
28	21	H28.5.23	～ H28.5.29	19,914	1,771	568	1,341	2,040
28	22	H28.5.30	～ H28.6.5	18,821	1,349	595	1,111	1,986
28	23	H28.6.6	～ H28.6.12	19,865	1,410	811	1,417	1,815
28	24	H28.6.13	～ H28.6.19	18,459	1,520	1,093	1,281	1,811
28	25	H28.6.20	～ H28.6.26	17,168	1,385	1,289	1,389	1,966
28	26	H28.6.27	～ H28.7.3	15,836	1,413	1,509	1,314	1,920
28	27	H28.7.4	～ H28.7.10	14,432	1,215	2,014	1,251	1,759
28	28	H28.7.11	～ H28.7.17	14,112	1,219	2,305	1,026	1,760
28	29	H28.7.18	～ H28.7.24	11,135	1,006	2,251	871	1,496
28	30	H28.7.25	～ H28.7.31	11,826	985	2,247	889	1,680
28	31	H28.8.1	～ H28.8.7	11,340	876	2,385	769	1,560
28	32	H28.8.8	～ H28.8.14	9,034	824	1,806	504	1,315
28	33	H28.8.15	～ H28.8.21	9,238	799	1,546	444	1,428
28	34	H28.8.22	～ H28.8.28	11,024	782	1,935	521	1,689
28	35	H28.8.29	～ H28.9.4	12,321	690	2,204	523	1,711
28	36	H28.9.5	～ H28.9.11	11,894	808	2,303	527	1,728
28	37	H28.9.12	～ H28.9.18	11,826	853	2,536	417	1,735
28	38	H28.9.19	～ H28.9.25	9,293	809	2,481	312	1,378
28	39	H28.9.26	～ H28.10.2	11,508	900	3,420	471	1,569
28	40	H28.10.3	～ H28.10.9	11,759	905	4,396	378	1,510
28	41	H28.10.10	～ H28.10.16	10,881	826	3,453	292	1,307
28	42	H28.10.17	～ H28.10.23	13,795	928	3,280	410	1,348
28	43	H28.10.24	～ H28.10.30	16,675	1,171	3,359	289	1,434
28	44	H28.10.31	～ H28.11.6	20,288	1,055	2,893	321	1,298
28	45	H28.11.7	～ H28.11.13	29,838	1,476	2,323	304	1,369
28	46	H28.11.14	～ H28.11.20	41,547	1,598	2,304	378	1,373
28	47	H28.11.21	～ H28.11.27	40,746	1,891	2,216	403	1,351
28	48	H28.11.28	～ H28.12.4	55,049	1,974	1,922	401	1,422
28	49	H28.12.5	～ H28.12.11	61,612	2,045	1,639	411	1,199
28	50	H28.12.12	～ H28.12.18	66,318	2,049	1,373	420	1,251
28	51	H28.12.19	～ H28.12.25	54,613	1,914	1,223	402	1,210
28	52	H28.12.26	～ H29.1.1	30,221	1,595	750	251	860
合計				1,116,800	65,383	69,139	51,419	76,271

表8-3 定点把握対象疾患 推移表 全国 平成28年 (2016年)

(人)

年	週			百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
28	1	H28.1.4	～ H28.1.10	44	46	3,812	10	699
28	2	H28.1.11	～ H28.1.17	37	65	2,796	11	505
28	3	H28.1.18	～ H28.1.24	52	55	2,084	9	473
28	4	H28.1.25	～ H28.1.31	41	43	2,705	3	464
28	5	H28.2.1	～ H28.2.7	38	54	2,371	8	493
28	6	H28.2.8	～ H28.2.14	41	34	2,313	6	423
28	7	H28.2.15	～ H28.2.21	38	24	2,684	4	417
28	8	H28.2.22	～ H28.2.28	37	39	2,528	8	391
28	9	H28.2.29	～ H28.3.6	32	45	2,483	6	376
28	10	H28.3.7	～ H28.3.13	42	37	2,727	11	389
28	11	H28.3.14	～ H28.3.20	36	59	2,509	10	317
28	12	H28.3.21	～ H28.3.27	23	45	2,534	6	319
28	13	H28.3.28	～ H28.4.3	44	36	2,839	9	356
28	14	H28.4.4	～ H28.4.10	47	69	2,568	13	395
28	15	H28.4.11	～ H28.4.17	49	117	2,598	6	383
28	16	H28.4.18	～ H28.4.24	57	126	2,333	5	443
28	17	H28.4.25	～ H28.5.1	55	170	2,536	13	475
28	18	H28.5.2	～ H28.5.8	33	175	2,421	14	406
28	19	H28.5.9	～ H28.5.15	68	335	3,011	10	520
28	20	H28.5.16	～ H28.5.22	70	668	2,998	8	454
28	21	H28.5.23	～ H28.5.29	79	775	2,680	12	451
28	22	H28.5.30	～ H28.6.5	78	1,326	3,500	7	456
28	23	H28.6.6	～ H28.6.12	107	1,679	2,985	6	467
28	24	H28.6.13	～ H28.6.19	95	2,883	3,358	5	514
28	25	H28.6.20	～ H28.6.26	106	4,673	3,564	3	558
28	26	H28.6.27	～ H28.7.3	76	7,160	3,360	14	520
28	27	H28.7.4	～ H28.7.10	96	9,944	3,848	12	586
28	28	H28.7.11	～ H28.7.17	73	12,767	4,008	8	578
28	29	H28.7.18	～ H28.7.24	78	11,178	3,857	4	533
28	30	H28.7.25	～ H28.7.31	90	12,169	4,141	6	584
28	31	H28.8.1	～ H28.8.7	77	11,463	3,687	6	559
28	32	H28.8.8	～ H28.8.14	47	8,056	3,273	5	440
28	33	H28.8.15	～ H28.8.21	55	4,552	3,369	4	543
28	34	H28.8.22	～ H28.8.28	60	5,842	3,344	6	656
28	35	H28.8.29	～ H28.9.4	82	6,157	2,961	10	627
28	36	H28.9.5	～ H28.9.11	94	5,278	3,113	5	692
28	37	H28.9.12	～ H28.9.18	71	4,587	3,408	15	671
28	38	H28.9.19	～ H28.9.25	44	2,786	2,927	8	574
28	39	H28.9.26	～ H28.10.2	81	3,092	3,805	18	702
28	40	H28.10.3	～ H28.10.9	62	3,237	3,513	12	669
28	41	H28.10.10	～ H28.10.16	59	1,738	2,984	9	536
28	42	H28.10.17	～ H28.10.23	77	1,281	4,009	3	621
28	43	H28.10.24	～ H28.10.30	58	1,012	3,082	2	608
28	44	H28.10.31	～ H28.11.6	55	783	3,324	5	472
28	45	H28.11.7	～ H28.11.13	63	527	3,370	3	498
28	46	H28.11.14	～ H28.11.20	34	454	3,053	-	490
28	47	H28.11.21	～ H28.11.27	39	416	3,114	5	490
28	48	H28.11.28	～ H28.12.4	38	389	3,340	4	498
28	49	H28.12.5	～ H28.12.11	56	291	3,130	9	468
28	50	H28.12.12	～ H28.12.18	35	271	3,057	10	495
28	51	H28.12.19	～ H28.12.25	37	213	2,781	9	478
28	52	H28.12.26	～ H29.1.1	25	150	2,236	6	367
合 計				3,011	129,371	159,031	401	26,099

表8-4 定点把握対象疾患 推移表 全国 平成28年(2016年)

(人)

年	週			細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)
28	1	H28.1.4	~ H28.1.10	9	15	432	9	59
28	2	H28.1.11	~ H28.1.17	11	16	357	13	88
28	3	H28.1.18	~ H28.1.24	9	23	278	10	96
28	4	H28.1.25	~ H28.1.31	7	20	255	10	132
28	5	H28.2.1	~ H28.2.7	5	15	267	6	172
28	6	H28.2.8	~ H28.2.14	7	16	237	12	220
28	7	H28.2.15	~ H28.2.21	11	10	266	6	208
28	8	H28.2.22	~ H28.2.28	4	15	237	12	218
28	9	H28.2.29	~ H28.3.6	11	18	213	13	275
28	10	H28.3.7	~ H28.3.13	7	21	243	11	277
28	11	H28.3.14	~ H28.3.20	3	18	221	10	275
28	12	H28.3.21	~ H28.3.27	6	16	170	4	261
28	13	H28.3.28	~ H28.4.3	9	14	194	6	326
28	14	H28.4.4	~ H28.4.10	12	20	161	6	325
28	15	H28.4.11	~ H28.4.17	8	21	150	6	347
28	16	H28.4.18	~ H28.4.24	11	37	178	1	301
28	17	H28.4.25	~ H28.5.1	8	17	230	5	297
28	18	H28.5.2	~ H28.5.8	11	18	211	4	234
28	19	H28.5.9	~ H28.5.15	9	28	218	7	186
28	20	H28.5.16	~ H28.5.22	9	29	261	9	175
28	21	H28.5.23	~ H28.5.29	12	29	275	6	143
28	22	H28.5.30	~ H28.6.5	12	20	266	4	99
28	23	H28.6.6	~ H28.6.12	8	31	286	8	80
28	24	H28.6.13	~ H28.6.19	12	33	315	2	78
28	25	H28.6.20	~ H28.6.26	12	26	345	5	41
28	26	H28.6.27	~ H28.7.3	9	29	310	7	34
28	27	H28.7.4	~ H28.7.10	10	35	374	8	33
28	28	H28.7.11	~ H28.7.17	13	51	438	7	14
28	29	H28.7.18	~ H28.7.24	10	43	380	3	6
28	30	H28.7.25	~ H28.7.31	7	38	490	4	6
28	31	H28.8.1	~ H28.8.7	12	36	446	5	7
28	32	H28.8.8	~ H28.8.14	8	42	444	4	7
28	33	H28.8.15	~ H28.8.21	9	43	433	7	6
28	34	H28.8.22	~ H28.8.28	8	32	418	9	2
28	35	H28.8.29	~ H28.9.4	10	53	429	2	7
28	36	H28.9.5	~ H28.9.11	21	30	410	4	11
28	37	H28.9.12	~ H28.9.18	8	41	456	8	6
28	38	H28.9.19	~ H28.9.25	14	35	411	7	5
28	39	H28.9.26	~ H28.10.2	10	35	579	8	6
28	40	H28.10.3	~ H28.10.9	18	31	645	9	6
28	41	H28.10.10	~ H28.10.16	9	25	595	6	7
28	42	H28.10.17	~ H28.10.23	11	39	785	1	8
28	43	H28.10.24	~ H28.10.30	17	28	707	5	11
28	44	H28.10.31	~ H28.11.6	7	22	544	3	11
28	45	H28.11.7	~ H28.11.13	14	24	642	8	12
28	46	H28.11.14	~ H28.11.20	7	20	631	9	20
28	47	H28.11.21	~ H28.11.27	9	30	478	15	8
28	48	H28.11.28	~ H28.12.4	7	25	546	4	8
28	49	H28.12.5	~ H28.12.11	7	16	584	5	25
28	50	H28.12.12	~ H28.12.18	3	24	496	9	26
28	51	H28.12.19	~ H28.12.25	5	14	404	10	26
28	52	H28.12.26	~ H29.1.1	7	12	380	2	35
合 計				493	1,379	19,721	354	5,266

表9-1 定点把握対象疾患 推移表 青森県 平成28年 (2016年) (人)

年	週			インフルエンザ*	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	
28	1	H28.1.4	～	H28.1.10	142	31	23	52
28	2	H28.1.11	～	H28.1.17	463	13	6	64
28	3	H28.1.18	～	H28.1.24	1,069	9	20	52
28	4	H28.1.25	～	H28.1.31	1,368	12	9	82
28	5	H28.2.1	～	H28.2.7	1,587	3	15	55
28	6	H28.2.8	～	H28.2.14	1,643	4	15	84
28	7	H28.2.15	～	H28.2.21	1,220	1	16	67
28	8	H28.2.22	～	H28.2.28	1,098	-	17	81
28	9	H28.2.29	～	H28.3.6	998	4	9	67
28	10	H28.3.7	～	H28.3.13	1,048	3	11	89
28	11	H28.3.14	～	H28.3.20	1,141	4	16	95
28	12	H28.3.21	～	H28.3.27	1,096	-	3	74
28	13	H28.3.28	～	H28.4.3	1,123	1	8	59
28	14	H28.4.4	～	H28.4.10	823	-	13	75
28	15	H28.4.11	～	H28.4.17	887	1	8	74
28	16	H28.4.18	～	H28.4.24	725	5	9	68
28	17	H28.4.25	～	H28.5.1	400	6	14	72
28	18	H28.5.2	～	H28.5.8	246	2	21	55
28	19	H28.5.9	～	H28.5.15	169	-	18	63
28	20	H28.5.16	～	H28.5.22	141	3	11	64
28	21	H28.5.23	～	H28.5.29	58	1	24	62
28	22	H28.5.30	～	H28.6.5	16	2	28	60
28	23	H28.6.6	～	H28.6.12	17	2	21	82
28	24	H28.6.13	～	H28.6.19	6	-	15	62
28	25	H28.6.20	～	H28.6.26	2	8	33	62
28	26	H28.6.27	～	H28.7.3	-	2	31	72
28	27	H28.7.4	～	H28.7.10	-	10	21	69
28	28	H28.7.11	～	H28.7.17	-	5	21	68
28	29	H28.7.18	～	H28.7.24	-	6	15	47
28	30	H28.7.25	～	H28.7.31	-	7	13	64
28	31	H28.8.1	～	H28.8.7	-	14	14	59
28	32	H28.8.8	～	H28.8.14	2	6	11	45
28	33	H28.8.15	～	H28.8.21	2	13	8	27
28	34	H28.8.22	～	H28.8.28	-	47	11	42
28	35	H28.8.29	～	H28.9.4	-	69	4	49
28	36	H28.9.5	～	H28.9.11	-	56	1	48
28	37	H28.9.12	～	H28.9.18	1	82	5	45
28	38	H28.9.19	～	H28.9.25	-	55	2	28
28	39	H28.9.26	～	H28.10.2	1	60	-	54
28	40	H28.10.3	～	H28.10.9	-	76	3	59
28	41	H28.10.10	～	H28.10.16	-	61	2	32
28	42	H28.10.17	～	H28.10.23	-	43	6	68
28	43	H28.10.24	～	H28.10.30	-	37	10	51
28	44	H28.10.31	～	H28.11.6	14	38	8	54
28	45	H28.11.7	～	H28.11.13	6	55	12	49
28	46	H28.11.14	～	H28.11.20	14	41	17	58
28	47	H28.11.21	～	H28.11.27	16	29	9	51
28	48	H28.11.28	～	H28.12.4	53	29	6	56
28	49	H28.12.5	～	H28.12.11	72	15	18	62
28	50	H28.12.12	～	H28.12.18	144	27	16	72
28	51	H28.12.19	～	H28.12.25	136	17	22	66
28	52	H28.12.26	～	H29.1.1	346	9	20	46
合計					18,293	1,024	689	3,161

表9-2 定点把握対象疾患 推移表 青森県 平成28年（2016年）

（人）

年	週			感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん
28	1	H28.1.4	～ H28.1.10	201	14	-	24	14
28	2	H28.1.11	～ H28.1.17	133	7	-	26	13
28	3	H28.1.18	～ H28.1.24	138	16	-	25	21
28	4	H28.1.25	～ H28.1.31	140	8	4	22	13
28	5	H28.2.1	～ H28.2.7	116	9	4	19	16
28	6	H28.2.8	～ H28.2.14	140	8	1	11	11
28	7	H28.2.15	～ H28.2.21	142	5	2	7	11
28	8	H28.2.22	～ H28.2.28	149	18	1	4	13
28	9	H28.2.29	～ H28.3.6	138	4	1	2	22
28	10	H28.3.7	～ H28.3.13	130	2	1	16	11
28	11	H28.3.14	～ H28.3.20	204	4	-	16	13
28	12	H28.3.21	～ H28.3.27	151	6	-	4	13
28	13	H28.3.28	～ H28.4.3	167	11	-	6	14
28	14	H28.4.4	～ H28.4.10	163	9	-	5	17
28	15	H28.4.11	～ H28.4.17	189	6	1	11	21
28	16	H28.4.18	～ H28.4.24	195	11	1	16	25
28	17	H28.4.25	～ H28.5.1	163	6	-	15	22
28	18	H28.5.2	～ H28.5.8	128	13	-	5	12
28	19	H28.5.9	～ H28.5.15	216	15	1	16	11
28	20	H28.5.16	～ H28.5.22	276	12	1	15	17
28	21	H28.5.23	～ H28.5.29	290	30	-	22	20
28	22	H28.5.30	～ H28.6.5	244	22	1	16	28
28	23	H28.6.6	～ H28.6.12	206	23	6	24	22
28	24	H28.6.13	～ H28.6.19	143	5	4	18	16
28	25	H28.6.20	～ H28.6.26	133	22	-	19	35
28	26	H28.6.27	～ H28.7.3	101	14	3	22	16
28	27	H28.7.4	～ H28.7.10	95	21	1	21	28
28	28	H28.7.11	～ H28.7.17	117	8	2	19	23
28	29	H28.7.18	～ H28.7.24	94	14	8	20	19
28	30	H28.7.25	～ H28.7.31	96	9	5	16	18
28	31	H28.8.1	～ H28.8.7	102	7	8	11	18
28	32	H28.8.8	～ H28.8.14	65	8	14	6	20
28	33	H28.8.15	～ H28.8.21	98	5	12	6	27
28	34	H28.8.22	～ H28.8.28	107	8	27	9	8
28	35	H28.8.29	～ H28.9.4	108	5	31	11	17
28	36	H28.9.5	～ H28.9.11	120	9	35	6	21
28	37	H28.9.12	～ H28.9.18	75	6	37	6	17
28	38	H28.9.19	～ H28.9.25	68	8	12	7	17
28	39	H28.9.26	～ H28.10.2	70	4	19	7	11
28	40	H28.10.3	～ H28.10.9	87	1	20	5	16
28	41	H28.10.10	～ H28.10.16	78	4	13	2	15
28	42	H28.10.17	～ H28.10.23	85	2	12	3	16
28	43	H28.10.24	～ H28.10.30	99	3	19	3	19
28	44	H28.10.31	～ H28.11.6	106	4	23	3	20
28	45	H28.11.7	～ H28.11.13	148	4	22	2	20
28	46	H28.11.14	～ H28.11.20	204	10	13	10	24
28	47	H28.11.21	～ H28.11.27	230	12	19	5	27
28	48	H28.11.28	～ H28.12.4	300	5	16	8	11
28	49	H28.12.5	～ H28.12.11	361	5	9	10	12
28	50	H28.12.12	～ H28.12.18	455	12	8	9	19
28	51	H28.12.19	～ H28.12.25	379	9	7	7	13
28	52	H28.12.26	～ H29.1.1	332	10	8	6	13
合 計				8,475	493	432	604	916

表9-3 定点把握対象疾患 推移表 青森県 平成28年（2016年） (人)

年	週			百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	
28	1	H28.1.4	~	H28.1.10	-	-	38	-	7
28	2	H28.1.11	~	H28.1.17	-	-	31	-	4
28	3	H28.1.18	~	H28.1.24	-	1	21	-	6
28	4	H28.1.25	~	H28.1.31	-	1	32	-	5
28	5	H28.2.1	~	H28.2.7	-	1	18	-	9
28	6	H28.2.8	~	H28.2.14	-	-	15	-	9
28	7	H28.2.15	~	H28.2.21	-	-	35	-	9
28	8	H28.2.22	~	H28.2.28	-	-	27	-	6
28	9	H28.2.29	~	H28.3.6	-	1	29	-	2
28	10	H28.3.7	~	H28.3.13	-	-	36	-	7
28	11	H28.3.14	~	H28.3.20	-	-	21	-	3
28	12	H28.3.21	~	H28.3.27	-	-	39	-	2
28	13	H28.3.28	~	H28.4.3	-	-	32	1	9
28	14	H28.4.4	~	H28.4.10	-	1	23	-	3
28	15	H28.4.11	~	H28.4.17	-	-	33	-	3
28	16	H28.4.18	~	H28.4.24	-	-	19	-	2
28	17	H28.4.25	~	H28.5.1	1	-	18	-	2
28	18	H28.5.2	~	H28.5.8	-	-	24	-	8
28	19	H28.5.9	~	H28.5.15	1	-	25	-	6
28	20	H28.5.16	~	H28.5.22	-	1	25	-	4
28	21	H28.5.23	~	H28.5.29	-	4	15	-	1
28	22	H28.5.30	~	H28.6.5	-	1	16	-	9
28	23	H28.6.6	~	H28.6.12	-	-	40	1	6
28	24	H28.6.13	~	H28.6.19	-	2	14	1	2
28	25	H28.6.20	~	H28.6.26	-	5	24	-	6
28	26	H28.6.27	~	H28.7.3	-	-	25	-	5
28	27	H28.7.4	~	H28.7.10	-	2	21	-	4
28	28	H28.7.11	~	H28.7.17	1	7	27	-	-
28	29	H28.7.18	~	H28.7.24	-	12	11	-	6
28	30	H28.7.25	~	H28.7.31	1	33	20	-	7
28	31	H28.8.1	~	H28.8.7	-	42	17	-	6
28	32	H28.8.8	~	H28.8.14	-	44	18	-	4
28	33	H28.8.15	~	H28.8.21	1	54	11	-	3
28	34	H28.8.22	~	H28.8.28	-	94	14	-	4
28	35	H28.8.29	~	H28.9.4	4	107	15	-	5
28	36	H28.9.5	~	H28.9.11	-	132	13	-	5
28	37	H28.9.12	~	H28.9.18	5	108	22	1	5
28	38	H28.9.19	~	H28.9.25	-	66	12	-	5
28	39	H28.9.26	~	H28.10.2	-	74	10	-	5
28	40	H28.10.3	~	H28.10.9	1	83	23	-	3
28	41	H28.10.10	~	H28.10.16	-	28	17	-	4
28	42	H28.10.17	~	H28.10.23	1	32	16	-	10
28	43	H28.10.24	~	H28.10.30	-	26	30	-	11
28	44	H28.10.31	~	H28.11.6	-	27	19	-	3
28	45	H28.11.7	~	H28.11.13	-	14	9	-	7
28	46	H28.11.14	~	H28.11.20	-	9	13	-	7
28	47	H28.11.21	~	H28.11.27	-	4	15	-	3
28	48	H28.11.28	~	H28.12.4	1	8	13	-	5
28	49	H28.12.5	~	H28.12.11	-	10	6	-	11
28	50	H28.12.12	~	H28.12.18	1	7	19	-	3
28	51	H28.12.19	~	H28.12.25	-	4	19	-	2
28	52	H28.12.26	~	H29.1.1	-	2	7	-	4
合計				18	1,047	1,092	4	267	

表9-4 定点把握対象疾患 推移表 青森県 平成28年（2016年） (人)

年	週			細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)
28	1	H28.1.4	～ H28.1.10	2	1	3	-	-
28	2	H28.1.11	～ H28.1.17	2	-	3	-	-
28	3	H28.1.18	～ H28.1.24	-	-	5	-	1
28	4	H28.1.25	～ H28.1.31	-	2	4	-	1
28	5	H28.2.1	～ H28.2.7	-	-	3	-	1
28	6	H28.2.8	～ H28.2.14	-	-	10	-	1
28	7	H28.2.15	～ H28.2.21	1	1	6	-	8
28	8	H28.2.22	～ H28.2.28	-	-	4	-	3
28	9	H28.2.29	～ H28.3.6	-	-	3	-	-
28	10	H28.3.7	～ H28.3.13	-	-	5	-	1
28	11	H28.3.14	～ H28.3.20	-	-	7	-	6
28	12	H28.3.21	～ H28.3.27	-	1	5	-	3
28	13	H28.3.28	～ H28.4.3	-	1	4	-	6
28	14	H28.4.4	～ H28.4.10	2	1	3	-	9
28	15	H28.4.11	～ H28.4.17	1	-	3	-	14
28	16	H28.4.18	～ H28.4.24	-	-	7	-	5
28	17	H28.4.25	～ H28.5.1	-	-	3	-	2
28	18	H28.5.2	～ H28.5.8	-	-	3	-	3
28	19	H28.5.9	～ H28.5.15	-	-	3	-	3
28	20	H28.5.16	～ H28.5.22	-	-	9	-	8
28	21	H28.5.23	～ H28.5.29	-	1	5	-	15
28	22	H28.5.30	～ H28.6.5	-	-	7	-	8
28	23	H28.6.6	～ H28.6.12	-	-	4	-	2
28	24	H28.6.13	～ H28.6.19	-	-	4	-	-
28	25	H28.6.20	～ H28.6.26	-	-	2	-	2
28	26	H28.6.27	～ H28.7.3	-	-	5	-	2
28	27	H28.7.4	～ H28.7.10	1	-	5	-	-
28	28	H28.7.11	～ H28.7.17	-	-	2	-	-
28	29	H28.7.18	～ H28.7.24	-	2	4	-	-
28	30	H28.7.25	～ H28.7.31	-	1	2	-	-
28	31	H28.8.1	～ H28.8.7	-	-	3	-	1
28	32	H28.8.8	～ H28.8.14	1	-	5	-	-
28	33	H28.8.15	～ H28.8.21	-	2	2	-	2
28	34	H28.8.22	～ H28.8.28	-	-	3	-	1
28	35	H28.8.29	～ H28.9.4	1	-	4	-	-
28	36	H28.9.5	～ H28.9.11	2	2	4	-	1
28	37	H28.9.12	～ H28.9.18	-	-	9	-	-
28	38	H28.9.19	～ H28.9.25	1	-	12	-	1
28	39	H28.9.26	～ H28.10.2	-	1	14	-	-
28	40	H28.10.3	～ H28.10.9	-	-	9	-	-
28	41	H28.10.10	～ H28.10.16	-	-	12	-	-
28	42	H28.10.17	～ H28.10.23	-	-	18	-	-
28	43	H28.10.24	～ H28.10.30	-	-	18	-	-
28	44	H28.10.31	～ H28.11.6	-	-	16	-	-
28	45	H28.11.7	～ H28.11.13	-	-	13	-	-
28	46	H28.11.14	～ H28.11.20	-	-	7	-	-
28	47	H28.11.21	～ H28.11.27	-	-	9	-	-
28	48	H28.11.28	～ H28.12.4	-	1	6	-	-
28	49	H28.12.5	～ H28.12.11	-	-	3	-	1
28	50	H28.12.12	～ H28.12.18	-	-	6	-	1
28	51	H28.12.19	～ H28.12.25	-	-	13	-	-
28	52	H28.12.26	～ H29.1.1	-	1	5	-	1
合 計				14	18	324	-	113

表10 性感染症 全国累計表 平成28年(2016年)

(人/定点)

	定点数	性器クラミジア感染症			性器ヘルペスウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			合計		
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
0 全国	979	11.90	12.87	24.77	3.67	5.64	9.31	3.72	2.10	5.82	6.76	1.67	8.42	26.21	22.41	48.62
1 北海道	41	9.95	32.61	42.56	2.95	10.39	13.34	2.02	2.54	4.56	4.49	4.93	9.41	19.41	50.46	69.88
2 青森県	13	8.77	14.31	23.08	3.38	3.77	7.15	2.85	1.00	3.85	1.85	1.00	2.85	16.85	20.08	36.92
3 岩手県	14	12.86	7.57	20.43	1.86	2.50	4.36	3.43	2.00	5.43	6.07	1.21	7.29	24.21	13.29	37.50
4 宮城県	17	12.65	14.47	27.12	4.00	6.29	10.29	7.12	1.53	8.65	7.88	1.76	9.65	31.65	24.06	55.71
5 秋田県	14	8.00	4.71	12.71	2.14	5.29	7.43	1.50	0.64	2.14	1.43	0.21	1.64	13.07	10.86	23.93
6 山形県	10	7.80	15.20	23.00	0.50	6.70	7.20	1.30	2.00	3.30	1.80	1.10	2.90	11.40	25.00	36.40
7 福島県	15	16.13	18.40	34.53	3.53	7.53	11.07	4.27	3.67	7.93	13.07	2.60	15.67	37.00	32.20	69.20
8 茨城県	22	15.32	24.59	39.91	2.77	10.23	13.00	1.00	2.27	3.27	3.36	2.50	5.86	22.45	39.59	62.05
9 栃木県	17	12.65	6.12	18.76	2.00	2.71	4.71	5.65	1.88	7.53	6.35	0.41	6.76	26.65	11.12	37.76
10 群馬県	24	15.54	14.92	30.46	1.83	6.63	8.46	2.13	1.25	3.38	5.25	0.54	5.79	24.75	23.33	48.08
11 埼玉県	57	10.19	14.11	24.30	2.81	5.74	8.54	1.93	2.61	4.54	6.19	1.23	7.42	21.12	23.68	44.81
12 千葉県	43	7.91	11.07	18.98	2.79	5.91	8.70	1.95	1.56	3.51	5.98	0.98	6.95	18.63	19.51	38.14
13 東京都	54	28.76	21.46	50.22	17.89	8.04	25.93	18.83	5.63	24.46	22.15	6.15	28.30	87.63	41.28	128.91
14 神奈川県	66	10.26	6.91	17.17	3.00	2.80	5.80	2.42	1.88	4.30	6.30	0.59	6.89	21.98	12.18	34.17
15 新潟県	15	12.93	6.20	19.13	3.80	1.87	5.67	2.13	1.00	3.13	5.60	0.47	6.07	24.47	9.53	34.00
16 富山県	10	3.00	5.80	8.80	1.10	4.20	5.30	1.40	1.40	2.80	2.40	0.20	2.60	7.90	11.60	19.50
17 石川県	10	12.80	13.80	26.60	4.10	4.80	8.90	5.80	1.10	6.90	9.30	1.60	10.90	32.00	21.30	53.30
18 福井県	5	3.60	3.80	7.40	3.40	8.60	12.00	1.60	1.80	3.40	3.00	0.20	3.20	11.60	14.40	26.00
19 山梨県	9	5.11	13.11	18.22	0.11	9.22	9.33	-	2.11	2.11	2.44	0.44	2.89	-	24.89	32.56
20 長野県	14	4.71	12.50	17.21	0.57	3.00	3.57	0.71	3.00	3.71	0.86	0.43	1.29	6.86	18.93	25.79
21 岐阜県	15	8.27	6.27	14.53	2.67	1.33	4.00	4.53	0.67	5.20	5.53	1.87	7.40	21.00	10.13	31.13
22 静岡県	30	6.70	12.87	19.57	1.40	3.33	4.73	1.40	1.90	3.30	2.47	1.37	3.83	11.97	19.47	31.43
23 愛知県	65	13.92	10.00	23.92	3.55	6.18	9.74	3.18	1.63	4.82	7.43	1.09	8.52	28.09	18.91	47.00
24 三重県	17	4.53	4.65	9.18	0.59	1.53	2.12	0.53	0.71	1.24	2.06	0.47	2.53	7.71	7.35	15.06
25 滋賀県	9	2.67	3.00	5.67	1.22	3.44	4.67	1.22	2.89	4.11	1.89	0.33	2.22	7.00	9.67	16.67
26 京都府	23	4.57	13.39	17.96	1.35	4.48	5.83	1.39	1.74	3.13	1.48	1.26	2.74	8.78	20.87	29.65
27 大阪府	65	16.57	19.49	36.06	4.91	6.55	11.46	5.95	3.31	9.26	9.92	2.55	12.48	37.35	31.91	69.26
28 兵庫県	46	9.96	8.78	18.74	1.76	4.98	6.74	2.70	1.02	3.72	5.41	1.04	6.46	19.83	15.83	35.65
29 奈良県	10	6.10	7.00	13.10	1.10	4.50	5.60	2.60	2.90	5.50	3.30	0.90	4.20	13.10	15.30	28.40
30 和歌山県	8	14.25	8.75	23.00	6.13	5.63	11.75	9.25	1.13	10.38	5.63	1.00	6.63	35.25	16.50	51.75
31 鳥取県	7	24.14	16.57	40.71	11.86	8.43	20.29	4.00	2.29	6.29	10.43	1.86	12.29	50.43	29.14	79.57
32 島根県	6	13.33	10.67	24.00	2.50	1.67	4.17	2.33	0.50	2.83	9.33	0.33	9.67	27.50	13.17	40.67
33 岡山県	17	2.82	15.35	18.18	0.47	5.24	5.71	4.18	1.06	5.24	1.59	2.71	4.29	9.06	24.35	33.41
34 広島県	23	15.74	9.70	25.43	3.52	6.96	10.48	4.17	3.48	7.65	7.70	0.87	8.57	31.13	21.00	52.13
35 山口県	12	7.83	9.67	17.50	3.92	8.83	12.75	1.50	3.58	5.08	5.00	1.25	6.25	18.25	23.33	41.58
36 徳島県	6	33.50	11.83	45.33	11.17	38.83	50.00	9.83	4.50	14.33	8.00	0.67	8.67	62.50	55.83	118.33
37 香川県	14	5.14	9.14	14.29	3.36	5.79	9.14	3.57	1.43	5.00	3.50	0.29	3.79	15.57	16.64	32.21
38 愛媛県	11	4.91	3.18	8.09	3.45	0.27	3.73	2.00	0.18	2.18	3.82	0.45	4.27	14.18	4.09	18.27
39 高知県	6	0.33	2.33	2.67	-	0.67	0.67	-	0.50	0.50	-	0.33	0.33	-	3.83	4.17
40 福岡県	37	16.32	12.30	28.62	2.16	6.00	8.16	2.51	2.38	4.89	10.27	2.00	12.27	31.27	22.68	53.95
41 佐賀県	7	16.29	10.71	27.00	4.57	5.57	10.14	4.14	2.00	6.14	9.86	0.86	10.71	34.86	19.14	54.00
42 長崎県	10	13.30	9.10	22.40	1.00	6.50	7.50	1.20	0.60	1.80	5.80	1.00	6.80	21.30	17.20	38.50
43 熊本県	15	15.73	21.73	37.47	6.60	8.27	14.87	3.20	2.07	5.27	11.53	2.13	13.67	37.07	34.20	71.27
44 大分県	10	9.10	9.50	18.60	6.10	3.30	9.40	2.50	1.10	3.60	6.30	2.10	8.40	24.00	16.00	40.00
45 宮崎県	13	8.92	9.69	18.62	0.54	2.69	3.23	1.62	1.00	2.62	4.69	1.38	6.08	15.77	14.77	30.54
46 鹿児島県	16	15.50	10.56	26.06	2.81	3.81	6.63	2.13	1.00	3.13	10.06	2.56	12.63	30.50	17.94	48.44
47 沖縄県	11	4.18	7.73	11.91	0.82	1.55	2.36	1.18	0.45	1.64	1.64	1.00	2.64	7.82	10.73	18.55

表11-1 性感染症 保健所別累計表 平成28年(2016年) (人/定点)

	定点数	性器クラミジア感染症			性器ヘルペスウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			合 計		
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
東地方+青森市	3	7.00	18.67	25.67	0.67	-	0.67	1.00	-	1.00	2.33	1.33	3.67	11.00	20.00	31.00
弘前	3	6.67	12.67	19.33	2.33	8.67	11.00	-	0.67	0.67	0.33	0.33	0.67	9.33	22.33	31.67
八戸	2	24.00	19.50	43.50	11.50	1.50	13.00	11.50	1.00	12.50	6.50	3.50	10.00	53.50	25.50	79.00
五所川原	2	-	-	-	1.50	-	1.50	-	-	-	-	-	-	1.50	-	1.50
上十三	2	12.50	23.50	36.00	4.50	9.00	13.50	5.50	1.50	7.00	1.50	0.50	2.00	24.00	34.50	58.50
むつ	1	-	6.00	6.00	-	2.00	2.00	-	6.00	6.00	-	-	-	-	14.00	14.00

表11-2 性感染症 保健所別累計表 平成27年(2015年) (人/定点)

	定点数	性器クラミジア感染症			性器ヘルペスウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			合 計		
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
東地方+青森市	3	4.00	13.67	17.67	0.67	-	0.67	0.67	0.33	1.00	0.67	-	0.67	6.00	14.00	20.00
弘前	3	4.67	16.00	20.67	-	10.00	10.00	-	3.00	3.00	1.33	1.67	3.00	6.00	30.67	36.67
八戸	2	23.00	9.00	32.00	11.00	1.50	12.50	15.50	2.00	17.50	9.50	-	9.50	59.00	12.50	71.50
五所川原	2	-	0.50	0.50	-	1.00	1.00	0.50	-	0.50	-	-	-	0.50	1.50	2.00
上十三	2	14.00	28.00	42.00	4.50	11.50	16.00	3.00	2.50	5.50	2.50	1.50	4.00	24.00	43.50	67.50
むつ	1	-	4.00	4.00	-	-	-	1.00	3.00	4.00	-	-	-	1.00	7.00	8.00

表12-1 性感染症 年齢別累計表 青森県 平成28年(2016年)

(人)

	性器クラミジア感染症			性器ヘルペスウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			合 計		
	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
0歳															
1～4歳															
5～9歳															
10～14歳															
15～19歳	6	34	40		2	2		1	1		2	2	6	39	45
20～24歳	28	76	104	9	6	15	3	1	4	7	7	14	47	90	137
25～29歳	24	40	64	6	12	18	7	4	11	2		2	39	56	95
30～34歳	24	15	39	6	6	12	12	4	16	3	1	4	45	26	71
35～39歳	18	8	26	8	6	14	3	2	5	4		4	33	16	49
40～44歳	5	7	12	4	1	5	2		2	2	1	3	13	9	22
45～49歳	2	5	7	4	5	9	6	1	7	2	2	4	14	13	27
50～54歳	5		5	5	4	9	2		2	2		2	14	4	18
55～59歳				1	2	3	2		2	1		1	4	2	6
60～64歳	1	1	2		2	2				1		1	2	3	5
65～69歳	1		1	1		1							2		2
70歳以上					3	3								3	3
合 計	114	186	300	44	49	93	37	13	50	24	13	37	219	261	480

表12-2 性感染症 年齢別累計表 青森県 平成27年(2015年)

(人)

	性器クラミジア感染症			性器ヘルペスウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			合計		
	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
0歳															
1～4歳							1		1				1		1
5～9歳															
10～14歳															
15～19歳	2	29	31	1	6	7	1	2	3	2	2	4	6	39	45
20～24歳	11	69	80	2	14	16	5	11	16	7	2	9	25	96	121
25～29歳	30	36	66	4	12	16	5	1	6	4	3	7	43	52	95
30～34歳	26	15	41	5	10	15	10	5	15	2		2	43	30	73
35～39歳	14	8	22	6	4	10	6	2	8	1		1	27	14	41
40～44歳	3	5	8	6	3	9	2	1	3	3		3	14	9	23
45～49歳	5	3	8	6	1	7	4		4	7		7	22	4	26
50～54歳	2	1	3		1	1				2		2	4	2	6
55～59歳	4	1	5	2	2	4	4		4	1		1	11	3	14
60～64歳	2	1	3	1	2	3				1	1	2	4	4	8
65～69歳	1		1				2		2				3		3
70歳以上					3	3	1		1				1	3	4
合計	100	168	268	33	58	91	41	22	63	30	8	38	204	256	460

表13

基幹定点把握対象疾患 都道府県別累計表 平成28年(2016年) (人/定点)

	定点数	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			薬剤耐性緑膿菌感染症			合計		
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
0 全国	479	20.91	13.18	34.10	2.57	1.60	4.18	0.24	0.09	0.33	23.73	14.87	38.60
1 北海道	23	15.65	9.57	25.22	0.30	0.13	0.43	-	0.04	0.04	15.96	9.74	25.70
2 青森県	6	14.50	8.17	22.67	1.00	0.33	1.33	0.67	-	0.67	16.17	8.50	24.67
3 岩手県	19	14.79	8.63	23.42	3.95	3.11	7.05	0.42	-	0.42	19.16	11.74	30.89
4 宮城県	12	12.42	7.33	19.75	1.50	1.17	2.67	0.17	0.17	0.33	14.08	8.67	22.75
5 秋田県	8	21.00	13.38	34.38	8.13	3.75	11.88	0.13	0.13	0.25	29.25	17.25	46.50
6 山形県	10	12.60	8.20	20.80	4.50	2.50	7.00	-	-	-	17.10	10.70	27.80
7 福島県	7	46.14	26.86	73.00	2.57	1.14	3.71	0.71	0.14	0.86	49.43	28.14	77.57
8 茨城県	13	13.15	8.62	21.77	0.85	1.00	1.85	0.31	0.15	0.46	14.31	9.77	24.08
9 栃木県	7	20.71	8.57	29.29	0.14	-	0.14	-	-	-	20.86	8.57	29.43
10 群馬県	8	18.25	8.13	26.38	3.38	1.88	5.25	-	-	-	21.63	10.00	31.63
11 埼玉県	10	6.70	6.50	13.20	0.20	0.50	0.70	-	0.30	0.30	6.90	7.30	14.20
12 千葉県	9	18.56	12.89	31.44	5.56	4.44	10.00	0.11	0.22	0.33	24.22	17.56	41.78
13 東京都	25	20.76	13.92	34.68	3.24	2.28	5.52	0.64	0.24	0.88	24.64	16.44	41.08
14 神奈川県	11	15.09	8.82	23.91	1.27	0.82	2.09	0.36	0.09	0.45	16.73	9.73	26.45
15 新潟県	13	33.54	18.38	51.92	6.31	4.15	10.46	0.23	0.08	0.31	40.08	22.62	62.69
16 富山県	5	15.80	12.40	28.20	3.60	1.60	5.20	0.80	-	0.80	20.20	14.00	34.20
17 石川県	5	31.00	18.20	49.20	2.40	0.80	3.20	-	-	-	33.40	19.00	52.40
18 福井県	6	18.83	12.00	30.83	5.50	3.83	9.33	0.17	0.33	0.50	24.50	16.17	40.67
19 山梨県	10	9.20	5.60	14.80	0.70	0.10	0.80	0.20	0.10	0.30	-	5.80	15.90
20 長野県	11	9.82	5.27	15.09	3.09	1.45	4.55	0.18	0.09	0.27	13.09	6.82	19.91
21 岐阜県	5	14.80	12.40	27.20	1.60	1.20	2.80	-	-	-	16.40	13.60	30.00
22 静岡県	10	19.80	13.10	32.90	1.40	0.90	2.30	0.20	-	0.20	21.40	14.00	35.40
23 愛知県	15	38.93	24.87	63.80	3.73	3.07	6.80	-	-	-	42.67	27.93	70.60
24 三重県	9	38.00	21.33	59.33	0.11	0.44	0.56	0.78	0.44	1.22	38.89	22.22	61.11
25 滋賀県	7	20.71	14.00	34.71	0.14	0.14	0.29	-	-	-	20.86	14.14	35.00
26 京都府	7	14.29	8.57	22.86	-	-	-	0.29	-	0.29	14.57	8.57	23.14
27 大阪府	18	24.83	14.89	39.72	2.78	2.00	4.78	0.11	-	0.11	27.72	16.89	44.61
28 兵庫県	13	21.77	12.69	34.46	3.31	1.92	5.23	0.38	0.31	0.69	25.46	14.92	40.38
29 奈良県	6	48.83	26.50	75.33	12.00	4.33	16.33	-	0.33	0.33	60.83	31.17	92.00
30 和歌山県	11	16.00	9.27	25.27	0.64	0.73	1.36	1.00	0.18	1.18	17.64	10.18	27.82
31 鳥取県	5	17.60	12.20	29.80	3.00	1.20	4.20	-	0.20	0.20	20.60	13.60	34.20
32 島根県	8	25.38	13.88	39.25	0.63	-	0.63	0.13	-	0.13	26.13	13.88	40.00
33 岡山県	4	13.75	9.00	22.75	0.25	0.50	0.75	0.75	-	0.75	14.75	9.50	24.25
34 広島県	21	23.19	15.90	39.10	3.71	2.52	6.24	0.33	0.14	0.48	27.24	18.57	45.81
35 山口県	9	31.22	25.11	56.33	6.33	4.67	11.00	0.11	-	0.11	37.67	29.78	67.44
36 徳島県	7	25.14	15.29	40.43	0.57	0.43	1.00	0.14	-	0.14	25.86	15.71	41.57
37 香川県	5	9.00	8.00	17.00	0.60	0.60	1.20	-	-	-	9.60	8.60	18.20
38 愛媛県	6	13.17	8.50	21.67	0.17	-	0.17	-	-	-	13.33	8.50	21.83
39 高知県	8	19.50	10.13	29.63	-	0.13	0.13	-	-	-	-	10.25	29.75
40 福岡県	15	29.33	21.00	50.33	2.60	1.47	4.07	0.07	-	0.07	32.00	22.47	54.47
41 佐賀県	6	21.50	14.00	35.50	-	-	-	-	-	-	21.50	14.00	35.50
42 長崎県	12	35.67	18.17	53.83	2.42	0.83	3.25	0.42	-	0.42	38.50	19.00	57.50
43 熊本県	15	8.67	6.00	14.67	2.73	1.00	3.73	-	0.07	0.07	11.40	7.07	18.47
44 大分県	11	35.00	24.00	59.00	0.73	0.55	1.27	0.55	0.18	0.73	36.27	24.73	61.00
45 宮崎県	7	17.71	13.43	31.14	0.29	0.71	1.00	-	-	-	18.00	14.14	32.14
46 鹿児島県	12	6.58	4.08	10.67	0.50	0.08	0.58	-	-	-	7.08	4.17	11.25
47 沖縄県	7	33.29	29.14	62.43	12.29	7.29	19.57	0.43	-	0.43	46.00	36.43	82.43

表14-1 基幹定点把握対象疾患推移表 平成28年(2016年) (人/定点)

		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
年	月	全国	青森県	全国	青森県	全国	青森県
28	1	2.88	3.00	0.39	-	0.02	-
28	2	2.88	2.17	0.36	-	0.02	-
28	3	2.97	1.17	0.33	-	0.02	0.17
28	4	2.74	1.83	0.38	0.17	0.02	-
28	5	2.80	1.50	0.36	-	0.02	-
28	6	2.76	1.50	0.36	0.50	0.03	-
28	7	2.69	2.50	0.32	-	0.02	0.17
28	8	2.97	0.83	0.34	0.33	0.04	-
28	9	2.81	2.00	0.32	0.17	0.03	0.17
28	10	2.90	2.50	0.33	-	0.03	0.17
28	11	2.86	2.67	0.34	0.17	0.02	-
28	12	2.80	1.00	0.35	-	0.04	-

表14-2 基幹定点把握対象疾患推移表 平成27年(2015年) (人/定点)

		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
年	月	全国	青森県	全国	青森県	全国	青森県
27	1	3.04	1.83	0.39	0.17	0.04	0.17
27	2	3.05	1.00	0.34	0.17	0.04	-
27	3	3.06	1.50	0.32	-	0.04	-
27	4	2.77	1.17	0.36	-	0.04	0.17
27	5	2.71	1.50	0.39	0.17	0.04	0.17
27	6	2.87	2.17	0.38	-	0.04	-
27	7	2.93	1.33	0.34	0.50	0.06	-
27	8	3.09	1.00	0.27	0.17	0.05	0.17
27	9	2.99	1.83	0.27	-	0.05	-
27	10	2.91	0.83	0.36	0.17	0.03	-
27	11	2.82	0.50	0.34	-	0.04	-
27	12	2.87	1.17	0.41	-	0.03	0.17

表15-1 基幹定点把握対象疾患 保健所別累計表 平成28年(2016年) (人/定点)

	定点数	メシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			薬剤耐性緑膿菌感染症		
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
東地方+青森市	1							2.00		2.00
弘前	1	15.00	6.00	21.00						
八戸	1	37.00	21.00	58.00				2.00		2.00
五所川原	1	28.00	13.00	41.00						
上十三	1	4.00	8.00	12.00	6.00	2.00	8.00			
むつ	1	3.00	1.00	4.00						

表15-2 基幹定点把握対象疾患 保健所別累計表 平成27年(2015年) (人/定点)

	定点数	メシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			薬剤耐性緑膿菌感染症		
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
東地方+青森市	1									
弘前	1	8.00	9.00	17.00						
八戸	1	19.00	5.00	24.00				2.00		2.00
五所川原	1	25.00	15.00	40.00				2.00		2.00
上十三	1	7.00	3.00	10.00	7.00	1.00	8.00	1.00		1.00
むつ	1	3.00	1.00	4.00						

表16-1 基幹定点把握対象疾患 年齢別累計表 平成28年(2016年) (人)

	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症			薬剤耐性緑膿菌感染症			合 計		
	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
0歳	1	1	2							1	1	2
1~4歳	3		3							3		3
5~9歳		3	3								3	3
10~14歳	2	3	5							2	3	5
15~19歳		1	1								1	1
20~24歳												
25~29歳	1	1	2				1		1	2	1	3
30~34歳	1		1							1		1
35~39歳												
40~44歳	1	1	2							1	1	2
45~49歳	2		2							2		2
50~54歳	4	1	5							4	1	5
55~59歳	4	2	6							4	2	6
60~64歳	5	2	7							5	2	7
65~69歳	9	2	11	2		2	1		1	12	2	14
70歳以上	54	32	86	4	2	6	2		2	60	34	94
合 計	87	49	136	6	2	8	4		4	97	51	148

表16-2 基幹定点把握対象疾患 年齢別累計表 平成27年(2015年) (人)

	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症			薬剤耐性緑膿菌感染症			合 計		
	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
0歳	3	1	4							3	1	4
1~4歳	2		2							2		2
5~9歳		1	1								1	1
10~14歳												
15~19歳												
20~24歳		1	1								1	1
25~29歳												
30~34歳												
35~39歳												
40~44歳	3	1	4							3	1	4
45~49歳	2		2							2		2
50~54歳	2		2	1		1				3		3
55~59歳	2	2	4							2	2	4
60~64歳	2	1	3	1		1	1		1	4	1	5
65~69歳	4	2	6				2		2	6	2	8
70歳以上	42	24	66	5	1	6	2		2	49	25	74
合 計	62	33	95	7	1	8	5		5	74	34	108

IV 資 料

(ウイルス検出状況)

2016年 ウイルス等検出状況

(検体採取月別)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
Coxsackievirus A2									1				1
Coxsackievirus A4												1	1
Coxsackievirus A10									1				1
Coxsackievirus A16								2					2
Coxsackievirus B1								3					3
Coxsackievirus B5												2	2
Echovirus 6							3	5	2	2	2		14
Echovirus 9							1	7	4				12
Echovirus 18										1			1
Parechovirus 1								1					1
Rhinovirus A					1	1	8	2	3		2	2	19
Rhinovirus B								1				1	2
Rhinovirus C	1	3		1			3	2	3	1		1	15
RS virus A	1					1			1				3
RS virus B							1	1	1			1	4
Human metapneumovirus	2	1		1		1							5
Boca virus						2							2
Influenza virus AH1	12	1										1	14
Influenza virus AH3				1							1	4	6
Influenza virus B			1	14	6								21
Para Influenza virus 3							1	2					3
Sapovirus genogroup I				1									1
Adenovirus 1				1									1
Adenovirus 4							1						1
Human herpes virus 6		2	1				2	2	2		1		10
Human herpes virus 7		2			1		2		1	1		1	8
Herpes simplex virus					1								1
Varicella zoster virus					1								1
Mycoplasma							1		1				2
TOTAL	16	9	2	19	10	5	23	28	20	5	6	14	157

(参考資料)

青森県感染症発生動向調査事業実施要綱

青森県感染症発生動向調査事業実施要綱

第1 目的

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下「法」という。）及び国が定める感染症発生動向調査事業実施要綱（以下「国要綱」という。）に基づき、感染症の発生動向を調査するため、国、保健所設置市及び関係機関との連携のもとに感染症情報の収集・分析を行い、県民に対し迅速に情報の提供・公開することで、本県における有効かつ確かな感染症対策を確立することを目的とする。

第2 対象感染症

本事業の対象とする感染症は、国要綱第2に規定する感染症とする。

第3 実施体制

本事業を円滑に実施するため、次のとおり実施体制を確立する。

1 青森県感染症情報センター

県内全域における患者情報、法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症（以下「疑似症」という。）情報及び病原体情報（検査情報も含む。以下同じ。）を収集・分析し、保健衛生課に報告するとともに、全国情報と併せて、これらを速やかに関係機関に提供・公開するため、基幹地方感染症情報センターとして青森県環境保健センター（以下「県環境センター」という。）に、青森県感染症情報センター（以下「県感染症情報センター」という。）を設置する。

2 保健衛生課

（1）指定届出機関及び指定提出機関（定点）の選定

保健衛生課は、定点把握対象の感染症について、患者情報及び疑似症情報を収集するため、法第14条第1項に規定する指定届出機関として、患者定点及び疑似症定点をあらかじめ選定する。

保健衛生課は、定点把握対象の五類感染症について、患者の検体又は当該感染症の病原体（以下「検体等」という。）を収集するため、病原体定点をあらかじめ選定する。なお、法施行規則第7条の2に規定する五類感染症については、法第14条の2第1項に規定する指定提出機関として、病原体定点を選定する。

（2）県民への情報提供・公開

保健衛生課は、県感染症情報センターから報告された患者情報、疑似症情報及び病原体情報を、必要により報道機関等の協力を得て、県民に提供・公開する。

（3）関係機関との連絡調整等

保健衛生課は、感染症発生動向調査事業をより効果的に実施するため、感染症発生動向調査体制の整備に努めるとともに、関係機関との連絡・調整を行う。

3 保健所

保健所は、第2の対象感染症及び疑似症について、患者情報、疑似症情報及び病原体情報を収集する。

4 県環境センター及び東地方保健所

本事業に係る検体等の検査については、県環境センター及び東地方保健所の検査施設において実施する。

県環境センターは、二類感染症、四類感染症、五類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症のうち、感染症発生動向調査において必要と判断される感染症の病原体を検索する。

東地方保健所は、三類感染症のうち、感染症発生動向調査において必要と判断される感染症の病原体を検索する。

なお、検査は、別に定める青森県検査施設における病原体等検査の業務管理要領（以下「県病原体検査要領」という。）に基づき実施し、検査の信頼性確保に努めることとする。

また、患者が一類感染症と診断されている場合、県域を越えた集団発生があった場合等の緊急の場合その他必要な場合にあつては、検体を国立感染症研究所に送付する。

5 青森県感染症発生動向調査委員会

県内における情報の収集、分析の効果的・効率的な運用を図るため、小児科、内科、眼科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、微生物学、疫学、獣医学、昆虫学等の専門家、保健所及び県環境センターの代表、公益社団法人青森県医師会の代表等からなる青森県感染症発生動向調査委員会を設置し、事務局を保健衛生課に置く。

6 指定届出機関及び指定提出機関（定点）

（1）患者定点

保健衛生課は、定点把握対象の五類感染症及び疑似症の発生状況を地域的に把握するため、以下の指定届出機関を、関係医師会等の協力を得て、医療機関の中から可能な限り無作為に選定する。また、定点の選定に当たっては、国要綱を参考に、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ県内全体の感染症の発生状況を把握できるよう考慮することとする。

ア 小児科定点

小児科を標榜する医療機関（主として小児科医療を提供しているもの）を小児科定点として指定する。

イ インフルエンザ定点

上記アの小児科定点に加え、内科を標榜する医療機関（主として内科医療を提供しているもの）を内科定点として指定し、両者を合わせてインフルエンザ定点とする。

ウ 眼科定点

眼科を標榜する医療機関（主として眼科医療を提供しているもの）を眼科定点として指定する。

エ 性感染症定点

産婦人科、産科若しくは婦人科（産婦人科系）、医療法施行令（昭和23年政令第326号）第3条の2第1項第1号ハ及びニ（2）の規定により性感染症と組み合わせた名称を診療科名とする診療科、泌尿器科又は皮膚科を標榜する医療機関（主として各々の標榜科の医療を提供しているもの）を性感染症定点として指定する。

オ 基幹定点

患者を300人以上収容する施設を有する病院であって内科及び外科を標榜する病院（小児科医療と内科医療を提供しているもの）を各2次医療圏域毎に1ヵ所以上、基幹定点として指定する。

（2）病原体定点

保健衛生課は、病原体の分離等の検査情報を収集するため、病原体定点を、関係医師会等の協力を得て、原則として、患者定点として選定された医療機関の中から選定する。また、定点の選定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ県内全体の感染症の発生状況を把握できるよう考慮することとする。

小児科定点、インフルエンザ定点、眼科定点については、それぞれ概ね10%を小児科病原体定点、インフルエンザ病原体定点、眼科病原体定点として、基幹定点についてはすべて基幹病原体定点とする。なお、インフルエンザ病原体定点の選定に当たっては、小児科定点から10%以上及び内科定点から10%以上を、それぞれ3定点と2定点を下回らないよう選定することとし、法第14条の2第1項に規定する指定提出機関として指定する。

（3）疑似症定点

ア 第一号疑似症定点

摂氏38度以上の発熱及び呼吸器症状（明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。）については、小児科を標榜する医療機関（主として小児科医療を提供しているもの）又は内科を標榜する医療機関（主として内科医療を提供しているもの）を第一号疑似症定点として指定する。

イ 第二号疑似症定点

発熱及び発しん又は水疱については、小児科を標榜する医療機関（主として小児科医療を提供しているもの）、内科を標榜する医療機関（主として内科医療を提供しているもの）又は皮膚科を標榜する医療機関（主として皮膚科医療を提供しているもの）を第二号疑似症定点として指定する。

第4 事業の実施

1 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症（侵襲性髄膜炎菌感染症、麻しん）、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症

(1) 調査単位及び実施方法

ア 診断した医師

一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症（侵襲性髄膜炎菌感染症、麻しん）、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症を届出基準等通知に基づき診断した場合は、国が定める基準に基づき直ちに最寄りの保健所に届出を行う。

イ 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供について、依頼又は命令を受けた場合にあっては、検体等について、別記様式の検査票を添付して提供する。

ウ 保健所

(ア) 届出を受けた保健所は、直ちに感染症発生動向調査システムに届出内容を入力するものとする。

また、保健所は病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について、別記様式の検査票を添付して依頼等するものとする。なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて保健衛生課、県環境センター及び東地方保健所と協議する。

(イ) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、別記様式の検査票を添付して県環境センター又は東地方保健所へ検査を依頼するものとする。

(ウ) 保健所は、必要に応じて届出を受けた感染症に係る発生状況及び県感染症情報センターが提供する週報等を、管内の市町村、市町村教育委員会、医師会、指定届出機関、指定提出機関その他地域の実情に応じた関係機関に情報提供し連携を図る。

エ 県環境センター及び東地方保健所

(ア) 県環境センター及び東地方保健所は、下記の表に基づき、別記様式の検査票

及び検体等が送付された場合にあっては、別に定める県病原体検査要領に基づき当該検体等を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、東地方保健所においては、県環境センターあてに検査結果及び菌株等を直ちに送付する。また、病原体情報について、速やかに中央感染症情報センターに報告する。（検査事務を委託している保健所設置市においては、委託元の保健所設置市の責任において報告を実施すること。）

実施機関	検査する検体
県環境保健センター	急性灰白髄炎、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）、四類感染症、五類感染症（侵襲性髄膜炎菌感染症、麻しん）、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症のうち検査可能な疾患
東地方保健所 （試験検査課）	コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフス、腸管出血性大腸菌感染症

（イ）検査のうち、県環境センター又は東地方保健所において実施することが困難なものについては、必要に応じて、他の都道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

（ウ）県環境センターは、患者が一類感染症と診断されている場合、県域を越えた感染症の集団発生があった場合等の緊急の場合及び国から提出を求められた場合にあっては、検体等を国立感染症研究所に送付する。

オ 県感染症情報センター

（ア）県感染症情報センターは、県内の患者情報について保健所からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行うとともに、中央感染症情報センターに報告する。

（イ）県感染症情報センターは、県環境センターから送付された検査情報について、保健衛生課及び中央感染症情報センターに報告する。

（ウ）県感染症情報センターは、県内の全ての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報（月単位の場合は月報）等として公表される都道府県情報、全国情報と併せて、保健衛生課及び保健所等の関係機関に提供・公開する。

カ 保健衛生課

保健衛生課は、県感染症情報センターが収集、分析した患者情報及び病原体情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。なお、緊急の場合及び国から対応を求められた場合においては、保健衛生課は、直接必要な情報を収集するとともに、国及び他の都道府県等とも連携の上、迅速な対応を行う。また、必要に応じ、報道機関等に情報提供する。

2 全数把握対象の五類感染症（侵襲性髄膜炎菌感染症、麻しんを除く。）

（1）調査単位及び実施方法

ア 診断した医師

全数把握対象の五類感染症（侵襲性髄膜炎菌感染症、麻しんを除く。）の患者を届出基準等通知に基づき診断した医師は、国が定める様式を用いて、7日以内に最寄りの保健所に届出を行う。特に、風しんについては、より迅速な行政対応に資するため、風しんを診断した医師は24時間以内を目途に届出を行う。

イ 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供の依頼を受けた場合にあっては、検体等について、保健所に協力し、別記様式の検査票を添付して提供する。

ウ 保健所

（ア）届出を受けた保健所は、直ちに感染症発生動向調査システムに届出内容を入力するものとする。また、保健所は、病原体検査が必要と判断した場合には、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について、別記様式の検査票を添付して依頼するものとする。なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて保健衛生課及び県環境センターと協議する。

（イ）保健所は、検体等の提供を受けた場合には、別記様式の検査票を添付して県環境センターへ検査を依頼するものとする。

（ウ）保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況及び県感染症情報センターが提供する週報等を、管内の市町村、市町村教育委員会、医師会、指定届出機関、指定提出機関その他地域の実情に応じた関係機関に情報提供し連携を図る。

エ 県環境センター

（ア）県環境センターは、別記様式の検査票及び検体等が送付された場合にあっては、別に定める県病原体検査要領に基づき当該検体等を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、別記様式により保健所、保健衛生課及び県感染症情報センターに送付する。また、病原体情報について、速やかに中央感染症情報センターに報告する。（検査事務を委託している保健

所設置市においては、委託元の保健所設置市の責任において報告を実施すること。)

- (イ) 検査のうち、県環保センターにおいて実施することが困難なものについては、必要に応じて、他の都道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。
- (ウ) 県環保センターは、県域を越えた感染症の集団発生があった場合等の緊急の場合及び国から提出を求められた場合にあっては、検体等を国立感染症研究所に送付する。

オ 県感染症情報センター

- (ア) 県感染症情報センターは、県内の患者情報について保健所からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行うとともに、中央感染症情報センターに報告する。
- (イ) 県感染症情報センターは、県環保センターから送付された検査情報について、保健衛生課及び中央感染症情報センターに報告する。
- (ウ) 県感染症情報センターは、県内の全ての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報（月単位の場合は月報）等として公表される都道府県情報、全国情報と併せて、保健衛生課及び保健所等の関係機関に提供・公開する。

カ 保健衛生課

保健衛生課は、県感染症情報センターが収集、分析した患者情報及び病原体情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。なお、緊急の場合及び国から対応を求められた場合においては、保健衛生課は、直接必要な情報を収集するとともに、国及び他の都道府県等とも連携の上、迅速な対応を行う。また、必要に応じ、報道機関等に情報提供する。

3 定点把握対象の五類感染症

(1) 調査単位及び実施方法

ア 指定届出機関及び指定提出機関

指定届出機関は各々の定点把握対象の五類感染症について、届出基準等通知に基づき診断した場合は、国が定める様式を用いて最寄りの保健所に届出を行う。

(ア) 患者定点

- (i) 患者定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、国要綱第5の3の(3)に規定する調査単位の期間の診療時における国の定める報告基準により、患者発生状況の把握を行うものとする。
- (ii) 指定届出機関は国の定める基準に従い、それぞれ調査単位の患者発生状況等を記載し、法施行規則第7条に従い、保健所へ届出するものとする。この届出は、郵送またはファクシミリによることとする。

(イ) 病原体定点

- (i) 病原体定点として選定された医療機関は、必要に応じて病原体検査のために検体等を採取する。
- (ii) 病原体定点は、検体等について、別記様式の検査票を添えて、速やかに県環境センターへ送付する。
- (iii) 小児科病原体定点においては、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、百日咳、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎について、各月ごとに、概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体を送付するものとする。
- (iv) インフルエンザ病原体定点においては、インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。インフルエンザ様疾患を含む。）について、インフルエンザの流行期（インフルエンザ定点における患者定点当たりの患者発生数が青森県で1を超えた時点から1を下回るまでの間。以下同じ。）には1週間ごとに、非流行期（流行期以外の期間。以下同じ。）には、各月ごとに、少なくとも1検体を送付するものとする。

イ 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供の依頼を受けた場合にあっては、検体等について、保健所に協力し、別記様式の検査票を添付して提供する。

ウ 保健所

- (ア) 保健所は、患者定点から得られた患者情報が週単位の場合は調査対象の週の翌週の火曜日までに、月単位の場合は調査対象月の翌月の3日までに、感染症発生動向調査システムに入力する。また、保健所は、病原体検査が必要と判断した場合には、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について、別記様式の検査票を添付して依頼するものとする。なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて保健衛生課及び県環境センターと協議する。
- (イ) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、別記様式の検査票を添付して県環境センターへ検査を依頼するものとする。
- (ウ) 保健所は、必要に応じて届出を受けた感染症に係る発生状況及び県感染症情報センターが提供する週報等を、管内の市町村、市町村教育委員会、医師会、指定届出機関、指定提出機関その他地域の実情に応じた関係機関に情報提供し連携を図る。

エ 県環境センター

- (ア) 県環境センターは、別記様式の検査票及び検体等が送付された場合にあっては、別に定める県病原体検査要領に基づき当該検体を検査し、その結果を診断

した医師に通知するとともに、別記様式により保健衛生課、保健所及び県感染症情報センターに送付する。また、病原体情報について、速やかに中央感染症情報センターに報告する。(検査事務を委託している保健所設置市においては、委託元の保健所設置市の責任において報告を実施すること。)

- (イ) 検査のうち、県環境センターにおいて実施することが困難なものについては、必要に応じて、他の都道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。
- (ウ) 県環境センターは、県域を越えた感染症の集団発生があった場合等の緊急の場合及び国から提出を求められた場合にあつては、検体等を国立感染症研究所に送付する。
- (エ) 県環境センターは、インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)の流行期が非流行期に変わった場合及び流行期が非流行期に変わった場合には、インフルエンザ病原体定点に対して、調査単位が変更になった旨を連絡する。

オ 県感染症情報センター

- (ア) 県感染症情報センターは、県内の患者情報について保健所からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行うとともに、中央感染症情報センターに報告する。
- (イ) 県感染症情報センターは、県環境センターから送付された病原体情報について、保健衛生課及び中央感染症情報センターに報告する。
- (ウ) 県感染症情報センターは、県内の全ての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報(月単位の場合は月報)等として公表される都道府県情報、全国情報と併せて、保健衛生課及び保健所等の関係機関に提供・公開する。

カ 保健衛生課

保健衛生課は、県感染症情報センターが収集、分析した患者情報及び病原体情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。なお、緊急の場合及び国から対応を求められた場合においては、保健衛生課は、直接必要な情報を収集するとともに、国及び他の都道府県等とも連携の上、迅速な対応を行う。また、必要に応じ、報道機関等に情報提供する。

4 疑似症

(1) 調査単位及び実施方法

ア 疑似症定点

- (ア) 疑似症定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、診療時における国の定める報告基準により、直ちに疑似症発生状況の把握を行うものとする。

(イ) 届出は、国の定める報告基準に従い、疑似症発生状況等を記載し、直ちに保健所へ届出するものとする。なお、この場合の届出は、郵送またはファクシミリによることとする。

イ 保健所

(ア) 届出を受けた保健所は、当該疑似症定点から得られた疑似症情報を、直ちに、症候群サーベイランスシステムに入力するものとする。

また、対象疑似症についての集団発生その他特記すべき情報についても保健衛生課、県感染症情報センター及び中央感染症情報センターへ報告する。

(イ) 保健所は、必要に応じて届出を受けた疑似症に係る発生状況及び県感染症情報センターが提供する週報等を、管内の市町村、市町村教育委員会、医師会、指定届出機関、指定提出機関その他地域の実情に応じた関係機関に情報提供し連携を図る。

ウ 県感染症情報センター

(ア) 県感染症情報センターは、県内の疑似症情報について保健所からの情報の入力があり次第、登録情報を確認する。

(イ) 県感染症情報センターは、県内の全ての疑似症情報を収集、分析するとともに、その結果を週報等として公表される都道府県情報、全国情報と併せて、保健衛生課及び保健所等の関係機関に提供・公開する。

エ 保健衛生課

保健衛生課は、地方感染症情報センターが収集、分析した患者情報及び病原体情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。なお、緊急の場合及び国から対応を求められた場合においては、保健衛生課は、直接必要な情報を収集するとともに、国及び他の都道府県等とも連携の上、迅速な対応を行う。また、必要に応じ、報道機関等に情報提供する。

第5 検体等の取扱い

感染症発生動向調査のために取り扱うこととなった検体等については、感染症の発生及びまん延防止策の構築、公衆衛生の向上のために使用されるものであり、それ以外の目的に用いてはならない。なお、上記に掲げる目的以外の研究に使用する場合は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」等の別に定める規定に従い行うものとする。

第6 事業の見直し

本事業については、法令及び組織等の見直しや社会情勢等を考慮した上で、適宜見直しを図るものとする。

附則

この要綱は、平成13年4月1日から施行する。

附則（平成14年12月10日一部改正）

この要綱は、平成14年12月10日から施行する。

附則（平成15年1月10日一部改正）

この要綱は、平成15年1月10日から施行する。

附則（平成16年2月20日一部改正）

この要綱は、平成16年2月20日から施行する。

附則（平成17年4月1日一部改正）

この要綱は、平成17年4月1日から施行し、平成16年10月1日から適用する。

附則（平成19年6月15日一部改正）

この要綱は、平成19年6月15日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

附則（平成20年4月22日一部改正）

この要綱は、平成20年4月22日から施行し、同日から適用する。

附則（平成27年3月31日一部改正）

この要綱は、平成27年4月1日から施行し、同日から適用する。

附則（平成27年5月19日一部改正）

この要綱は、平成27年5月21日から施行し、同日から適用する。

附則（平成28年3月15日一部改正）

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

青森県感染症発生動向調査事業報告書

－平成28年－

平成29年7月

青森県環境保健センター（青森県感染症情報センター）

住所 〒030-8566 青森市東造道1-1-1

電話 (017) 736-5411 FAX (017) 736-5419
